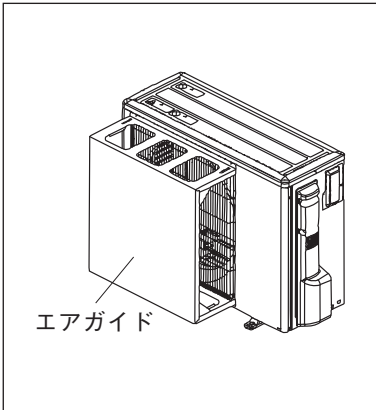


エアガイド

● PAC-SJ06AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温-5℃以下（-15℃まで）で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

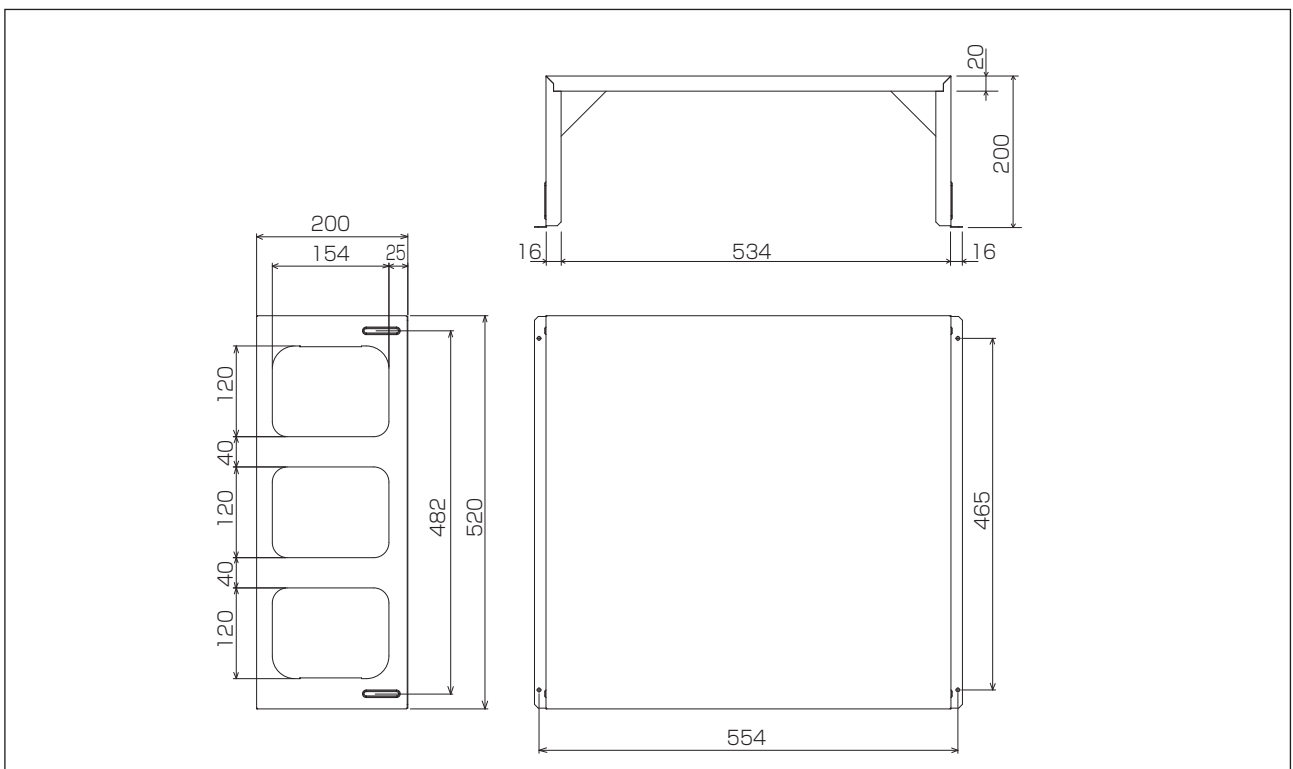
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA4, PUZ-ERMP40～63(S)KA4, PU-CRMP40～63(S)KA4

仕様

| | | | |
|------|--|---------------|--|
| 形名 | PAC-SJ06AG | | |
| 外装 | 色 | アイボリー | |
| | マンセルNo | 3.0 Y 7.8/1.1 | |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 | |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 | |
| 質量 | 2.7kg | | |
| 付属部品 | 取付用座付ネジ (M4 × 16) × 4 (鉄 / 亜鉛ニッケル合金メッキ) スプリングワッシャー × 4 (SUS304 / 無) ワッシャー × 4 (SUS304 / 無) | | |

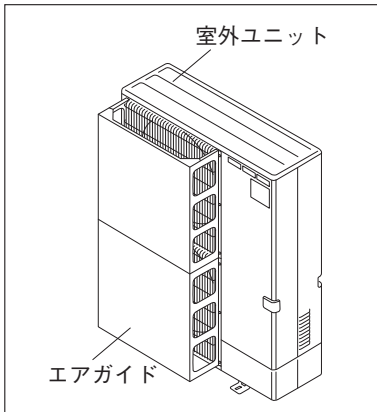
外形図 (組立図) (単位: mm)



エアガイド

● PAC-SH95AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温 -5°C 以下 (-15°C まで) で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

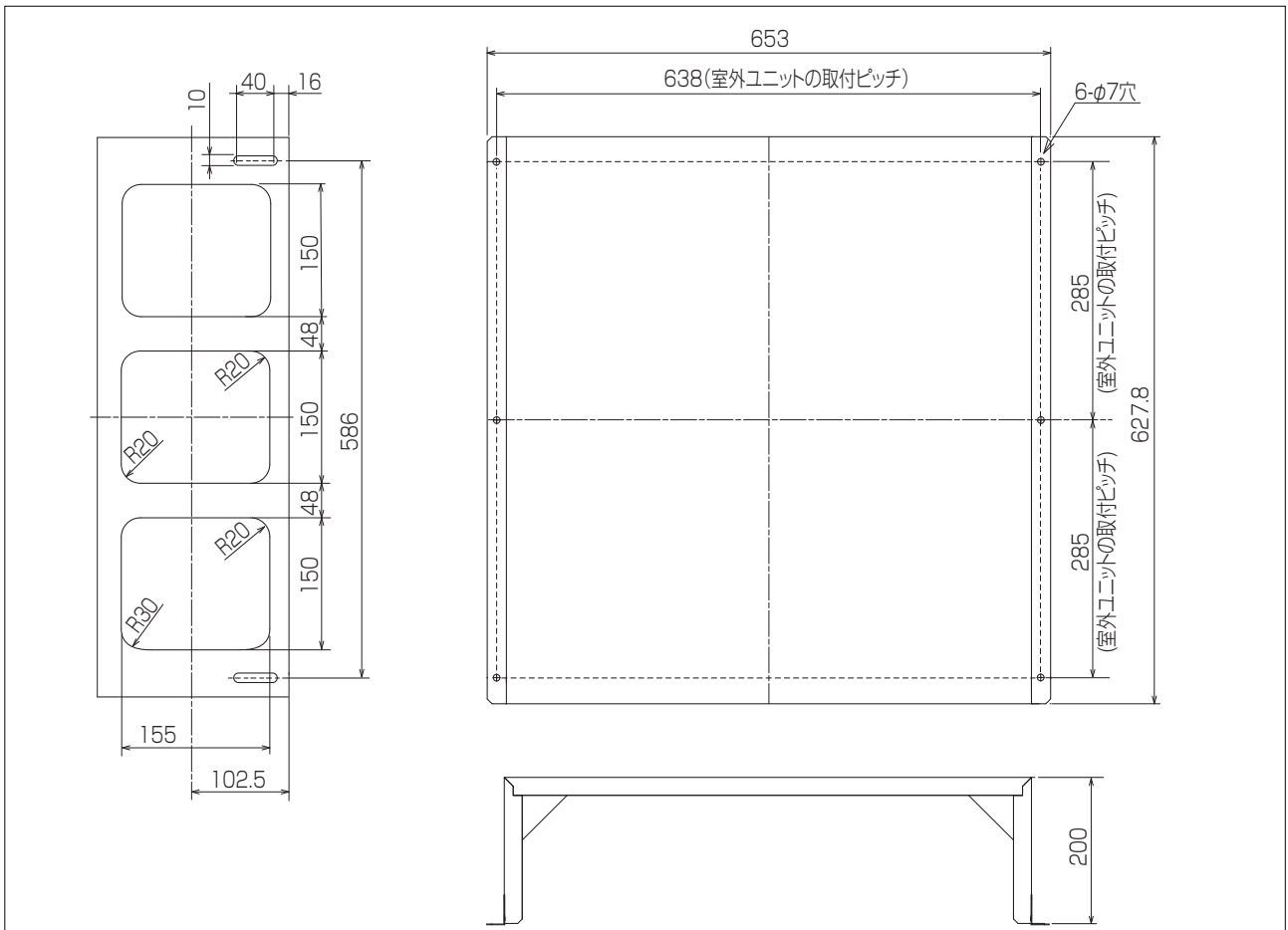
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA4 (2個使い)
- PUZ-ZRP224・280KA10 (2個使い)
- PUZ-ERMP112～160LA4 (2個使い)
- PUZ-ERMP112・140LA5 (1個使い)
- PUZ-ERP224・280KA10 (2個使い)
- PU-CRMP112～160LA4 (2個使い)
- PUZ-HRMP80～160KA (2個使い)

仕様

| | | |
|---------------------|--|--------------|
| 形名 | PAC-SH95AG | |
| 外装 | 色 | アイボリー |
| | マンセルNo | 3.0Y7.8/1.1 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| 質量 | 3.5kg | |
| 付属部品 (材質 / 表面処理) | 取付用ネジ (5×15) × 4 (鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ) | |

外形図 (単位: mm)



室外ユニット

PAC-SH95AG
室外ユニットK/Lシリーズ用
PAC-SJ06AG
室外ユニットKシリーズ用

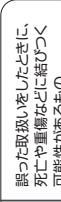
三菱電機 パッケージエアコン別売部品
エアガイド取付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。



警告
取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認することにも、この取付工事説明書は取扱い説明書とともに、お読みください。誤った取扱いをしたときに、お使いになる方が代わられる場合は、新しく、お使いになる方にお渡しいただくようお願いしていただきます。



警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。



注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの損傷に結びつくもの。



警告
取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● お客様自身で取付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。



警告
取付けは、この取付工事説明書に従って確実に行う。
● 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。



注意
ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
● 雨からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。



注意
電源配線は、電流容量に合った増設品を使用すること。
● 副電や発熱・火災の原因になります。

冷媒配管の断熱は継続しないように確実に行う。
● 不完全な断熱工事をすると配管表面が凝露して、露ダレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

ドレン配管は、取付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、凝露が生じないように保通すること。
● 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

この「エアガイド」は、室外ユニットの送風機がファンコンローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付けられる場所での送風機の保護などにご使用ください。また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合は本品の取付けが必要となります。

1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
3) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
4) 室外ユニットの側面および上方に障害物がある吹出し、空気が障害物に当たるような設置場所では、本品のご使用はおやめください。シャフトサイクルの原因になります。

2) ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

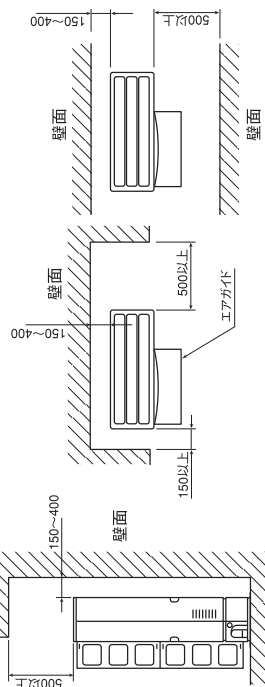
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

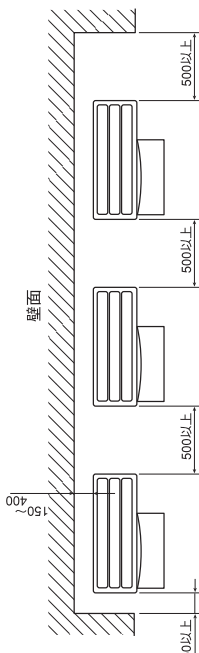
| | | | | | | | |
|-----|----|-------|--|--------|--|-------------|--|
| ①本体 | 1台 | ②取付ネジ | PAC-SH95AGの場合 5x15...6本 PAC-SJ06AGの場合 4x16...4本 | ③ワッシャー | PAC-SH95AGの場合 ...6個 PAC-SJ06AGの場合 ...4本 | ④スプリングワッシャー | PAC-SH95AGの場合 ...6個 PAC-SJ06AGの場合 ...4本 |
|-----|----|-------|--|--------|--|-------------|--|

2 設置スペースの確認
(単位: mm)

(1) 単独設置時



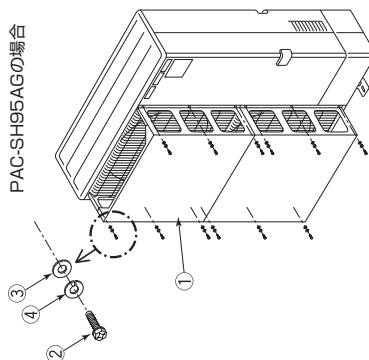
(2) 複数台設置時 ※連続設置は5台以内としてください。



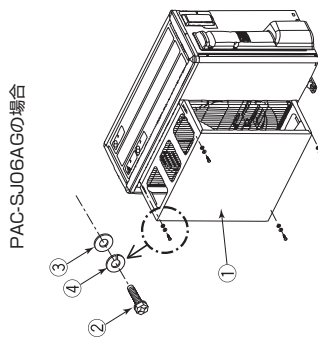
3 取付方法

(1) 本体①をワッシャー③とスプリングワッシャー④と取付ネジ②で室外ユニット②に取付けてください。

PAC-SH95AGの場合



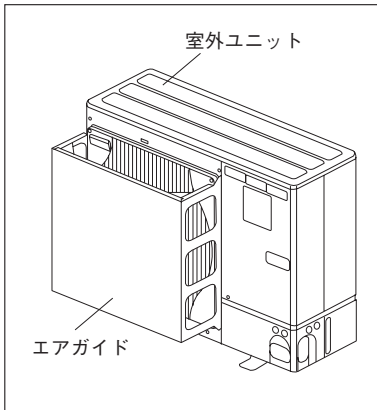
PAC-SJ06AGの場合



エアガイド

● PAC-SJ03AG

使用目的 / 用途



- “エアガイド” は、室外ユニットの送風機がファンコントローラ作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護等にご使用ください。
- 外気温 -5°C 以下 (-15°C まで) で冷房運転を行う場合には、本品の取り付けが必要です。

注意

- ・ 室外ユニットの両側面および上方に障害物がある設置場所では、本品のご使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- ・ ユニットの背面に直接風が当たる向き・場所には絶対に設置しないでください。
- ・ 本品取り付けにより、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB程度)があります。

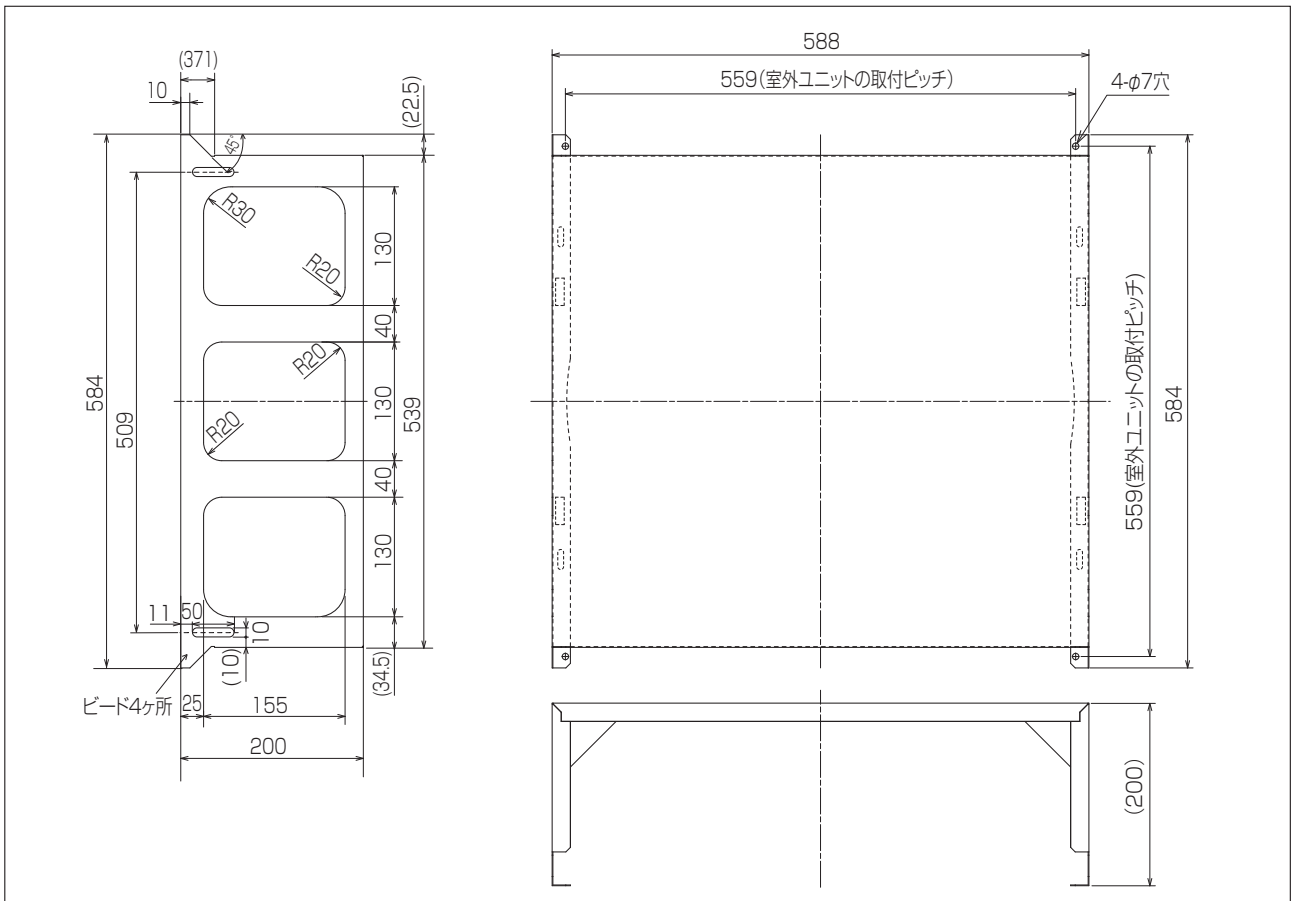
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4 (1個使い)
- PUZ-ERMP80(S)HA4 (1個使い)
- PU-CRMP80(S)HA4 (1個使い)

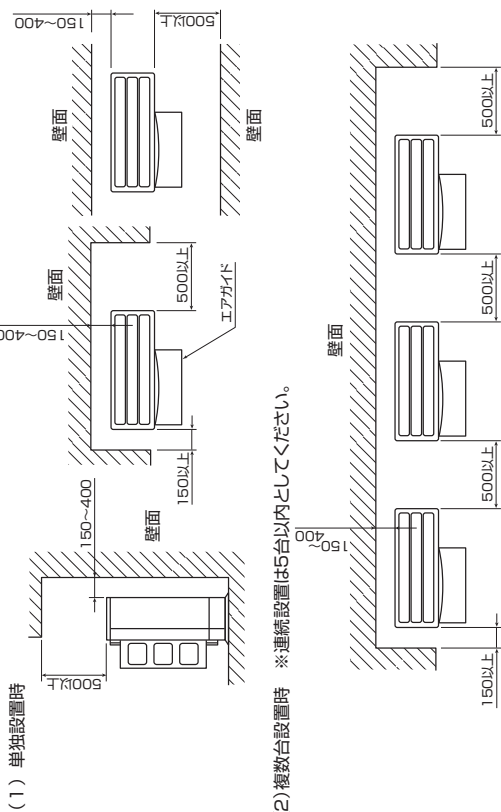
仕様

| | | |
|---------------------|--|--------------|
| 形名 | PAC-SJ03AG | |
| 色 | アイボリー | |
| 外装 | マンセルNo | 3.0Y7.8/1.1 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| 質量 | 3.3kg | |
| 付属部品 (材質 / 表面処理) | 取付用ネジ (5 × 15) × 4 (鉄線 (SWCH18A) / 亜鉛ニッケル合金メッキ) | |

外形図 (単位: mm)



2 設置スペースの確認



(1) 単独設置時

(2) 複数台設置時 ※連続設置は5台以内としてください。

3 取付方法 [ファンガードの仕様により、取付方法が異なりますので、図示を参照してください。]

(1) ファンガード固定ネジ(外周5本)を取外し、ファンガードを外してください。

(1) ファンガード固定ネジ(外周4本)を取外し、ファンガードを外してください。

(2) ファンガードの爪をエアガイドの角穴に押しこんでください。

(2) ファンガードの爪をエアガイドの爪に押しこんでください。

(3) ファンガードの爪(2ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に押しこんでください。

(3) ファンガードの爪(2ヶ所)を室外ユニット本体に設けてある取付穴に押しこんでください。

(4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取り付けてください。
※ハンドル部分については既存のネジを使用してください。

(4) ワッシャー③とスプリングワッシャー④とネジ②で室外ユニットに取り付けてください。
※ハンドル部分については既存のネジを使用してください。



三菱電機パッケージエアコン別売部品
エアガイド 据付工事説明書

PAC-SJ03AG
室外ユニット用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様が保管してください。また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしていただきます。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事を行えば、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかるとときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 電線や発熱・火災の原因になります。
- 製品の運搬は十分注意して行う。
- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPVバンドなど所定の位置以外をもつて製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護罩をご使用ください。

注意

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保通すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

この「エアガイド」は、室外ユニットの送風機がファンコンローラー作動時に低速回転となった場合のファン逆回転防止、台風やビル風等の強風が吹出口に直接吹き付ける場所での送風機の保護などに使用してください。
また、外気温-5℃以下(-15℃まで)で冷房運転を行う場合には本品の取付けが必要で、
なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。
1) 外風の影響を避けるため、ユニットの背面を必ず壁面に向けて設置してください。
2) ユニットの背面に直接風が当たる向き、場所には絶対に設置しないでください。
3) 本品取付により、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
4) 室外ユニットの側面および上方に障害物がある(吹出し空気が障害物に当たる)ような設置場所では、本品のご使用はおやめください。シャフトサイクルの原因になります。

2) ファンタイプの室外ユニットにご使用の場合、本品は2セット必要となりますので、ご注意ください。

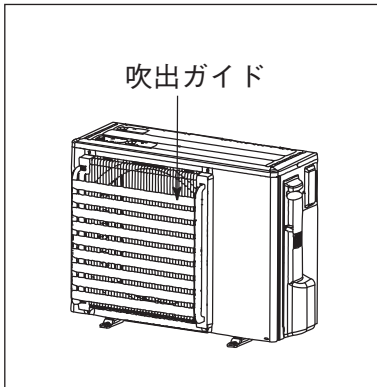
1 部品の確認 この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | | | | | |
|------|----|------------|----|---------|----|--------------|----|
| ① 本体 | 1台 | ② 取付ネジ5×15 | 4本 | ③ ワッシャー | 4個 | ④ スプリングワッシャー | 4個 |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |

吹出ガイド

● PAC-SJ07SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

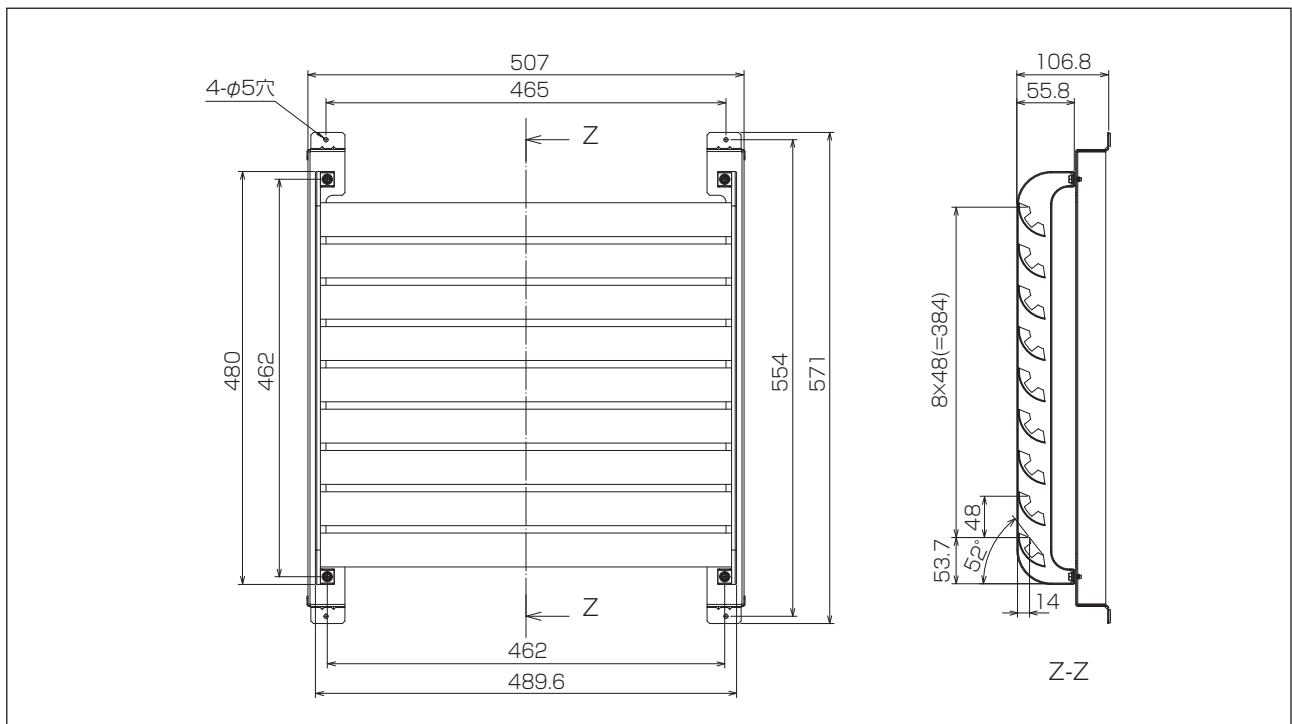
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA4 (1個使い)
- PUZ-ERMP40～63(S)KA4 (1個使い)
- PU-CRMP40～63(S)KA4 (1個使い)

仕様

| | | |
|----------------------|--|----------------------|
| 形名 | PAC-SJ07SG | |
| 外装 | 色(マンセル) | アイボリー(3.0 Y 7.8/1.1) |
| | 材質 | 吹出ガイド本体：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| 質量 | 2.8kg | |
| 吹出方向 | 上向き、下向き、横向きの何れかに変更 | |
| 付属部品×数量 <材質/表面処理> | ネジ(M5×10)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ) ネジ(M4×12)×4(鉄/亜鉛ニッケル合金メッキ) | |

外形図 (単位：mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 PAC-SJ07SG 室外ユニット K シリーズ用 吹出ガイド 据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」を良くお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区別して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、駆動または故障、破損などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わるときは、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があること、水漏れや感電、火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があること、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 氷は鋭利な刃の届くところに置かない。
- 雨がかかるときの天井や壁を必ず確認する原因
- 冷媒配管の断熱は確認しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が凝露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電気器具に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱、火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事には不備があると水漏れし、天井・床その他財等濡らす原因になります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを居先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風(冷房運転時)または冷風(暖房運転時)の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 積雪が予想される場合は、「上吹き」での使用は絶対におやめください。ガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 3) 室外ユニットの背面と、同側面に障害物がある(吸込み空気をユニット上方から吸入する)ような設置場所では、「上吹き」での使用はおやめください。シヨートサイクルの原因になります。
- 4) 設置スペースについては代表図に記載してあります。念のため室外ユニットの据付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

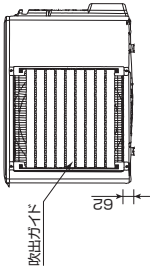
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | |
|---------------|--------------|-------------------|-------------------|
| ①吹出ガイド.....1個 | ②サポート.....2個 | ③取付ネジ 5×10.....4本 | ④取付ネジ 4×12.....4本 |
| | | | |

2 取付完成図

幅809×高さ630×奥行300mmの室外ユニット

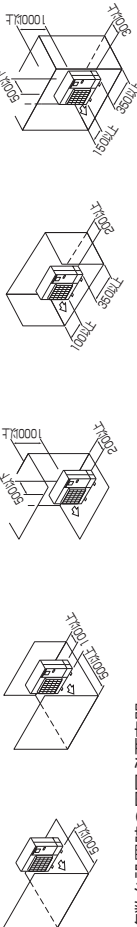


3 設置スペースの確認

● ショートサイクルをおこさないよう以下の周囲必要空間を確保のうえ、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

- 1) 単独設置時の周囲必要空間
- 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

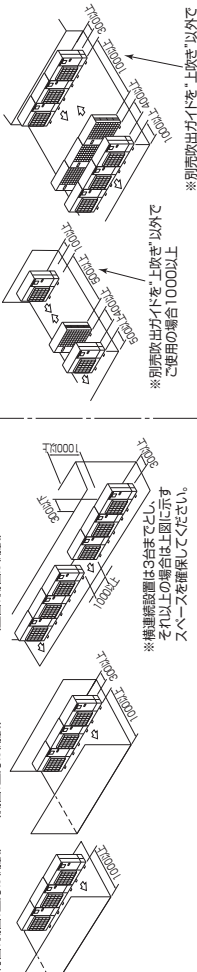
- (1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (4) 背面と側面に障害物がある場合 (5) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



2) 複数台設置時の周囲必要空間

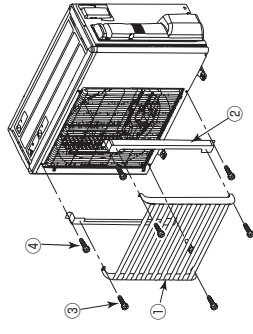
- 横連続設置の場合、ユニット間は350以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

- (1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)

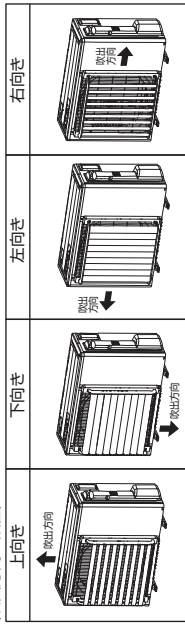


4 取付方法

- 1) サポート②(2個)をネジ④(4本)で室外ユニットに固定し、枠を作成してください。
- 2) 組み立てたサポートに、吹出ガイド①をネジ③(4本)で取付けてください。
- 吹出方向は4方向選択できますので、吹出ペーンの向きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。



〈吹出方向の設置〉

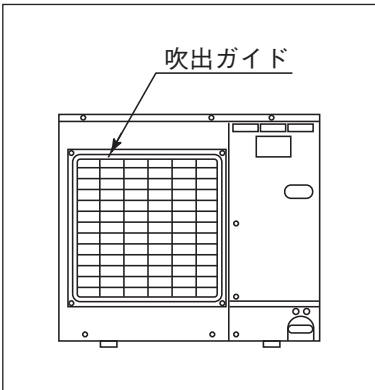


BH79R272H02

吹出ガイド

● PAC-SJ04SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

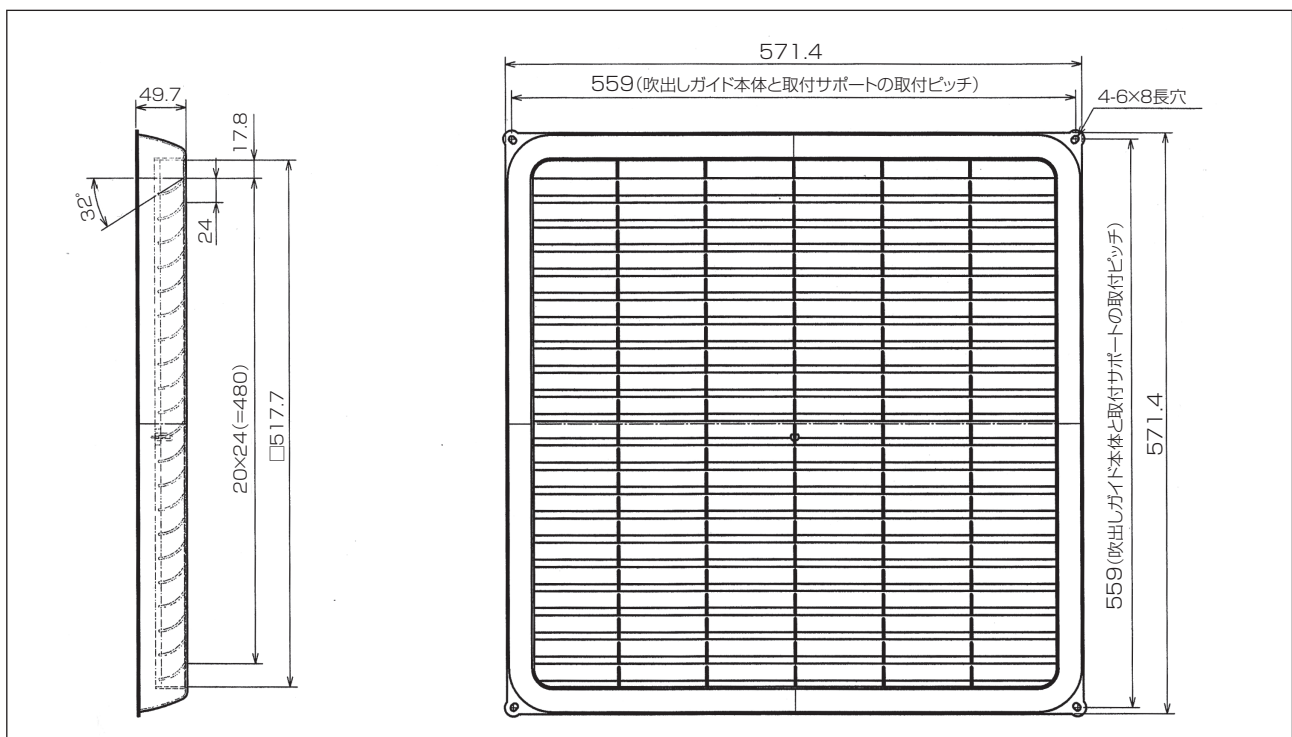
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4 (1個使い)
- PUZ-ERMP80(S)HA4 (1個使い)
- PU-CRMP80(S)HA4 (1個使い)

仕様

| | |
|------------|---|
| 形名 | PAC-SJ04SG |
| 色 | アイボリー |
| 外装 マンセル | 3.0 Y 7.8/1.1 |
| 材質 | 吹出ガイド本体：PP樹脂 |
| 質量 | 1.2kg |
| 吹出方向 | 上向き、下向き、横向きの何れかに変更 |
| 付属部品 | 取付用座付きネジ(M5×40)×4<鉄線(SWCH18A) / 垂鉛メッキ> スペーサー×4 |

外形図 (単位：mm)





三菱電機 パッケージエアコン別売部品 吹出ガイド 据付工事説明書

PAC-SJ04SG
室外ユニット用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明していただきます。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または財産・資料などの損害を招くもの。

- 据付作業後、試運転を行ない、異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼していただきます。また、お使いになる方が付る場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼していただきます。

警告

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意

電源配線は、電流容量に合った結晶品を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 雨からかぶるなど、ときに口や鼻をふさぎ窒息の原因になります。

注意

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露れ等を発生し、天井・床、その他、大切なものを濡らす原因になります。

注意

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。

- 据付工事に不備があると水漏れし、天井・床、その他家財等を濡らす原因になります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風(冷房運転時)または冷風(暖房運転時)の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 積雪が予想される場合は、「上吹き」での使用は絶対におやめください。ファンガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 2) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 3) 室外ユニットの背面と、側面に障害物がある吸込み型ユニット上方から取入れるような設置場所では「上吹き」での使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- 4) 設置スペースについては代表機種について記載してあります。念のため室外ユニットの据付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

2) ファンタイプの室外ユニットに使用する場合は、2セッティングが必要となりますので、ご注意ください。

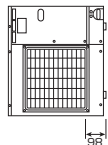
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

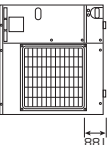
| | | |
|----------------|--------------------|---------------|
| ① 吹出ガイド.....1個 | ② 取付ネジ 5×40.....4本 | ③ スペース.....4個 |
| | | |

2 取付完成図

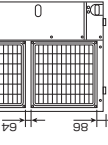
Aタイプの場合
幅950×高さ740×奥行330mm
の室外ユニット



Bタイプの場合
幅950×高さ943×奥行330mm
の室外ユニット



Cタイプの場合
幅950×高さ1,350
×奥行330mmの
室外ユニット



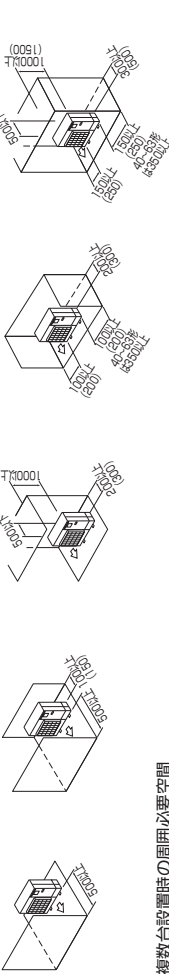
3 設置スペースの確認

〔下図において()内寸法はCタイプの場合を示します。なお、()の併記がない寸法はシリーズ共通です。単位:mm〕

● ショートサイクルをおこさないよう以下の周囲必要空間を確保のうえ、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

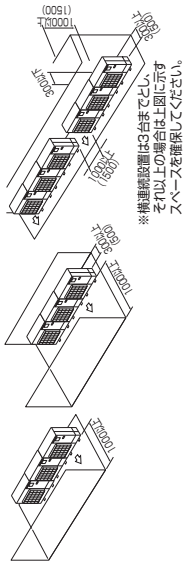
- 下図(3)、(5)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。
- (1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (4) 背面と側面に障害物がある場合 (5) 背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



2) 複数台設置時の周囲必要空間

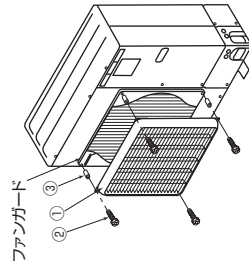
- 棟連統設置の場合、ユニット間は10以上確保してください。
- 下図(3)のような場合は本品の「上吹き」での使用はおやめください。

- (1) 正面に障害物がある場合 (2) 背面と正面に障害物がある場合 (3) 背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面、上方は開放)

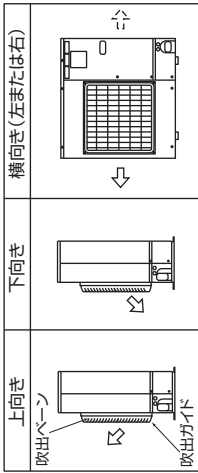


4 取付方法

- 1) 既存のファンガードを固定しているネジ(4本)を取外してください。
- 2) スペース③(4個)をファンガードのネジ固定箇所にあて、吹出ガイド①をファンガードの上からネジ②で室外ユニット本体に取付けてください。
- 吹出方向は4方向選択できますので、吹出ペーンの向きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。



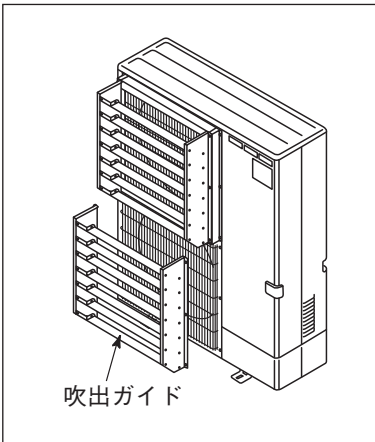
〈吹出方向の設置〉



吹出ガイド

● PAC-SH96SG

使用目的 / 用途



- “吹出ガイド” は、室外ユニットを店先や通路等に据え付けた際、室外ユニットの熱風（冷房運転時）または冷風（暖房運転時）の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。
- 路地に設置した室外ユニットから出る風が直接通行人に当たらないようにします。
- 室外ユニットの正面に建物がある場合、スマッジングによる外壁の汚れを防止できます。
- ショートサイクルの対策にも利用ができ、室外ユニット前方に障害物がある場合や室外ユニットの集中設置時に効果的です。

注意

- ・積雪が予想される場所では“上向き”での使用は絶対におやめください。
- ・本品取付により、能力ダウン(2～3%)および室外ユニットの騒音アップ(1～2dB)があります。
- ・室外ユニットの背面と両側面に障害物があるような場所では“上向き”での使用はおやめください。

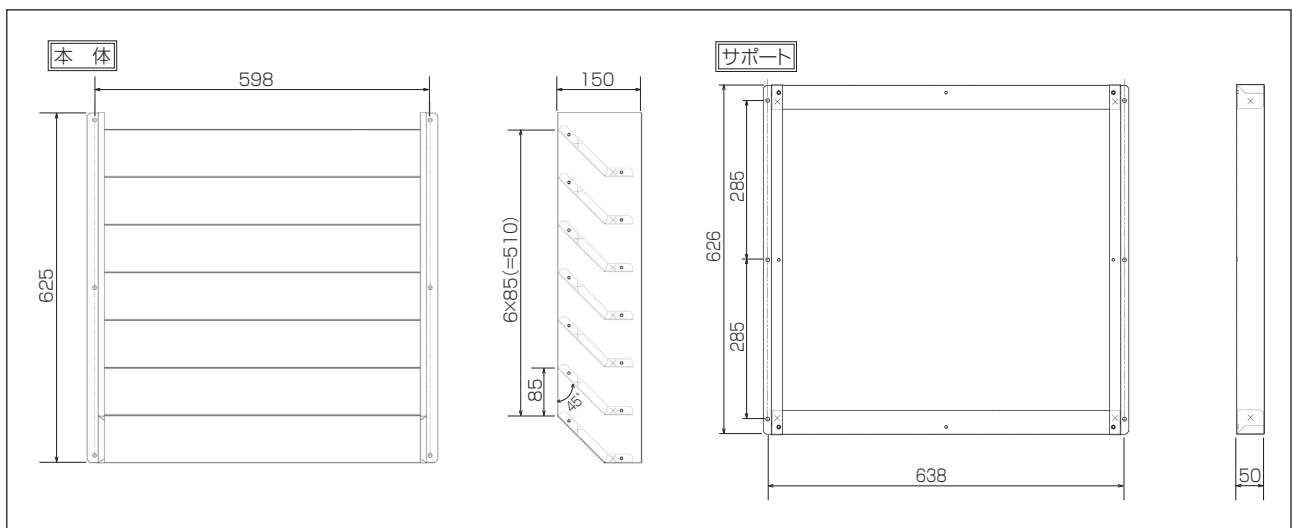
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10 (2個使い)
- PUZ-ERMP112～160LA4, PUZ-ERP224・280KA10 (2個使い)
- PUZ-ERMP112・140LA5 (1個使い)
- PU-CRMP112～160LA4 (2個使い)
- PUZ-HRMP80～160KA (2個使い)

仕様

| | | |
|------|--|----------------------|
| 形名 | PAC-SH96SG | |
| 外装 | 色 | アイボリー |
| | マンセル | 3.0 Y 7.8/1.1 |
| | 材質 | 吹出ガイド本体：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 |
| 質量 | 7kg | |
| 吹出方向 | 上向き、下向き、横向きの何れかに変更 | |
| 付属部品 | 取付用座付きネジ(M5×15)×12<鉄線(SWCH18A) / 亜鉛メッキ> ワッシャー×12, スプリングワッシャー×12 | |

外形図 (単位：mm)

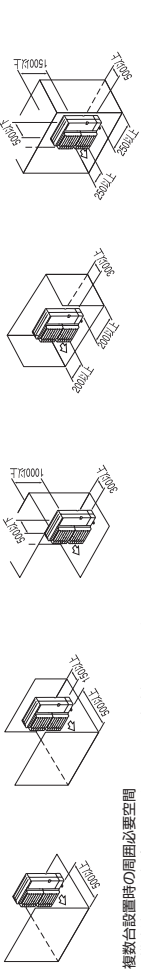


2 設置スペースの確認 (単位: mm)

● ショートサイクルをおこなさないよう以下の周囲必要空間を確保のうえ、可能な限り障害物のない場所をお選びください。

1) 単独設置時の周囲必要空間

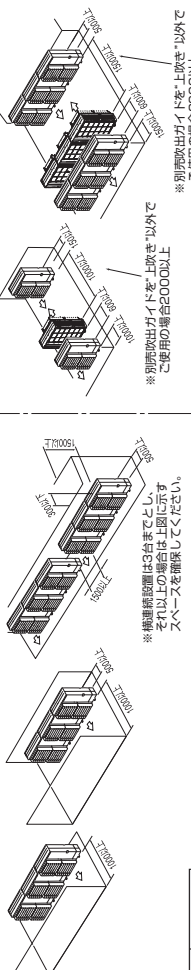
- 下図(3)のよう場合は本品の"上吹き"での使用はおやめください。
- (1)正面に障害物がある場合 (正面、側面、上方は開放)
- (2)側面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (3)背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (4)背面と側面に障害物がある場合 (正面、上方は開放)
- (5)背面と側面および上方に障害物がある場合 (正面は開放)



2) 複数台設置時の周囲必要空間

● 単独設置の場合、ユニット間は25以上確保してください。

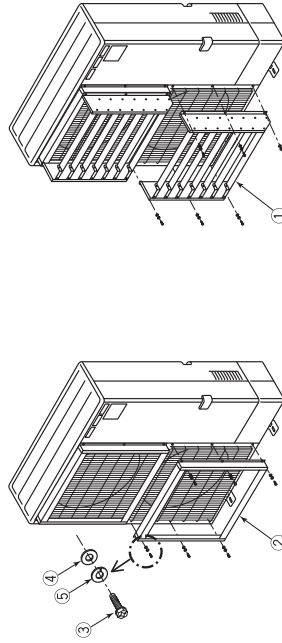
- 下図(3)のよう場合は本品の"上吹き"での使用はおやめください。
- (1)正面に障害物がある場合 (正面、側面、上方は開放)
- (2)側面に障害物がある場合 (正面、側面は開放)
- (3)背面と上方に障害物がある場合 (正面、側面は開放)



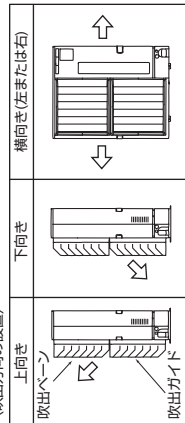
3 取付方法

● 吹出し方向は4方向選択できますので、吹出ベーンの開きをご確認のうえ、現地に合った方向で取付けてください。

- (1)既存のグリルの上からサポート②をワッシャー④とスプリングワッシャー⑤と取付ネジ③(6ヶ所)で室外ユニットに取付けてください。
- (2)本体①の吹出ベーンを任意の方向に合わせ、ワッシャー④とスプリングワッシャー⑤と取付ネジ③(6ヶ所)で室外ユニットに取付けてください。



《吹出方向の設置》



三菱電機/パッケージエアコン別売部品

吹出ガイド 据付工事説明書

PAC-SH96SG

室外ユニットK/Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 元口袋は幼児の手が届くところに置かない。
- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水できるように施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床等其他家財等を濡らす原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水できるように施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床等其他家財等を濡らす原因になります。

この「吹出ガイド」は、室外ユニットを店先や通路等に据付けた場合、室外ユニットの熱風(冷房運転時)または冷風(暖房運転時)の吹出方向を上向き、下向き、または横向きに変えるものです。

- 1) 積雪が予想される場合は、"上吹き"での使用は絶対におやめください。
- 2) ガード内に雪が溜まり、ファン等が破損することがあります。
- 3) 本品取付けにより、能力ダウン(2~3%)および室外ユニットの騒音アップ(1~2dB程度)があります。
- 4) 設置場所では、"上吹き"での使用はおやめください。ショートサイクルの原因になります。
- 5) 設置スペースについては代表機種について記載してあります。
- 6) 念のため室外ユニットの据付工事説明書、もしくはカタログの設置スペースの項をご確認ください。

1) 部品の確認

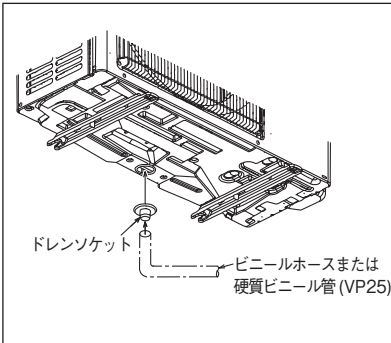
この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | | | | | | | |
|------|----|--------|----|--------|-----|---------|-----|--------------|-----|
| ① 本体 | 1台 | ② サポート | 1台 | ③ 取付ネジ | 12本 | ④ ワッシャー | 12個 | ⑤ スプリングワッシャー | 12個 |
| | | | | | | | | | |

ドレンソケット

● PAC-SJ08DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1カ所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

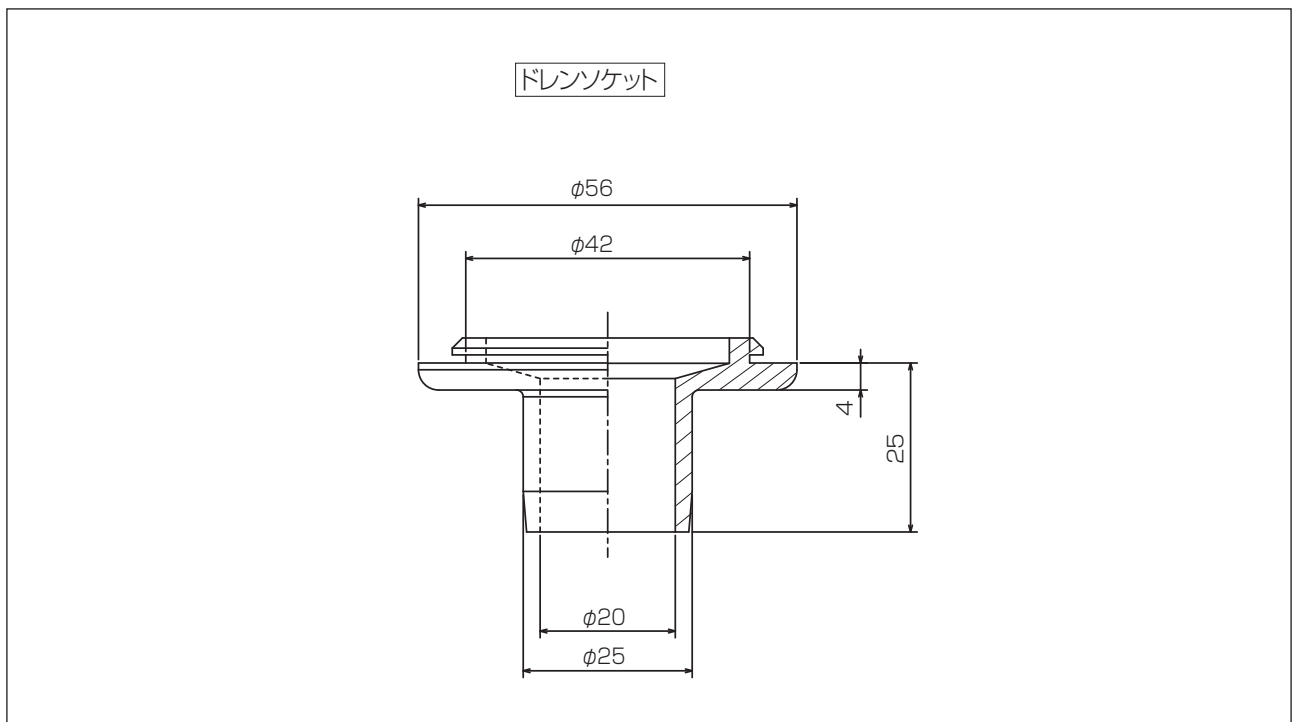
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4

仕様

| | |
|---------|--------------------------------|
| 形名 | PAC-SJ08DS |
| 接続ドレン配管 | PVC管 VP-25 または内径 25mm のビニールホース |
| 使用環境条件 | 凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください） |
| 材質 | EPT ゴム |
| 構成部品 | ドレンソケット：1個 |

外形図 (単位：mm)



RG79T558L02



形名 PAC-SJ08DS
形名コード 7D2J08

三菱電機パッケージエアコン別売部品
ドレンソケット据付工事説明書

適用機種
(**室外ユニット用**)
・Kシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。



注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。



警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に



注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息の原因になります。

電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になります。

冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。

- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。

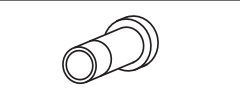
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴をあけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合、1ヶ所より集中排水するための部品です。なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

※室外ユニットの底面には部品取付穴等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。

1 部品の確認 この袋の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

①ドレンソケット 1個



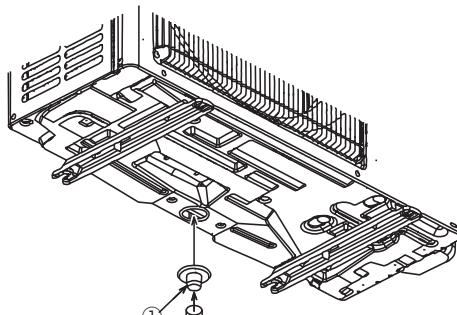
2 ドレンソケット取付方法 ☆接着剤は現地手配願います。

(1) ユニット底部にあるドレン排水穴に、ドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。

〈注〉接着剤は水漏れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。

〈注〉接着剤はゴム-金属用接着剤をご使用ください。
推奨品: セメダイン社、スーパーX

(2) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行ってください。



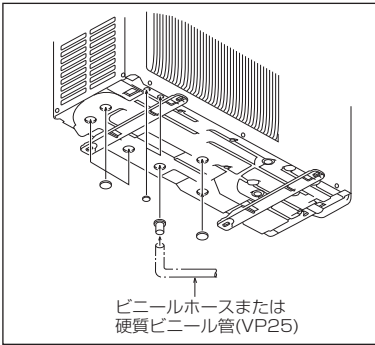
ビニールホースまたは硬質ビニール管(VP25)

室外ユニット

ドレンソケット

● PAC-SH71DS ● PAC-SJ73DS

使用目的 / 用途



- 室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴があけてあります。“ドレンソケット”は、設置場所によりドレンホースで排水する場合に余分な穴を塞ぎ、1カ所より集中排水するための部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した場合や設置面を濡らしたくない場合に使用します。

注意

・寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

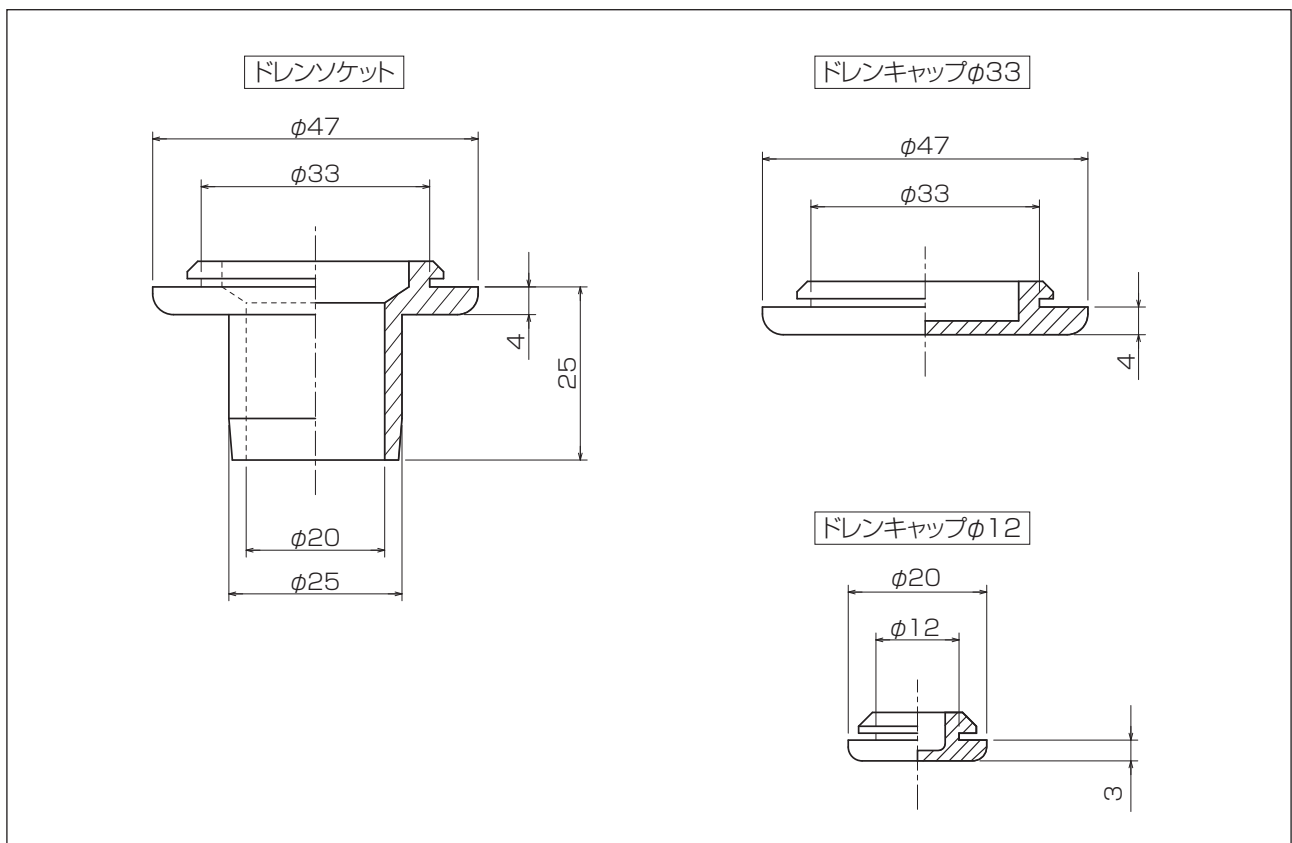
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4, PUZ-ZRMP112 ~ 160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERMP80(S)HA4, PUZ-ERMP112 ~ 160LA4, PUZ-ERMP112・140LA5, PUZ-ERP224・280KA10
- PU-CRMP80(S)HA4, PU-CRMP112 ~ 160LA4

仕様

| | |
|---------|--|
| 形名 | PAC-SH71DS, PAC-SJ73DS |
| 接続ドレン配管 | PVC管 VP-25 または内径 25mm のビニールホース |
| 使用環境条件 | 凍結なきこと（寒冷地での使用はしないでください） |
| 材質 | EPT ゴム |
| 構成部品 | ドレンソケット：1個、ドレンキャップφ33：5個、ドレンキャップφ12：2個、断熱材：2枚（液管用1枚、ガス管用1枚）、バンド：8本 |

外形図 (単位：mm)



1 部品の確認

この袋の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | | |
|----------------|--|-------------------------|--------------------------|------------|
| ①ドレンソケット 1個 | ②ドレンキャップ 大5個 小2個 ※線種により使用数が異なります。 | ③断熱材(液管側) 1枚 サイズ小 | ④断熱材(ガス管側) 1枚 サイズ大 | ⑤バンド 8枚 |
|----------------|--|-------------------------|--------------------------|------------|

2 ドレンソケット取付方法

☆接着剤は現地手配願います。
(1) ユニット底部にある数箇所の穴のうち、ドレン排水に使用する穴にドレンソケット①を接着剤(現地手配)をつけて取付ける。

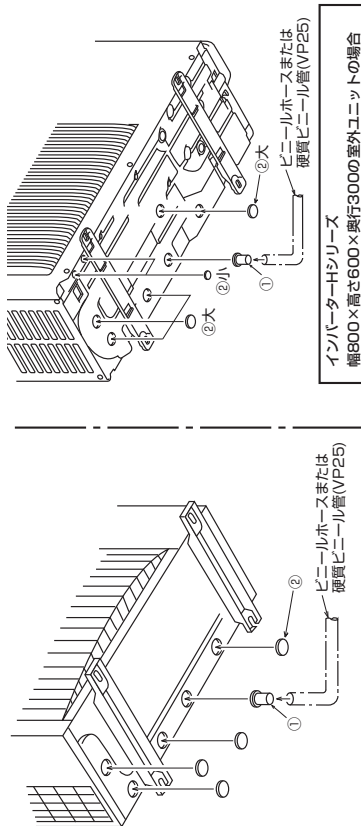
(2) ドレンキャップ②に接着剤(現地手配)をつけて残りの穴をふさぐ。……機種により穴の数が異なります。

〈注〉接着剤は水漏れを防ぐシールを兼ねるので確実に塗布してください。

〈注〉接着剤はゴム一金属用接着剤をご使用ください。

推奨品：ゴメデザイン社、スーパーX

(3) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行ってください。



3 断熱材取付方法

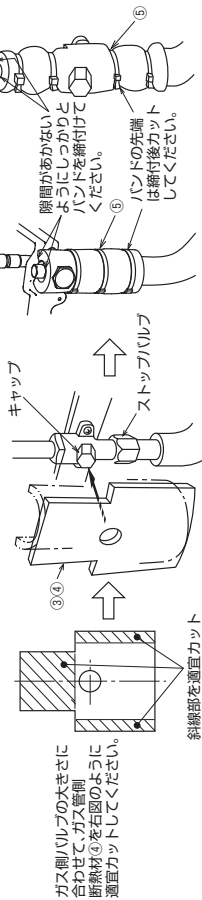
室外ユニットのストップバルブに断熱材を取付けてください。

※断熱材は配管接続後に取付けてください。

※機種によりストップバルブ近傍にチェックバルブがありますので、その時は断熱材③④に適宜差し穴を設けて取付けてください。

(1) 断熱材③を液管側に、断熱材④をガス管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。

(2) バンド⑤で断熱材③④を固定してください。



ガス側バルブの大きさに合わせて、ガス管側断熱材④を右図のように適宜カットしてください。

斜線部を適宜カット



形名 PAC-SH71DS
形名コード 7D2H71

三菱電機パッケージエアコン別売部品
ドレンソケット据付工事説明書

適応機種

- 室外ユニット用
- ・Gシリーズ
- ・Hシリーズ
- ・Kシリーズ
- ・Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取った取扱いをしたときに生じる危険を、次の表示で区分して説明しています。

警告
取った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

警告
取った取扱いをしたときに、設備または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認すること、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身が据付工事をされると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ボリソールは幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 電源配線は、電圧容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。
- 冷暖配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴を数箇所あけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合は、余分な穴をふさぎ、1ヶ所より集中排水するための部品です。

なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

※室外ユニットの底面には部品取付穴、配管取出し用ノックアウト穴(スリット)等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水の滴下を完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。



形名コード **PAC-SJ73DS**
7D2 J73

三菱電機パッケージエアコン別売部品 ドレンソケット据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、
死にや重傷などに結びつく
可能性があるもの。

警告
誤った取扱いをしたときに、
設備または家屋・家財などの
損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・
火災等の原因になります。

警告
据付けは、販売店または専門業者に依頼して確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因に
なります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因に
なります。
- 電源配線は、電源容量に合った規格品を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
●不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露タレ等を
発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電源容量に合った規格品を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に併せて確実に排水するよう
施工し、結露が生じないよう保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を
濡らす原因になります。

室外ユニットの底面にはドレン排水用の穴を数ヶ所あけてあります。この目的は排水を容易にするためです。ドレンソケットは、設置場所によりドレンホースで排水する場合には、余分な穴をふさぎ、1ヶ所より集中排水するための部品です。

なお、寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。

※室外ユニットの底面には部品取付穴、配管取出し用ノックアウト穴(スリット)等が設けられており、それらの穴より結露水が滴下する場合があります。結露水が滴下するのを完全に防止するためには、集中排水ドレンパンをご使用ください。

適用機種

- 室外ユニット用
・Gシリーズ
・Hシリーズ
・Kシリーズ
・Lシリーズ

1 部品の確認

この袋の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | | |
|----------------|--|-------------------------|--------------------------|------------|
| ①ドレンソケット 1個 | ②ドレンキャップ 大5個 小2個 ※機種により使用数が異なります。 | ③断熱材(液管側) 1枚 サイズ小 | ④断熱材(ガス管側) 1枚 サイズ大 | ⑤バンド 8枚 |
|----------------|--|-------------------------|--------------------------|------------|

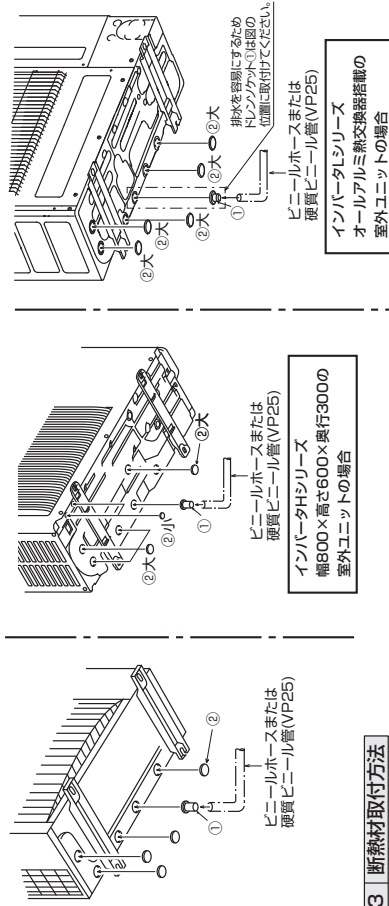
2 ドレンソケット取付方法

☆接着剤は現地手配願います。

- (1) ユニット底部にある数ヶ所の穴のうち、ドレン排水に使用する穴にドレンソケット①を接着剤⑤(現地手配)をつけて取付ける。
- (2) ドレンキャップ②に接着剤(現地手配)をつけて残り穴の穴をふさぐ。……機種により穴の数が異なります。
(注)接着剤は水漏れを防ぐシーラーを兼ねるので確実に塗布してください。
(注)接着剤はゴム一金属用接着剤をご使用ください。

推奨品：セメタイン社、スーパーX

- (3) ドレンソケット①に市販の内径25mmのビニールホース、または硬質ビニール管VP25を取付けドレン配管工事を行ってください。



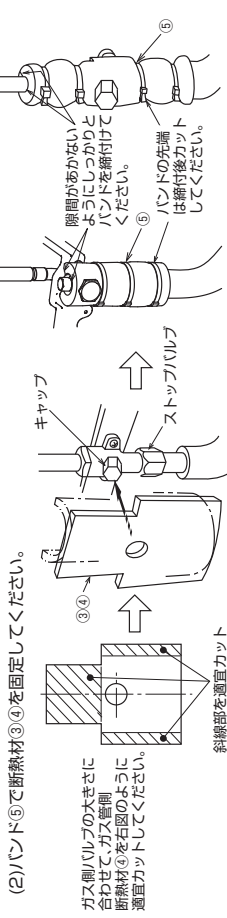
3 断熱材取付方法

室外ユニットのストップバルブに断熱材を取付けてください。

※断熱材は配管接続後に取付けてください。

※機種によりストップバルブ近傍にチエックバルブがありますので、その時は断熱材③④に適宜遮断穴を設けて取付けてください。

- (1) 断熱材③を液管側に、断熱材④をガス管側に取付けます。穴をバルブのキャップに合わせて、配管接続部全体を覆うように取付けてください。
- (2) バンド⑤で断熱材③④を固定してください。



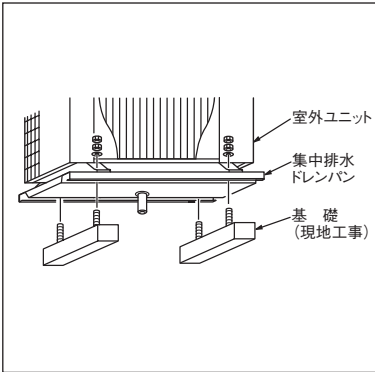
ガス側バルブの大きさに合わせて、ガス管側断熱材④を右図のように適宜カットしてください。

斜線部を適宜カット

集中排水ドレンパン

● PAC-SG63DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・ 寒冷地では使用しないでください。
- ・ 本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・ 本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

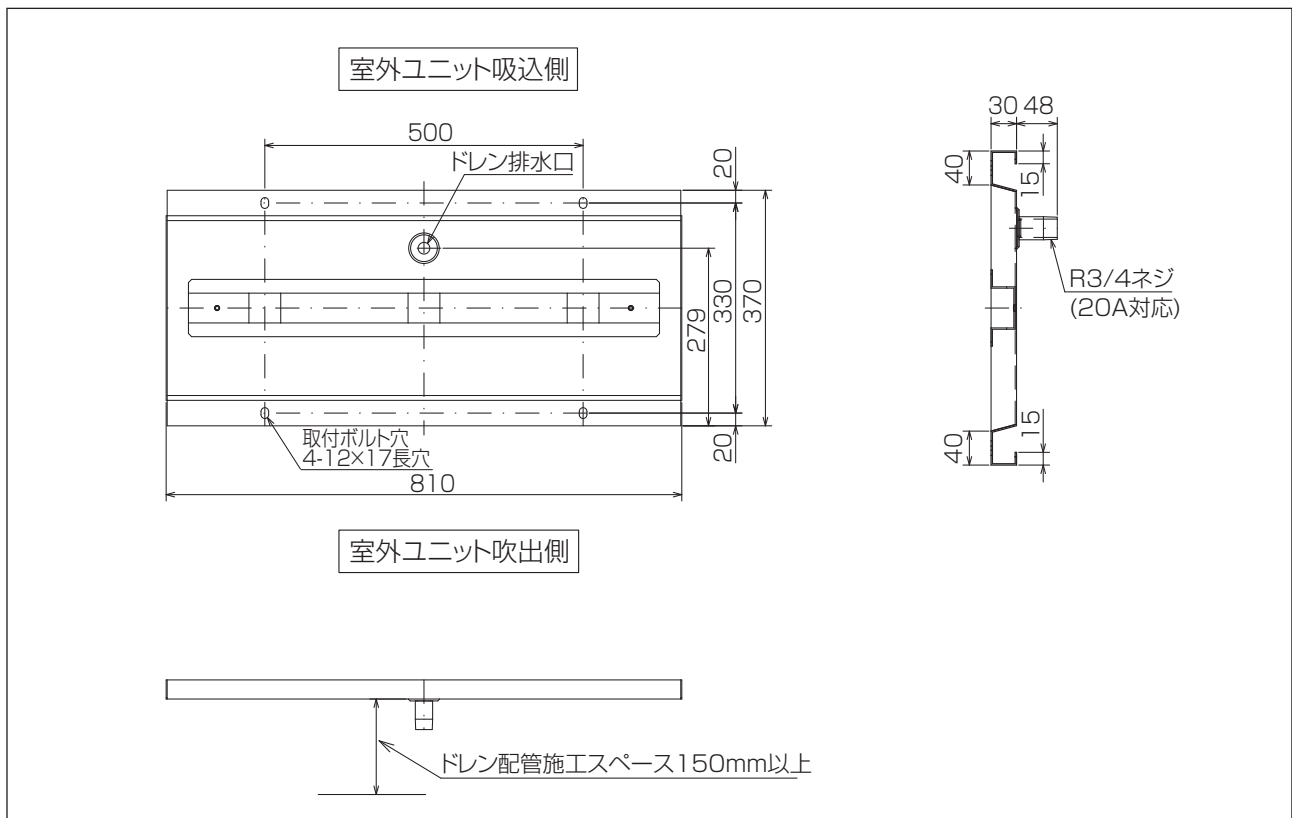
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4

仕様

| | | |
|--------------|--|-------------------|
| 形名 | PAC-SG63DP | |
| ドレン排水口サイズ | R3/4 ネジ (20A) | |
| 外装 | 色 | アイボリー |
| | マンセルNo | 3.0Y7.8/1.1 |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| 質量 | 6.3kg | |
| 取付ボルト (現地手配) | M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 48mm 以内 | |

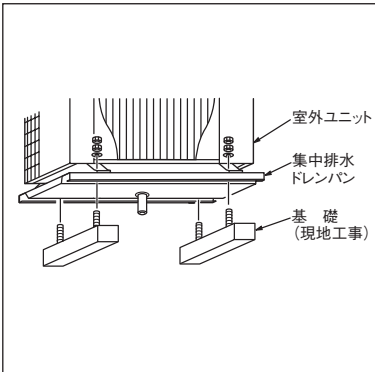
外形図 (単位: mm)



集中排水ドレンパン

● PAC-SG64DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・寒冷地では使用しないでください。
- ・本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

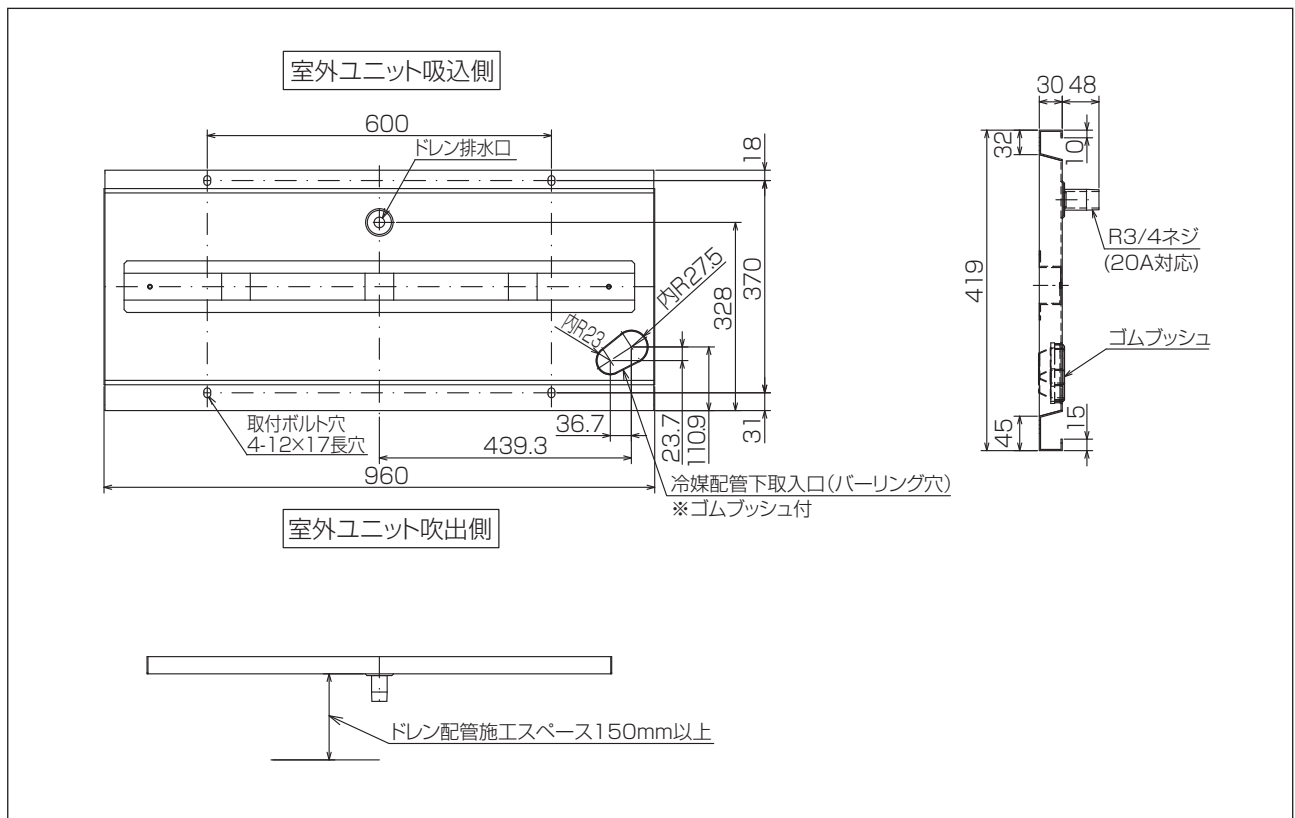
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4
- PUZ-ERMP80(S)HA4, PUZ-ERMP112 ~ 160LA4, PUZ-ERMP112・140LA5
- PU-CRMP80(S)HA4, PU-CRMP112 ~ 160LA4

仕様

| | | |
|--------------|--|-------------------|
| 形名 | PAC-SG64DP | |
| ドレン排水口サイズ | R3/4 ネジ (20A) | |
| 外装 | 色 | アイボリー |
| | マンセルNo | 3.0Y7.8/1.1 |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| 質量 | 7.8kg | |
| 取付ボルト (現地手配) | M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内 | |

外形図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機 パッケージエアコン別売部品 集中排水ドレンパン据付工事説明書

PAC-SG63DP
室外ユニット H/Kシリーズ
PAC-SG64DP
室外ユニット H/Lシリーズ

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を含んでおられますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷など生じることがあります。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷や火災、感電などの損害が生じることがあります。

警告
据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしてください。

警告
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされず、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意
据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
●据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意
電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
●漏電や発熱・火災の原因になります。
●電圧や発熱・火災の原因になります。
●電圧や発熱・火災の原因になります。

注意
冷媒配管の断熱は経路しないように確実に行う。
●断熱材が剥離すると、冷媒配管が凍結するおそれがあります。
●不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因になります。

注意
冷媒配管は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

注意
このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの据付けに用いる場合のドレン処理を行うものです。
なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。
1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2) 本品は、冷媒配管の高さが30mm高くなります。
3) 本品は、ドレン排水口側が室外ユニットの後側となります。
4) 本品の取付けに水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

注意
元々、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。
1) 寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2) 本品は、冷媒配管の高さが30mm高くなります。
3) 本品は、ドレン排水口側が室外ユニットの後側となります。
4) 本品の取付けに水が溜まらないように、若干、後ろ下がりにして施工してください。

1 外形図
()内寸法はPAC-SG64DPを元とします。

1 外形図
()内寸法はPAC-SG64DPを元とします。

2 ドレン配管
(1) 排水管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
(2) ビニール管(硬質)接続の場合
内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
(3) 冷媒配管接続の場合
冷媒配管は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
※必ず冷媒配管でも、冷媒配管のネジ部はシールテープ等で確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。

2 ドレン配管
(1) 排水管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
(2) ビニール管(硬質)接続の場合
内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
(3) 冷媒配管接続の場合
冷媒配管は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
※必ず冷媒配管でも、冷媒配管のネジ部はシールテープ等で確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。

3 取付け方法
(1) 据付用据付台に取付けの場合
1) 据付用据付台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2) ドレンパンのドレンパンは、長手方向中央部にあり、据付台の製作時には、据付台と据付台が干渉しないようにしてください。
3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用据付台には、室外ユニット本体据付用ビスにてφ13程度の穴をあけてください。
4) 据付台とドレンパン、室外ユニット本体を下の図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
なお、ボルトの長さは下の図のように48mm以下、または60mm以下してください。

3 取付け方法
(1) 据付用据付台に取付けの場合
1) 据付用据付台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2) ドレンパンのドレンパンは、長手方向中央部にあり、据付台の製作時には、据付台と据付台が干渉しないようにしてください。
3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用据付台には、室外ユニット本体据付用ビスにてφ13程度の穴をあけてください。
4) 据付台とドレンパン、室外ユニット本体を下の図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
なお、ボルトの長さは下の図のように48mm以下、または60mm以下してください。

4 冷媒配管
●冷媒配管の取入れは、前、右、後、左側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
(1) 下配管の場合
ゴムフックを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取り、ゴムフックに冷媒配管を通してからバーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。
(2) その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部バーリング穴をゴムフックで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。

4 冷媒配管
●冷媒配管の取入れは、前、右、後、左側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
(1) 下配管の場合
ゴムフックを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取り、ゴムフックに冷媒配管を通してからバーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。
(2) その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部バーリング穴をゴムフックで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。

5 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

5 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

6 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

6 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

7 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

7 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

8 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

8 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

9 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

9 取付け位置
●取付け位置は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
●配管工事に不備があると水漏れし、天井・床・その他大切なものを濡らす原因になります。

取付説明書

集中排水ドレンパン : PAC-SG63DP, SG64DP

(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79G741H05

2 取付方法
(1) 据付用据付台に取付けの場合
1) 据付用据付台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
2) ドレンパンのドレンパンは、長手方向中央部にあり、据付台の製作時には、据付台と据付台が干渉しないようにしてください。
3) ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用据付台には、室外ユニット本体据付用ビスにてφ13程度の穴をあけてください。
4) 据付台とドレンパン、室外ユニット本体を下の図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
なお、ボルトの長さは下の図のように48mm以下、または60mm以下してください。

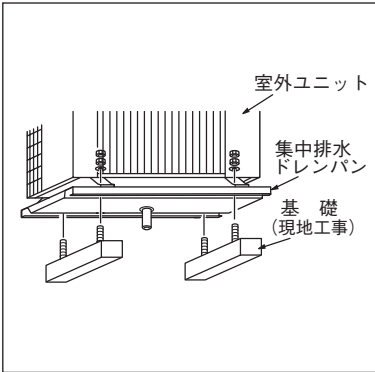
3 ドレン配管
(1) 排水管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
(2) ビニール管(硬質)接続の場合
内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
(3) 冷媒配管接続の場合
冷媒配管は、据付工事説明書に従って確実な排水を行うように施工し、結露が生じないように保温すること。
※必ず冷媒配管でも、冷媒配管のネジ部はシールテープ等で確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。

4 冷媒配管
●冷媒配管の取入れは、前、右、後、左側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
(1) 下配管の場合
ゴムフックを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取り、ゴムフックに冷媒配管を通してからバーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。
(2) その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部バーリング穴をゴムフックで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤(現地手配)でシールしてください。

集中排水ドレンパン

● PAC-SH97DP

使用目的 / 用途



- “集中排水ドレンパン” は、室外ユニットを通路の上等の架台に据え付けた際のドレン処理を行う部品です。
- 室外ユニットを吊り設置した時、設置下面を濡らしたくない時に使用します。
- 本品は架台と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが 30mm 高くなります。
- 凍結防止ヒーターとドレンソケットとの併用はできません。

注意

- ・寒冷地では使用しないでください。
- ・本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
- ・本品の前側に水が溜まらないように、若干後下がりにして施工してください。

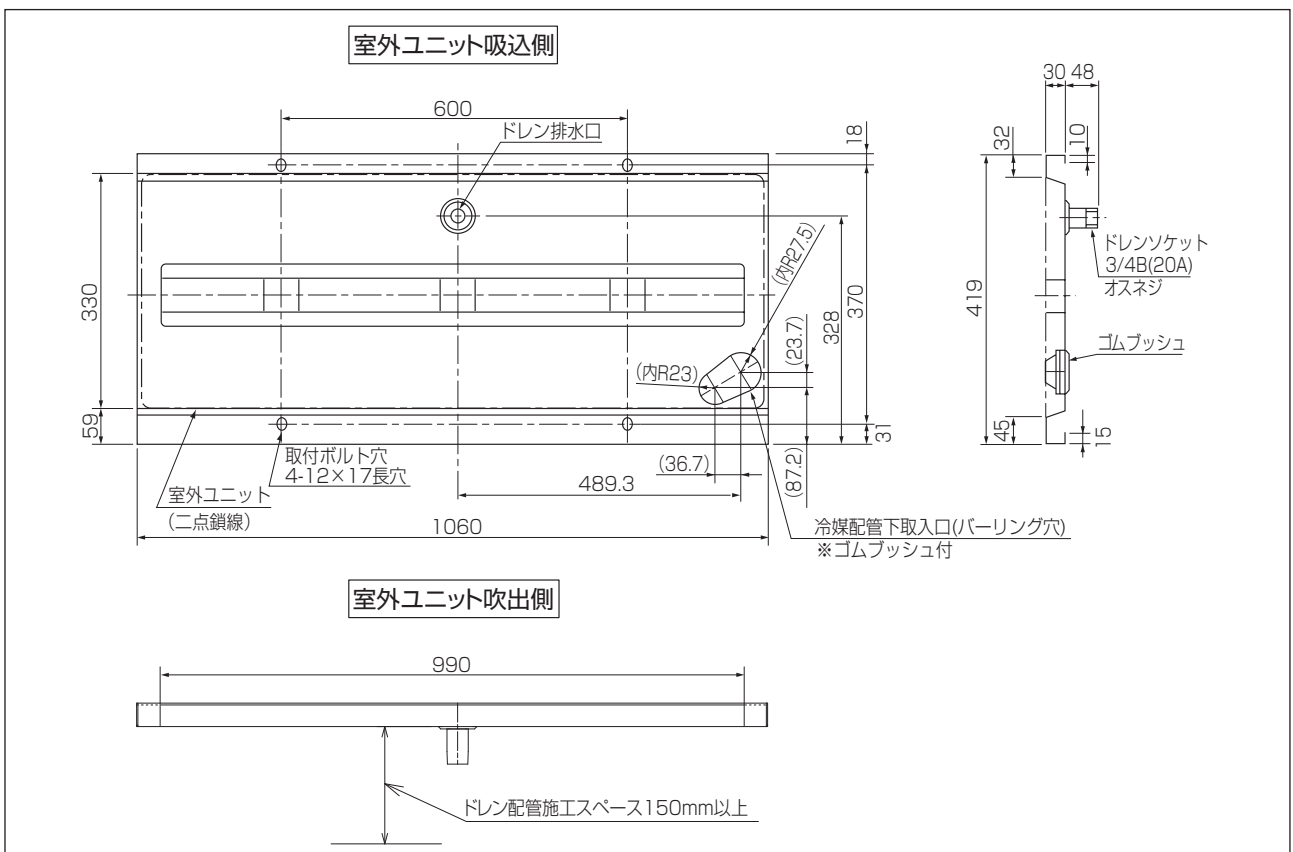
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERP224・280KA10

仕様

| | | |
|--------------|--|-------------------|
| 形名 | PAC-SH97DP | |
| ドレン排水口サイズ | R3/4 ネジ (20A) | |
| 外装 | 色 | アイボリー |
| | マンセルNo | 3.0Y7.8/1.1 |
| | 材質 | 合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 t1.6 |
| | 表面処理 | アクリル樹脂塗装 |
| 質量 | 8.8kg | |
| 取付ボルト (現地手配) | M10 (または W3/8) 長さ: ドレンパン下面より突出 60mm 以内 | |

外形図 (単位: mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79G741K02



三菱電機 パッケージエアコン別売部品 PAC-SH97DP
集中排水ドレンパン据付工事説明書
室外ユニットKシリーズ用

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ること。よくお読みの上、確認してください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに発生する危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死にや重傷などに結びつく可能性が あるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・家財などの損害に結びつくもの。

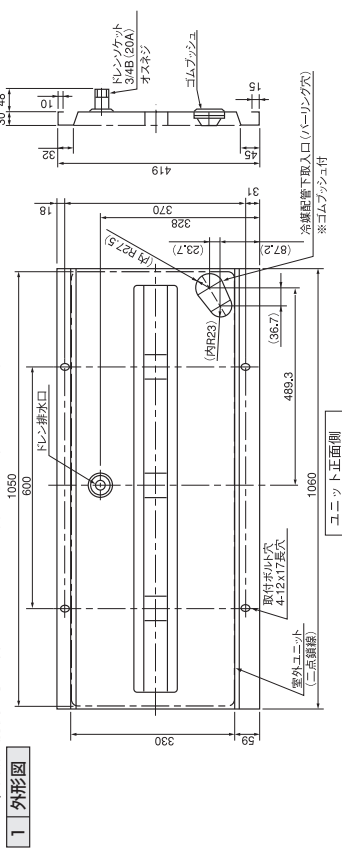
警告
●据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認すること。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いいただくようお願いしてください。

警告
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事をされ不備があるとき、水漏れや感電・火災等の原因になります。

注意
据付け(移設)・電気工事をする前に

- 水引袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかるとしたときに口や鼻をぶささる原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確保を行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 雷電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水できるよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があるとき、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

このドレンパンは、室外ユニットを通路の上などの梁上に据付けた場合のドレン処理を行うものです。
なお、本品の取付けの際には、次の点にご留意ください。
1)寒冷地では使用しないでください。ドレン配管が凍結するおそれがあります。
2)本品は梁上と室外ユニットの間に設置するため、製品据付高さが30mm高くなります。
3)本品はドレン排水口側が室外ユニットの後側となるようにしてください。
4)本品の前側に水が溜まらば、一旦、後ろの下向きにして施工してください。



2 取付方法

- (1)据付用梁台に取付けの場合
- 1)据付用梁台は、室外ユニット本体、およびドレンパンの重量に十分耐えられる構造、強度とし、地震や突風などで倒れたり、落下しないよう強固に据付けてください。
 - 2)ドレンパンのドレンソケットは長手方向中央部にあり、梁台の製作時にはソケットと梁台部材が干渉しないようにしてください。
 - 3)ドレンパンの取付けは、室外ユニット本体と共締めになりますので、据付用梁台には室外ユニット本体据付用ピンにてφ13程度の穴をあけてください。
 - 4)梁台とドレンパン、室外ユニット本体を下図のように共締めにて強固に締結してください(4ヶ所)。
- なお、ボルトの長さは下図のように60mm以下としてください。
-
- ドレンソケット (室外ユニット側に配置してください)
- ドレンパン
- 梁台 (据付工事)
- ナット (据付手配)
- ワッシャー (据付手配)
- 室外ユニット据付ピン
- M10 (または M3 (φ) X 60 ボルト (据付手配))
- 中央部はドレンソケットがあたるので補強は不可。
- (2)基礎に取付けの場合
- ドレン集中処理が必要で、基礎に据付けする場合、基礎の地上部高さは下図のように150mm以上としてください。これ以下ですとドレン排水用ソケットの突出長さが48mmですので、ドレン配管施工ができなくなります。
-
- ドレンパン
- 梁台
- ドレンソケット
- ドレンパン
- 梁台 (据付工事)
- ドレンソケット
- ドレンパン
- 梁台 (据付工事)
- ドレンソケット
- ドレンパン
- 梁台 (据付工事)

3 ドレン配管

- 1)銅管接続の場合
3/4Bメネジ加工にて接続してください。
 - 2)ビニール管 (軟質) 接続の場合
内径φ25mmを使用し、接続部はホースバンド等で確実に固定してください。
 - 3)塩ビ管 (硬質) 接続の場合
VP-20を使用し、塩ビ管用ジョイントにて接続してください。
※いずれの場合でも、ソケットのネジ部分はシリルテープ等で確実にシールを行い、水漏れがないことを確認してください。
-
- 室外ユニット 後側
- ドレンパン
- エルボ
- ソケット
- 長さ
- 150
- 7
- 150
- φ27.2
- 3/4B (20A) オスネジ
- 塩ビ管用ジョイント (硬質手配)
- 内径φ25 (硬質手配)
- ホースバンド (硬質手配)
- 塩ビ管 (硬質手配)
- 塩ビ管 (VP-20)
- 1/100
- ドレン配管施工時は、ドレン配管の傾斜は1/100以上の下向きに施工してください。

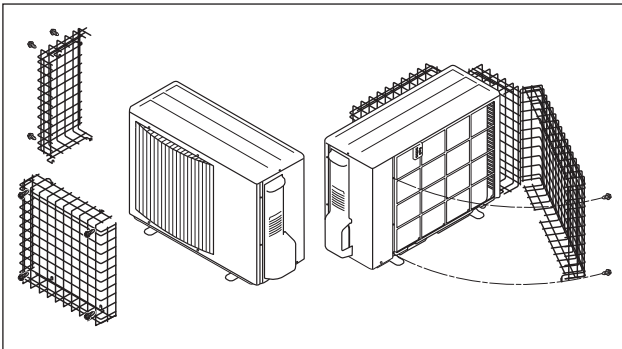
4 冷媒配管

- 冷媒配管の取入れは、前、右、後、下側の4方向から可能ですが、必ず以下の作業を行ってください。
- 1)下配管の場合
ゴムフックを冷媒配管断熱材の太さに合わせて切り取り、ゴムフックに冷媒配管を通し、ならし、バーリング穴にはめ込んでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤 (硬質手配) でシールしてください。
 - 2)その他の配管の場合
ドレンパンの下配管部 (バーリング穴) をゴムフックで塞いでください。水漏れしないようにセメダイン366相当の接着剤 (硬質手配) でシールしてください。
-
- 断熱材の太さに合わせて切ってください。
- 断熱材
- シール
- ドレンパン
- バーリング穴
- ゴムフック
- シール
- ドレンパン
- バーリング穴

安全ネット

● PAC-SJ09AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

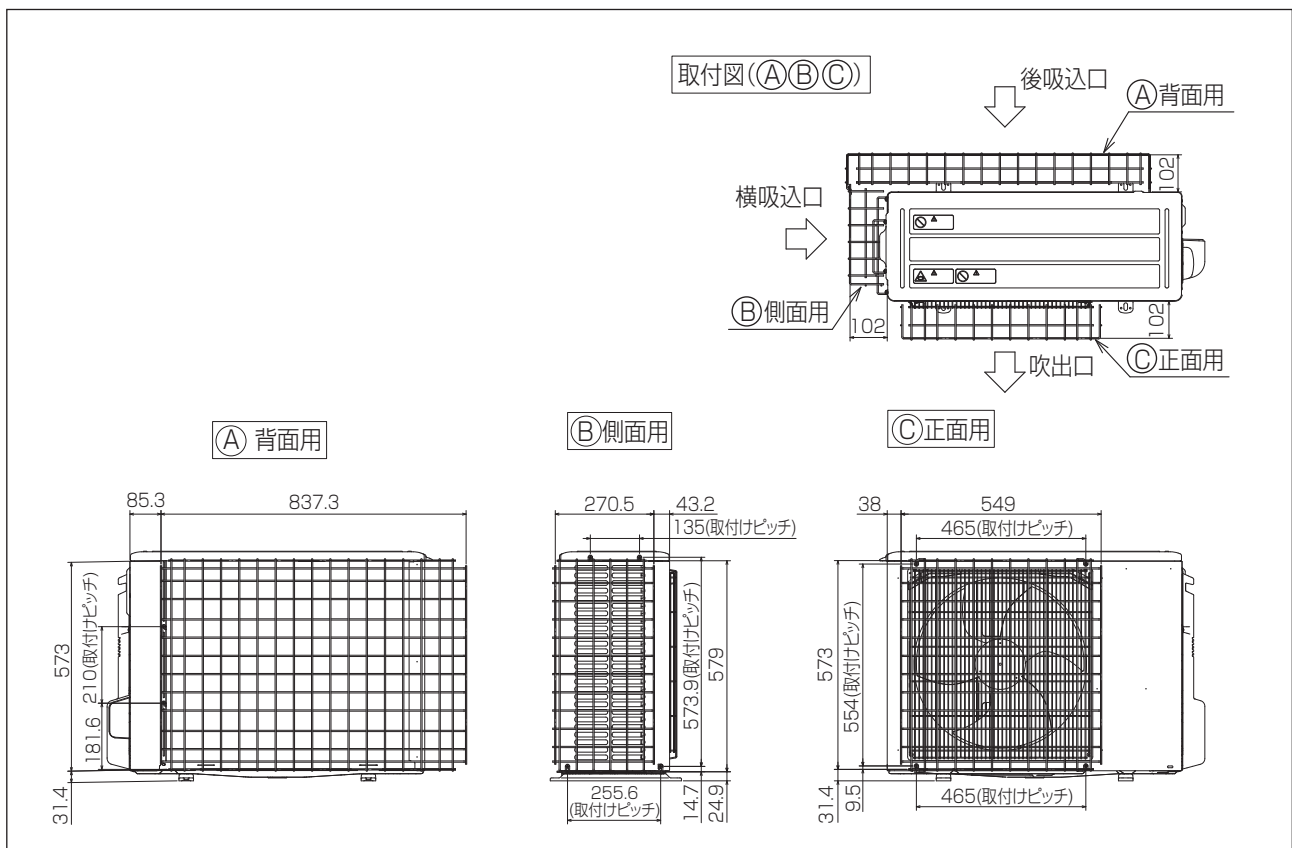
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4

仕様

| | | | |
|----|------------|---------------|--------------|
| 形名 | PAC-SJ09AN | 質量 | 5.2kg |
| 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 50 × 50mm |
| 外装 | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付属品 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ3.5 | |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 材質 |
| | | 表面処理 | パシバート |

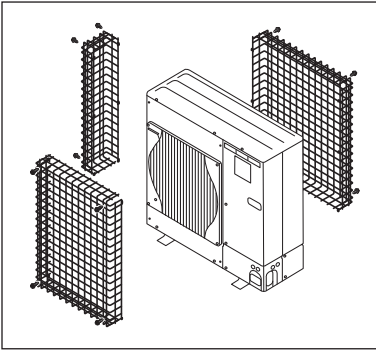
外形図 (取付図) (単位: mm)



安全ネット

● PAC-SG66AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

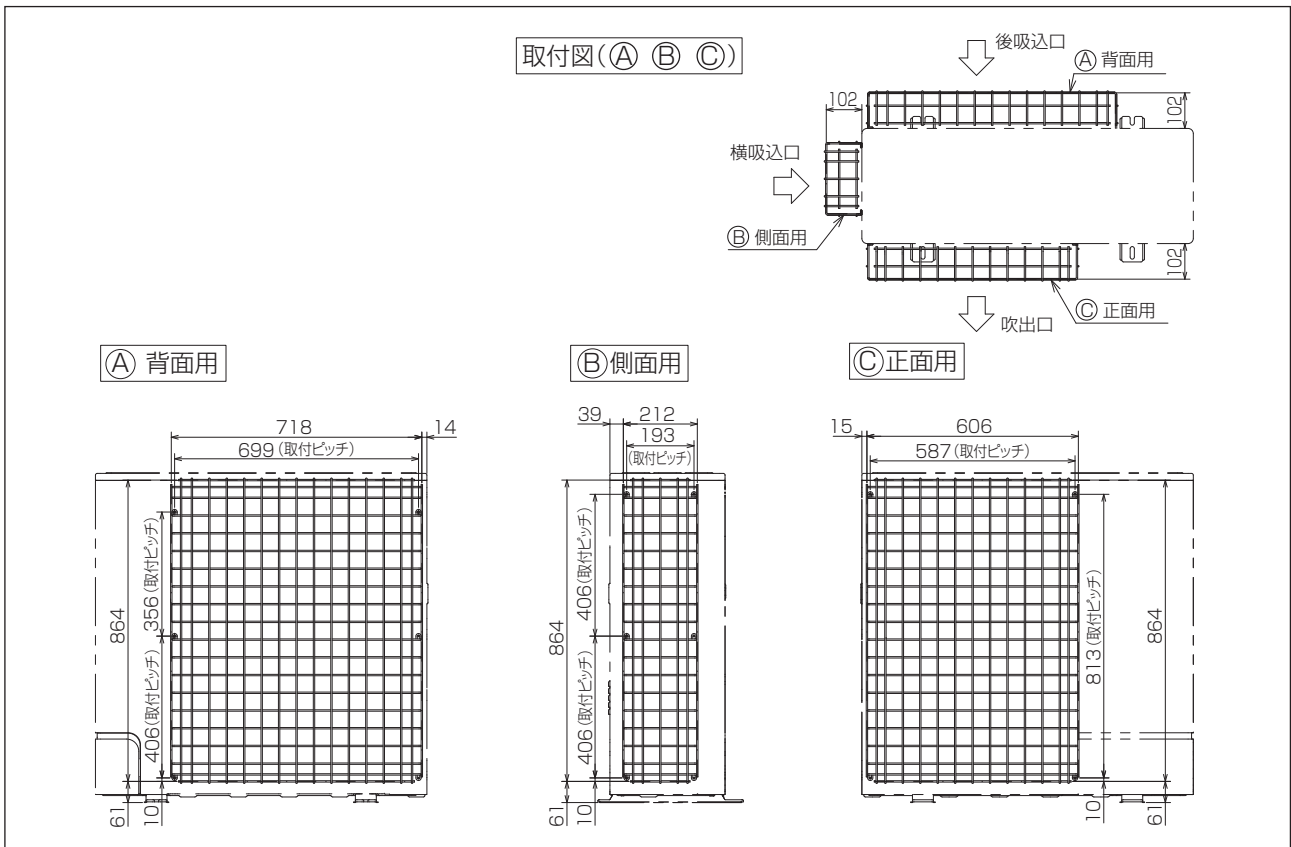
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4
- PUZ-ERMP80(S)HA4
- PU-CRMP80HA4

仕様

| | | | | | |
|----|------------|--------------|-------|--------------|-----------------------|
| 形名 | PAC-SG66AN | | 質量 | 9kg | |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 50 × 50mm | |
| | マンセルNo | 5Y8/1 | 付属品 | 部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 15) 16本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ4 | | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | | 表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ |

外形図 (取付図) (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 安全ネット据付工事説明書

PAC-S**AN
(室外ユニットH・Kシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

警告

誤った取扱いをしたときに、設備または機器、窓枠などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実にを行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 裸肌は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実にを行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流量容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- トレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

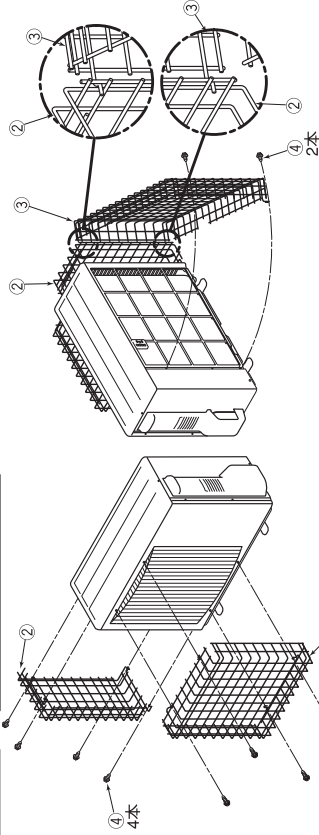
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|--|
| ① 正面用安全ネット(中)・・・1個 | ② 側面用安全ネット(小)・・・1個 | ③ 背面用安全ネット(大)・・・1個 | ④ ネジ |
| | | | SG66AN・4×16 10本 SG66AN・5×15 16本 SG67AN・5×15 18本 SH69AN・6×15 18本 SH73AN・6×15 16本 SU09AN・4×16 10本 |

※機種によっては、本体の固定用ネジを取外す箇所がありますので、各ネット取付前に固定箇所の確認をしてください。

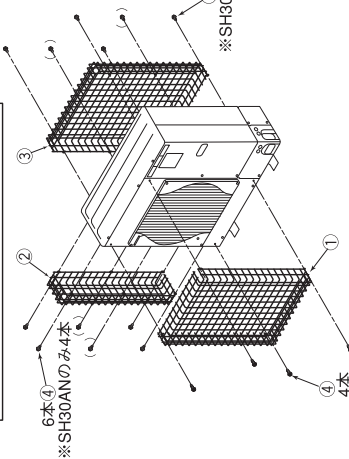
2 取付方法

SG65AN・SJ09ANの場合



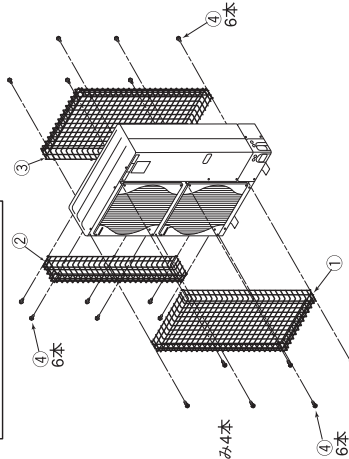
- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット②にて室外ユニット②に取付けてください。
※上下方向はネジ穴を合わせることです。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット②に取付けてください。
※上下方向は据付足上に開口部が位置するように取付けてください。

SG66AN・SH30AN,SH73ANの場合



- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
 - 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
 - 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- ※機種によっては、天井・床の固定ネジ(1本)を取外す必要があります。

SG67AN・SH69ANの場合

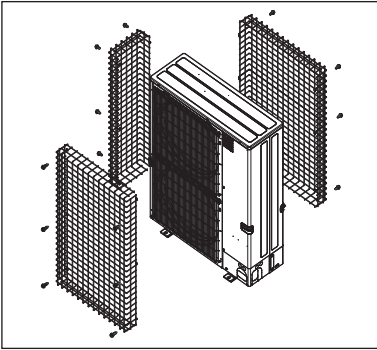


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
 - 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
 - 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネットが上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- ※機種によっては、天井・床の固定ネジ(1本)を取外す必要があります。

安全ネット

● PAC-SJ28AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット”は、室外ユニットの吹出口・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

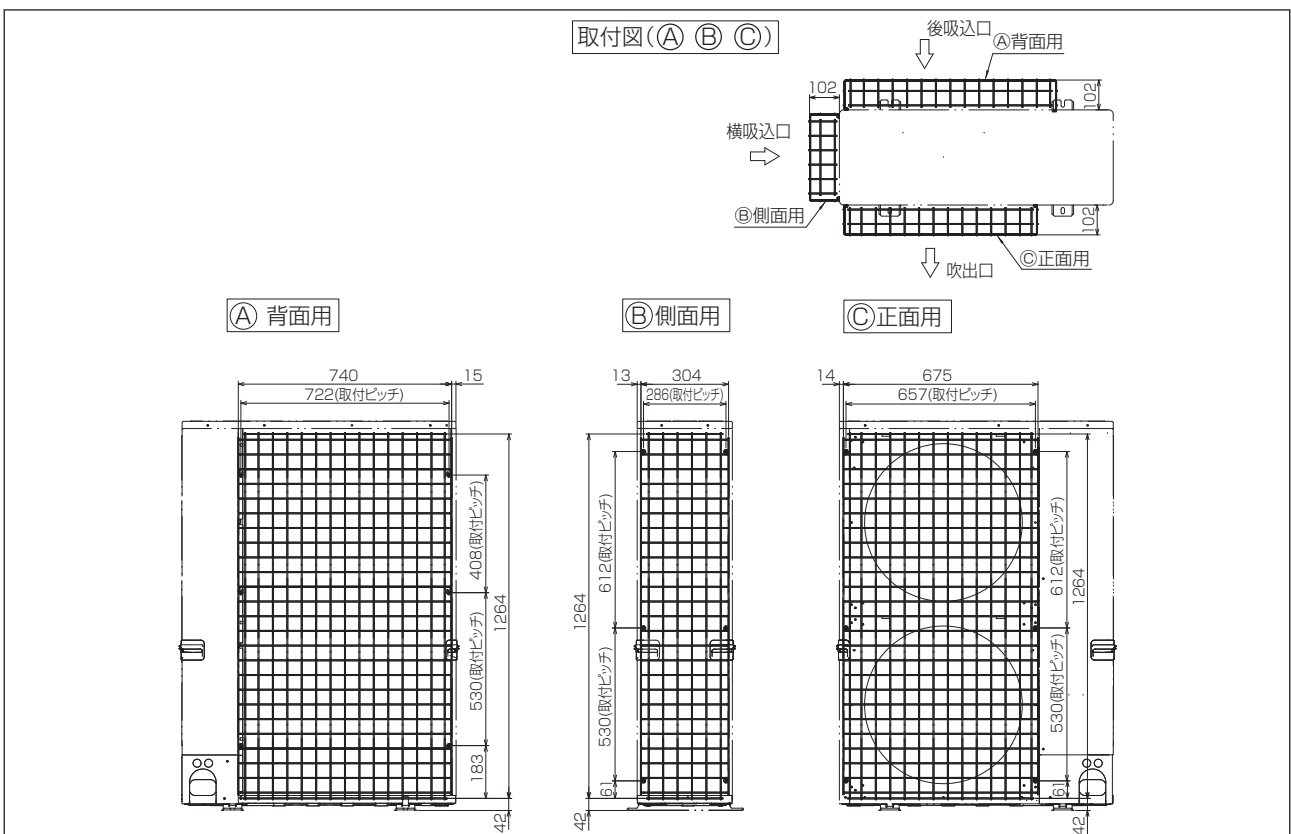
対象ユニット

- PUZ-ERMP112 ~ 160LA4
- PU-CRMP112 ~ 160LA4

仕様

| | | | | | |
|----|------------|---------------|-------|--------------|-----------------------|
| 形名 | PAC-SJ28AN | | 質量 | 10.7kg | |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 50 × 51mm | |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付属品 | 部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ3.5 | | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | | 表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ |

外形図 (取付図) (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 安全ネット据付工事説明書

PAC-SJ28AN
(室外ユニットLシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱い説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしてください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をかかさず窒息する原因になります。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

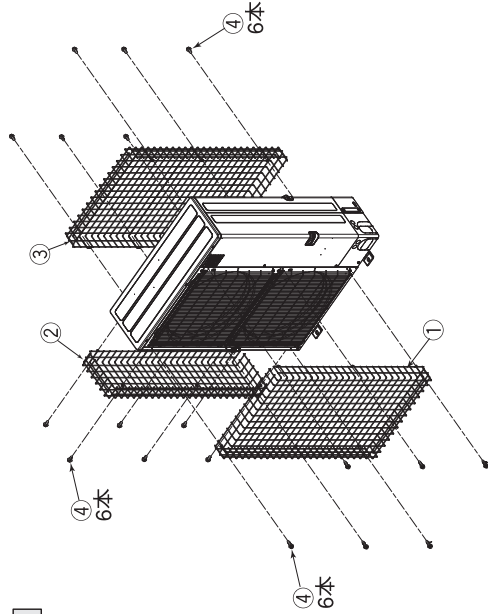
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-----------------|
| ①正面用安全ネット(中)・・・1個 | ②側面用安全ネット(小)・・・1個 | ③背面用安全ネット(大)・・・1個 | ④ネジ 5×15 18本 |
| | | | |

2 取付方法

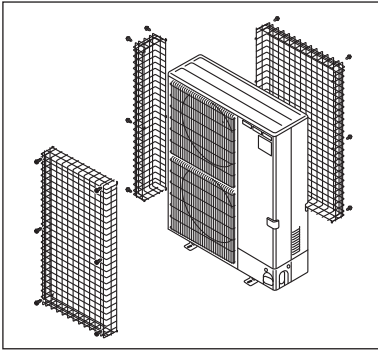


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット②が上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット③が上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット④が上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。

安全ネット

● PAC-SH98AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

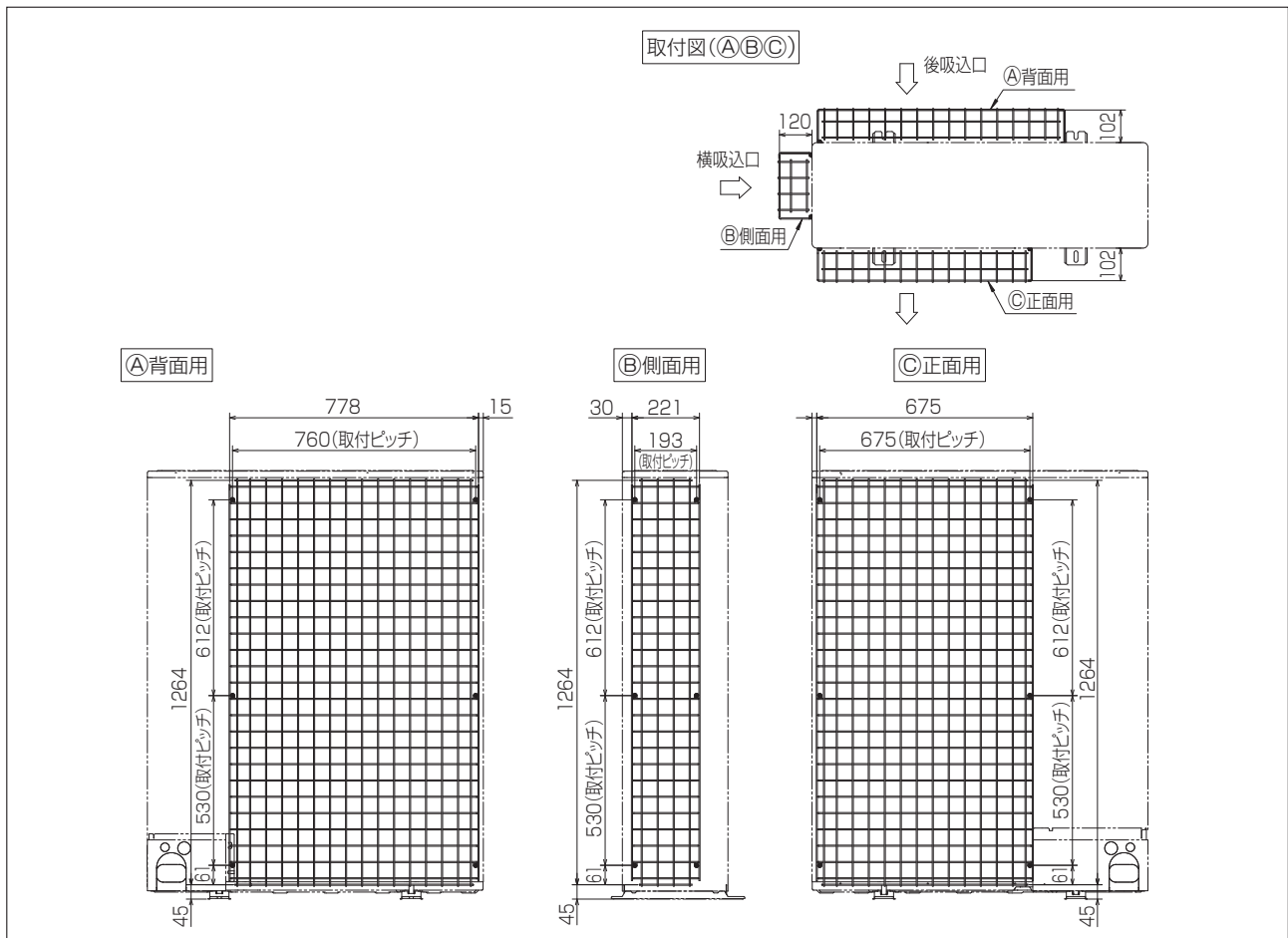
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERP224・280KA10
- PUZ-HRMP80 ~ 160KA

仕様

| | | | | |
|----|------------|---------------|-------|-----------------------|
| 形名 | PAC-SH98AN | | 質量 | 10.6kg |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 50 × 51mm |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 15) 18本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ3.5 | 属材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 品表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ |

外形図 (取付図) (単位 : mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 安全ネット据付工事説明書

PAC-SH98AN
(室外ユニット<シリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。

また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告
据付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で据付工事をされると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告
据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。

- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。

- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

取付説明書

安全ネット:PAC-SH98AN

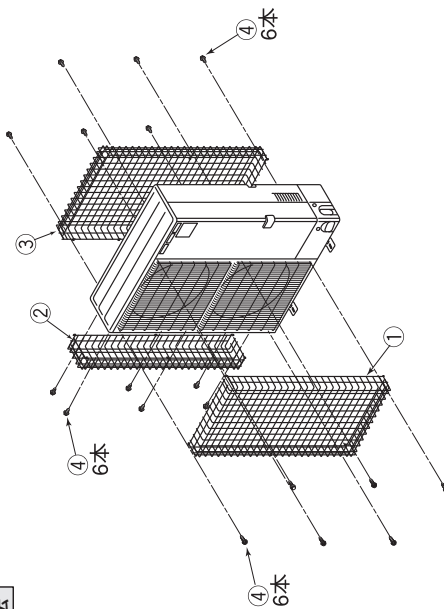
(本マニュアル用に変更・修正しています)

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| ①正面用安全ネット(中)…1個 | ②側面用安全ネット(小)…1個 | ③背面用安全ネット(小)…1個 | ④ネジ 5×15 18本 |
| | | | |

2 取付方法

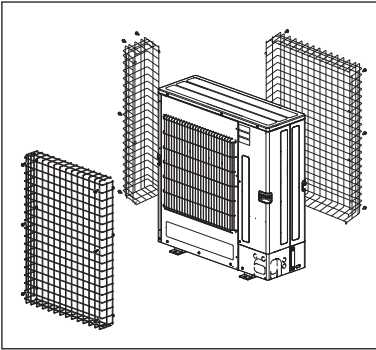


- 1) 正面用安全ネット①をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット①が上面パネルと正面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 2) 側面用安全ネット②をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット②が上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。
- 3) 背面用安全ネット③をネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※上下方向は安全ネット③が上面パネルと側面パネルの合わせ目に位置するように取付けてください。

安全ネット

● PAC-SJ74AN

使用目的 / 用途



- “安全ネット” は、室外ユニットの吹出部・吸込部を鉄線ネットで保護する部品です。
- 学校や児童施設など子どもが触れるおそれのある場合にお勧めです。

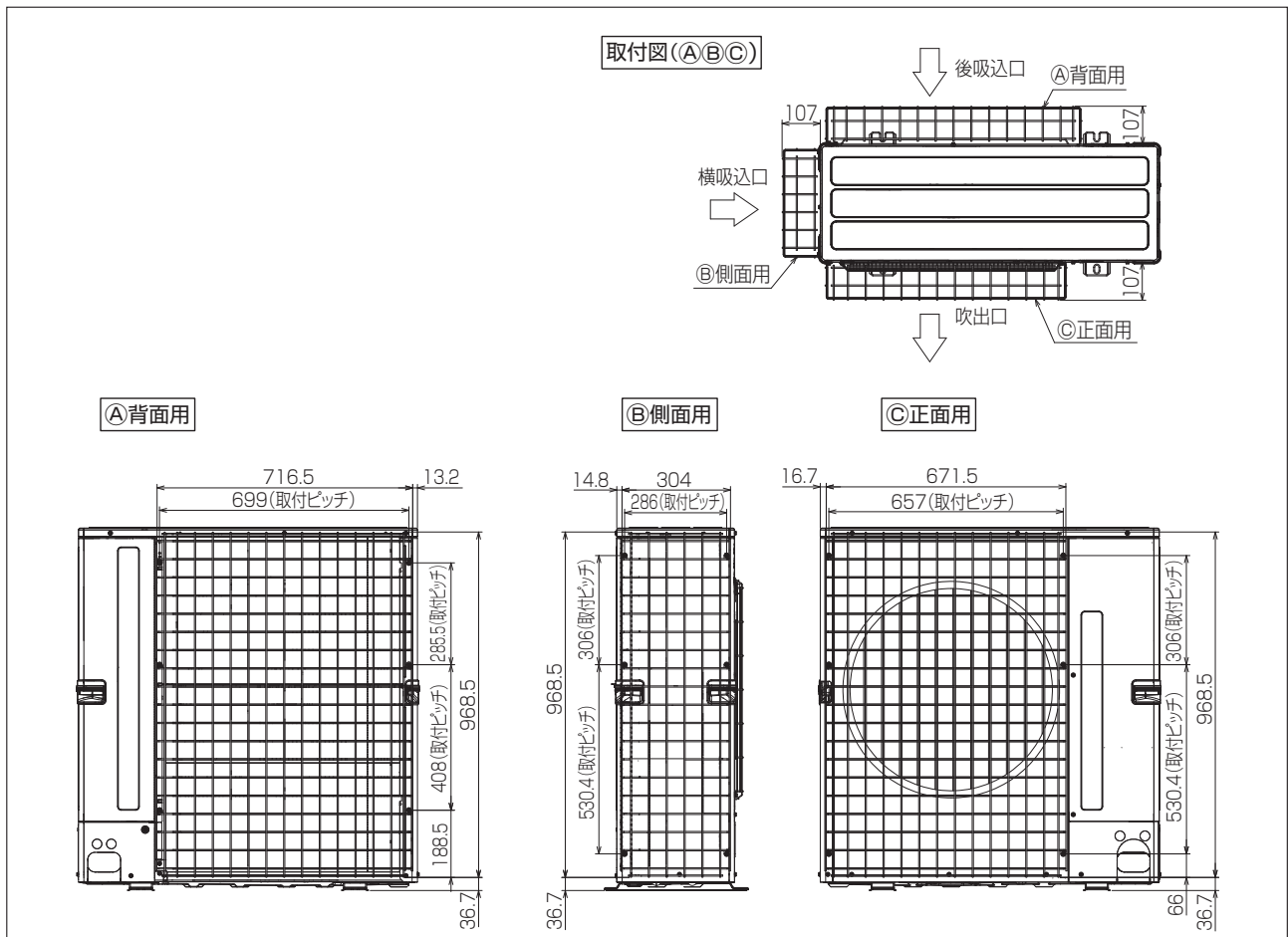
対象ユニット

- PUZ-ERMP112・140LA5

仕様

| | | | | |
|----|------------|---------------|-------|-----------------------|
| 形名 | PAC-SJ74AN | | 質量 | 8.3kg |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 50 × 51mm |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 18本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ3.5 | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 表面処理 | 亜鉛アルミ複合被膜 |

外形図 (取付図) (単位 : mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 安全ネット据付工事説明書

PAC-SJ74AN
(室外ユニットLシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があります。

警告
誤った取扱いをしたときに、怪傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 水じ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかぶるなどしたときに口や鼻をかきざせ窒息する原因になります。

- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。

- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。

- トレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保通すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

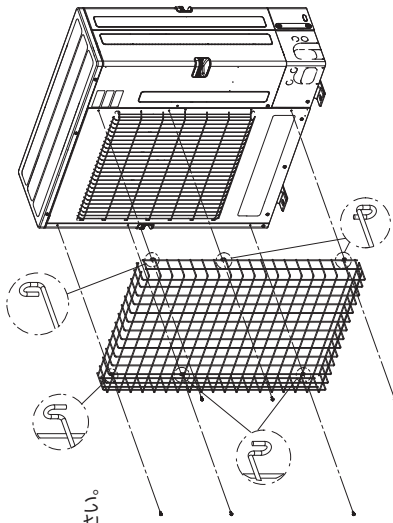
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|
| ① 正面用安全ネット(中)・・・1個 | ② 側面用安全ネット(小)・・・1個 | ③ 背面用安全ネット(大)・・・1個 | ④ ネジ 5×12 18本 |
| | | | |

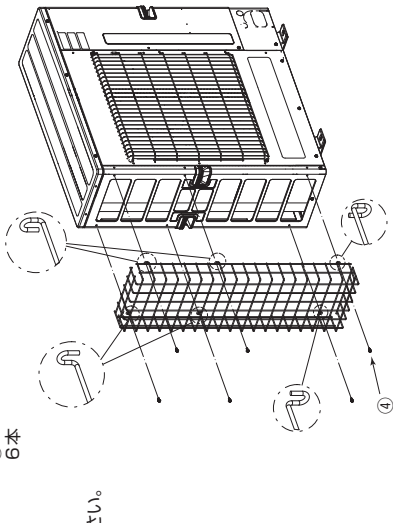
2 取付方法

- 1) 正面用安全ネット①
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。



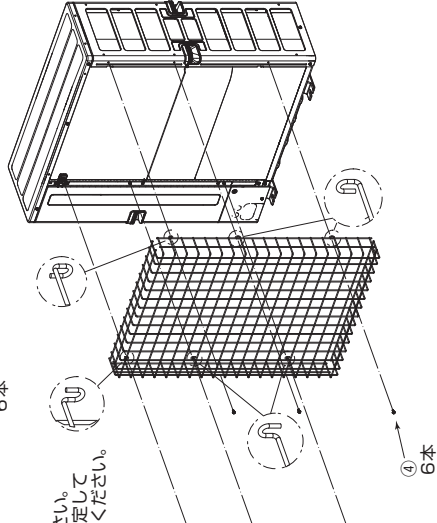
④ 6本

- 2) 側面用安全ネット②
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。



④ 6本

- 3) 背面用安全ネット③
ネジ④にて室外ユニット下穴に取付けてください。
※右図の左側のネジ3ヶ所は、外野パネルを固定している既存のネジを取外し、ネジ④を使用してください。

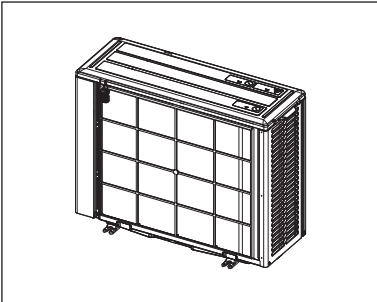


④ 6本

背面用網

● PAC-SJ51RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

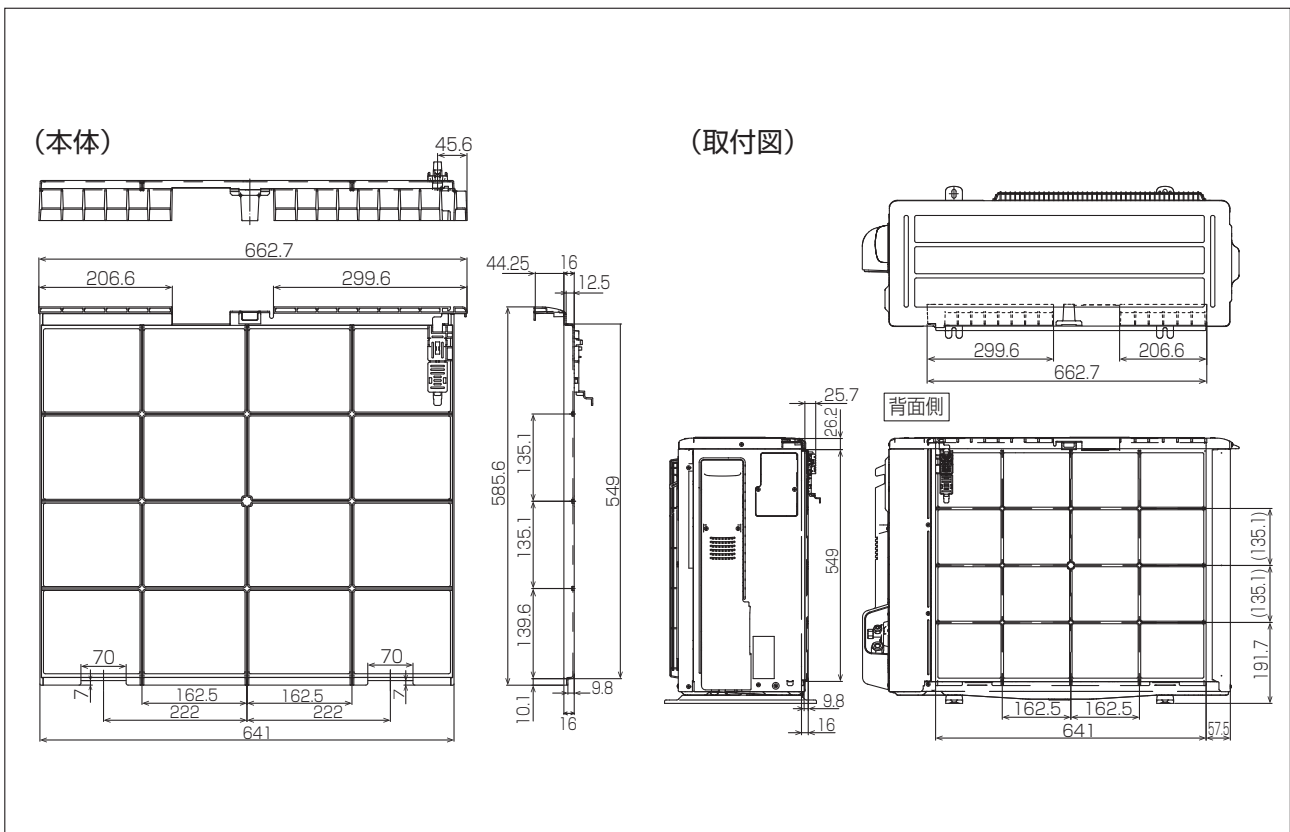
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4

仕様

| | | | | |
|-----|------------|-----|-------|------------------------|
| 形名 | PAC-SJ51RG | | 質量 | 0.26kg |
| 外色 | 黒 | | 鉄線ピッチ | 最大 135 × 163mm |
| 装材質 | PP | 付属品 | 部品名 | 断熱材 (t10 × 25 × 15) 1個 |

外形図 (取付図) (単位: mm)



BH79T669H06



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ51RG
(室外ユニットKシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または衣服・素材などの損傷に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくようお願いしてください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をかきさざらせる原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保護すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

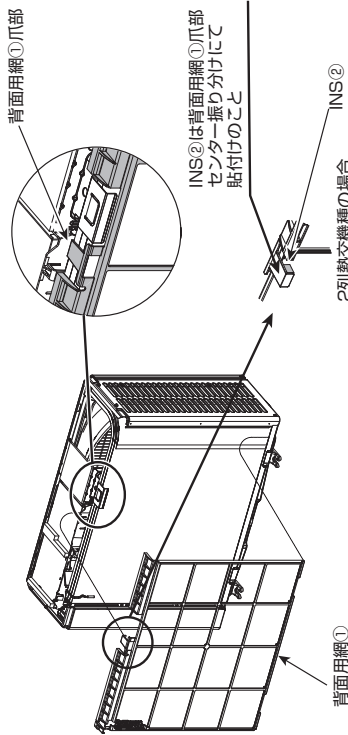
| | |
|--------------|-----------------------|
| ①背面用網.....1個 | ②INS(10×25×15).....1個 |
|--------------|-----------------------|

2 取付方法

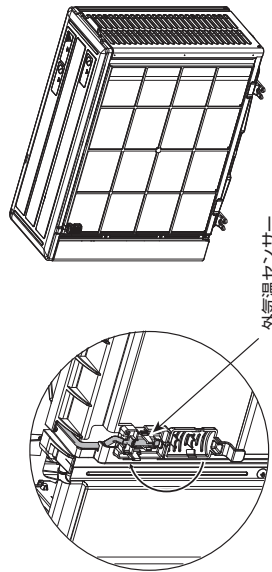


- 1) トップパネル(ネジ3本)を除外してください。
- 2) センサーホルダーを開け、外気温センサーを除外してください。
- 3) センサーホルダーとスペーサーを室外ユニット本体から除外してください。

- 4) 背面用網①を室外ユニット本体に取付けてください。上側の爪を熱交換フィンに引っ掛け、下側は熱交換フィンとベースの間に差し込んでください。2列熱交換機の場合は、上側爪部にINS②を貼付けてから本体へ取付けてください。



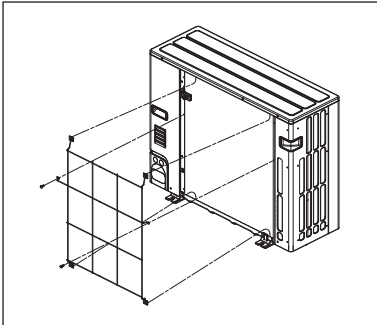
- 5) 外気温センサーを図のように配線し、背面用網①のホルダーにセンサーを取付け閉じてください。
- 6) トップパネル(ネジ3本)を取付けてください。



背面用網

● PAC-SJ32RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

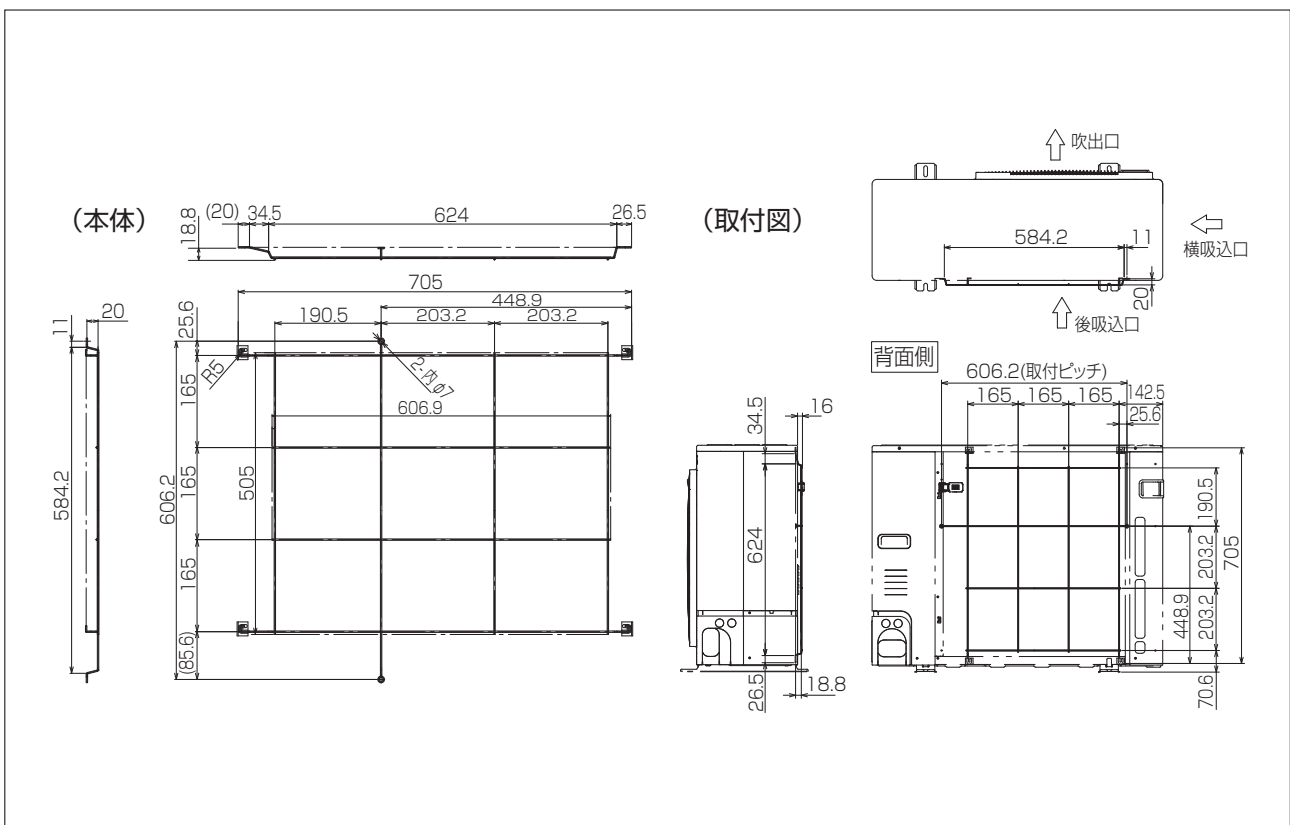
対象ユニット

- PUZ-ERMP80HA4
- PU-CRMP80HA4

仕様

| | | | | |
|----|------------|---------------|-----------|----------------------|
| 形名 | PAC-SJ32RG | | 質量 | 0.25kg |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 165 × 203mm |
| | マンセルNo. | 1Y8.5/0.5 | 付属部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 2本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 付属部品 材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 付属部品 表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ |

外形図 (取付図) (単位: mm)

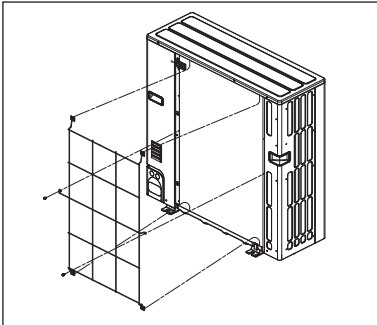


室外ユニット

背面用網

● PAC-SJ33RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

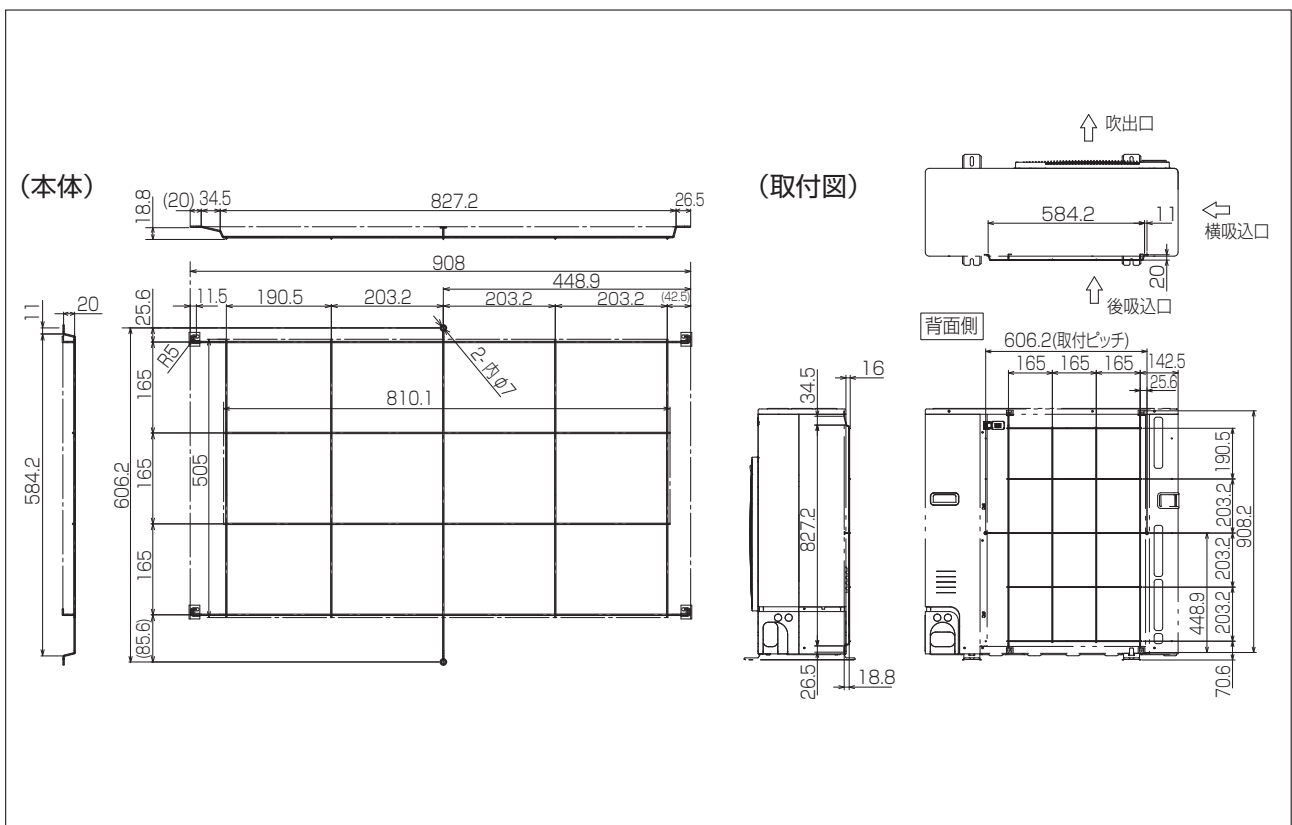
対象ユニット

● PUZ-ZRMP80HA4

仕様

| | | | | | |
|----|------------|---------------|-------|----------------------|--|
| 形名 | PAC-SJ33RG | | 質量 | 0.30kg | |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 165 × 203mm | |
| | マンセルNo. | 1Y8.5/0.5 | 付属部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 2本 | |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) | |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ | |

外形図 (取付図) (単位: mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79T669H05



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ* * RG
(室外ユニットHシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お便りになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされた場合、水漏れや感電、火災等の原因になります。

警告

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

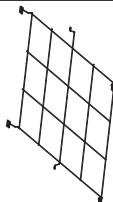

注意

- ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事をすると配管等表面が結露して、露タリ等を発生し、天井・床その他の大切なものに発菌する原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密取壊後に行ってください。

- 漏電や発熱は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

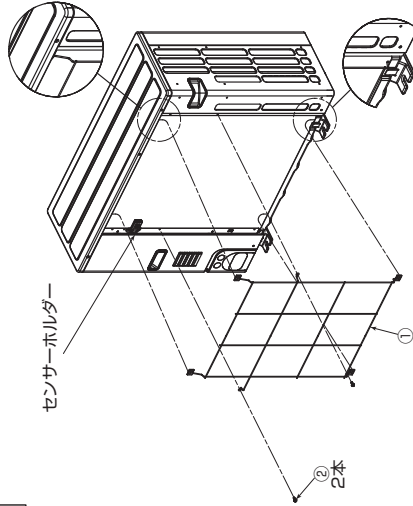
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | |
|---|---|
| ①背面用網.....1個 | ②ネジ(5×12).....2本 |
|  |  |

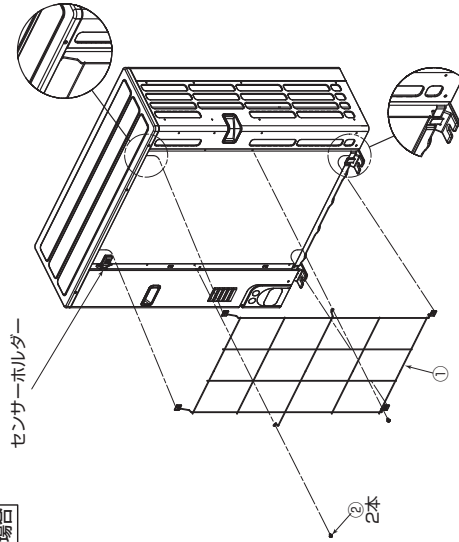
2 取付方法

SJ32RGの場合



- 1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。その際、下側は熱交換フィンとベースの隙間、上側は熱交換フィンとトップパネルの隙間にそれぞれ差し込んでください。
- ※ 上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることです。

SJ33RGの場合

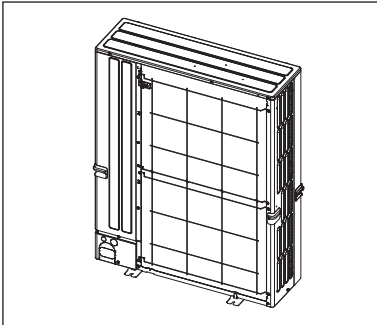


- 1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニット下穴に取付けてください。その際、下側は熱交換フィンとベースの隙間、上側は熱交換フィンとトップパネルの隙間にそれぞれ差し込んでください。
- ※ 上下方向は背面用網がセンサーホルダーと干渉しない向きにネジ穴を合わせることです。

背面用網

● PAC-SJ90RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

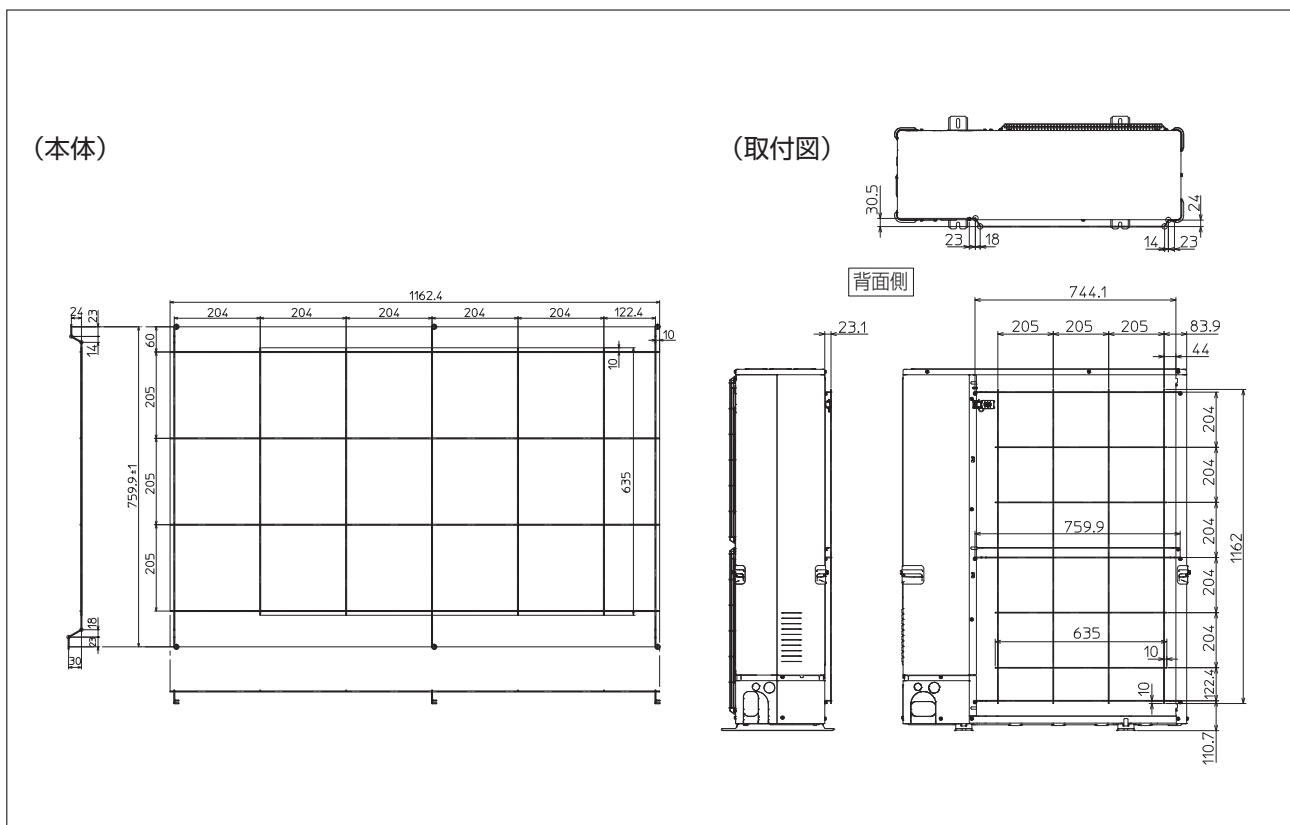
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112 ~ 160KA4, PUZ-ZRP224 · 280KA10
- PUZ-ERP224 · 280KA10

仕様

| | | | | |
|----|------------|---------------|-------|----------------------|
| 形名 | PAC-SJ90RG | | 質量 | 0.40kg |
| 色 | アイボリー | | 鉄線ピッチ | 最大 204 × 205mm |
| 外装 | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 6本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 属材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 品表面処理 | 高耐食被膜処理 |

外形図 (取付図) (単位: mm)



(本体)

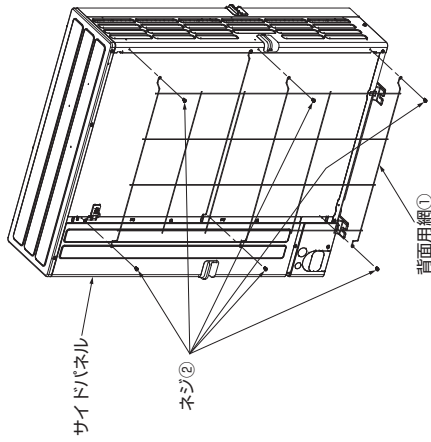
(取付図)

背面側

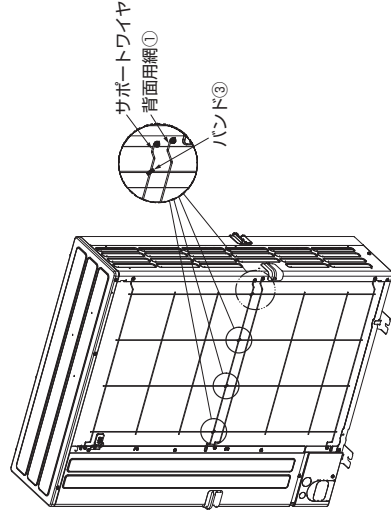
(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 取付方法

1) 背面用網①をネジ②にて室外ユニットに取り付けてください。



2) サポートワイヤと背面用網①をバンド③にて4ヶ所結末してください。



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ90RG
(室外ユニットKシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などに結びつく
可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、
軽傷または家庭・家財などの
損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- 赤い袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 肘からかかがるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息の原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不十分な断熱工事をすると配管表面が凝露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、木材等のを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水できるよう施工し、結露が生じないように保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

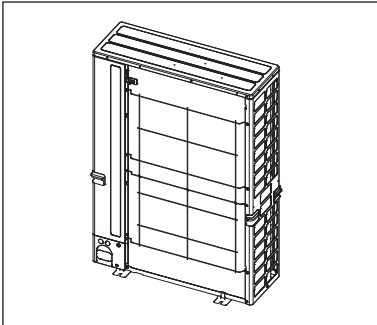
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | |
|--------------|------------------|-------------|
| ①背面用網.....1個 | ②ネジ(5×12).....6本 | ③バンド.....4本 |
| | | |

背面用網

● PAC-SJ91RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

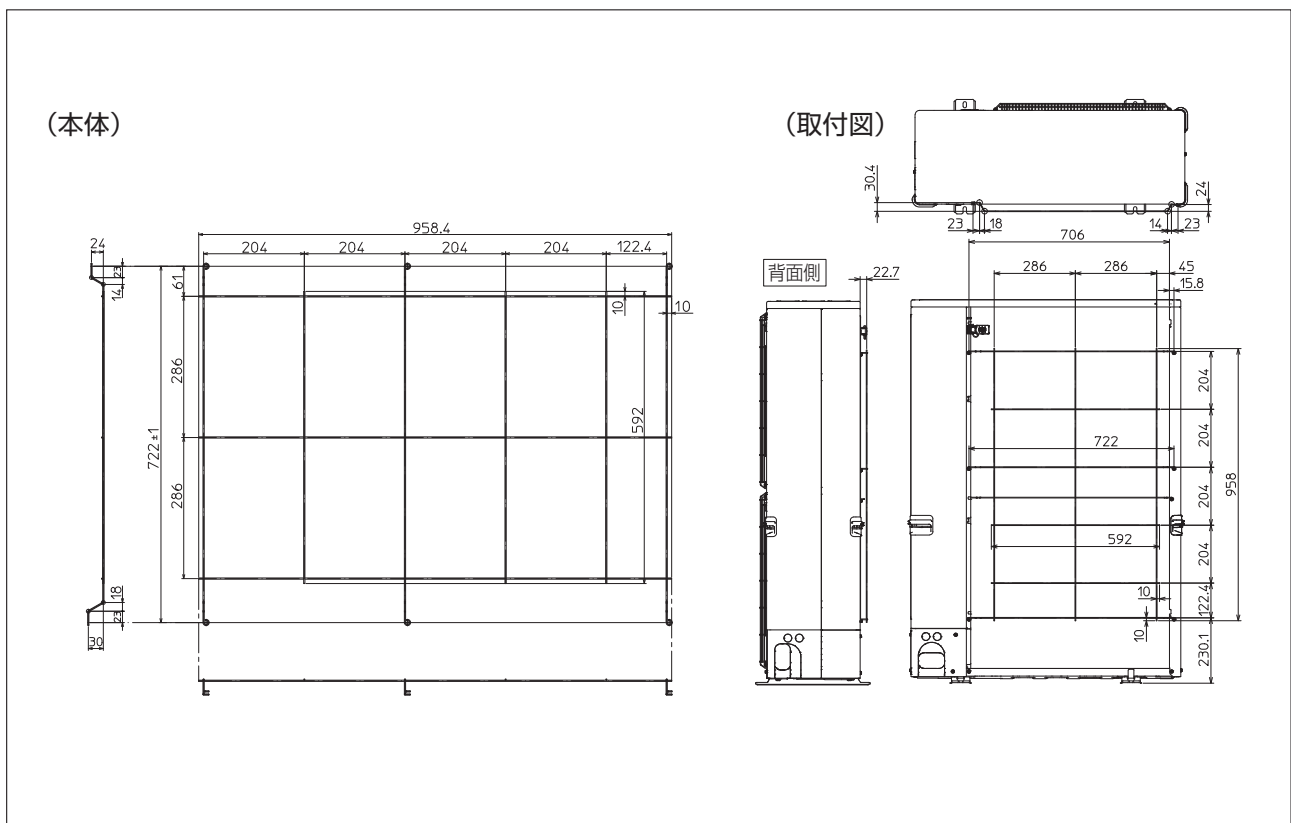
対象ユニット

- PUZ-ERMP112 ~ 160LA4
- PU-CRMP112 ~ 160LA4

仕様

| | | | | | |
|----|------------|---------------|-------|----------------------|--|
| 形名 | PAC-SJ91RG | | 質量 | 0.30kg | |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 204 × 286mm | |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 3本 | |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) | |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 表面処理 | 高耐食被膜処理 | |

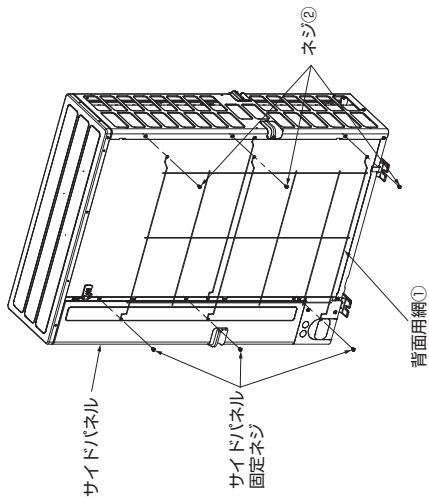
外形図 (取付図) (単位: mm)



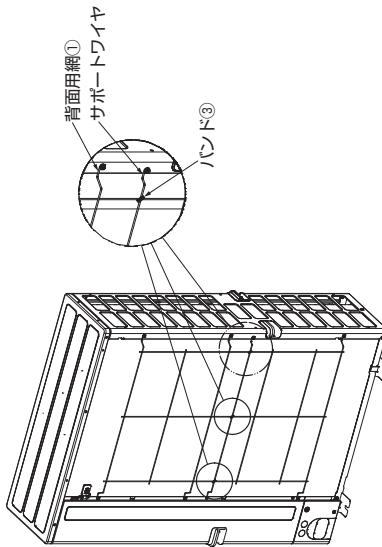
(本マニュアル用に変更・修正しています)

2 取付方法

- 1) サイドパネルを固定しているネジ3本を外してください。
- 2) 取外したネジとネジ②を使用して、背面用網①を室外ユニットに取付けてください。



- 3) サポートワイヤと背面用網①をバンド③にて3ヶ所結束してください。



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ91RG
(室外ユニットシリーズ用)

安全のために必ず守ること

警告

● 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実に行ってください。
● ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

● 誤った取扱いをしたときに、
死亡や重傷などに陥りつく
可能性のあるもの。

● 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や
使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
また、お使いになる方がかわる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

注意

● 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
● お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・
火災等の原因になります。

警告

● 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
● 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因に
なります。

注意

● 配管の断熱は結露しないように確実に行う。
● 不完全な断熱工事をすると配管表面が結露して、露タレ等を
発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
● 蒸気部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

1 部品の確認

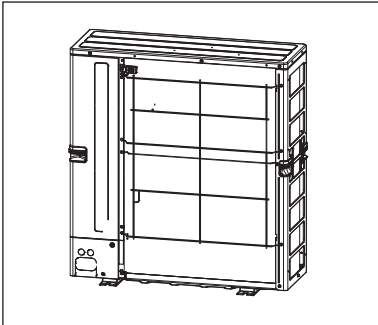
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | | |
|---------------|-------------------|--------------|
| ① 背面用網.....1個 | ② ネジ(5×12).....3本 | ③ バンド.....3本 |
| | | |

背面用網

● PAC-SJ76RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

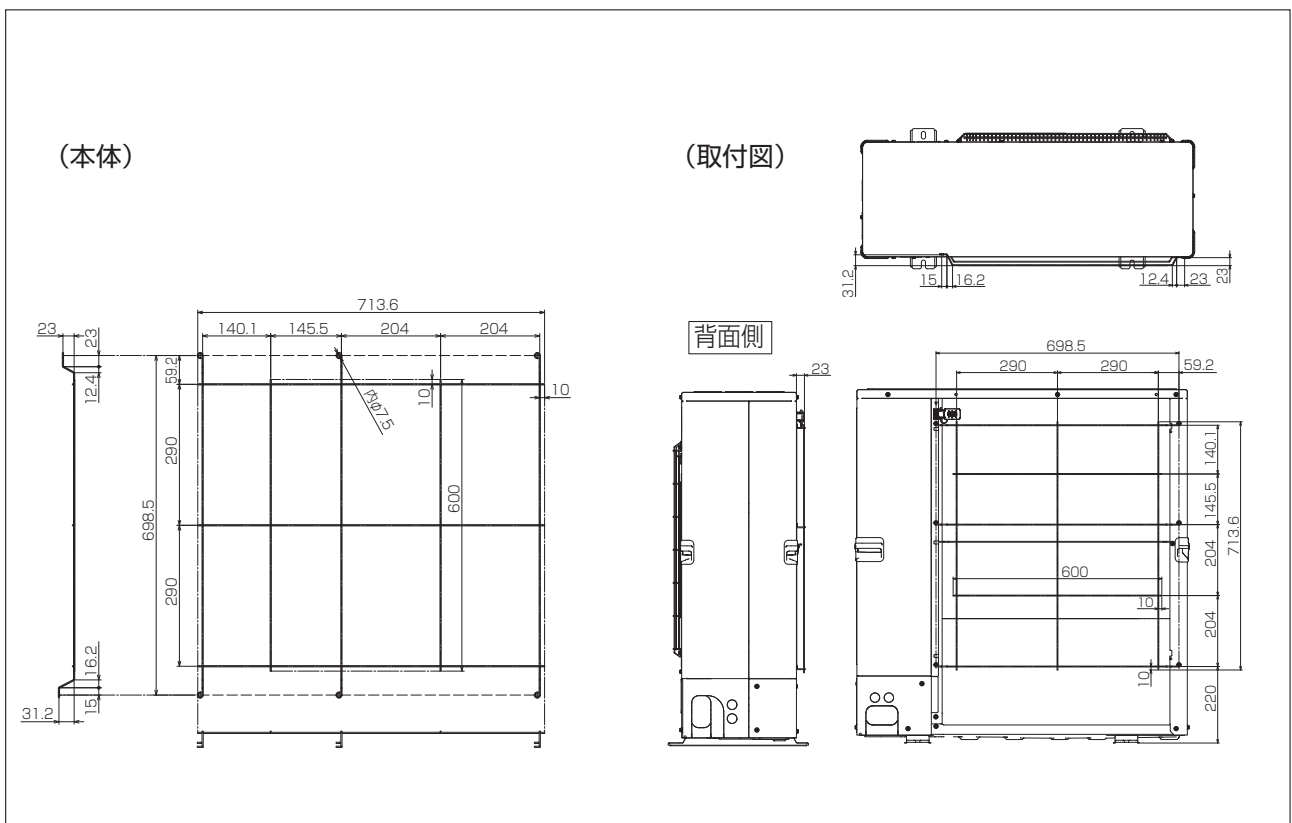
対象ユニット

● PUZ-ERMP112・140LA5

仕様

| | | | | |
|----|------------|---------------|-------|----------------------|
| 形名 | PAC-SJ76RG | | 質量 | 0.30kg |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 204 × 290mm |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 付部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 3本 |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 属材質 | 鉄線 (SWCH18A) |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 品表面処理 | 亜鉛アルミ複合被膜 |

外形図 (取付図) (単位: mm)



BH79T669H12



三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

PAC-SJ76RG
(室外ユニットLシリーズ用)

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、騒音または腐食・発熱などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法・お手入れの仕方等を説明しててください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされると、水漏れや腐食・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや腐食・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ホリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 雨からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流容量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドリル・配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他部材等を濡らす原因になります。

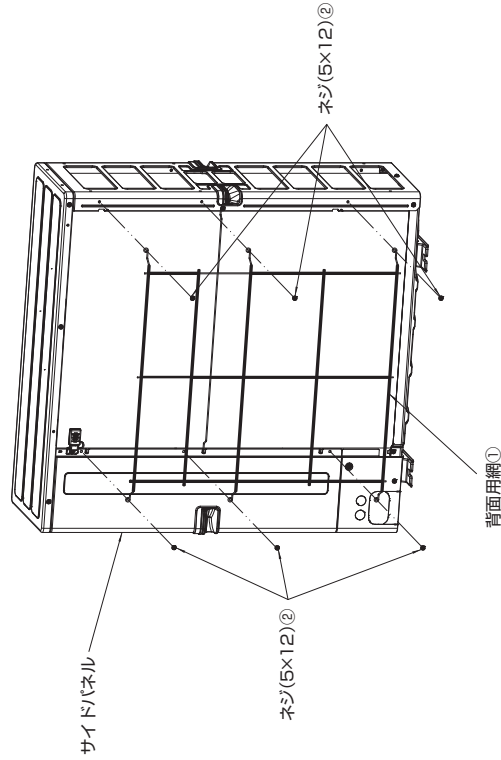
1 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | |
|---------------|-------------------|
| ① 背面用網.....1個 | ② ネジ(5×12).....6本 |
|---------------|-------------------|

2 取付方法

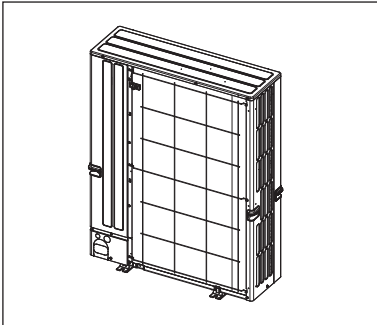
- 1) サイドパネル固定ネジ3本を取外してください。
- 2) 付属のネジ②を使用し、背面用網①を取付けてください。
※ネジは締付トルク1.5N・mで確実に締付けてください。



背面用網

● PAC-SJ52RG

使用目的 / 用途



●“背面用網”は、室外ユニットの背面に取り付ける部品です。

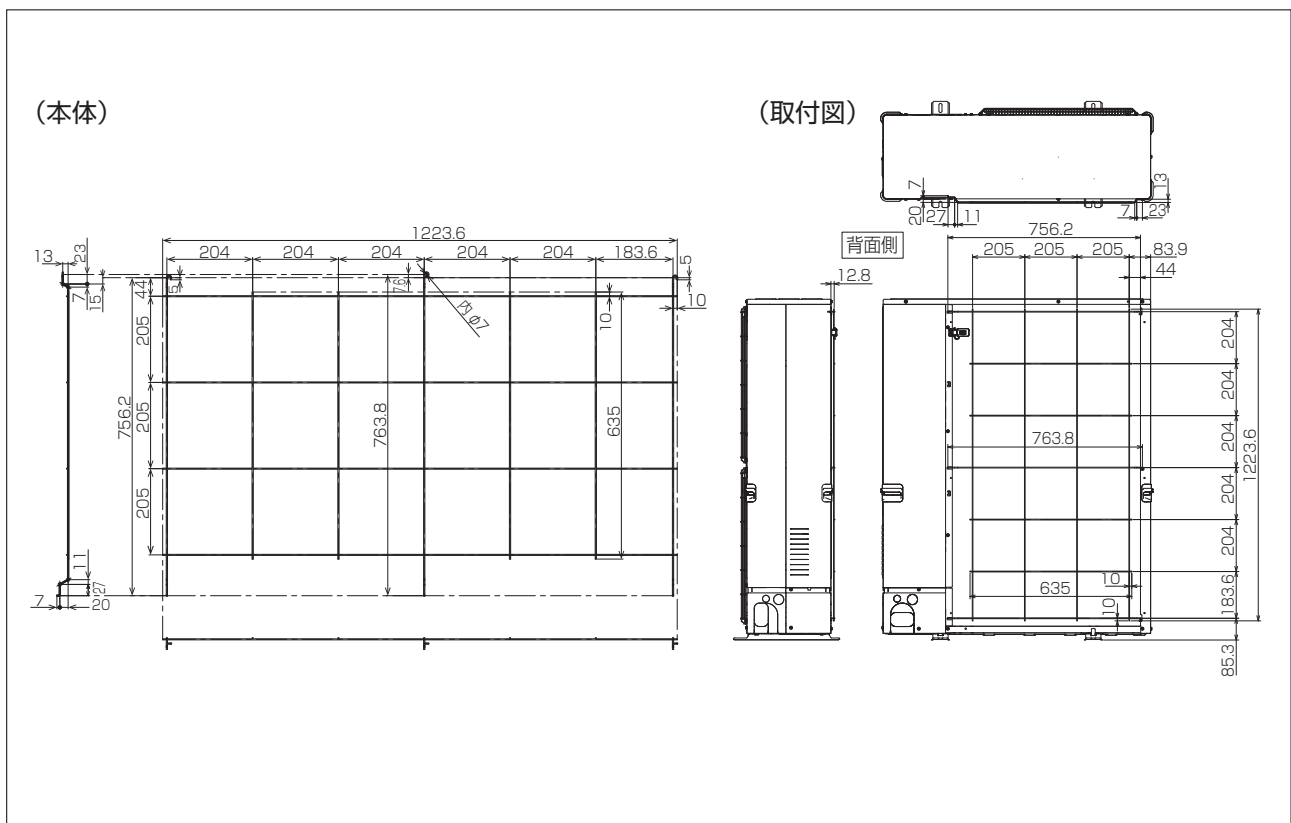
対象ユニット

● PUZ-HRMP80 ~ 160KA

仕様

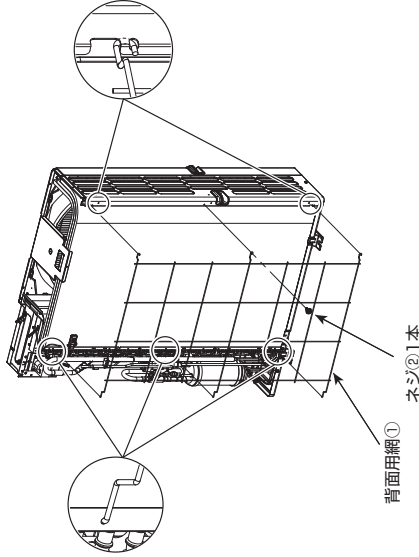
| | | | | | |
|----|------------|---------------|-------|----------------------|--|
| 形名 | PAC-SJ52RG | | 質量 | 0.42kg | |
| 外装 | 色 | アイボリー | 鉄線ピッチ | 最大 204 × 205mm | |
| | マンセルNo | 1Y8.5/0.5 | 部品名 | 取付用座付ネジ (M5 × 12) 1本 | |
| | 材質 | 鉄線 (SWM) φ2.5 | 材質 | 鉄線 (SWCH18A) | |
| | 表面処理 | ポリエチレンコーティング | 表面処理 | 亜鉛ニッケルメッキ | |

外形図 (取付図) (単位: mm)

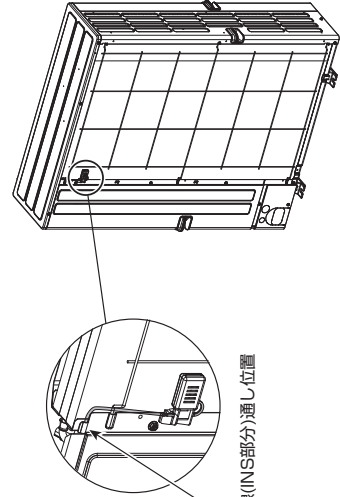


2 取付方法

- 1) センサーホルダー(ネジ1本)を取外してください。
- 2) サービスパネル(ネジ2本)、トップパネル(ネジ6本)、カバーパネルフロント(ネジ2本)、カバーパネルリア(ネジ4本)、サイドパネルR(5×12ネジ:3本/4×10ネジ:3本)を取外してください。サイドパネルRの4×10ネジは、電気品類に1本、ノリ付ペッドに2本あります。
- 3) 背面用網①をネジ②にてサイドパネルR下穴に取付けてください(右側中央部1ヶ所)。右側上下2ヶ所はサイドパネルRに引っ掛け、左側3ヶ所は熱交サイトプレートの穴に差し込んでください。



- 4) サイドパネルR(5×12ネジ:3本/4×10ネジ:3本)を取付けてください。
- 5) 外気温センサーのリード線は必ずINS部分が下図通り位置を通るように配線してください。
- 6) センサーホルダー(ネジ1本)を取付けてください。



PAC-SJ52RG
(室外ユニットKシリーズ用)

三菱電機パッケージエアコン別売部品
背面用網据付工事説明書

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みの上、慎重に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に關する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・事故などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそって、お登録に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管いただくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

- 据付けは、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。

据付け(移設)・電気工事をする前に

注意

- ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。
- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をかさざき窒息する原因になります。
- 冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行う。
- 不完全な断熱工事を行うと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因になります。
- 接続部の断熱施工は、気密試験後に行ってください。

- 電源配線は、電流量に合った規格品を使用すること。
- 漏電や発熱・火災の原因になります。
- ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。
- 配管工事に不備があると水漏れし、天井・床その他の他家財等を濡らす原因になります。

1 部品の確認

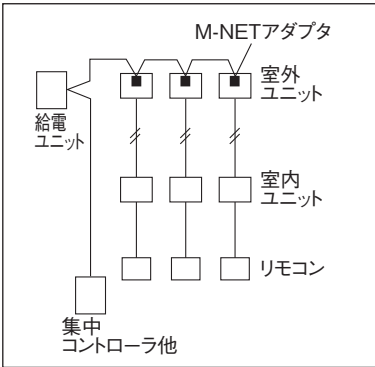
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますのでご確認ください。

| | |
|--------------|------------------|
| ①背面用網.....1個 | ②ネジ(5×12).....1本 |
|--------------|------------------|

M-NET 接続用アダプタ

● PAC-SJ69MA

使用目的 / 用途



- “M-NET 接続用アダプタ”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン(A制御)を接続する際に使用します。
- 『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

- ・ M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか 1カ所に限りアースを接続してください。

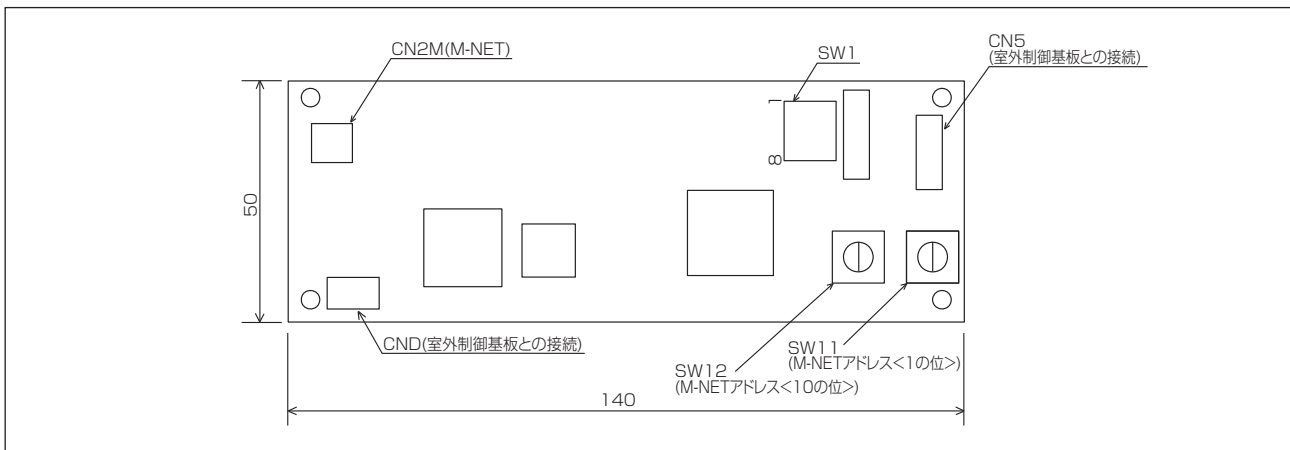
対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4

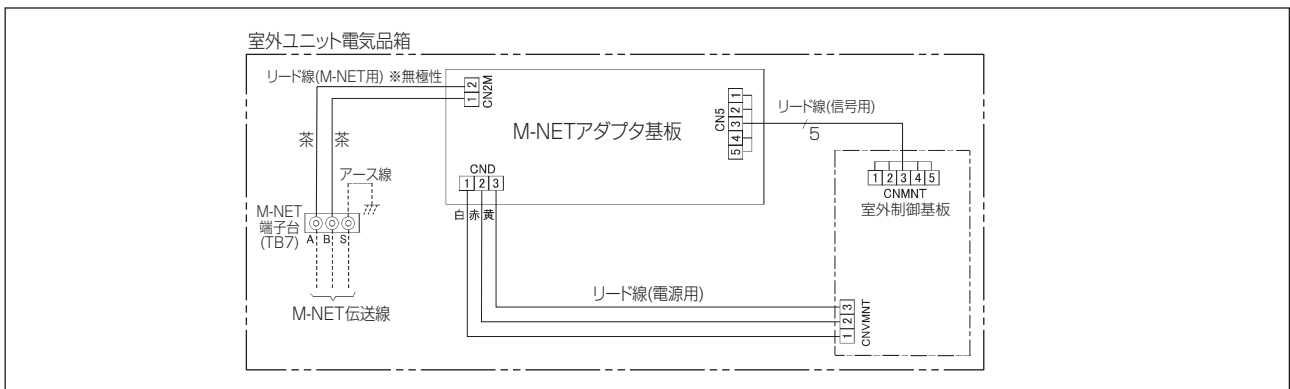
仕様

| | |
|--------|--|
| 形名 | PAC-SJ69MA |
| 電源 | 室外制御基板より給電 |
| 消費電力 | 0.6W (at 5Vdc, 12Vdc) |
| 使用環境条件 | 室外ユニット電気品箱内に取付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 <結露なきこと>) |
| 主要構成部品 | M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子台 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3種 (信号用・電源用・M-NET 用) |
| 質量 | 0.3kg |

外形図 (単位: mm)



電気配線図



(本マニュアル用に変更・修正しています)

BH79J663H02

M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

このM-NET接続用アダプタは、別紙機種一覧表の機種に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、別紙機種一覧表を確認の上作業を行ってください。

PAC-SJ69MA

対象機種は別紙 機種一覧表による

M-NET伝送線の配線について

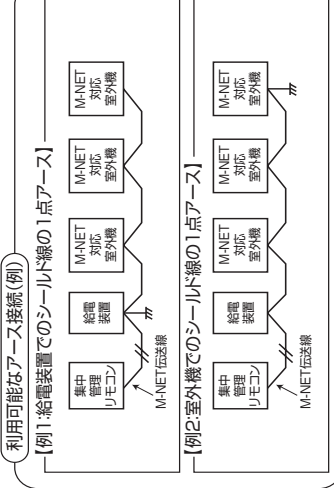
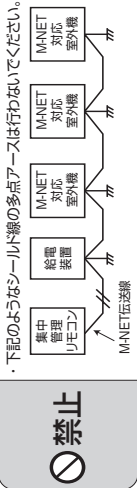
⚠ 注意

M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1ヶ所に限りアース線を接続してください。

- ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。室外機デジタル表示LED[Ed]エラー集中管理リモコンに「0403」エラー

シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが入ることがあります。1点のみでアースした場合は、回路が形成されないためにノイズが入りません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いします。



1. 部品一覧

| No | 品名 | 形状 | 数量 |
|----|-----------------------|----|----|
| ① | M-NET基板 (絶縁シート、サポート付) | | 1 |
| ② | M-NET基板取付板 | | 1 |
| ③ | 取付ネジ (M4×8) | | 2 |
| ④ | M-NET端子台 | | 1 |
| ⑤ | 取付ネジ (M3×20) | | 1 |
| ⑥ | 端子台用シール | | 1 |

| No | 品名 | 形状 | 数量 |
|----|-----------------|----|----|
| ⑦ | リード線 信号用(5線) | | 1 |
| ⑧ | リード線 電源用(3線) | | 1 |
| ⑨ | リード線 M-NET用(2線) | | 1 |
| ⑩ | アース線-ネジ(M4×8) | | 各1 |
| ⑪ | 結束バンド | | 2 |

2. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチ SW11(1の位)、SW12(10の位)にて行ってください。M-NETアドレスは、01~50の範囲で設定してください。※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっています。

お願ひ

アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態で作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

注意

M-NETアドレスは必ず01~50の範囲で設定してください。※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。また01~50以外に設定した場合はエラーとなります。(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)

《設定例》

| M-NETアドレス | 01 | 02 |
|-------------|----|----|
| SW11 (1の位) | | |
| SW12 (10の位) | | |

3. M-NET基板のSW1-8設定方法

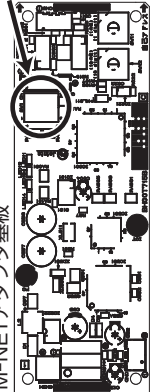
室内機に、MAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-8はONのままとしてください。集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内機に、MAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にSW1-8をOFFに設定してください。接続されている全ての集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知すると異常停止します。

| SW1-8 設定 | 機能 | 機能詳細 | 工場出荷時 | スイッチ 読み込み |
|----------|---|---|-------|-----------|
| ON | 室内機にMAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されている場合、スイッチをONにしてください。 | (機能) 室内機にMAUリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているか、設定します。ON:接続有り(工場出荷) OFF:接続無し (注意) スイッチがONの場合、M-NETアダプタとM-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知せず、M-NETアダプタ(スリム型)は運転を継続します。 | ON | 常時 |
| OFF | 室内機にMAUリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。 | 集中コントローラ ↓ M-NET ↓ 室内機 ↓ MAUリモコン | | |

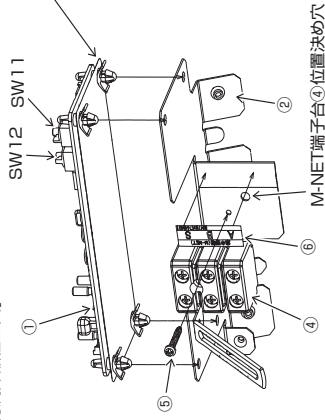
※SW1-3はONのままとしてください。

M-NETアダプタ基板



5. 作業手順

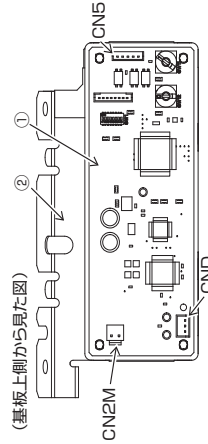
【付属部品組立図】



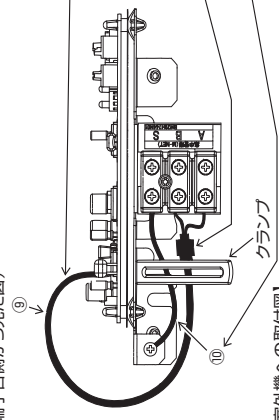
【付属部品組立手順】

- (1) 「2.M-NET基板のアドレス設定」(3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11、SW12)にアドレスを設定した後、M-NET基板取付板②に図の向きで取付けてください。
- (2) M-NET基板取付板②にM-NET端子台④を取付ネジ⑤にて取付けてください。
※M-NET端子台④には位置決め用の丸ボスがありますので、丸ボスをM-NET基板取付板②の位置決め穴にあわせてください。
- (3) M-NET端子台④の横に端子台用シール⑥を図の向きで貼付けてください。

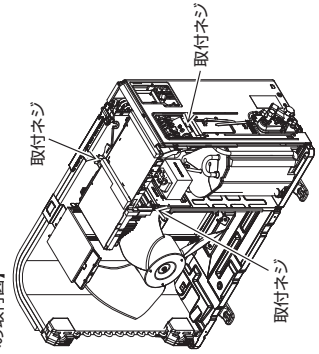
(基板上側から見た図)



(端子台側から見た図)



【室外機への取付図】



- (4) リード線⑦をM-NET基板①のCN5に接続してください。
 - (5) リード線⑧をM-NET基板①のCN④に接続してください。
 - (6) リード線⑨で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台④のA、B端子を接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。
 - (7) M-NET基板取付板②のクランプでリード線⑩を固定してください。
※リード線⑨の黒チューブ凸部がM-NET端子台④側になるように固定してください。
- (注1) 必要に応じてアース線・ネジ⑩でM-NET伝送線のシールドをM-NET基板取付板②に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

【室外機への取付手順】

- (8) 室外制御基板に接続されているすべての配線を取外してください。
- (9) 電気品の取付ネジ(矢印部3ヶ所)を取外し、電気品を上方向へ持ち上げて室外機から取外してください。

4

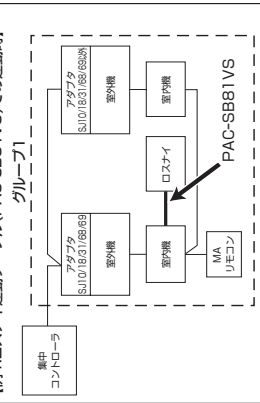
4. ロスナイ運動時の注意事項

ロスナイとスリムを運動して使用する場合、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31/68/69MA)と本形名以外(PAC-SH34MA等)のM-NETアダプタを同一グループにしないでください。
この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31/68/69MA)に交換してください。
・ロスナイ運動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA、SG68MA、SH08MA、SG40MA、SG98MA

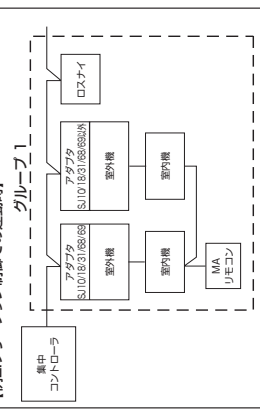
禁止

ロスナイ運動時に同一グループにできないシステム例
・下記のように、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31/68/69MA)と本形名以外(PAC-SH34MA)等のM-NETアダプタを同一グループにしないでください。

【例1:ロスナイ運動ケーブル(PAC-SB81VS)での運動時】



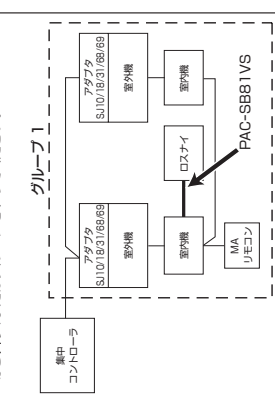
【例2:フリーラン制御での運動時】



利用可能なグループの設定

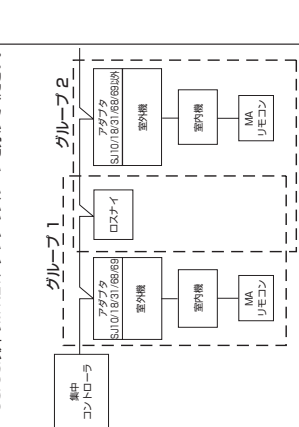
【例3:ロスナイ運動ケーブル(PAC-SB81VS)での運動時】

・例1の場合は、SJ10/18/31/68/69以外のM-NETアダプタをSJ10/18/31/68/69に交換、または集中系から外す、またはグループをゆめてください。



【例4:フリーラン制御での運動時】

・例2の場合は、SJ10/18/31/68/69とSJ10/18/31/68/69以外のM-NETアダプタのグループを分けてください。



3

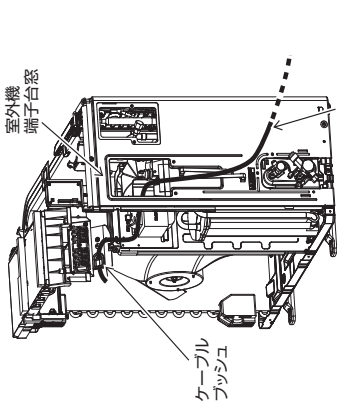
BT79G384H04

PAC-SJ69MA 別紙機種一覧表

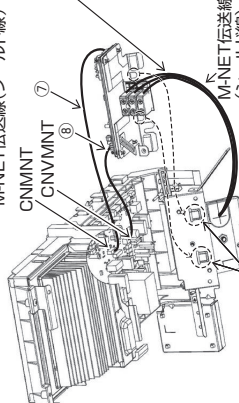
| グループ | サービス形名 | 作業要領 |
|----------------------|-----------------------|-----------|
| 【1】 | MPUZ-ERP40 ~ 63(S)KA2 | ⑤ ~ ⑥ ページ |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA3 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA4 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA5 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA6 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA7 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63(S)KA8 | |
| | PUZ-ERP40 ~ 63KA41 | |
| | PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA2 | |
| | PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4 | |
| | PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA3 | |
| | PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA4 | |
| | PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA5 | |
| | PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA6 | |
| | PUZ-ZRP40 ~ 63(S)KA7 | |
| | PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA | |
| | PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA2 | |
| | PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4 | |
| | PU-CRP40 ~ 63(S)KA5 | |
| PU-CRP40 ~ 63(S)KA6 | | |
| PU-CRP40 ~ 63(S)KA7 | | |
| PU-CRP40 ~ 63(S)KA8 | | |
| PU-CRMP40 ~ 63(S)KA2 | | |
| PU-CRMP40 ~ 63(S)KA4 | | |

6

(10) M-NET伝送線(シールド線)を室外機端子台窓および電気品端子台下のケーブルフックに通してください。



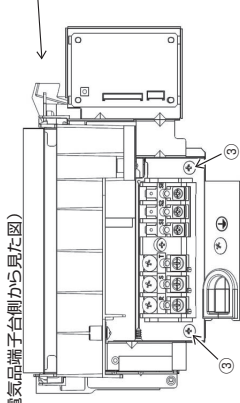
(11) (10)にて取り回したM-NET伝送線(シールド線)を(1)~(7)にて組立てた付属部品のM-NET端子台④に接続してください。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。



(12) (4)にてM-NET基板①のCN5に接続したリード線⑦を制御基板のCNMNT1に接続してください。

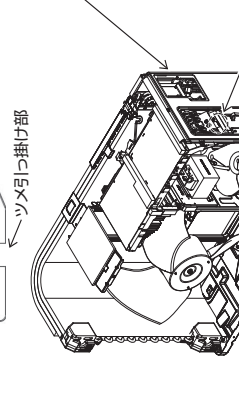
(13) (5)にてM-NET基板①のCNDIに接続したリード線⑧を制御基板のCNVMNT1に接続してください。

(14) M-NET基板取付板②のツメ(2ヶ所)を電気品端子台板金裏の引っ掛け部に取付けてください。



(15) (14)にて取付けたM-NET基板取付板②と電気品端子台板金を取付ネジ③(2ヶ所)で固定してください。

(16) (9)にて取外した取付ネジ(3ヶ所)を使用して、電気品を室外機に取付けてください。
※電気品を室外機に取付ける時、電気品端子台板金の引っ掛け部と室外機板金ツメを確実に取付けてください。



(17) (8)にて取外したすべての配線を室外制御基板にもとどおりに接続してください。

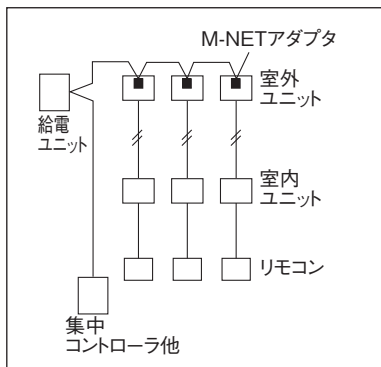
(注2) パネル類を取付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。

5

M-NET 接続用アダプタ

● PAC-SJ68MA

使用目的 / 用途



●“M-NET 接続用アダプタ”は、ビル内に分散した空調関連機器をネットワークし、より効率的にきめ細かく監視・制御する『MELANS』とスリムエアコン(A制御)を接続する際に使用します。

●『MELANS』による集中制御で空調管理の効率化ができます。

注意

・M-NET 伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1カ所に限りアースを接続してください。

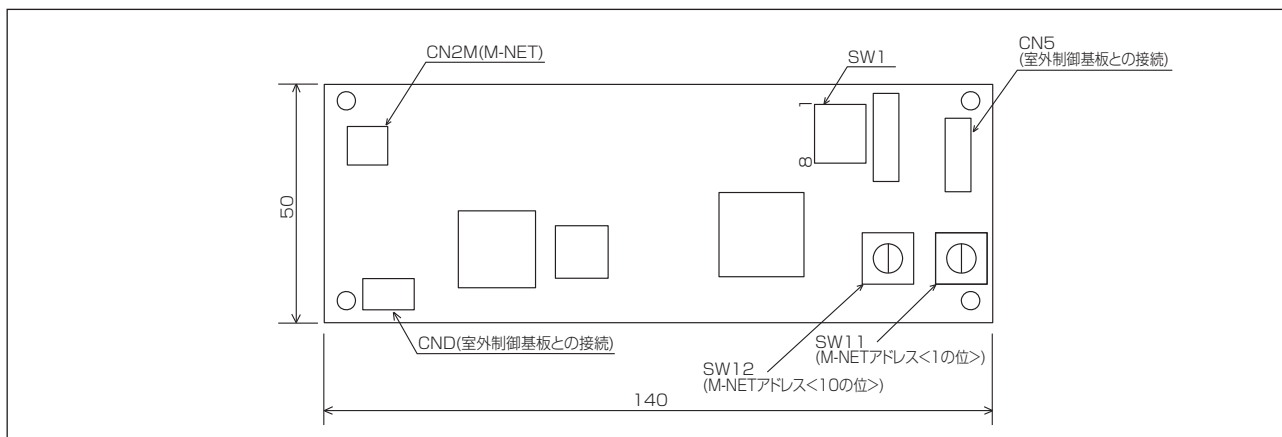
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4, PUZ-ZRMP112 ~ 160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERMP80(S)HA4, PUZ-ERMP112 ~ 160LA4, PUZ-ERMP112・140LA5, PUZ-ERP224・280KA10
- PU-CRMP80(S)HA4, PU-CRMP112 ~ 160LA4
- PUZ-HRMP80 ~ 160KA

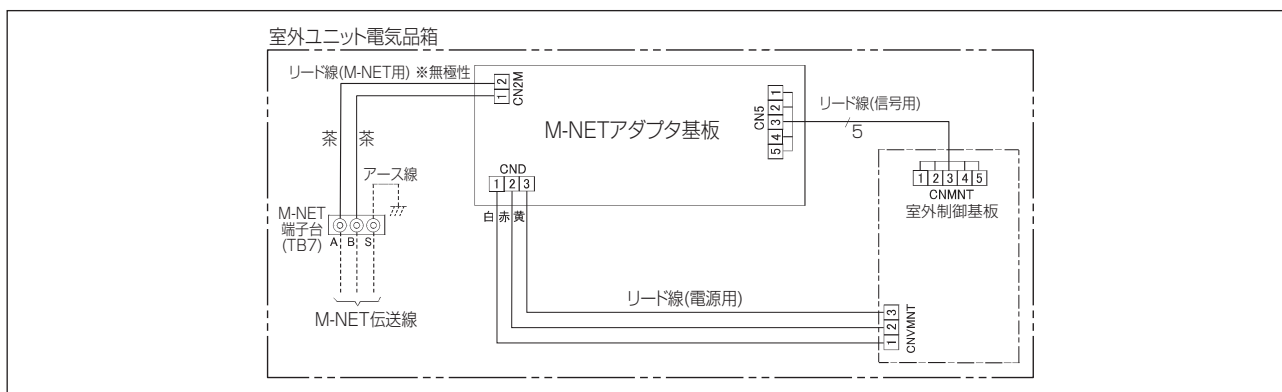
仕様

| | |
|--------|--|
| 形名 | PAC-SJ68MA |
| 電源 | 室外制御基板より給電 |
| 消費電力 | 0.6W (at 5Vdc, 12Vdc) |
| 使用環境条件 | 室外ユニット電気品箱内に取り付 (温度 -20 ~ 60℃、湿度 90%以下 (結露なきこと)) |
| 主要構成部品 | M-NET アダプタ基板 (絶縁シート、サポート付) × 1、M-NET 端子盤 (TB7) × 1、アース線 × 1 リード線 3種 (信号用・電源用・M-NET 用) |
| 質量 | 0.3kg |

外形図 (単位: mm)



電気配線図



M-NET接続用アダプタ据付工事説明書

PAC-SJ68MA

安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この安全のために必ず守ること」をよくお読みください。確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性が あるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家具・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付工事が完了後、試運転を行い異常がないことを確認すること、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明してください。
- また、この据付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方に依頼していただくように依頼してください。

警告

改造は絶対に行わない。
●修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。改造したり修理に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移動・再据付けはしない。
●据付けに不備があること漏れや感電、火災等の原因になります。
●お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。

据付けは、販売店または専門業者に依頼すること。
●お客様自身で据付工事をなされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。
●据付けに不備があること、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電気工事をする前に

- 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
- 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。
- 漏電や発熱、火災の原因になります。

注意

- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
- アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 電源配線は、配線力が弱かからないように配線工事をする。
- 断線したり、発熱、火災の原因になります。

注意

- ハネルやガードを外した状態で運転をしない。
- 機器の回転物、高温部、高温部に触れない。巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
- エアフィルターを外したまま運転をしない。
- 内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
- 必ず5分以上待つてください。
- 水漏れや故障の原因になります。

試運転をする前に

- 濡れた手でスイッチを操作しない。
- 感電の原因になります。
- 運転中の冷媒配管に素手で触れない。
- 運転中の冷媒配管は冷たい状態により低温と高温になり、凍傷ややけどの原因になります。
- 運転を開始する12時間以上前に電源を入れる。
- 電源を入れてすぐ運転を開始すると、故障の原因になります。
- シーズン中は電源を切らないでください。

1

取付説明書

M-NET 接続用アダプタ : PAC-SJ68MA

(本マニュアル用に変更・修正しています)

このM-NET接続用アダプタは、別紙機種一覧表の機種に対応しています。取付け方法は機種により異なりますので、別紙機種一覧表を確認の上作業を行ってください。

対象機種は別紙 機種一覧表による

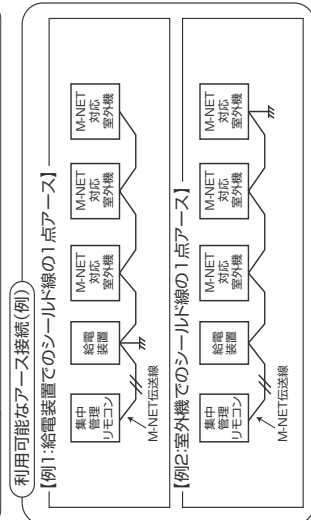
M-NET伝送線の配線について

注意

- M-NET伝送線のシールド線は、接続する機器のいずれか1ヶ所に限りアース線を接続してください。
- ノイズに弱くなり通信異常になることがあります。室外機デジタル表示LEDにエラー集中管理リモコンに10403エラー

禁止

下記のようなシールド線の多点アースは行わないでください。



利用可能なアース接続(例)

【例】給電装置でのシールド線の1点アース

【例】室外機でのシールド線の1点アース

シールド線のアースが2点以上ある場合、アースとシールド線間に回路が形成され、アース間のインピーダンス差により電位差が生じ、シールド線にノイズが侵入することがあります。1点のみでアースした場合、回路が形成されないためにノイズが侵入しません。

ノイズによる通信異常を防止するためにも、1点アースを守るようにお願いいたします。

1. 部品一覧

| No. | 品名 | 形状 | 数量 |
|-----|----------------------------------|----|----|
| ① | M-NET基板 (絶縁シート、サポート付) | | 1 |
| ② | リード線 信号用(5線) 長さ:280mm | | 1 |
| ③ | リード線 電源用(3線) 長さ:300mm | | 1 |
| ④ | 端子台用シールド線 (絶縁シート、サポート付) 長さ:400mm | | 1 |
| ⑤ | 結束バンド | | 2 |
| ⑥ | M-NET端子台 | | 1 |
| ⑦ | 取付ネジ (M3×20) | | 1 |
| ⑧ | アース線-ネジ(M4×8) | | 各1 |
| ⑨ | リード線 M-NET用(2線) 長さ:400mm | | 1 |

＜使用部品の選定について＞

- M-NET基板①および袋Aはすべてのグループ共通で使用する部品です。
- 袋B、袋Cはどちらから片方を使用しますので別紙機種一覧表にてグループを選定願います。

2

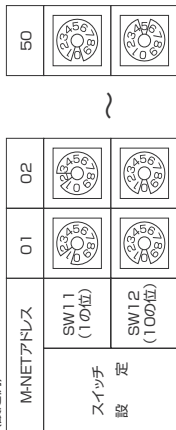
2. M-NET基板のアドレス設定

M-NETアドレス設定を、M-NET基板のロータリースイッチ SW11(1の位)、SW12(10の位)にて行ってください。
M-NETアドレスは、01～50の範囲で設定してください。
※工場出荷時は全て0(M-NETアドレス=00)となっております。

【お願い】
アドレスの設定が、M-NET基板を電気品箱に取付けた状態では作業しにくい場合、事前にM-NET基板へアドレスを設定したのち、電気品箱に取付けてください。

【注意】

M-NETアドレスは必ず01～50の範囲で設定してください。
※アドレスを重複して設定した場合はエラーとなります。
また01～50以外に設定した場合もエラーとなります。
(例えばM-NET基板に「アドレス=51」を誤って設定し、同一系統のM-NETシステム内に「アドレス=51」の室外ユニットが接続されている場合には、アドレスが重複することからエラーとなります)



3. M-NET基板のSW1-8設定方法

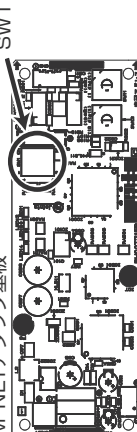
室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されているシステムの場合、SW1-8はONのままとしてください。
集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知しても、運転を継続します。

室内機に、MAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていないシステムの場合、現地にSW1-8をOFFに設定してください。
接続されている全ての集中コントローラダウン時、集中コントローラとの通信異常を検知すると異常停止します。

| SW1-8設定 | 機能 | 機能詳細 | 工場出荷時 | スイッチ読み込み |
|--|--|---|-------|----------|
| ON SW1-8 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1 | 室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されている場合、スイッチをONにしてください。 | 〈機能〉 室内機にMAリモコンまたはワイヤレスリモコンが接続されているか、設定します。 ON:接続有り(工場出荷) OFF:接続無し 〈注意〉 スイッチがONの場合、M-NETアダプタとM-NET系リモコン(集中コントローラ)との通信異常を検知せず、M-NETアダプタ(システム室外)は運転を継続します。 | ON | 常時 |
| OFF SW1-8 1 2 3 4 5 6 7 8 SW1 | 室内機にMAリモコンやワイヤレスリモコンが接続されていない場合、スイッチをOFFにしてください。 | | | |

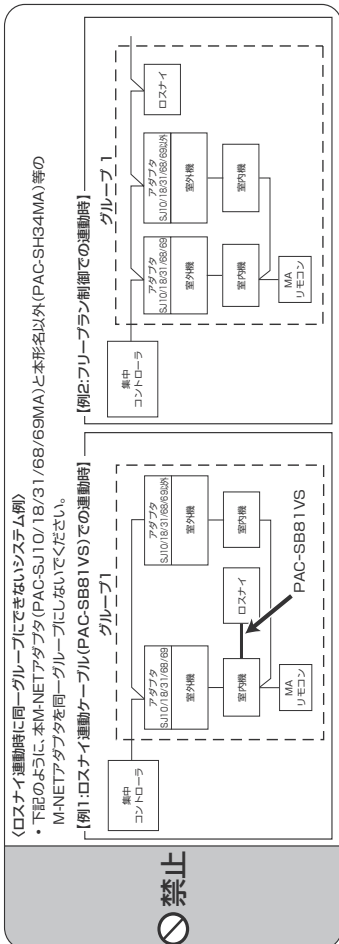
※SW1-3はONのままとしてください。

M-NETアダプタ基板

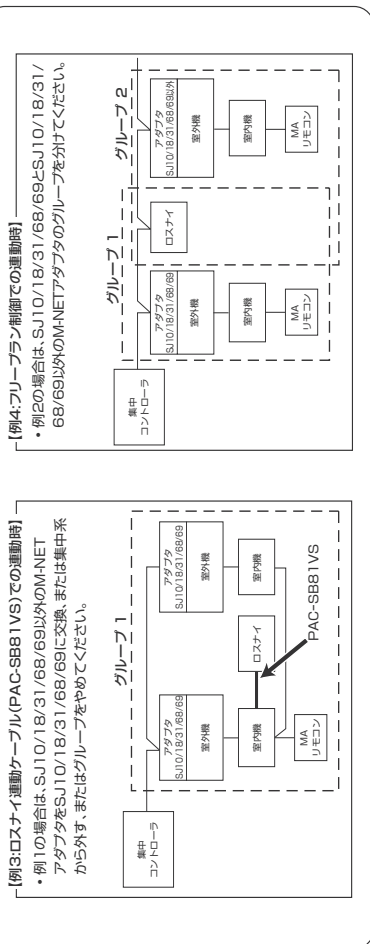


4. ロスナイ運動時の注意事項

ロスナイとスリムを連動して使用する場合、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31/68/69MA)と本形名以外(PAC-SH34MA等)のM-NETアダプタを同一グループにしないください。
この場合、グループを分けるか、本M-NETアダプタ(PAC-SJ10/18/31/68/69MA)に交換してください。
・ロスナイ運動時に同一グループにできないアダプタ PAC-SH34MA、SG68MA、SH08MA、SG40MA、SG98MA



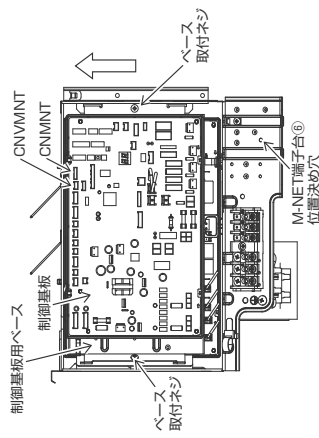
利用可能なグループの設定



5. 作業手順

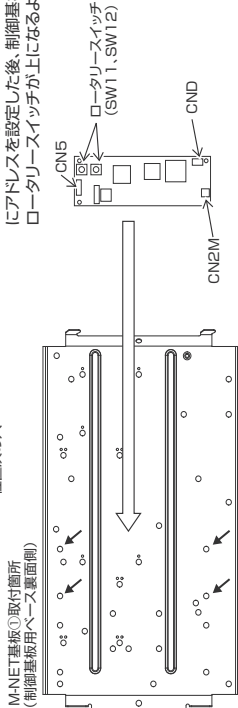
[1] グループ[1]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※袋C(グループ[3])⑩~⑬の部品は使用しません。

(1) 電気品箱の制御基板用ベース取付ネジ(2ヶ所)を取出し矢印の方向にスライドさせながら電気品箱から取外してください。



(2) 制御基板用ベース裏面削(表面には制御基板が取付)にあるM-NET基板①取付穴4ヶ所を確認してください。(矢印4ヶ所)

(3) [2.M-NET基板のアドレス設定](3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11, SW12)にアドレスを設定した後、制御基板用ベース裏面に、ロータリースイッチが上になるよう取付けてください。



(4) M-NET端子台⑥を取付ネジ⑦で取付けてください。
※M-NET端子台⑥には位置決め穴の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(5) M-NET端子台⑥の下に端子台用シール④を貼付けてください。

(6) リード線③で、M-NET基板①のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

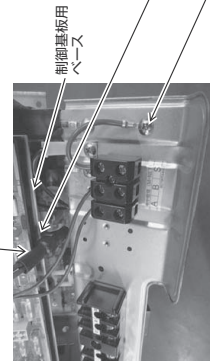
(7) リード線③で、M-NET基板①のCN2Mと、室外制御基板のCNVMNTを接続してください。

(8) リード線⑤で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台⑥のA, B端子と接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。

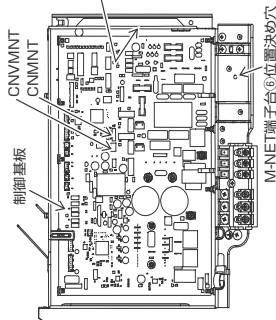
(9) (7)(8)で接続したリード線を結束バンド⑧で束ねてください。
※リード線⑤の黒キューブ部が制御基板用ベースの上側になる位置で束ねてください。(写真参照)

(注1) 必要に応じてアース線、ネジ⑥でM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

(注2) パネル類を取付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。



[2] グループ[2]の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※袋C(グループ[3])⑩~⑬の部品は使用しません。



(1) [2.M-NET基板のアドレス設定](3ページ)を参考に、M-NET基板①のロータリースイッチ(SW11, SW12)にアドレスを設定した後、電気品箱内の右側に、ロータリースイッチ(SW11, SW12)が下になるよう取付けてください。(矢印部4ヶ所)

(2) M-NET端子台⑥を取付ネジ⑦で取付けてください。
※M-NET端子台⑥には位置決め穴の丸ボスがありますので、丸ボスを板金の位置決め穴にあわせてください。

(3) M-NET端子台⑥の下に端子台用シール④を貼付けてください。

(4) リード線②で、M-NET基板①のCN5と、室外制御基板のCNMNTを接続してください。

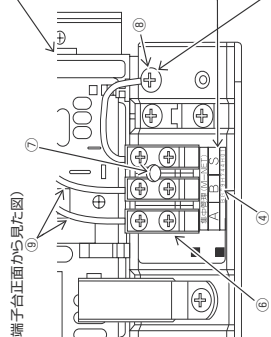
(5) リード線③で、M-NET基板①のCN2Mと、室外制御基板のCNVMNTと接続してください。

(6) リード線⑤で、M-NET基板①のCN2Mと、M-NET端子台⑥のA, B端子を接続してください。極性はありません。
※端子台のネジのゆるみがないよう確実に接続してください。

(7) (4)(5)(6)で接続したリード線を結束バンド⑧で束ねてください。

(注1) 必要に応じてアース線、ネジ⑥でM-NET伝送線のシールドをユニット本体に接続してください。
※「M-NET伝送線の配線について」(2ページ)参照

(注2) パネル類を取付けるとき、リード線を挟み込まないよう十分注意してください。



6

5

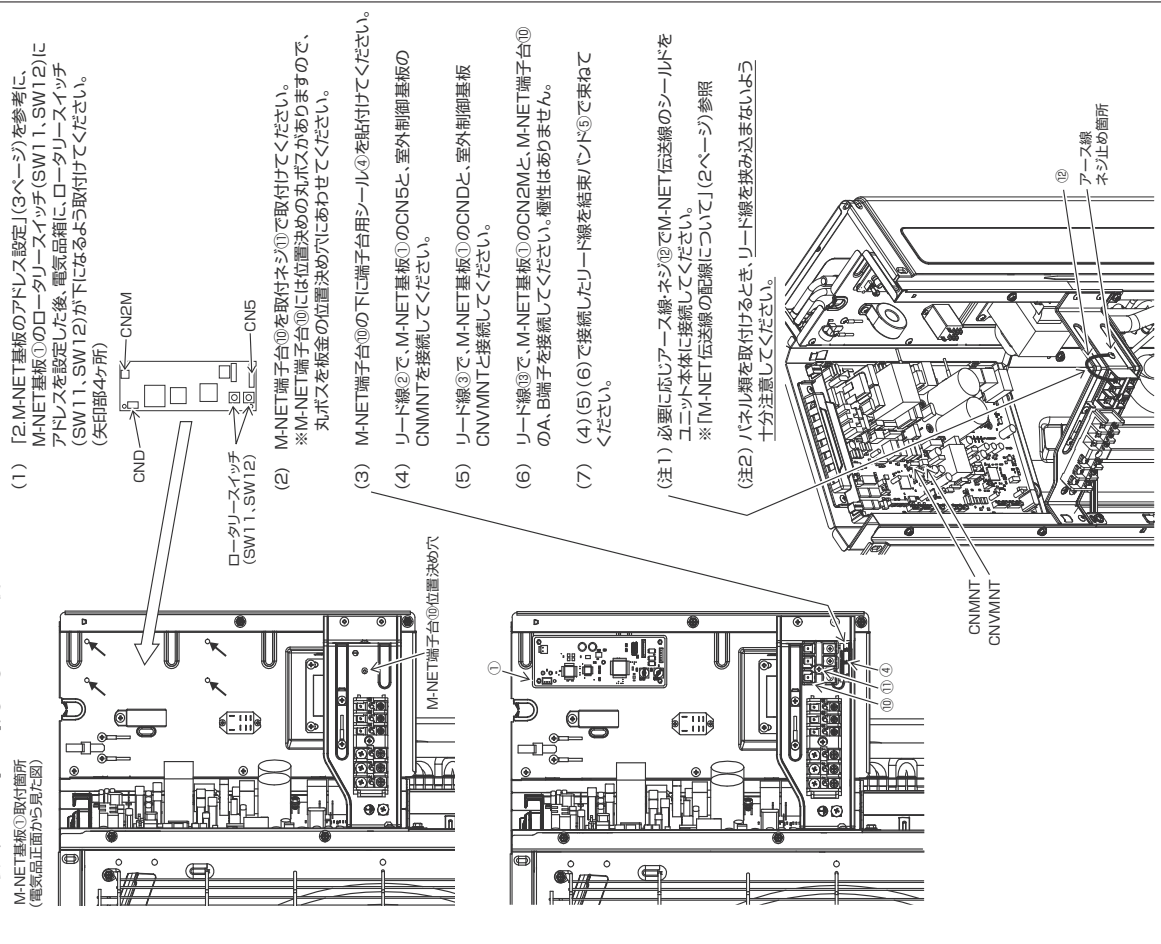
BT79G384H03

PAC-SJ68MA
別紙機種一覧表

| グループ | サービス形名 | 作業 要領 |
|------|---|----------|
| [1] | MPUZ-RP63 ~ 160(S)HA2 MPUZ-WRP63 ~ 160(S)HA MPUZ-WRP63 ~ 160(S)HA3 MPUZ-WRP63 ~ 280HA4 MPUZ-WRP63 ~ 280(S)HA5 MPUZ-WRP12HA4 MPUZ-WRP12HA4A MPUZ-WRP80 ~ 224(S)HA5 MPUZ-WRP112 ~ 160HA5A MPUZ-WRP160HA5 MPUZ-WRP80 ~ 280(S)HA6 MPUZ-WRP80(S)HA7 MPUZ-WRP80(S)HA8 MPUZ-WRP80(S)HA9 MPUZ-WRP80(S)HA10 MPUZ-WRP80(S)HA11 MPUZ-WRP80(S)HA12 MPUZ-WRP80(S)HA13 MPUZ-WRP80(S)HA14 MPUZ-WRP80(S)HA1 MPUZ-ERP224 ~ 280KA MPUZ-ERP224 ~ 280KA2 MPUZ-ERP224 ~ 280KA3 MPUZ-ERP224 ~ 280KA4 MPUZ-ERP224 ~ 280KA5 MPUZ-ERP224 ~ 280KA6 MPUZ-ERP224 ~ 280KA7 MPUZ-ERP224 ~ 280KA8 MPUZ-ERP224 ~ 280KA9 MPUZ-ERP224 ~ 280KA10 MPUZ-ERP224 ~ 280KA11 MPUZ-ERP224 ~ 280KA12 MPUZ-ERP224 ~ 280KA13 MPUZ-ERP224 ~ 280KA14 MPUZ-ERP224 ~ 280KA15 MPUZ-ERP224 ~ 280KA16 MPUZ-ERP224 ~ 280KA17 MPUZ-ERP224 ~ 280KA18 MPUZ-ERP224 ~ 280KA19 MPUZ-ERP224 ~ 280KA20 MPUZ-ERP224 ~ 280KA21 MPUZ-ERP224 ~ 280KA22 MPUZ-ERP224 ~ 280KA23 MPUZ-ERP224 ~ 280KA24 MPUZ-ERP224 ~ 280KA25 MPUZ-ERP224 ~ 280KA26 MPUZ-ERP224 ~ 280KA27 MPUZ-ERP224 ~ 280KA28 MPUZ-ERP224 ~ 280KA29 MPUZ-ERP224 ~ 280KA30 MPUZ-ERP224 ~ 280KA31 MPUZ-ERP224 ~ 280KA32 MPUZ-ERP224 ~ 280KA33 MPUZ-ERP224 ~ 280KA34 MPUZ-ERP224 ~ 280KA35 MPUZ-ERP224 ~ 280KA36 MPUZ-ERP224 ~ 280KA37 MPUZ-ERP224 ~ 280KA38 MPUZ-ERP224 ~ 280KA39 MPUZ-ERP224 ~ 280KA40 MPUZ-ERP224 ~ 280KA41 MPUZ-ERP224 ~ 280KA42 MPUZ-ERP224 ~ 280KA43 MPUZ-ERP224 ~ 280KA44 MPUZ-ERP224 ~ 280KA45 MPUZ-ERP224 ~ 280KA46 MPUZ-ERP224 ~ 280KA47 MPUZ-ERP224 ~ 280KA48 MPUZ-ERP224 ~ 280KA49 MPUZ-ERP224 ~ 280KA50 MPUZ-ERP224 ~ 280KA51 MPUZ-ERP224 ~ 280KA52 MPUZ-ERP224 ~ 280KA53 MPUZ-ERP224 ~ 280KA54 MPUZ-ERP224 ~ 280KA55 MPUZ-ERP224 ~ 280KA56 MPUZ-ERP224 ~ 280KA57 MPUZ-ERP224 ~ 280KA58 MPUZ-ERP224 ~ 280KA59 MPUZ-ERP224 ~ 280KA60 MPUZ-ERP224 ~ 280KA61 MPUZ-ERP224 ~ 280KA62 MPUZ-ERP224 ~ 280KA63 MPUZ-ERP224 ~ 280KA64 MPUZ-ERP224 ~ 280KA65 MPUZ-ERP224 ~ 280KA66 MPUZ-ERP224 ~ 280KA67 MPUZ-ERP224 ~ 280KA68 MPUZ-ERP224 ~ 280KA69 MPUZ-ERP224 ~ 280KA70 MPUZ-ERP224 ~ 280KA71 MPUZ-ERP224 ~ 280KA72 MPUZ-ERP224 ~ 280KA73 MPUZ-ERP224 ~ 280KA74 MPUZ-ERP224 ~ 280KA75 MPUZ-ERP224 ~ 280KA76 MPUZ-ERP224 ~ 280KA77 MPUZ-ERP224 ~ 280KA78 MPUZ-ERP224 ~ 280KA79 MPUZ-ERP224 ~ 280KA80 MPUZ-ERP224 ~ 280KA81 MPUZ-ERP224 ~ 280KA82 MPUZ-ERP224 ~ 280KA83 MPUZ-ERP224 ~ 280KA84 MPUZ-ERP224 ~ 280KA85 MPUZ-ERP224 ~ 280KA86 MPUZ-ERP224 ~ 280KA87 MPUZ-ERP224 ~ 280KA88 MPUZ-ERP224 ~ 280KA89 MPUZ-ERP224 ~ 280KA90 MPUZ-ERP224 ~ 280KA91 MPUZ-ERP224 ~ 280KA92 MPUZ-ERP224 ~ 280KA93 MPUZ-ERP224 ~ 280KA94 MPUZ-ERP224 ~ 280KA95 MPUZ-ERP224 ~ 280KA96 MPUZ-ERP224 ~ 280KA97 MPUZ-ERP224 ~ 280KA98 MPUZ-ERP224 ~ 280KA99 MPUZ-ERP224 ~ 280KA100 | [5]ページ |
| [2] | MPUZ-ERP112HA7 MPUZ-ERP112HA8 MPUZ-ERP112HA9 MPUZ-ERP112HA10 MPUZ-ERP112HA11 MPUZ-ERP140 ~ 160KA MPUZ-ERP140 ~ 160KA2 MPUZ-ERP140 ~ 160KA3 MPUZ-ERP140 ~ 160KA4 MPUZ-ERP140 ~ 160KA5 MPUZ-ERP80HA12 MPUZ-ERP80HA13 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA3 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA4 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA5 MPUZ-ZRP80HA12 MPUZ-ZRP80HA13 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA6 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA7 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA8 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA9 MPUZ-ZRP112 ~ 160KA10 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA7 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA8 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA9 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA10 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA11 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA12 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA13 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA14 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA15 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA16 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA17 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA18 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA19 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA20 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA21 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA22 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA23 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA24 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA25 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA26 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA27 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA28 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA29 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA30 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA31 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA32 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA33 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA34 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA35 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA36 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA37 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA38 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA39 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA40 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA41 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA42 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA43 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA44 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA45 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA46 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA47 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA48 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA49 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA50 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA51 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA52 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA53 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA54 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA55 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA56 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA57 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA58 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA59 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA60 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA61 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA62 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA63 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA64 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA65 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA66 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA67 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA68 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA69 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA70 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA71 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA72 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA73 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA74 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA75 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA76 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA77 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA78 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA79 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA80 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA81 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA82 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA83 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA84 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA85 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA86 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA87 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA88 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA89 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA90 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA91 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA92 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA93 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA94 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA95 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA96 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA97 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA98 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA99 MPUZ-ZRP112 ~ 160HA100 | [6]ページ |
| [3] | MPUZ-ERP112LA3 MPUZ-ERP112LA4 MPUZ-ERP112LA5 MPUZ-ERP112LA6 MPUZ-ERP112LA7 MPUZ-ERP112LA8 MPUZ-ERP112LA9 MPUZ-ERP112LA10 MPUZ-ERP112LA11 MPUZ-ERP112LA12 MPUZ-ERP112LA13 MPUZ-ERP112LA14 MPUZ-ERP112LA15 MPUZ-ERP112LA16 MPUZ-ERP112LA17 MPUZ-ERP112LA18 MPUZ-ERP112LA19 MPUZ-ERP112LA20 MPUZ-ERP112LA21 MPUZ-ERP112LA22 MPUZ-ERP112LA23 MPUZ-ERP112LA24 MPUZ-ERP112LA25 MPUZ-ERP112LA26 MPUZ-ERP112LA27 MPUZ-ERP112LA28 MPUZ-ERP112LA29 MPUZ-ERP112LA30 MPUZ-ERP112LA31 MPUZ-ERP112LA32 MPUZ-ERP112LA33 MPUZ-ERP112LA34 MPUZ-ERP112LA35 MPUZ-ERP112LA36 MPUZ-ERP112LA37 MPUZ-ERP112LA38 MPUZ-ERP112LA39 MPUZ-ERP112LA40 MPUZ-ERP112LA41 MPUZ-ERP112LA42 MPUZ-ERP112LA43 MPUZ-ERP112LA44 MPUZ-ERP112LA45 MPUZ-ERP112LA46 MPUZ-ERP112LA47 MPUZ-ERP112LA48 MPUZ-ERP112LA49 MPUZ-ERP112LA50 MPUZ-ERP112LA51 MPUZ-ERP112LA52 MPUZ-ERP112LA53 MPUZ-ERP112LA54 MPUZ-ERP112LA55 MPUZ-ERP112LA56 MPUZ-ERP112LA57 MPUZ-ERP112LA58 MPUZ-ERP112LA59 MPUZ-ERP112LA60 MPUZ-ERP112LA61 MPUZ-ERP112LA62 MPUZ-ERP112LA63 MPUZ-ERP112LA64 MPUZ-ERP112LA65 MPUZ-ERP112LA66 MPUZ-ERP112LA67 MPUZ-ERP112LA68 MPUZ-ERP112LA69 MPUZ-ERP112LA70 MPUZ-ERP112LA71 MPUZ-ERP112LA72 MPUZ-ERP112LA73 MPUZ-ERP112LA74 MPUZ-ERP112LA75 MPUZ-ERP112LA76 MPUZ-ERP112LA77 MPUZ-ERP112LA78 MPUZ-ERP112LA79 MPUZ-ERP112LA80 MPUZ-ERP112LA81 MPUZ-ERP112LA82 MPUZ-ERP112LA83 MPUZ-ERP112LA84 MPUZ-ERP112LA85 MPUZ-ERP112LA86 MPUZ-ERP112LA87 MPUZ-ERP112LA88 MPUZ-ERP112LA89 MPUZ-ERP112LA90 MPUZ-ERP112LA91 MPUZ-ERP112LA92 MPUZ-ERP112LA93 MPUZ-ERP112LA94 MPUZ-ERP112LA95 MPUZ-ERP112LA96 MPUZ-ERP112LA97 MPUZ-ERP112LA98 MPUZ-ERP112LA99 MPUZ-ERP112LA100 | [7]ページ |

8

[3] グループ(3)の場合(別紙の機種一覧表にて選定願います)
※袋B(グループ[1~2])⑥~⑧の部品は使用しません。
M-NET基板①取付箇所
(電気品正面から見た図)

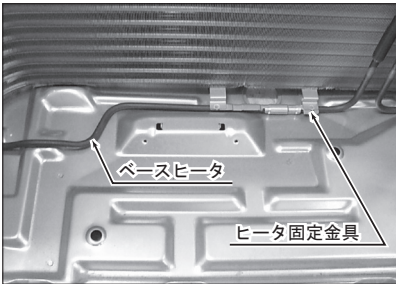


7

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ11BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内側下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトとの併設をおすすめします。

注意

- ・ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

対象ユニット

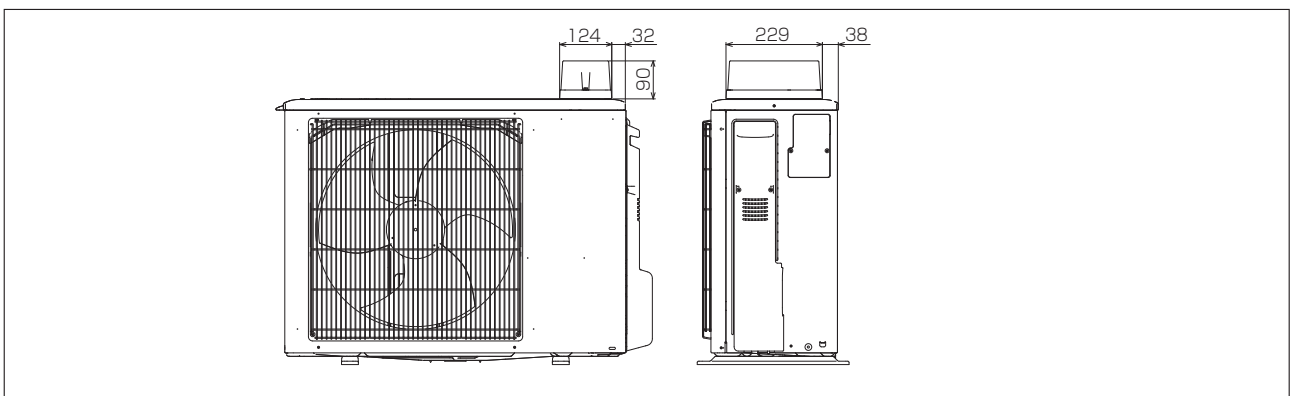
- PUZ-ZRMP40 ~ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ~ 63(S)KA4

仕様

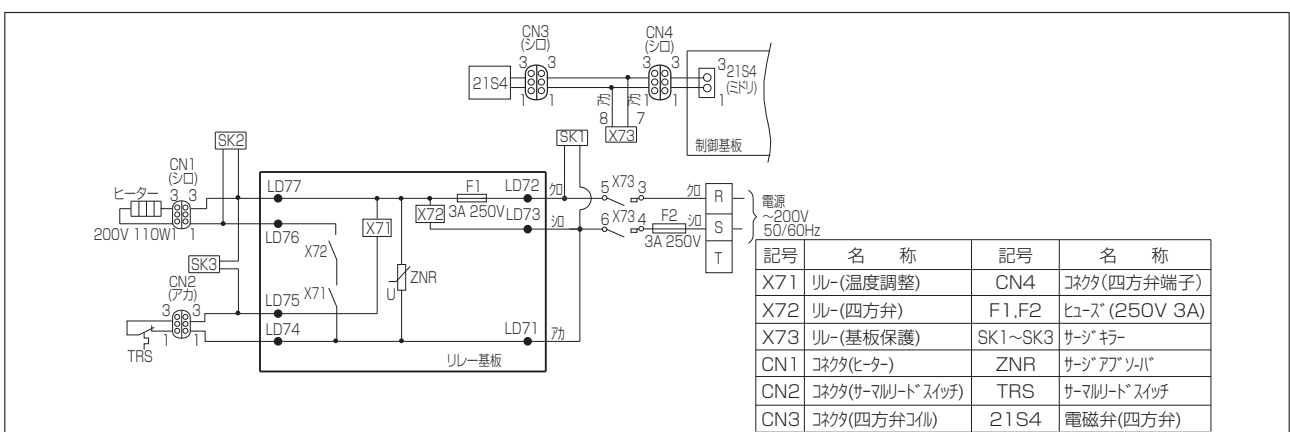
| | | | |
|----------|--------------------------|------------------|--|
| 形名 | PAC-SJ11BH | | |
| 凍結防止ヒーター | 電源 | 単相 200V 50/60Hz | |
| | 容量 | 110W | |
| | 保護ヒューズ | 3A 250V | |
| 制御部カバー | 外形寸法 | 227 × 124 × 90mm | |
| | 外装 | ホワイト | |
| | 材質 | 耐熱性 ABS | |
| 質量 | 3.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む) | | |

注) 本品を取付ける際は、付属のトップパネルも交換してください。

取付図 (単位: mm)



電気配線図



BH79D185H02



三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 取付説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根水の抑制対策およびドレン抜穴の水結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

| | |
|-----------------------|--------------------|
| 別名形名 | 適用機種 |
| PAC-SJ11BH(200V,110W) | 室外ユニット用インバーターKシリーズ |

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 配線は、所定の電線をjして確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。
- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの漏れるおそれがある場所には取付けない。
- 万一ガスが漏れてユニットの周囲にたまる、爆発の原因になることがあります。
- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 部品に不備があると、感電・火災・ユニット落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 配線は、所定の電線をjして確実に接続し、端子接続部に電線の外力が伝わらないように確実に固定する。
- 接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

取付説明書

凍結防止ヒーター：PAC-SJ11BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

| | | | | | | |
|----|----------|-----------|---------|-----------|----------------|--------|
| 品名 | ①ベースヒーター | ②ヒーター固定金具 | ③バンド | ④外気温度センサー | ⑤ベースヒーター前部部品本体 | ⑥ファスナー |
| 形状 | 1set | 1個 | 2本 | 1set | 1set | 2本 |
| 品名 | ⑦配線名板 | ⑧フィルム | ⑨アルミテープ | | | |
| 形状 | 各1枚 | 1枚 | 3枚 | | | |

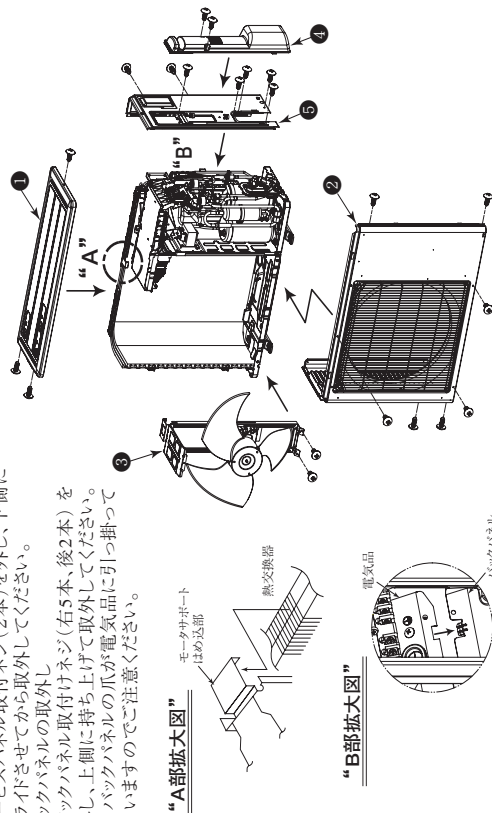
2. 取付準備

- ※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください。
- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を十分に行ってください。
- 熱交換器本体のフィン部に触れながら作業をする場合がありますので、あらかじめ軍手等の保護具を着用してください。

3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込み準備を行います。

1. トップパネルの取外し
トップパネル取付ネジ(左2本、右1本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
2. フロントパネルの取外し
フロントパネル取付ネジ(前3本、右2本、左2本)を外し、前側に引き出し取外してください。
3. モーターサポートの取外し
モーターサポート取付ネジ2本を外し、上側に持ち上げ熱交換器上部とのはめ合を外して前側に引出して取外してください。取外したモーターサポートには、モーターリード線が接続されているので引張りがかからない状態でモーターサポートを横置きしてから次の作業を行ってください。
4. サービスマネルの取外し
サービスマネル取付ネジ(2本)を外し、下側にスライドさせてから取外してください。
5. バックパネルの取外し
バックパネル取付ネジ(右5本、後2本)を外し、上側に持ち上げて取外してください。
※バックパネルの爪が電気品に引っ掛かっていますのでご注意ください。

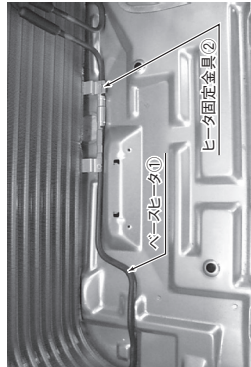


4. ベースヒーターの取付け

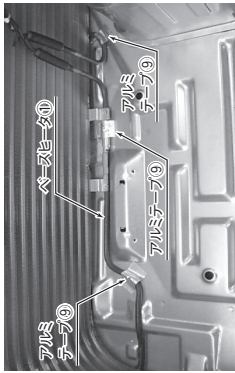
- 熱交換器本体を持ち上げながらベースの溝に沿ってベースヒーター①を下図のように位置決めし、仮置きしてください。



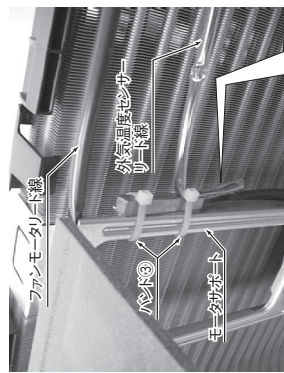
- 再び熱交換器を持ち上げ、ヒータ固定金具②の凹部を、ベースのドレン穴近傍の凸部に合わせ、下図位置に仮固定し、熱交換器の下敷となるように位置決めをしてください。



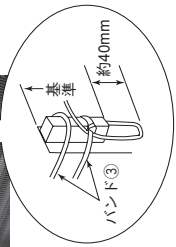
- 左図のように、ベースヒーター①を付属のアルミテープ④で3ヶ所所固定してください。



5. 外気温度センサーの取付け

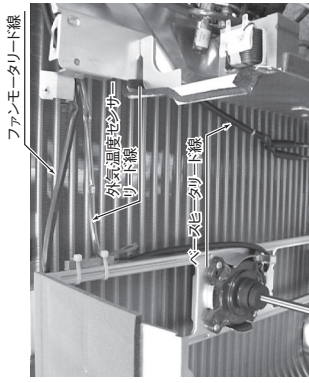


- 外気温度センサー④の感知部に貼付けの両面テープ離れ紙をはがし、モーターサポートのフランジ上面を基準に、リード線を下方に向け貼り付けてください。
- 外気温度センサーのリード線を、約40mmの位置でU曲げし、上下2カ所をバンド③で固定します。下側のバンドに外気温度センサーの感知部、外気温度センサーのリード線、ファンモーターのリード線を固定し、上側は外気温度センサーの感知部、ファンモーターリード線を固定します。両、ファンモーターリード線が外気温度センサー④の感知部に触れると正確な作動が出来なくなりますので、図の様にリード線をモーターサポート裏面に沿って固定してください。



6. 各リード線の固定

- 下図のように外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線をファスナー⑥で束ねた後、Uカット部に各リード線を通し、クランプを通して既設のリード線と一緒に固定します。



7. 配線名板の貼付け

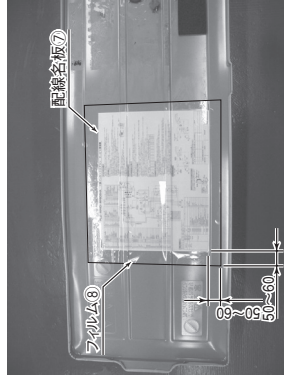
ベースヒーター制御部本体⑤の裏面に配線名板⑦を貼付けます。尚、配線名板⑦は取外したトップパネル裏面に貼付けてある名板と同一品(同一形名品)を必ず選んでください。

※配線名板⑦上にフィルム⑧を貼付けの際は、その端部にしわが発生しない様、丁寧に貼付けてください。しわ等が発生しますと、その隙間から水が入り込み配線名板⑦、フィルム⑧がはがれやすくなります。

- 配線名板⑦は下図仕様(基準線、寸法値)にしたがい貼付けてください。



- 配線名板⑦を貼付けた後フィルム⑧を重ね貼りします。配線名板⑦の外形各辺50~60位の間隔を保つようにフィルム⑧を貼付けてください。



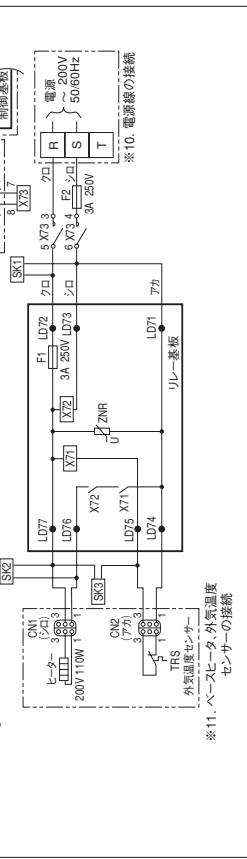
8. ベースヒーター制御部のリード線



- 図はベースヒーター制御部本体⑤を室外機本体に仮置きした状態を示します。各リード線については次の項に従い誤りのないよう接続してください。

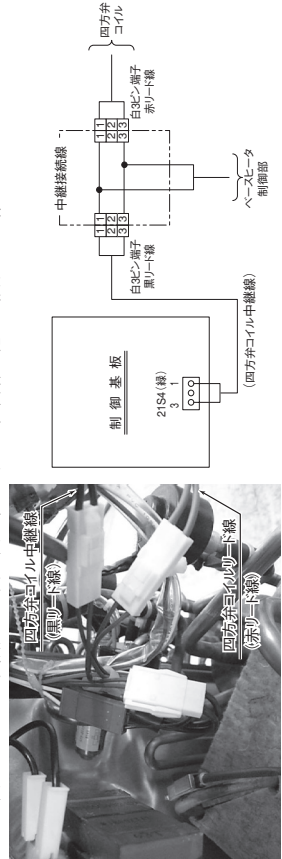
☆PAC-SJ11BH 電気配線図

右配線図を参考に9～11の作業（リード線接続作業）を行ってください。

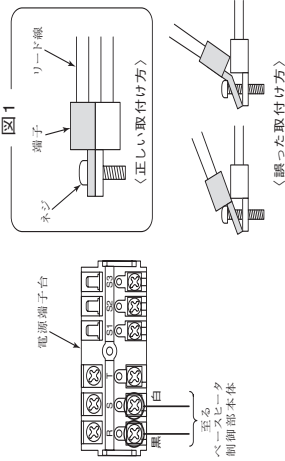


9. 中継接続線の接続

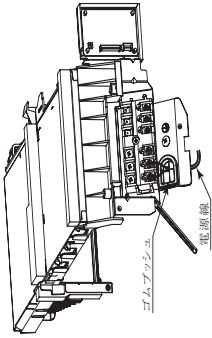
- 次の手順で作業を行ってください。
 - 四方弁コイルと四方弁コイル中継線の白コネクタを外してください。尚、四方弁コイルは白の3ピン端子に赤のリード線、四方弁コイル中継線は白の3ピン端子に黒のリード線が接続されていますので誤りのないように注意願います。
 - 四方弁コイル、四方弁コイル中継線、ベースヒーター制御部からのリード線をそれぞれ下記にしたがい接続してください。



10. 電源線の接続



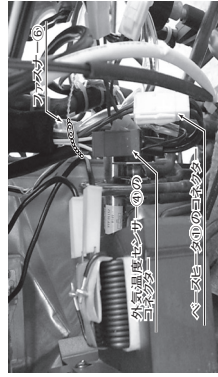
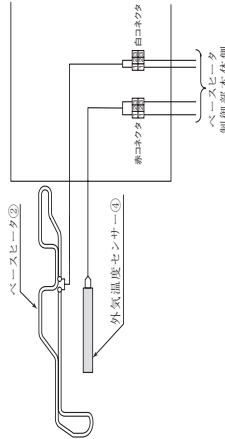
- ベースヒーター制御部リード線からの電源線（黒色、白色）をそれぞれ室外ユニット電源端子台R、S相に現地配線の端子と共締めしてください。
- ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。（図は三相機種の場合を示します）
- ※ 下図のように、電源線を接続する際は、電源線をゴムフックに通して接続してください。



▲ 警告
端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

11. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 右図のとおり各製品のリード線端子部の色（ベースヒーター：白、外気温度センサー：赤）とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線端子を接続してください。



12. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、リード線を冷媒配管等にあたらさないよう、ファスナー⑥を使い、リード線を固定してください。（11の図参照）

13. 再組立

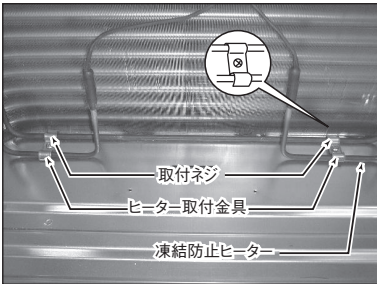
- 以上のようにベースヒーターの取付および電気配線の接続が確実に実施が行われていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。

▲ 警告
室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SH35BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

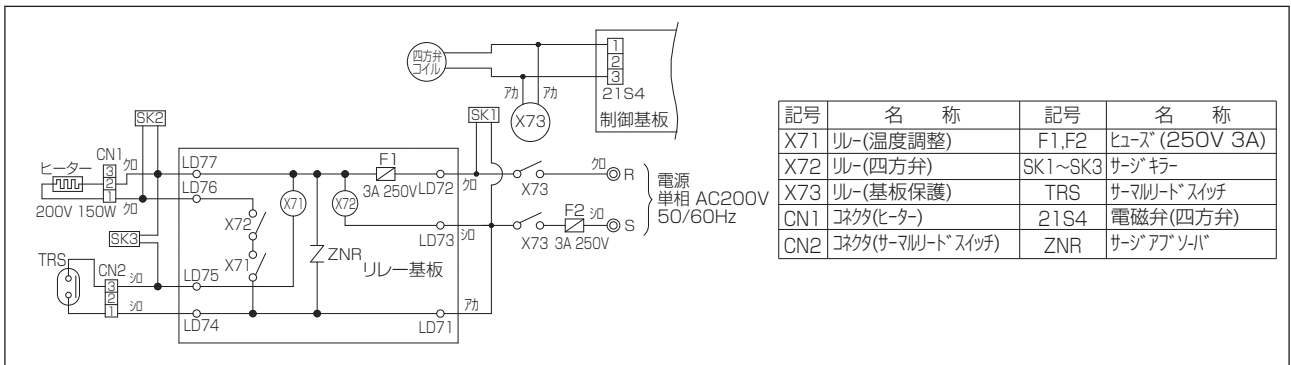
対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4
- PUZ-ERMP80(S)HA4

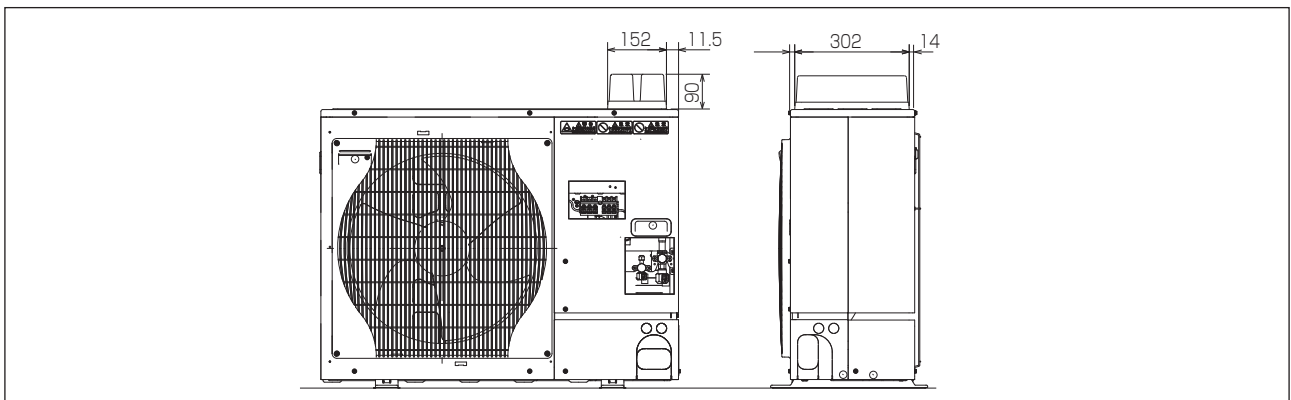
仕様

| | | | | | |
|---------|------------|-----------------|--------|--------------------------|------------------|
| 形名 | PAC-SH35BH | | 制御部カバー | 外形寸法 | 302 × 152 × 90mm |
| 凍結防止ヒータ | 電源 | 単相 200V 50/60Hz | 外形 | 外装 | ホワイト |
| | 容量 | 150W | | 材質 | 耐熱性 ABS |
| | 保護ヒューズ | 3A 250V | 質量 | 4.0kg (トップパネル・制御部カバーも含む) | |

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット

RG79D170H02

三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒータ 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

| | |
|------------------------|------------------------|
| 別売部品名 | 適用機種 |
| PAC-SH35BH(200V, 150W) | 室外ユニット用 インバーターHシリーズ |

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット・熱交換器下部に発生する霜氷の増加対策およびドレン抜孔の氷結による詰まり防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域で使用の際は、防雪タクトを併用してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンケツットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

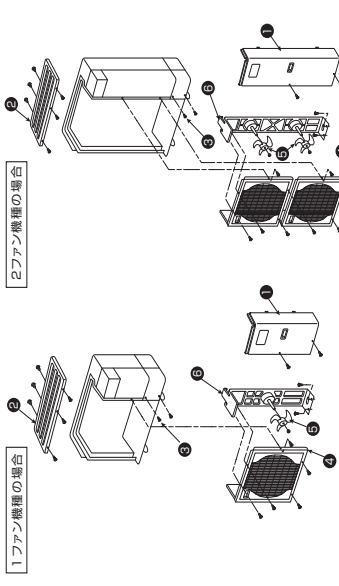
| | | | | | |
|----|-------------------------|--------------------|---------|--------|-----------|
| 品名 | ①ベースヒータ | ②ヒータ固定金具 (4×10) | ③ネジ | ④バンド | ⑤外気温度センサー |
| 形状 | | | | | |
| 数量 | 1台分 | 2個 | 2本 | 7本 | 1台分 |
| 品名 | ⑥ベースヒータ取付本体 ワッシャー/カネ | ⑦四方井中継器 | ⑧圧着スリーブ | ⑨フラスター | ⑩ファン機種別部品 |
| 形状 | | | | | |
| 数量 | 1台分 | 2個 | 2個 | 5本 | 5本 |

2. 取付準備

- 室外ユニット本体の電源線が、OFEであることを必ず確認してください。
- ファン取付の隙、ネジのサイズを取外します。紛失しはよいようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

3. ベースヒータ組込準備

次の手順で下図に基づき各部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。



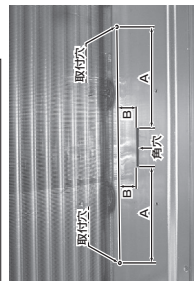
- 1 サーマスタルの取外し
前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- 2 トップパネルの取外し
取外したトップパネルは使用しません。
- 3 カバーパネルネジの取外し
カバーパネルネジを2本取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- 4 カバーパネルのネジの取外し
フロントパネルのネジを取外す。
- 5 ファン取外し
1ファン機種は5本、2ファン機種は6本のネジをそれぞれ取外し、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- 6 モーター取外し
ファン取外し後、ファン取外し前側に引き出し取外す。
- 7 ファン取外し
ファン取外し後、ファン取外し前側に引き出し取外す。
- 8 モーター取外し
ファン取外し後、ファン取外し前側に引き出し取外す。
- 9 ファン取外し
ファン取外し後、ファン取外し前側に引き出し取外す。
- 10 ファン取外し
ファン取外し後、ファン取外し前側に引き出し取外す。

取付説明書

凍結防止ヒータ : PAC-SH35BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

4. ベースヒータ取付穴の加工

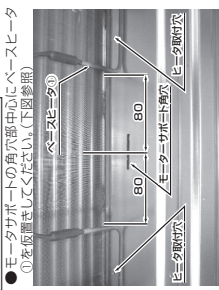


各部品を取り外した後、左図位置にベースヒータ取付用の穴を孔けてください。取付穴の位置は下表寸法に従い、誤りのないよう加工してください。

| | | |
|------------|-----|----|
| PAC-SH35BH | A | B |
| | 135 | 21 |

※上記寸法はモーターサポート角穴を基準とした寸法値です。
※取付穴はφ3.0~φ3.1です。

5. ベースヒータの取付け

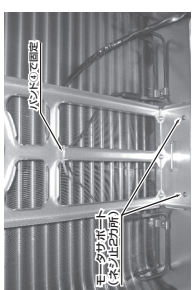


- モーターサポートの角穴部にベースヒータを位置させてください。(下図参照)
- ヒータ取付金具②と固定ネジ③で、ベースヒータを固定してください。

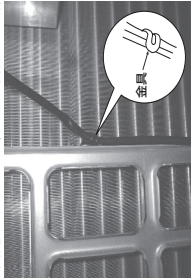
6. モーターサポートベースヒータリード線の固定

1ファン機種の場合

- モーターサポートにベースヒータリード線をバンド④を使用して中央1カ所固定してください。

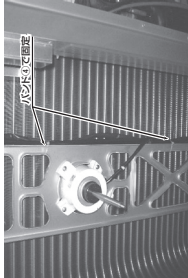
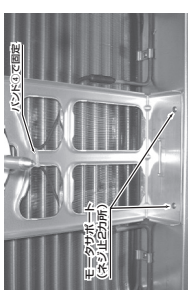


- ベースヒータリード線をファンモーター右側のファンモーターリード線用固定金具の下部にバンド④を使い、固定してください。(1ファン機種は1カ所固定)



2ファン機種の場合

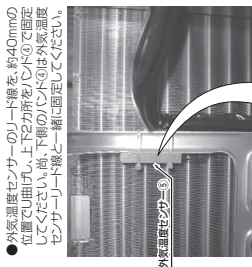
- 2ファン機種は左図の様にベースヒータリード線を上下2カ所にバンド④とファンモーターリード線用固定金具で固定してください。



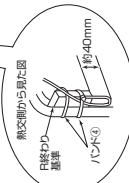
7. 外気温度センサーの取付け



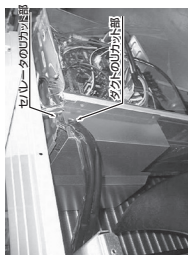
● 外気温度センサー⑨の感知部に取付けの向面テープ種付け線をはかし、図に示すモーターポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。



● 外気温度センサー⑨のリード線を、約40mmの位置で曲げ、上下2カ所を⑩⑪で固定してください。尚、下側の⑩は外気温度センサーリード線と一緒に固定してください。



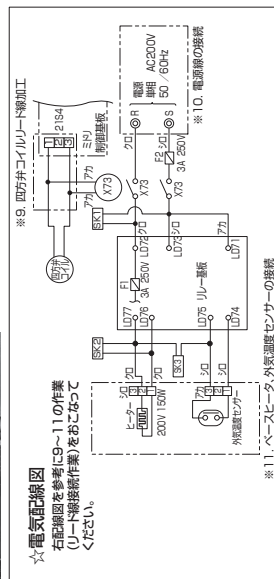
8. 各リード線の固定



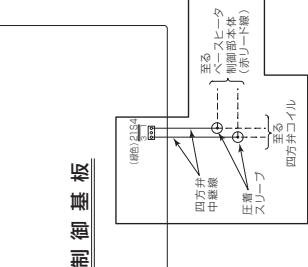
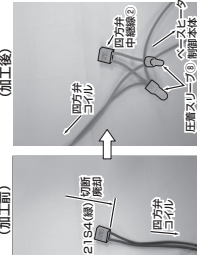
● 外気温度センサー、ベースヒーター、ファンモーターの各リード線を、セパレータに取付けられたタクトのUカット部に押し込み固定してください。トップパネルを組み込んだ際に、パネルとタクト、セパレータ間でリード線を挟まざらないようご注意ください。

★ 電気配線図

右記図を参考にS9~11の作業(リード線接続作業)をおこなってください。

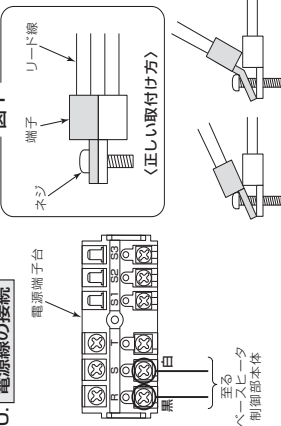


9. 四方弁コイルリード線加工



● 次の手順で作業を行ってください。
 ① 電気品箱内にある制御基板内の、四方弁コイル(21S4のコネクタ)リード線を取出してください。(加工前参照)
 ② 四方弁コイルリード線のコネクタ(線)を切り、リード線の先端は圧着スリーブ⑬で21S4コネクタを固定する為、15mmの長さで切り取ってください。
 ③ ②の長さとした四方弁コイルリード線、ベースヒーター制御部本体⑭からの長さで切り取ったリード線、四方弁中継線⑮をそれぞれ圧着スリーブ⑬で21S4コネクタで固定してください。(上記図、加工後参照)

10. 電源線の接続

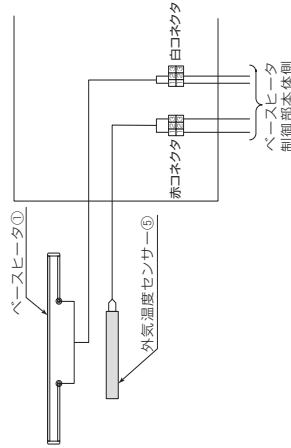


● ベースヒーター制御部リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と接続してください。
 ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

▲ 警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わりないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

11. ベースヒーター、外気温度センサーの接続



● 各部品のリード線端子の色とベースヒーター制御部から出る同じ色のリード線を電気品箱内で接続してください。

12. 各リード線の固定

● 各リード線の接続後に、ファスナー⑯を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての麻種に対応出来る仕様に変更になっておりますので、場合によっては余りがあります。適宜リード線を兼ね電気品箱内に取付けてください。各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ取付けてください。



13. 再組立

● 以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
 ※ プロペラファンは必ず5.7±0.3N・m (5.7±3kg・cm) のトルクで締付けてください。

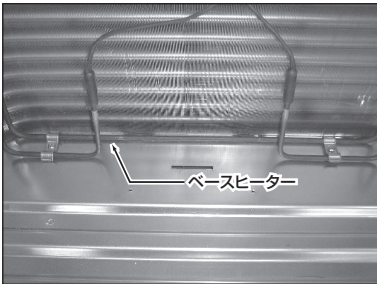
▲ 警告

室外ユニットの外野パネル種を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ30BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

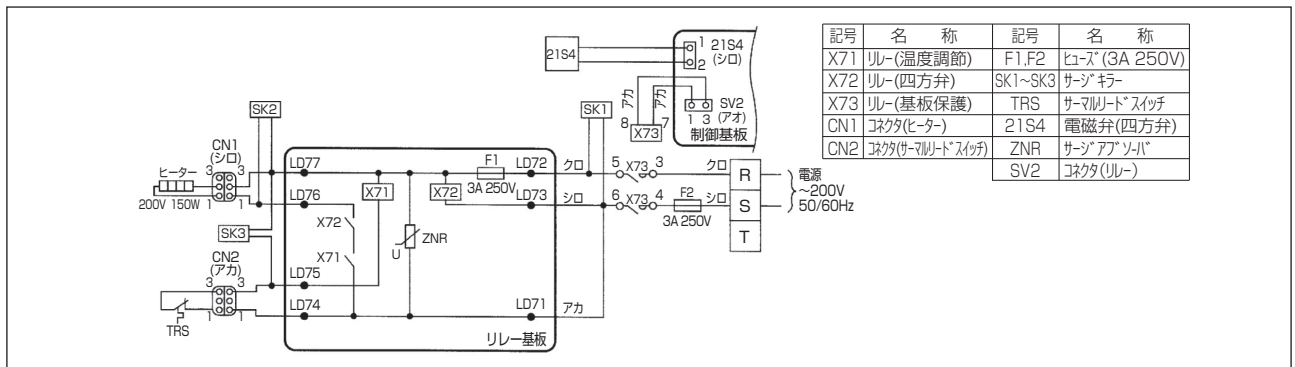
対象ユニット

- PUZ-ERMP112 ~ 160LA4

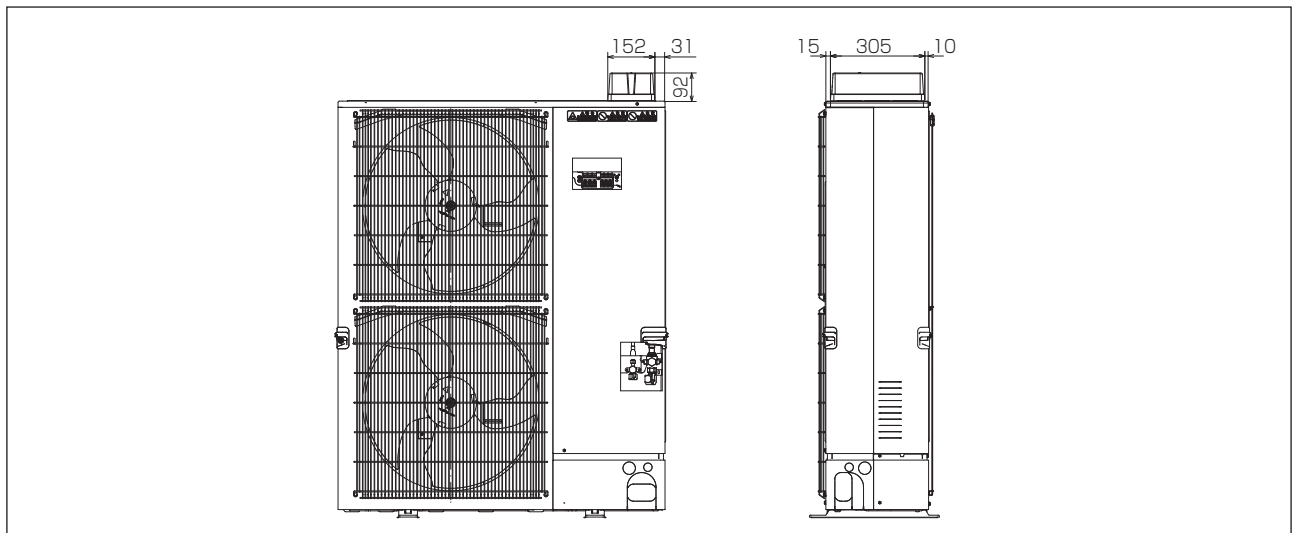
仕様

| | | | | | |
|---------|------------|-----------------|--------|--------------------------|------------------|
| 形名 | PAC-SJ30BH | | 制御部カバー | 外形寸法 | 302 × 152 × 90mm |
| 凍結防止ヒータ | 電源 | 単相 200V 50/60Hz | 外形 | 外装 | ホワイト |
| | 容量 | 150W | | 材質 | 耐熱性 ABS |
| | 保護ヒューズ | 3A 250V | 質量 | 4.1kg (トップパネル・制御部カバーも含む) | |

電気配線図



取付図 (単位: mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品
 室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

RG79D170N02

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

| 別売形名 | 適用機種 |
|-------------------------|---------------------|
| PAC-SJ30BH (200V, 150W) | 室外ユニット用 インバーターLシリーズ |

取付けの前に

- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根氷の抑制対策およびドレン抜穴の水結による詰り防止を目的としたものです。
- 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

| 品番名 | ①ベースヒーター | ②ヒーター固定金具 | ③固定ネジ (4×10) | ④バンド | ⑤外気温度センサー |
|-----|---------------|--------------------------|--------------------------|--------|-----------|
| 形状 | 1set | 2個 | 2本 | 7本 | 1set |
| 品番名 | ⑥ベースヒーター制御部本体 | ⑦ドレンカバー | ⑧アルミテープ | ⑨ファスナー | |
| 形状 | 1set | ※2列熱交換器機種のみ に使用 5個 | ※2列熱交換器機種のみ に使用 5枚 | 5本 | |

2. 取付準備

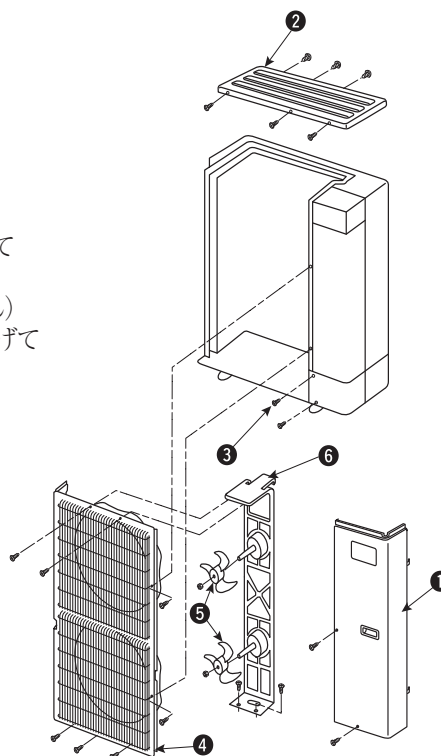
※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の元電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。

3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒーターの組込み準備を行います。

- ①サービスパネルの取外し
前側3本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせてから取外す。
- ②トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)
前側2本、後側3本の各ネジを取外した後、上側に持ち上げて取外す。
- ③カバーパネルの取外し
カバーパネルのネジを取外す。
- ④フロントパネルの取外し
前面7本のネジをはずした後、フロントパネルを上方にスライドさせてから前側に引き取外す。
- ⑤ファンの取外し
ファンの固定ネジを取外し前側に引き出し取外す。
- ⑥モーターサポートの取外し
ファンモーターのコネクターを外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取外し、全体を斜め前方に持ち上げ取外す。



室外ユニット

4. **ドレンカバリの取付け**
 ※本品は2別熱交換器機種には、必ず取付けてください。
 ●熱交換器下部のドレン穴(図⑦)にドレンカバー⑦を右図のように取付けてください。
 ※ドレンカバーの取付けは、必ず取付けてください。
 ●ドレンカバーは、下図のようにアルミテープ⑧で固定し、前後のドレン穴について作業を行なってください。
 ※ドレンカバリの穴部が熱交換器(熱交換器下部)に向いている位置であることを必ず確認してから確実に固定してください。

ドレン穴(図⑦)
ドレンカバー⑦
7mmアルミテープ⑧
確実に固定してください。(574)

5. **ベースヒーターの取付け**
 ●モーターサポートの角穴部中心にベースヒーター①を配置してください。(下図参照)
 ヒーター取付穴
モーターサポート角穴
ベースヒーター①

6. **外気温度センサーの取付け**
 ●外気温度センサー⑤の感知部に貼付けた向面テープ離れ紙をはがし、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向けて取付けてください。
 外気温度センサー⑤

7. **各リード線の固定**
 ベースヒーターリード線を、モーターサポートの写真の位置にハンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモーターのリード線と一緒に固定金具で結束し、セパレーター⑨から機庫壁に引き込んでください。

モーターサポートの穴にリード線の50mmで固定
 ハンド④で固定
 外気温度センサー⑤
 熱交換器からの見た図
 W/S穴
 中心基準
 ハンド④
 厚40mm
 外気温度センサー⑤

☆電気配線図
 右配線図を参考に8～9の作業(リード線接続作業)を行なってください。

※8. 電源線の接続
 ※9. ベースヒーター・外気温度センサーの接続

8. **電源線の接続**
 ●ベースヒーター制御部⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と共締めしてください。
 ※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

リード線
端子
ネジ
電源端子台
白
黒
ベースヒーター制御部本体側
〈正しい取付け方〉
〈誤った取付け方〉

9. **ベースヒーター、外気温度センサーの接続**
 ●各製品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。

ベースヒーター①
赤コネクタ
白コネクタ
ベースヒーター制御部本体側
外気温度センサー⑤

10. **各リード線の固定**
 ●各リード線の接続後に、ファスナー⑩を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様には長さが異なる場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に取付けてください。
 各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ取付けてください。

11. **再組立**
 ●以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に行なわれていることを必ず確認してください。取付した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
 ※プロペラファンは必ず57±0.3N・m(57±3kg・cm)のトルクで締付けてください。

△警告
 端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

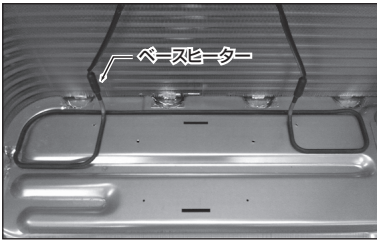
△警告
 ベースヒーター制御部本体側
 赤コネクタ
白コネクタ
ベースヒーター制御部本体側
 記録を電気品箱左側でファスナー⑩で固定
 ベースヒーターのコネクタ(白色)
 外気温度センサーコネクタ(赤色)

△警告
 室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ29BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

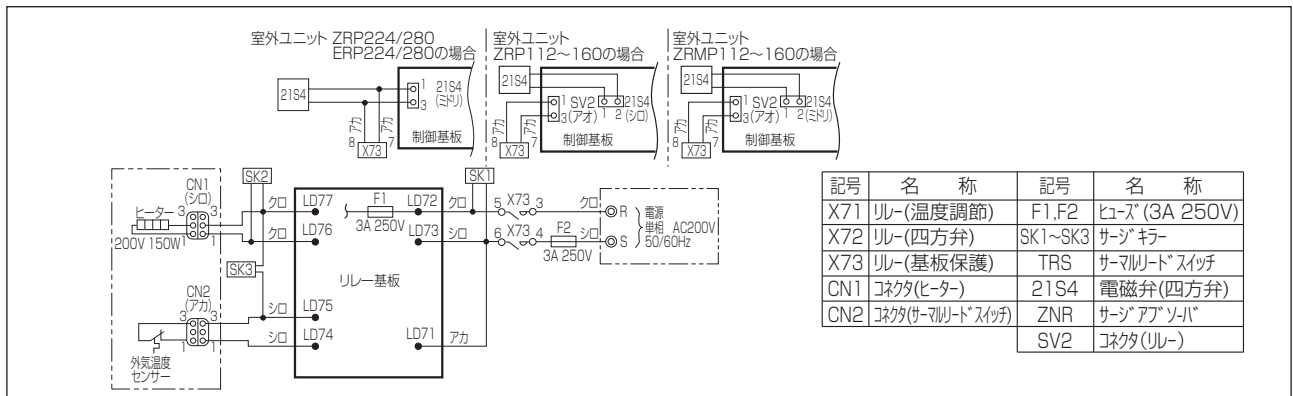
対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA4, PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERP224・280KA10
- PUZ-HRMP80～160KA

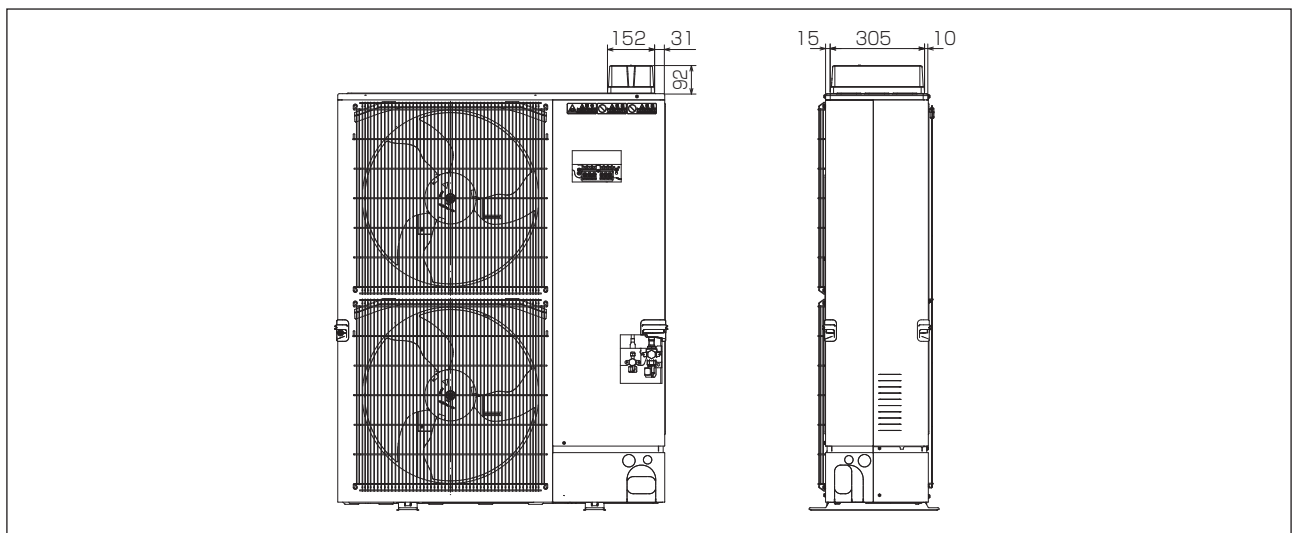
仕様

| | | | | | |
|---------|------------|-----------------|--------|--------------------------|------------------|
| 形名 | PAC-SJ29BH | | 制御部カバー | 外形寸法 | 302 × 152 × 90mm |
| 凍結防止ヒータ | 電源 | 単相 200V 50/60Hz | 外形 | 外装 | ホワイト |
| | 容量 | 150W | | 材質 | 耐熱性 ABS |
| | 保護ヒューズ | 3A 250V | 質量 | 3.9kg (トップパネル・制御部カバーも含む) | |

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット

RG79D170L03

三菱電機パッケージエアコン別売部品 室外機用凍結防止ヒーター 据付工事説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。



| | |
|------------------------|---------------------|
| 別売部品名 | 適用機種 |
| PAC-SJ29BH(200V, 150W) | 室外ユニット用 インバーターKシリーズ |

取付けの前に

- 本製品は、寒冷地で使用する室外ユニット熱交換器下部に発生する氷状の押戻り凍りおよびドレン排水ドレンパンとの併用はできません。
- 降雪の多い地域で使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
- ドレンパンからの排水を確保するため、ドレンパンおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

●据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。また、この取付け工事説明書は、お見積りしていただいた工事内容と異なる場合は、必ずお読みください。

●取付け工事は、必ず当社指定の部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないこと、水漏れや感電・火災等の原因になります。
●電線は、必ず指定の径の電線を使用してください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性があります。

注意 誤った取扱いをしたときに、腰痛または家庭・家財などの損害につながる可能性があります。

警告 据付工事は、販売店または専門業者に依頼する。
●お客様自身で据付工事を行わないこと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告 据付工事は、必ず当社指定の部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないこと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告 電線は、必ず指定の径の電線を使用してください。
●電線径が不足している場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

警告 据付工事は、必ず当社指定の部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないこと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告 電線は、必ず指定の径の電線を使用してください。
●電線径が不足している場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

警告 据付工事は、必ず当社指定の部品および指定の部品を使用する。
●当社指定部品を使用しないこと、水漏れや感電・火災等の原因になります。

警告 電線は、必ず指定の径の電線を使用してください。
●電線径が不足している場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

1. 部品の確認

この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

| | | | | | | |
|----|----------|-----------|--------------|---------|-----------|---------------|
| 品名 | ①ベースヒーター | ②ヒーター固定金具 | ③固定ネジ (4x10) | ④バンド | ⑤外気温度センサー | ⑥ベースヒーター 制御部品 |
| 形状 | | | | | | |
| 数量 | 1set | 2個 | 2本 | 7本 | 5個 | 1set |
| 品名 | ⑦四方井中継線 | ⑧圧着スリーブ | ⑨フラスナー | ⑩ドレンカバー | ⑪アルミテープ | ⑫2列熱交換器機構 |
| 形状 | | | | | | |
| 数量 | 1set | 2個 | 5本 | 5枚 | 5個 | 5枚 |

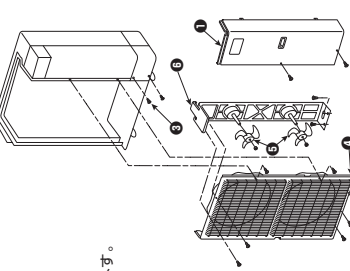
取付説明書

凍結防止ヒーター : PAC-SJ29BH

(本マニュアル用に変更・修正しています)

2. 取付準備 ※ベースヒーターの組込みは室外ユニットを据付ける前に行なっていただく方が容易にできます。

- 室外ユニット本体の電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒーター取付の為、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を充分に行なってください。



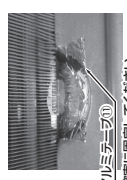
3. ベースヒーター組込準備

次の手順で下図に基づき各々の部品をユニットから取り外し、ヒーターの組込み準備を行います。

- ① ビスパネルの取り外し
- ② 前面5本のネジをはずした後、パネルを下方にスライドさせて取り外す。
- ③ トップパネルの取り外し(取り外したトップパネルは使用しません)
- ④ 前面2本、後面5本の各ネジを取り外した後、上側に持ち上げて取り外す。
- ⑤ ガバパネルの取り外し
- ⑥ ガバパネルのネジを取り外す。
- ⑦ フロントパネルの取り外し
- ⑧ 前面7本のネジをはずした後、フロントパネルを上方にスライドさせて取り外す。
- ⑨ ファンを取り外す。
- ⑩ ファン固定ネジを取り外し、前側に引き出し取り外す。
- ⑪ モーターサポートを取り外し、モーターサポートファンモーターのコネクターを外した後、モーターサポート固定ネジ2本を取り外し、全体を斜め前方に持ち上げて取り外す。

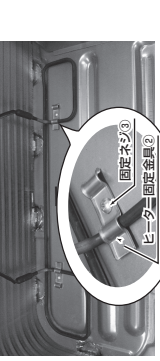
4. ドレンカバーの取付け ※本品は2列熱交換器機構には、必ず取付けてください。

- 熱交換器下部のドレンパン部にドレンカバー⑩を、図示方向に向けドレンパンを覆います。



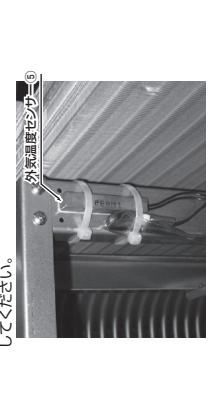
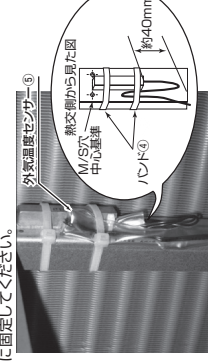
5. ベースヒーターの取付け

- モーターサポートの角穴部中心にベースヒーター①を仮置きしてください。(下図参照)
- ヒーター固定金具②と固定ネジ③で、ベースヒーター①を固定してください。



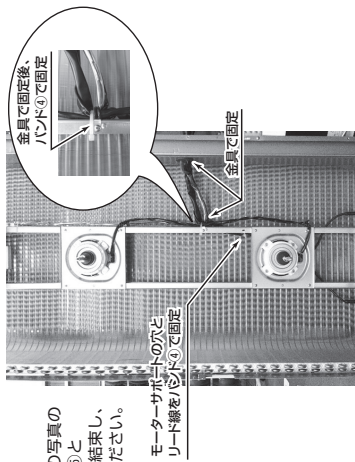
6. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けの面テープを貼付け、図に示すモーターサポート上部に、リード線を下方に向け固定してください。



7. 各リード線の固定

ベースヒーターリード線を、モーターサポートの写真の位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモーターのリード線と一緒に固定金具で結束し、セパレーターの丸穴から機械室に引き込んでください。

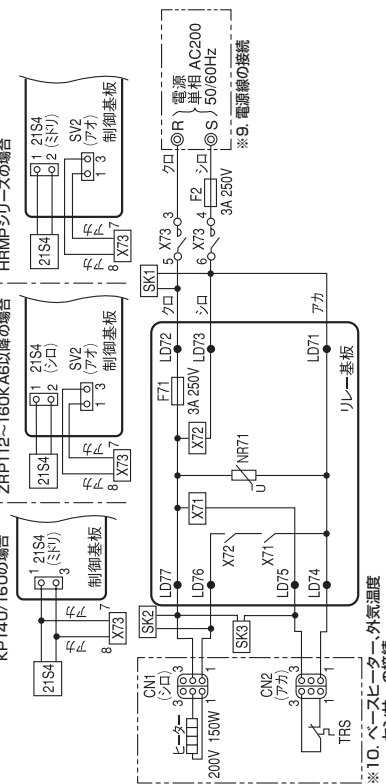


☆電気配線図

右配線図を参考に8~10の作業(リード線接続作業)を行なってください。

※8. 四方井コイルリード線追加
室外ユニット
ZRP112~160KA3~5
ERP224/280
PUSYSシリーズ
KP140/160の場合

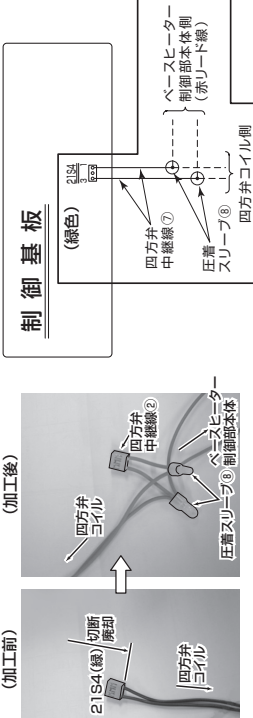
室外ユニット
ZRP112~160KA6以降の場合
HRMPシリーズの場合



※10. ベースヒーター・外気温度センサーの接続

8. 四方井コイルリード線加工

室外ユニット ZRP112~160KA3~5, ZRP224/280, ERP224/280
PUSYSシリーズ, KP140/160の場合

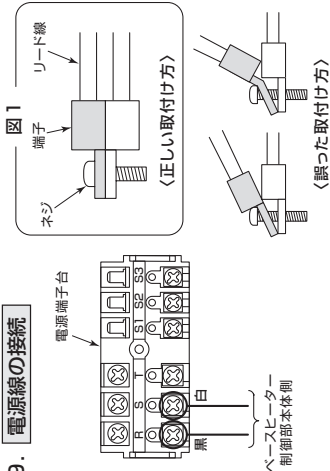


●次の手順で作業を行なってください。

- i) 電気品箱内にある制御基板内の、四方井コイル(21S4のコネクター)リード線を取外ししてください。
(加工前参照)
- ii) 四方井コイルリード線のコネクター(緑)を切断し、リード線の先端は圧着スリーブ⑥でカシメ固定する為、15mmの皮むきを行なってください。
- iii) 皮むきをした四方井コイルリード線、ベースヒーター制御部本体⑥からの皮むきされた赤いリード線、四方井中継線のそれぞれを圧着スリーブ⑥でカシメで固定し、電気品箱内に収めます。
(上右図、加工後参照)

9. 電源線の接続

- ベースヒーター制御部本体⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台RS相に既設の端子と共締めしてください。
※端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

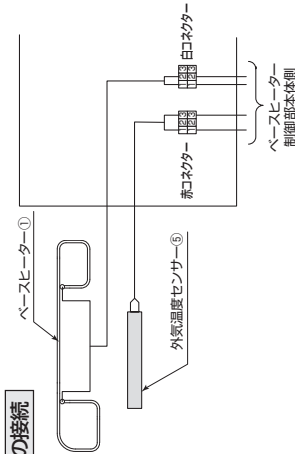


△警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わりないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

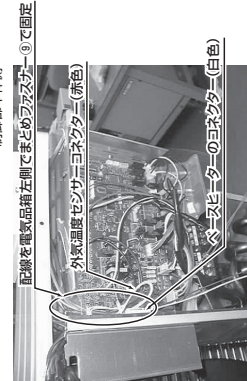
10. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 各製品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線を電気品箱内で接続してください。



11. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑨を使い固定してください。尚、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る仕様に長さの設定がありませんので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。



12. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付及び電気配線の接続が確実に完了していることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解の逆手順で取付けてください。
※プロペラファンは必ず5.7±0.3N・m(5.7±3kg・cm)のトルクで締付けてください。

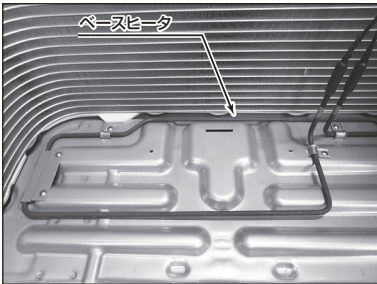
△警告

室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

凍結防止ヒーター

● PAC-SJ75BH

使用目的 / 用途



- “凍結防止ヒーター”は、厳冬期での室外ユニット熱交換器内部下部に発生する根氷の抑制対策、およびドレン抜穴の氷結による詰まり防止を目的とした部品です。
- 寒冷地や降雪の多い地域で活用してください。
- 降雪地域でご使用の際は、防雪ダクトと併設してください。

注意

- ・ ドレン穴からの排水を確保するため、ドレンソケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。
- ・ 本品を取り付ける際には、付属のトップパネルも交換してください。

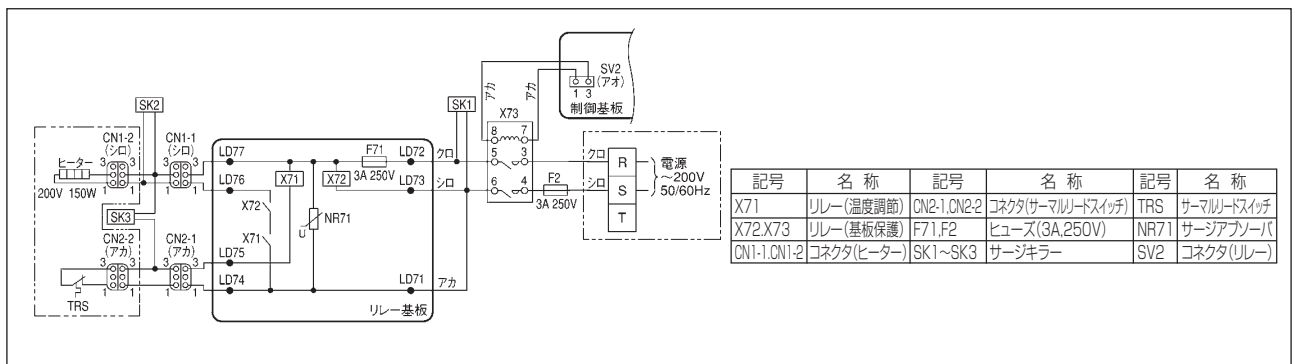
対象ユニット

- PUZ-ERMP112・140LA5

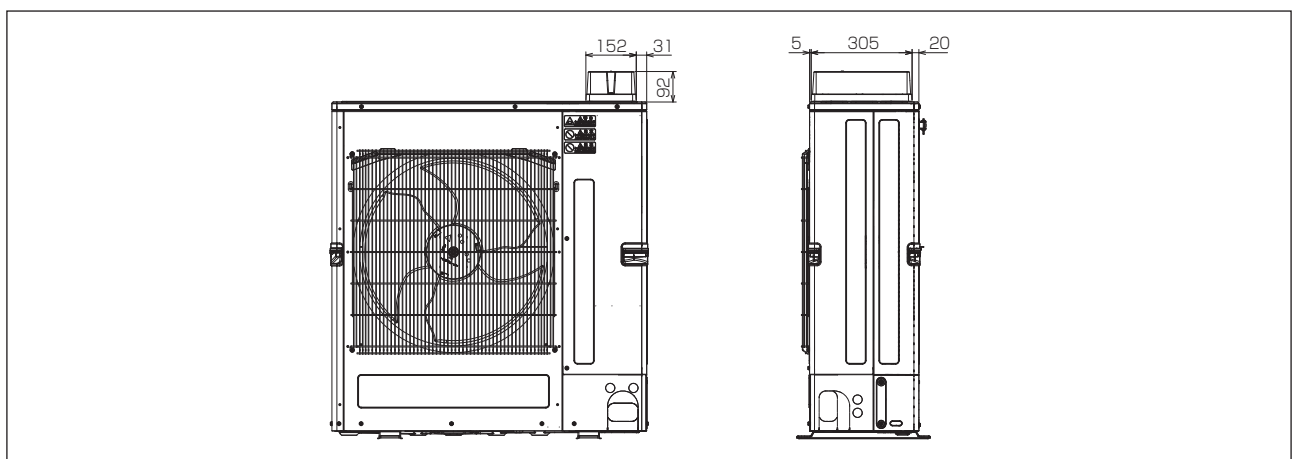
仕様

| | | | | | |
|----------|------------|-----------------|--------|--------------------------|------------------|
| 形名 | PAC-SJ75BH | | 制御部カバー | 外形寸法 | 302 × 152 × 90mm |
| 凍結防止ヒーター | 電源 | 単相 200V 50/60Hz | 外形 | 外装 | ホワイト |
| | 容量 | 150W | | 材質 | 耐熱性 ABS |
| | 保護ヒューズ | 3A 250V | 質量 | 4.1kg (トップパネル・制御部カバーも含む) | |

電気配線図



取付図 (単位: mm)



室外ユニット

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認 この箱の中には、この説明書の他に下記部品の他に下記部品が入っていますので、取付け前にご確認ください。

| | | | | |
|----|------------|--------------|--------------|--------|
| 品番 | ①ベースヒータ | ②ヒータ固定金具 | ③固定ネジ (4×10) | ④バンド |
| 形状 | | | | |
| 品数 | 1 set | 3個 | 5本 | 3本 |
| 品番 | ⑤外気温温度センサー | ⑥ベースヒータ制御部本体 | ⑦ヒータ固定金具 | ⑧フッ素ナー |
| 形状 | | | | |
| 品数 | 1 set | 1 set | 1個 | 2本 |

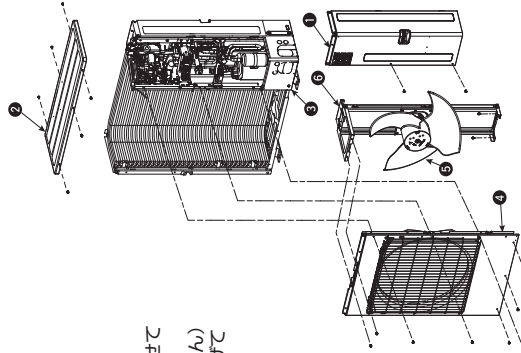
2. 取付準備 ※ベースヒータの組込みは室外ユニットを据付ける前に行ってください方が容易でございます。

- 室外ユニット本体の電源が、OFFであることを必ず確認してください。
- ベースヒータ取付のため、多くのネジを取外します。紛失しないようにしてください。
- ホコリ、ゴミ等の除去を十分に行ってください。

3. ベースヒータ組込準備

次の手順で右図に基づき各々の部品をユニットから取外し、ヒータの組込み準備を行います。

- ① サービスパネルの取外し
- ② トップパネルの取外し(取外したトップパネルは使用しません)から取外す。
- ③ カバーパネルの取外し
- ④ フロントパネルの取外し
- ⑤ ファン取外し
- ⑥ モーターサポートの取外し

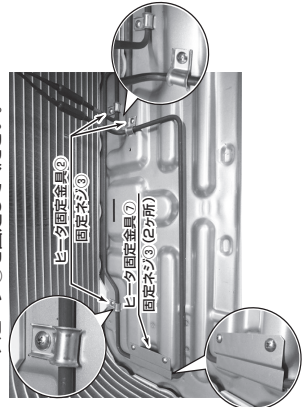


4. ベースヒータの取付け

- ベースヒータ①を仮置きしてください。(下図参照)



- ヒータ固定金具②、⑦と固定ネジ③で、ベースヒータ①を固定してください。



RG79Y877H01

三菱電機パッケージエアコン別売部品
室外機用凍結防止ヒータ 据付工事説明書

※据付け前に本説明書をよくお読みください。



| | |
|-----------------------|-------------------|
| 別売品名 | 適用機種 |
| PAC-SJ75BH(200V,150W) | 室外ユニット用 インバータシリーズ |

- 据付けの前に**
- 本製品は、厳冬期での室外ユニット熱交換器下部に発生する根水の抑制対策およびドレン抜穴の氷結による詰り防止を目的としたものです。
 - 降雪の多い地域でご使用の際は、防雪ダクトを併設してください。
 - ドレンがけからの排水を確保するため、ドレンケットおよび集中排水ドレンパンとの併用はできません。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などにつながる可能性のあるもの。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または感電・感電死などの損害が生じることがあるもの。

警告

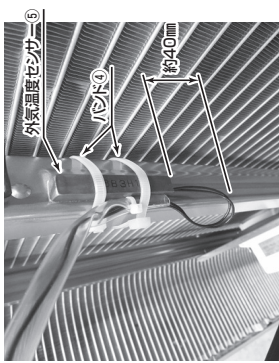
- 据付工事は、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事をされ不備があること、水漏れや感電・火災等の原因になります。
 - 据付工事は、販売店または専門業者に依頼する。
 - 電気工事は電気工事士の資格がある方が、電気設備に関する技術基準、内線規程およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
 - 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
 - 室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。
 - サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けができません。
 - 万が一ガスがユニットの周囲にたまること、発火・爆発の原因になります。
 - アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
 - 電源には必ず漏電遮断器を取付ける。
 - 漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

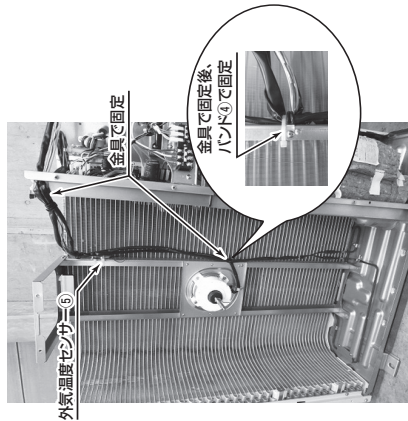
5. 外気温度センサーの取付け

- 外気温度センサー⑤の感知部に貼付けている片面テープ離れ紙をはがし、図に示すモータサポータ上部にリード線を上方向に向け固定してください。
- ※ 外気温度センサー⑥のリード線を約40mmの位置でU曲げし、上下2ヶ所をバンド④で固定してください。
(下側は外気温度センサー⑤のリード線と一緒に固定してください)



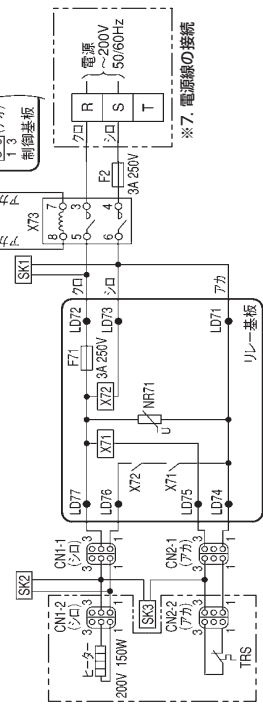
6. 各リード線の固定

- ベースヒーターリード線を、モータサポータの写真の位置にバンド④で固定して、外気温度センサー⑤とファンモータのリード線と一緒に固定金具で結束し、電気品BOXから機械室に引き込んでください。



☆電気配線図

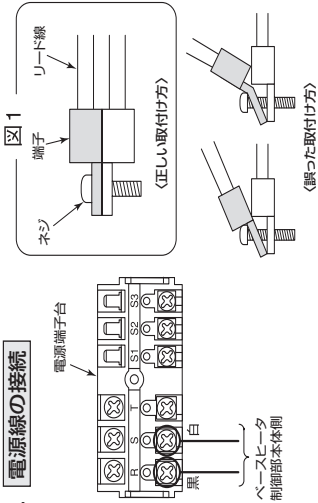
右配線図を参考に7~8の作業(リード線接続作業)を行ってください。



※8. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

7. 電源線の接続

- ベースヒーター制御部本体⑥リード線からの電源線(黒色、白色)をそれぞれ室外ユニット電源端子台R,S相に既設の端子と共締めしてください。
- ※ 端子の向きは、必ず図のように取付けてください。

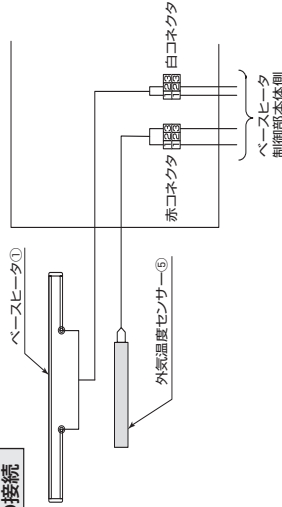


△警告

端子の取付けは、緩みがないように確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接線や固定に不備があると、火災の原因になります。

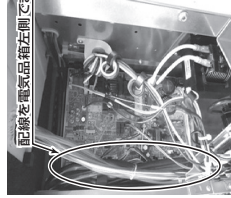
8. ベースヒーター、外気温度センサーの接続

- 各部品のリード線端子部の色とベースヒーター制御部本体⑥から出る同じ色のリード線端子を電気品箱内で接続してください。



9. 各リード線の固定

- 各リード線の接続後に、ファスナー⑧を使い固定してください。なお、本別売で使用したリード線については、全ての機種に対応出来る長さの設定になっていきますので、場合によっては余る場合がありますが、適宜リード線を束ね電気品箱内に収めてください。
- 各リード線の端子およびコネクタ部は、必ず電気品箱内へ収めてください。



10. 再組立

- 以上のようにベースヒーターの取付けおよび電気配線の接続が確実に完了していることを必ず確認してください。取外した各々の部品を分解時の逆手順で取付けてください。
- ※ プロペファンは組み立てのため必ずネジ部にネジロックを塗布し、5.7±0.3N・m(5.7±3kg・cm)のトルクで締付けてください。
- 推奨品:スリーボンド製、ネジロック1401B

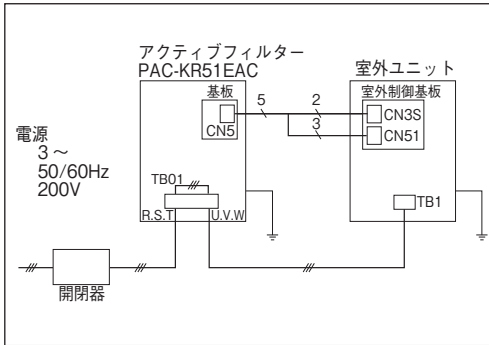
△警告

室外ユニットの外観パネル類を取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

高調波対策用アクティブフィルター

● PAC-KR51EAC

使用目的 / 用途



- 本品は、P224,P280 形用の高調波対策用アクティブフィルターです。
- 機器から発生する高調波電流を検出し、それを打ち消す極性の電流を能動的（アクティブ）に発生させます。

注意

- ・ 本品は屋内設置構造です。水滴がかからないようご注意ください。
- ・ 本品の各面は最低 150mm は他の機器および壁面と離してください。
- ・ 本品を複数台設置する場合には、縦方向に並べることは避けてください。

対象ユニット

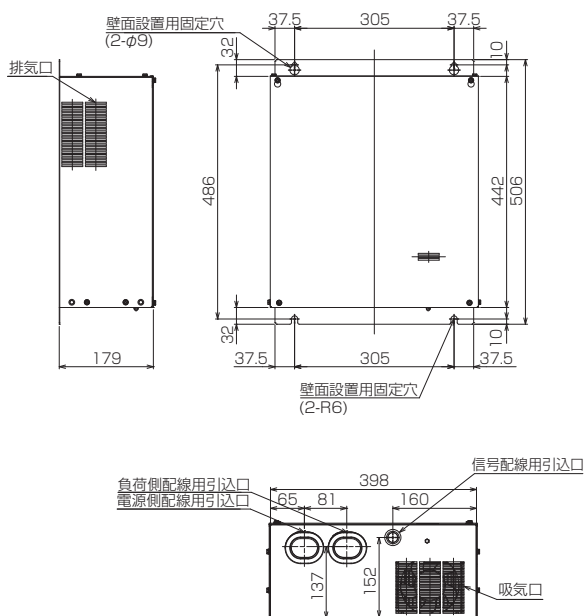
- PUZ-ZRP224 ~ 280KA10
- PUZ-ERP224 ~ 280KA10

仕様

| | | | | |
|--------|--|--|-------|---|
| 形名 | PAC-KR51EAC | | 高調波低減 | 5次: 3.0%以下、7次: 1.8%以下、 11次: 1.8%以下、13次: 1.3%以下、 17次: 1.6%以下、19次: 1.2%以下、 23次: 1.4%以下、25次: 1.1%以下 |
| 電源 | 定格 三相 200V (50/60Hz) | | | |
| 周囲温度 | 使用周囲温度: -20℃ ~ 45℃ 保存周囲温度: -25℃ ~ 60℃ | | | |
| 定格補償容量 | 5kVA | | 質量 | 15kg |
| 損失 | 220W ※定格負荷時、電源環境により変動あり | | | |

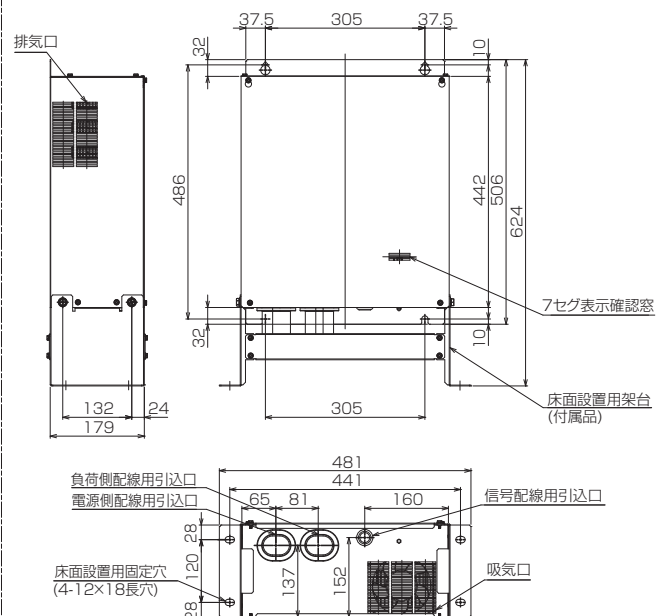
外形図 (単位: mm)

本体制御箱外形図



| | |
|----------------|--|
| 電源 | 3~ 200V±10% 50/60Hz |
| 使用環境 | 温度: -20℃~45℃ 湿度: ~95%RH |
| 定格補償容量 | 5kVA |
| 定格負荷 | 特定需要家向けガイドラインの回路分類K33で13kW |
| 高調波残存率 (定格負荷時) | 5次: 3.0%以下 7次: 1.8%以下 11次: 1.8%以下 13次: 1.3%以下 17次: 1.6%以下 19次: 1.2%以下 23次: 1.4%以下 25次: 1.1%以下 |
| 製品質量 | 15kg |

床面設置用架台使用時



- 注1. 保守スペース・吸気・排気スペースとして、各面に150mm以上確保願います。
 注2. 本品は屋内設置構造です。機械室または盤内に設置し、水がかからないようご注意ください。また結露環境には設置しないでください。
 注3. 接続する電源は、電圧不平衡率3%以下(JIS C 4421)を目安としてください。不平衡率が大きい場合、機器の能力が低下します。
 注4. 動作中は、ACLからのシャリシャリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するよう場所には据付しないようご検討ください。
 注5. 据付には、M8ボルトをご使用ください。

室外ユニット



三菱電機 エアコン
別売部品 業務用
アクティブフィルター
形名
PAC-KR51EAC

据付・取扱説明書

このたびは三菱電機製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この説明書を必ずお読みください。
・ご使用前に、この据付・取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。この据付・取扱説明書は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管し、必要に応じてお読みください。
・「据付・取扱説明書」は大切に保管してください。
・室外ユニットに別添の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
・お客様自身では、据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません。)
・この製品は国内専用です。日本国外では使用できません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

WT07394X02

1

取付説明書

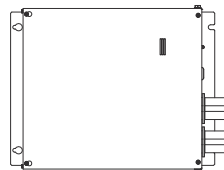

高調波対策用アクティブフィルター
: PAC-KR51EAC

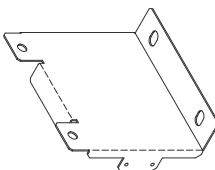


(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 使用部品

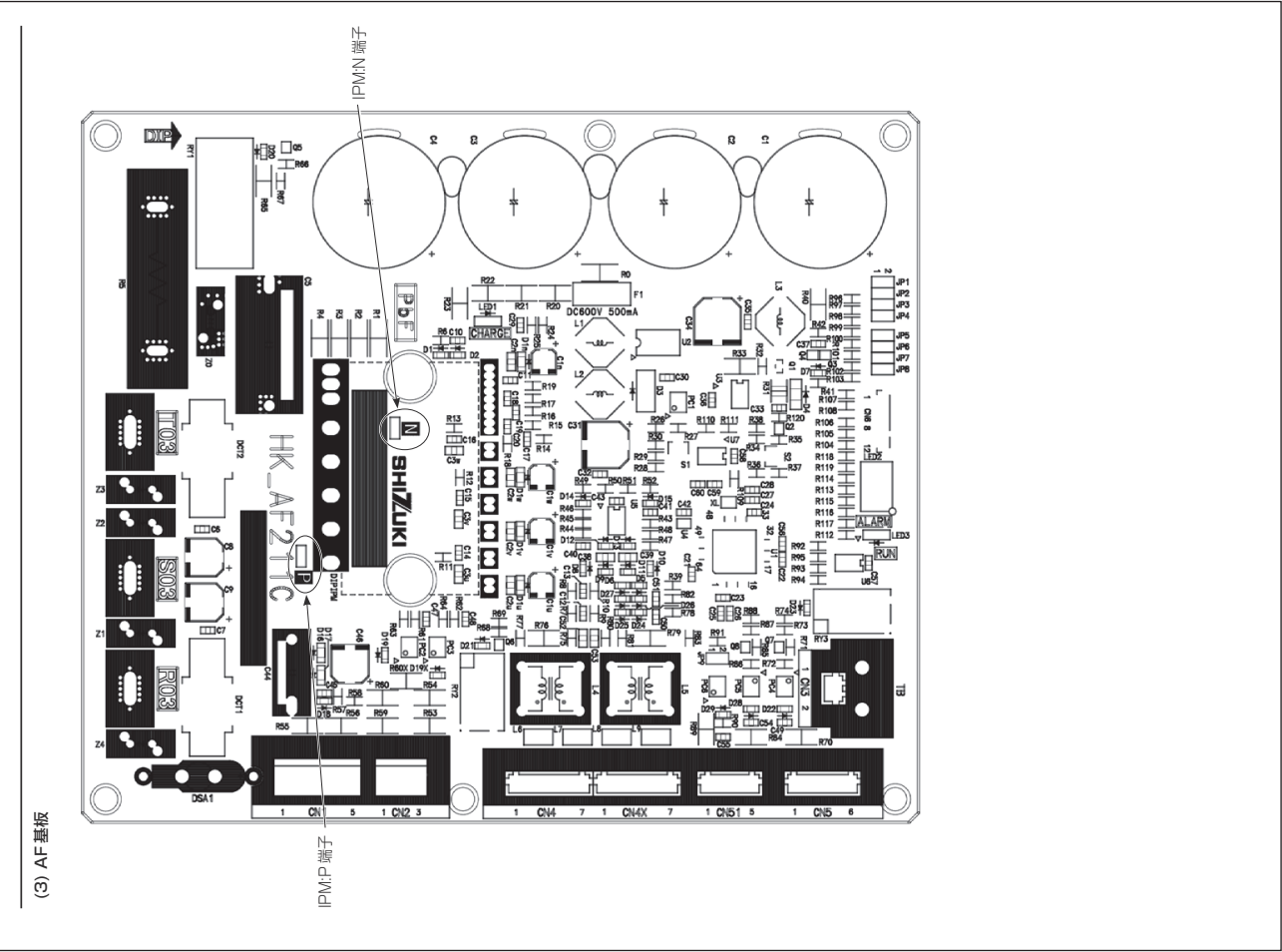
1-1. 同梱部品

この機器は以下の部品で構成されています。ご確認ください。

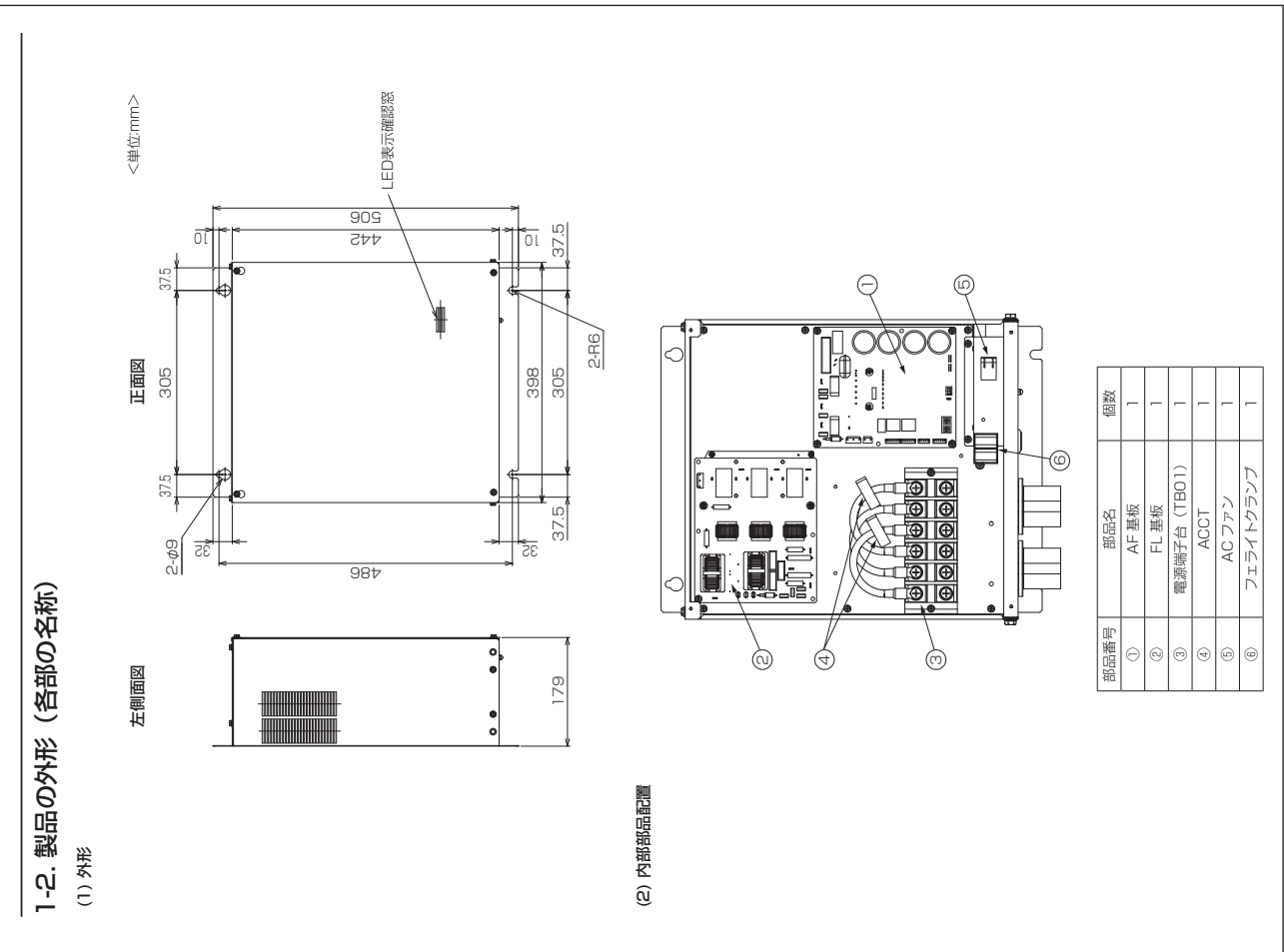
| 部品名 | 本体制御 BOX | 据付・取扱説明書 (本書) | コネクター配線 (空調機間番号配線用) |
|-----|---|---|-------------------------------|
| 概形図 |  |  | 6Pコネクター 5Pコネクター 3Pコネクター |
| 個数 | 1 | 1 | 1 |

| 部品名 | 床面設置用架台板金 | 架台接続板金 | ネジ (架台接続板金用Mネジ) |
|-----|---|---|---|
| 概形図 |  |  |  |
| 個数 | 2 | 2 | 8 |

2



4



3. 据付場所の選定

3-1. 法規制・条例の遵守事項

法規制、地方条例などを遵守することを配慮して据付場所を選定してください。

3-2. 公害・環境汚染への配慮事項

公害や環境に対し配慮して据付場所を選定してください。

3-3. 製品の機能性能を発揮するための事項

可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところにユニットを設置しないこと。



据付禁止

可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。

製品を可燃物に取り付けられないこと。



据付禁止

引火・火災のおそれあり。

専門業者以外の人が触れるおそれがあるところに機器を設置しないこと。



据付禁止

機器損傷・故障・感電・火災のおそれあり。

3-3-1. 据付場所の環境と制限

- ・ 本アクティブフィルターは、屋内設置構造です。
- ・ 本アクティブフィルターは、別置形です。室外ユニット本体への内蔵およびパネルへの取付けはできません。
- ・ 使用温度範囲は-20℃～45℃です。収納場所が温度範囲内に収まるようご検討ください。特にアクティブフィルターは定格運転時220W以下の損失が発生し、周囲温度を上昇させる原因となりますので、注意してください。
- ・ 配線取出口の開口部は閉鎖材など（現地手配）で必ず塞いでください。
- ・ 機材室または器内に設置してください。
- ・ 結露環境に設置しないでください。また水の掛からない場所に設置してください。
- ・ アクティブフィルター動作中は、ACLからのシャリヤリ音やACファンの音が発生します。騒音を懸念するようは場所には据付しないようご検討ください。

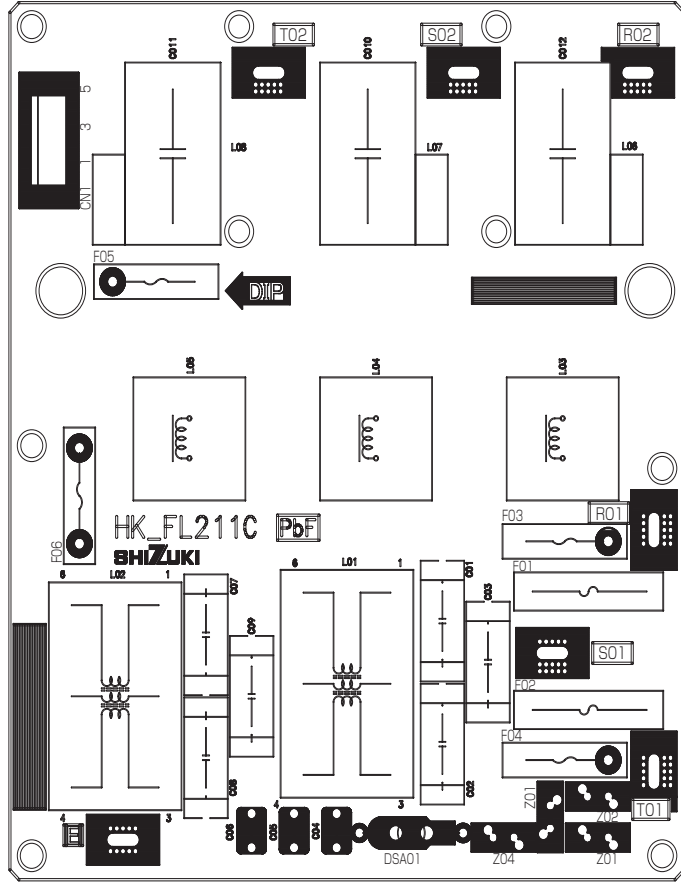
3-3-2. 必要スペース

- ・ アクティブフィルターの各面は150mm以上他の機器および壁面と離してください。特に高温の機器と隣接させる場合には十分な距離を確保してください。アクティブフィルターの正面はメンテナンス用のスペースを確保してください。
- ・ アクティブフィルターを複数台設置する場合には、上記距離を確保し、設置してください。アクティブフィルターは下部吸込み、左側面上部強制排気となるため、左側の機器が熱せられ、機器の寿命低下および故障の原因となります。

3-4. 保守・点検に関する事項

工事された方は、顧客と保守契約を結び、本製品を含む空調システムが安全かつ良好な状態で運転していることを定期的に確認してください。

(4) FL基板



1-3. 製品の運搬

据付工事全般に対する注意事項

20kg以上の製品の運搬は、1人でしないこと。

- ・ けがのおそれあり。



運搬禁止

- ・ 本製品の重量は約15kgです。
- ・ 製品を運搬する際は本体をしっかりと持ち運んでください。
- ・ 製品に衝撃が加わらないようにしてください。

2. 使用箇所（据付工事の概要）

2-1. 使用部品の取付位置

壁面設置の場合、同梱部品の取付はありません。床面設置の場合、同梱部品の「床面設置用架台板金」を取付けてください。「床面設置用架台板金」の取付け方法は、4-1-2を参照ください。

4. 据付工事

強固・地震に備え、所定の据付工事を行

- ・ oughness
- ・ 不備がある場合、ユニットが転倒・落下、けがのおそれあり。

配線取出し口の開口部は、塞ぐこと。

- ・ 小動物・塵埃・雪・雨水が内部に入り、機器が損傷・故障すると、漏電・感電のおそれあり。



(1) 据付要領

据付けに際し、工具としては、以下のものが必要となります。

- + ドライバ
- その他：据付固定に必要な工具

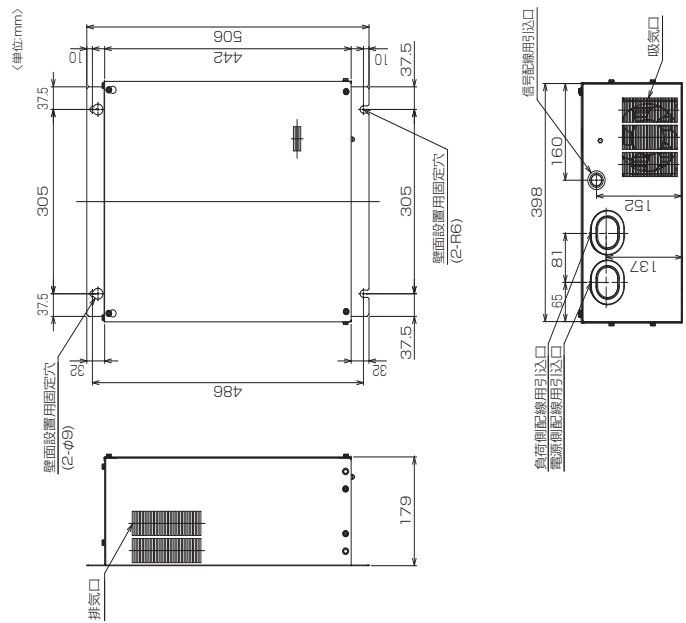
4-1-1. 建物工事の進捗と施工内容

据付場所に据付けられる状態になりましたら、据付工事を行ってください。

4-1-1-1. 壁面設置 (壁内設置)

据付けは、次の通り行ってください。

- ・ 据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・ 縦向き以外の取付けはできません。
- ・ 壁面接続には MB ボルト 4 本 (現地手配) を使用ください。アクティブフィルター本体の重量は約 15kg です。壁面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。(現地手配)



4-1-2. 床面設置

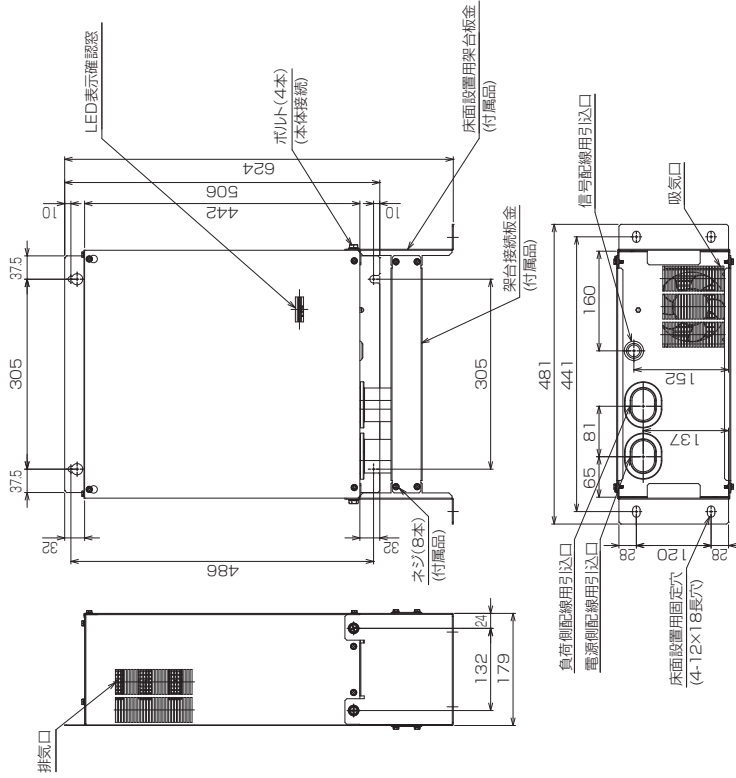
据付けは、次の通り行ってください。

- ・ 据付方向は下図のとおり縦置きとしてください。
- ・ 縦置き以外の取付けはできません。
- ・ 床面接続には MB ボルト 4 本 (現地手配) を使用ください。アクティブフィルター本体の重量は約 15kg です。床面アンカーボルト等の固定基材の強度確保をしてください。(現地手配)

手順

1. 下図のとおり床面に付属の床面設置用架台板金を取付ける。
2. 架台接続板金 (2 個) にて 2 個の床面設置用架台板金の正面側、背面側を付属のネジ 8 本にて接続する。
3. この状態で、床面設置用架台板金に取付歪み等がないことを確認する。
4. アクティブフィルター本体両側面下部に付属のボルト 4 本を外す。
5. 本体制御BOXを下図のとおり床面設置用架台板金上に設置する。
6. 先ほど外したボルト 4 本でアクティブフィルター本体と床面設置用架台板金を接続する。

(単位:mm)



5. 電気工事

5-1. 電気配線工事

電気工事に対する注意事項

| | | |
|---|---|--|
| <p>雨天の場合、サービスはしないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>水ぬれ禁止</p> | <p>保護具を身に付けて操作すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各基版の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。 ・主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。 <p>感電注意</p> | <p>電気工事は第一種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源回路容量不足や施工不備があると、感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>指示を執行</p> |
|---|---|--|

| | | |
|---|---|--|
| <p>工事完了後、電源端子部で絶縁抵抗を測定し 1MΩ 以上あることを確認すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故障・漏電・火災のおそれあり。 <p>指示を執行</p> | <p>D種接地工事（アース工事）は第一種電気工事士の資格のある電気事業者が行うこと。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感電・ノイズによる誤動作・発煙・発火・火災・腐食のおそれあり。 <p>アース接続</p> | <p>配線端子のネジは規定のトルクで締めること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネジ緩み・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。 <p>発火注意</p> |
|---|---|--|

【お願い】

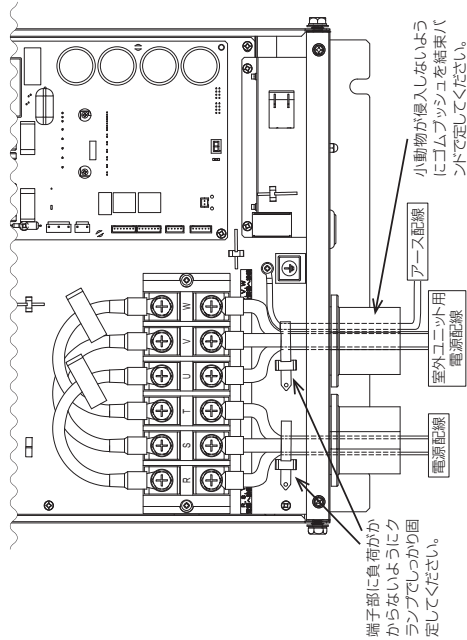
- ・ねじ類の締め付けは、確実に実施してください。

取付説明書

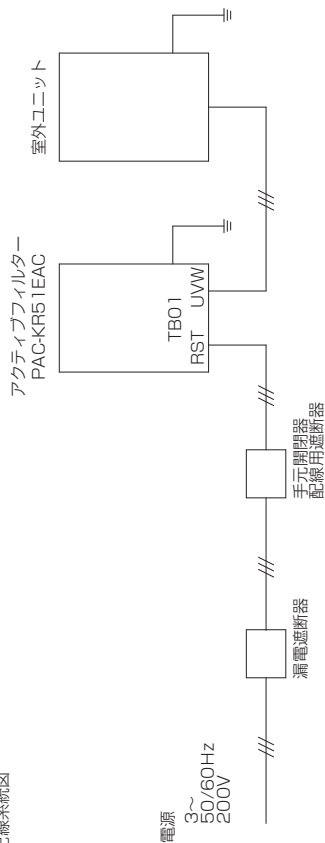
高調波対策用アクティブフィルター : PAC-KR51EAC

5-1-1. 電源配線方法

- ・「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付説明書に従ってください。
 - ・アクティブフィルターおよび室外ユニットは、個別にD種接地工事を必ず実施ください。
 - ・ユニット電源配線：端子台のR,S,Tに電源からの電源配線を接続。
 - ・端子台のU,V,Wから室外ユニット電源端子台に電源配線を接続。
 - ・D種接地工事を実施。
- ※ 必ず各相の相順を確認ください。



配線系統図



主電源およびアクティブフィルターと室外ユニット間の配線太さと開閉器容量
 室外ユニットの据付説明書、システム設計・工事マニュアルに従ってください。
 取付可能な室外ユニット台数は1台となり、また定格は13kWまでです。
 規定以上の室外ユニットを取り付けた場合、アクティブフィルター破損の要因となります。
 13kWを超える室外ユニットを取り付けた場合、高調波を適切に制御できなくなります。

5-1-2. 駆動方法の選択

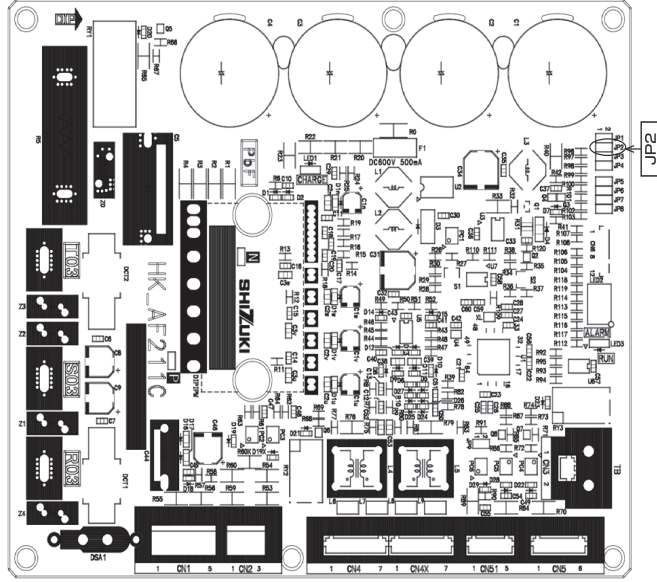
アクティブフィルターの運転/停止方法は以下の2種類から選択し、5-1-3. 項又は5-1-4. 項にて設定を裏確認ください。
 (1) 負荷電流運動: 室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約 8A にて起動、運転後 4A 以下にて停止する。
 (2) 空調機完全運動: 室外ユニットと通信信号線を接続し、圧縮機の運転に連動してアクティブフィルターの運転

* 各方法には制約事項がありますので、ご注意ください。
 外部に信号を出す場合は、[5-1-6. 外部出力仕様] をご確認ください。

| | 基板上設定 | 室外ユニット側 信号配線 | 室外ユニット側 基板設定 | 異常表示 |
|---------|----------|-----------------|-----------------|-------------------|
| 負荷電流運動 | JP2 短絡 | 不要 | 不要 | 本体 LED のみ |
| 空調機完全運動 | JP2 オープン | 必要 (現地手配) | 必要 | 本体 LED、 空調リモコン |

5-1-3. 詳細設定: 負荷電流運動を選択の場合

- (1) AF 基板設定
 AF 基板上 JP2 に短絡コネクタが接続されていることをご確認ください。
 (出荷時、短絡コネクタ接続)



(2) 室外ユニット間信号配線

アクティブフィルターと室外ユニットを接続する信号配線はありません。

(3) 室外ユニット側基板設定

室外ユニットにおける設定は、ありません。
 ※ 以上のよう設定することにより、室外ユニット側接続の電源配線に流れる電流を検知し、約 8A にて起動、4A 以下にて停止することができます。ただし、アクティブフィルターの検知する異常は室外ユニット用リモコンに表示しません。AF 基板上 LED 表示、または外部出力信号を確認ください。
 また、AF 基板上 LED 表示は、右に 90° 傾いた表示のため注意してください。
 (表示例)

- ・ 異常 LED 表示: 「3」 の場合、
- ・ 異常 LED 表示: 「C」 の場合、

[1] ネジ締め時、安全のために必ず守ること

配線端子のネジは規定のトルクで締めること。

- ・ ネジ締め・接触不良により発煙・発火・火災のおそれあり。



発火注意

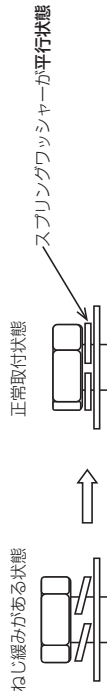
- ・ アクティブフィルター電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは下記トルクで確実に締めてください。

【ネジ締めトルク】

端子台 (TB01)・・・M8 ネジ: 6 ~ 7N・m

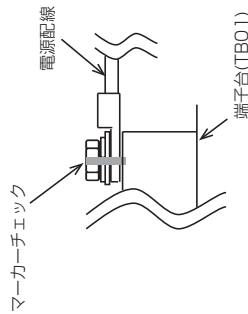
また、スプリングワッシャーが平行状態となっていることを確認してください。

※ ネジが噛み込んだ場合は、規定トルクでネジ締めをしただけでは正常判断できません。



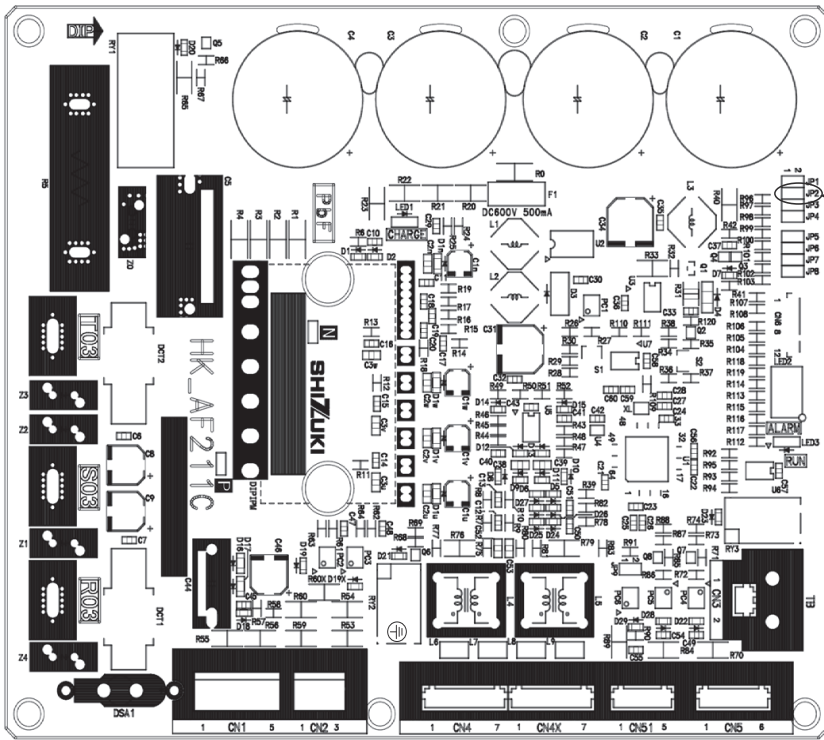
- ・ 斜め締めによりネジ山を潰すことのないよう十分に注意ください。

- ・ 仮締めの本締めに忘れることを防止するために、本締め後に油性マジックでネジ頭、ワッシャー、端子にチェックを入れてください。



5-1-4. 詳細設定：空調機完全連動を選択した場合

(1) AF基板設定
出荷時はAF基板JP2に短絡コネクタが接続されています。
室外ユニット完全連動のため、短絡コネクタを取外してください。



(2) 室外ユニット間信号配線

- 電気配線図および付属の「コネクタ接続について」を参考に配線してください。
- アクティブフィルターの空調機間信号配線は付属コネクタ配線（約15cm）を使用し、機器間の配線は現出手配としてください。（導体断面積0.14mm²：AWG26以上、配線長200m以下とすること）
- 各配線は付属コネクタ配線との接続部にて絶縁処理を確実に実施ください。
- 室外ユニット間信号配線のAF基板側は、ユニット下部の穴より配線し、1-2(2)構造の内部部品配置図に示したAF基板左下に位置するフェライトクランプに2ターニング巻き、配線クランプで固定してから、基板に接続ください。
- またノイズによる振動作防のため、電源配線とは離して配線し、同一電線管内に入れり、沿わせてりせず、独立して配線してください。

※2ターニングとは、下図のように、フェライトクランプに配線を2回通してください。



※ Mr.SLIM機種（PU（Z）-**）に本アクティブフィルターを接続する場合
室外ユニット間信号配線およびSW設定等については、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」に従って接続してください。
※コネクタ接続について

室外ユニット間信号配線の室外ユニット制御基板側の3種コネクタ配線は、スノーセンサー/ナイトモード/デマンドの3種類の入力信号の内の1つを選択することができます。

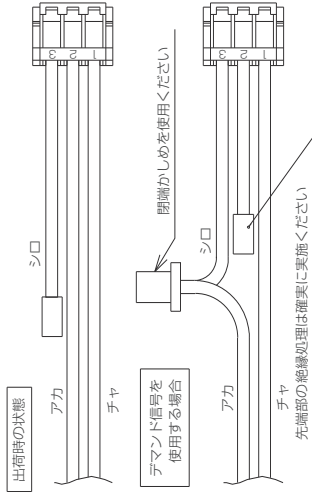
どの信号部をアクティブフィルター用として使用するかにより、下表のように接続変更してください。なお、アクティブフィルター制御に使用した入力信号部の機能は使用できなくなりますが、残りの機能は従来通り使用可能です。

| 使用入力信号 | コネクタ位置 | 使用ピン位置 | ピン位置変更 |
|---------|--------|--------|---------|
| スノーセンサー | CN3S | 1-2ピン | なし |
| ナイトモード | CN3D | 1-2ピン | なし |
| デマンド | CN3D | 1-3ピン | 2ピン→3ピン |

デマンド入力信号を使用する際には、ピン位置の変更が必要です。ピン位置の変更は、配線のつなぎ換えにて実施ください（下図参照）。

その際、配線の接続部および先端部の絶縁（テープング）処理は確実に実施してください。
また、CN51部の外部出力信号（圧縮機ON/OFF出力および異常出力）を従来の用途で使用する場合には、AF基板上のCN51が渡り配線構成となっていますので、室外ユニット制御基板側のCN51の代わりにAF基板上のCN51を使用してください。

*デマンド入力信号使用時：空調機間信号配線3種コネクタの配線つなぎ換え要領



(3) 室外ユニット側基板設定

室外ユニットにおける設定は、以下のようにしてください。（必ず電源投入前に実施）

| 設定 | 室外制御基板 SW | CN51 | 接続 | CN3D(CN3S) | 接続 |
|----|-----------|------|----|------------|----|
| 設定 | 3-8 ON | 接続 | 接続 | 接続 | 接続 |

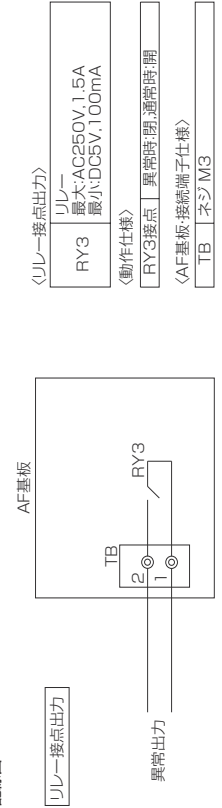
このように設定することにより、室外ユニットからの圧縮機ON/OFF信号に応じてアクティブフィルターをON/OFF制御すると共に、アクティブフィルターの稼働する異常をリモコン表示できるようになります。

5-1-5. 外部出力仕様

(1) 出力仕様

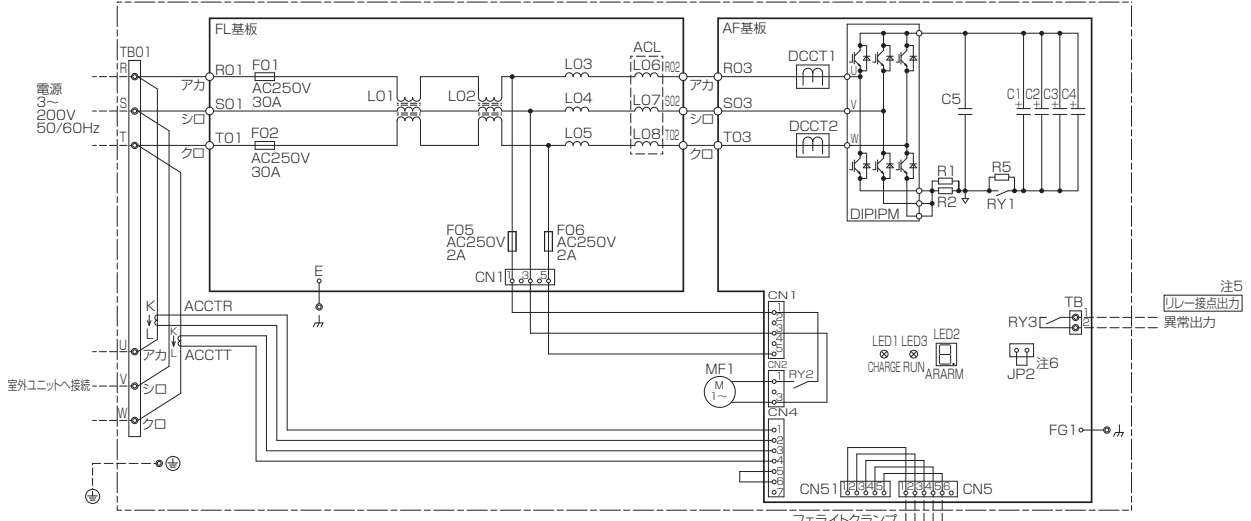
| 機能 | 使用用途 |
|------|------------------------------|
| 異常出力 | 外部へアクティブフィルター異常状態の信号が取り出せます。 |

(2) 配線図



5-1-6. 電気配線図

PAC-KR51EAC 電気配線図



AF基板上LED表示(LED2)と内容

| LED表示 | 内容 |
|-------|-----------------------|
| 0 | ACCTコネクター(AF基板-CN4)抜け |
| 1 | 電源過電圧 |
| 2 | 電源不足電圧 |
| 3 | 直流母線過電圧(S/W検出) |
| 4 | 直流母線過電圧(H/W検出) |
| 5 | 直流母線不足電圧 |
| 7 | IPMエラー(過電流、制御電源異常) |
| 8 | 欠相/逆相 |
| 9 | ACCT誤配線 |
| A | 瞬時停電 |
| C | 過電流 |
| F | 周波数(同期)異常 |
| H | IPMエラー(過熱) |
| P | パワーリレー接点異常 |

- 注1 破線は現地配線を示します。
- 注2 一点鎖線は制御箱境界を示します。
- 注3 製品内には、多数の高電圧充電部がありますので、製品内の点検は、必ず電源を切り、10分以上放置後、IPMのP/N端子部の電圧が十分に下がっていること(DC20V以下)を確認してから行ってください。
- 注4 製品内には多数の高電圧がありますので、電源遮断後も十分注意してください。
- 注5 異常信号を外部出力する場合は、TBのリレー接点出力を使用してください。最大 AC250V, 1.5A 最小 DC5V, 100mA
- 注6 アクティブフィルターの起動方法による設定および接続の違いは右表「起動方法と設定および接続」を参照してください。
- 注7 連係用配線使用時は、室外ユニットの据付取扱説明書に従ってください。

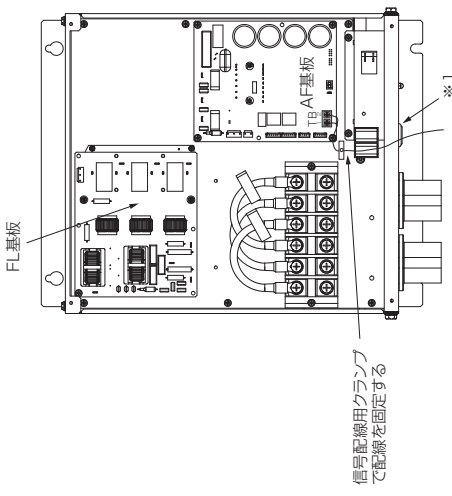
＜起動方法と設定および接続＞

| 運転/停止方法選択 | AF基板 JP2 | 連係用配線 |
|-----------|----------|-------|
| 負荷電流連動 注8 | 短絡 | 無 |
| 空調機完全連動 | オープン | 有 |

注8 負荷電流連動の場合には、空調機接続のリモコンはアクティブフィルターの異常表示はしません。

16

- (3) 配線方法
- AF基板の端子台TBに、使用用途に合わせてそれぞれ番号線を接続します。このとき番号線には丸端子(M3)を圧着し端子に接続してください。
- ※ 接続する配線は、電源配線と離して配線してください。
- ※ 接続するケーブル、ランプ等は、リレー接点出力を満足するものを現地手配してください。



※1 製品下部の信号配線用引込口(P.14参照)を通して外部に出します。

15

7. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

7-1. 試運転の方法

(1) 運転制御

アクティブフィルタ運転中は、電源入力電流が正激流になるように制御します。また、アクティブフィルタ運転中は、AF基板上のRUN(LED3)が点灯します。

- ・ 負荷電流変動を選択した場合
アクティブフィルタは室外ユニット制御基板の電源電線に流れる電流を検知し、約8Aにて起動、運転後4A以下にて停止します。
- ・ 空調機完全運動を選択した場合
運転・停止に依る信号は、以下のような状態になります。

運転指令信号 (室外ユニット制御基板CN51の圧縮機ON/OFF出力信号)

| | |
|--------|---------------------------|
| 運転指令信号 | AF基板CN5-3P (+), 4P (-)間電圧 |
| 運転指令 | 約12V |
| 停止指令 | 約0V |

| | |
|--|---------------------------|
| 運転状態信号 (室外ユニット制御基板CN3D / 3Sのデマンド/ナイト/センサー入力信号) | |
| 運転状態信号 | AF基板CN5-1P (+), 2P (-)間電圧 |
| AF運転中 | 2~3V |
| AF停止中 | 約12V |

基本的な動作状態は、以下ようになります。

| 部 位 | 室外ユニット運転中 | |
|-------------------|-----------|-----------|
| | 正常運転中 | 異常リトライ待ち中 |
| コンタクター (AF基板) | ON | OFF |
| ACファン | ON | ON |
| アクティブフィルタ制御動作 | ON | OFF |
| 運転状態信号 RUN (LED3) | ON | OFF |

7-2. 試運転中の確認事項

7-2-1. 運転動作確認

保護具を身に付けて操作すること。

- ・ 各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
- ・ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



電源投入中には基板その他電気部品に直接手を触れないこと。触れる場合は必ず電源を切断後10分以上待ち、AF基板にCHARGE(LED1)が点灯していることを確認すると共に、IPMのP, N端子間 (P・8参照) の充電電圧が十分に低いこと (20V以下) を確認してから実施ください。

据付工事時に、電源相を正しく接続しており、異常発報がなくAF基板上のRUN (LED3) が点灯しアクティブフィルタ本体より運転音 (シャリシャリ音) がしている場合は、正常動作と考えられますが、さらに詳細に調べる場合は、運転中に以下のような方法で行ってください。

- 1) オシロスコープにて電源端子部にて線間電圧確認
波形の線間アンバランスが小さく、電圧 = 0 V近傍に著しい歪みがないこと
- 2) 電流プローブ+オシロスコープにて、電源入力電流波形確認
各相電流波形がほぼ正弦波状であること
- 3) 高調波モニター機器 (指月電機製: HM 5600等) にて電源入力電流高調波測定
各相電流とも5次高調波成分が基本波成分の10%以下であること
波形モニターにて、各相電流波形がほぼ正弦波状であること

7-2-2. 想定内動作

以下のような動きは、異常 (想定外動作) ではありません。

| 動作 | 原因 |
|--------------------------|---|
| 運転中シャリシャリ音が聞こえる | 高調波電流により、内部のACLから音が発生します。 |
| 起動時に高調波抑制量が少ない | 過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。 |
| 負荷急変時に高調波抑制量が減少することがある | 10秒程度で通常運転となります。 |
| LEDに異常表示されるが約5秒後に運転再開する | 過渡的なストレスが発生しないように制御動作を抑制しております。 |
| アクティブフィルタ停止中もACファンが回り続ける | 内部異常検知に対し、リトライ機能を持たせています。 5回連続して検知した場合、異常停止状態となります。 リトライ停止中 (約5秒間) は、ACファンを回し続けます |

7-2-3. 異常表示

異常は、アクティブフィルタが検知するものと、室外ユニットが検知するものの2種類があります。ただし、負荷電流変動を選択した場合、室外ユニットにて異常検知および表示はしません。

アクティブフィルタが検知する異常 (AF制御基板上LED (LED2) での詳細確認内容)

LED表示は右に90°傾いた表示となるため、確認時注意してください。

| アクティブフィルタ検知異常 (LED表示) | 異常内容 |
|-----------------------|---|
| 0 | ACCT コネクタ (AF基板-CN4) 抜け |
| 1 | 電源過電圧 (AC250V以上) |
| 2 | 電源不足電圧 (AC160V以下) |
| 3 | 直流母線過電圧 (S/W検出、DC390V以上) |
| 4 | 直流母線過電圧 (H/W検出、DC420V以上) |
| 5 | 直流母線不足電圧 (DC201V以下) |
| 7 | IPMエラー (過電流81.8~92.7A、制御電圧10.3~12.5V) |
| 8 | 欠相/逆相 |
| 9 | ACCT 誤配線 |
| A | 瞬時停電 |
| C | 過電流 (S/W検出: 62.5A以上3回連続、H/W検出: 85A以上1回) |
| F | 周波数 (同期) 異常 |
| H | IPM 過熱エラー (95°C以上) |
| P | パワーリレー接続異常 |

アクティブフィルタにはリトライ機能 (最大4回) があります。上記異常を検知した場合、約5秒間停止した後リトライ運転を行います (この時、室外ユニットは停止しません)。リトライ運転を実施しても同種の異常が5回連続する場合 (異常猶予期間は起動後90秒間)、アクティブフィルタは異常停止し、運転信号状態が「停止」 (=室外ユニットがアクティブフィルタ異常検知) となります。 (室外ユニットは停止しません)

異常停止後は、不具合補修し、電源再投入してください。

室外ユニットが検知する異常 (室外ユニット完全運動を選択の場合のみ検知)

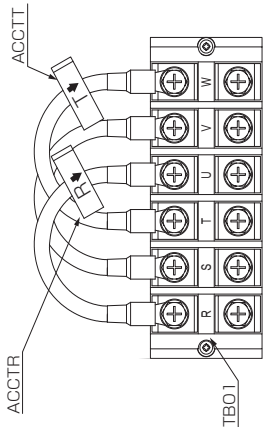
| M/NET 系表示異常 | 異常コード | 異常内容 |
|-------------|---------|----------------------------------|
| 異常猶予 | OC-4171 | アクティブフィルタ異常検知 (上記) |
| 異常 | OC-4121 | インターフェース異常 (運転状態信号不整合: コネクター抜け等) |

1) 度目の異常検知では異常猶予となり、室外ユニットが一旦全停止し、3分後に再起動をします。異常猶予期間は10分で、猶予期間中に再度異常検知した場合にアクティブフィルタが異常停止となります。なお、リモコンには異常コードが表示されますが、室外ユニットは運転を継続します。

Mr.SLIM 線種の異常表示は、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」で確認してください。

| 異常現象 | 推定原因 | 調査方法 | 調査 NG 時対応 |
|------------------------|--|--|--|
| 4121 異常 LED 表示: "H" | AC ファン不良 風扇閉塞 接触不良 駆動回路不良 電源配線の欠相 主回路ヒューズ切れ ヒューズ切れ確認 信号配線コネクタ抜け AF 基板不良・他 地絡 FL 基板不良 AF 基板不良 AC ファン不良 AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 個別対応 (電源) 不具合部補修 FL 基板交換 |
| 4121 異常 LED 表示: なし | AC ファン不良 風扇閉塞 接触不良 駆動回路不良 電源配線の欠相 主回路ヒューズ切れ ヒューズ切れ確認 信号配線コネクタ抜け AF 基板不良・他 地絡 FL 基板不良 AF 基板不良 AC ファン不良 AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 |
| プレーク遮断 | 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 |
| 特性不良 | 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 |
| 騒音 (ビビリ音) (高周波音) | 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 |
| ノイズ | 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源不良 電源電圧波形確認 ACCT 不良 主リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) AF 基板不良 ネジ緩み FL 基板不良 電源インピーダンス アース接続不良 配線接触不良 FL 基板不良 電源インピーダンス | コネクタをはずれ確認 ロック確認 AC ファン風路確認 GN1,GN2 確認 運転時 GN2:1P,3P 間電圧なし 配線接続確認 ヒューズ切れ確認 GN3D GN3S 接続確認 FL 基板ヒューズ切れの項へ 電源再立ち上げ 対地間抵抗 > 1 MΩ FL 基板上 C 膨らみ AC ファン、AC ファン配線地絡確認 電源回路不良 対地間抵抗 > 1 MΩ アクティブフィルターの電源接続をはずして運転 電源電圧波形確認 (定み、アンバランス) 抵抗値チェック (※ 1) 各端子間の抵抗値チェック (※ 2) 各部締付け確認 FL 基板上 C 膨らみ 電源電圧波形確認 アース接続確認 配線接続確認 電源電圧波形確認 | 不具合部補修 AC ファン交換 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 「主回路ヒューズ切れ」の項へ FL 基板ヒューズ切れの項へ AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 AC ファン交換 FL 基板交換 不具合部補修 室外ユニット側要因 個別対応 (電源) ACCT 交換 (※ 3) FL 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 FL 基板交換 |

- ※ 1 ACCT 故障判定
GN4 コネクタを外し、端子間抵抗値チェック: 110 Ω ± 20 Ω
1-2pin 間 (U相)
3-4pin 間 (W相)
- ※ 2 リアクトル抵抗値をチェック
FL 基板を取り外し、リアクトル側 (基板裏側) のリード部にて確認。
3 つの抵抗値がバラバラしている事を確認。
- ※ 3 ACCT 交換
 - ・ 交換時、ACCT の向きに注意してください。
 - ・ 交換後、電源配線接続の際、端子台 (TB01) のネジは所定のトルクで確実に締めてください。(P.19 参照)



- ※ 4 電源の電圧アンバランスが 3% (JIS C 4421) を超える場合、「IPMエラー」[欠相 / 逆相] 異常が発生する可能性があります。
電圧アンバランス = $\frac{\text{最大線間電圧} - \text{最小線間電圧}}{\text{平均線間電圧}} \times 100 [\%]$

応急運転 (室外ユニット完全運転を選択の場合のみ)
応急運転としては、以下の方法があります。目的に応じて、適用ください。

| 応急運転動作 | 室外ユニット制御基板 | AF 基板 |
|---------|------------------|----------------|
| AF 異常無損 | GN51 未接続 | GN8 未接続 |
| AF 常時運転 | SW3-8 OFF 未接続 | 1-3P 短絡 未接続 |
| AF 停止 | SW3-8 OFF 未接続 | 未接続 |

AF 異常無損では、室外ユニットの圧縮機 ON/OFF 出力信号に応じてアクティブフィルターが動作しますが、アクティブフィルターが異常停止しても室外ユニットは運転を継続します。
アクティブフィルターの異常は、通常どおり AF 基板の LED (LED2) により判定することができます。
※ Mr.SLIM 機種の設定 SW は、別紙「Mr.SLIM 接続説明書」で確認してください。

7-2-4. 異常状態とメンテナンス

保護具を身に付けて操作すること。

・ 各基板の端子には電圧がかかっている。触れると感電のおそれあり。
・ 主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。

異常状態は電源を切る前に AF 基板上の LED(LED2) 表示により確認できます。
以下の表により、現象別に上段から順に確認し、対応をとってください。

分解作業は、電源を切ってから 10 分以上待って、AF 基板上 CHARGE(LED1) が消灯していることを確認すると共に、IPM の P, N 端子間 (P.4 参照) の充電電圧が十分低いこと (20V 以下) を確認してから行ってください。

| 異常現象 | 推定原因 | 調査方法 | 調査 NG 時対応 |
|--|---|--|--|
| 4121 異常 LED 表示: "0" | コネクタ抜け・接触 コネクタ工作不良 AF 基板不良 電源環境不良 機器内の配線接続確認 AF 基板上セメント抵抗値 = 10 Ω | GN4 接続確認 GN4-5P,6P 短絡線確認 再運転 電源電圧、絶縁確認 機器内の配線接続確認 AF 基板上セメント抵抗値 = 10 Ω | 不具合部補修 不具合部補修 AF 基板交換 不具合部補修 AF 基板交換 |
| 4121 異常 LED 表示: "1", "2", "3", "4", "5" | AF 基板不良 ACCT 不良 主リアクトル不良 | 再運転 抵抗値チェック (※ 1) 各リアクトルの抵抗値チェック (※ 2) 地絡確認 | AF 基板交換 ACCT 交換 FL 基板交換 |
| 4121 異常 LED 表示: "7" | 誤検知・誤動作・他 AF 基板不良 電源環境不良 電源電圧確認 (※ 4) 電源発生確認 | 再運転 再運転 電源電圧確認 (※ 4) 電源発生確認 | AF 基板交換 AF 基板交換 不具合部補修 |
| 4121 異常 LED 表示: "8" | 電源配線の欠相または逆相接続 主回路ヒューズ切れ LED 表示: "C" に同じ | 電源配線の欠相または逆相接続確認 ヒューズ同端導通確認 | 「主回路ヒューズ切れ」の項目へ |
| 4121 異常 LED 表示: "9" | 誤検知・他 電源電圧確認、ACCT 接続位置不良 ACCT 不良 電源環境不良 電源発生確認 | 電源電圧確認 (※ 4) 据付位置確認 ACCT 不良 電源電圧確認 電源発生確認 | 不具合部補修 ACCT 交換 (※ 3) |
| 4121 異常 LED 表示: "A" | AF 基板不良 | AF 基板不良 | AF 基板交換 |
| 4121 異常 LED 表示: "C" | LED 表示: "7" に同じ | | |
| 4121 異常 LED 表示: "F" | 電源環境不良 | 電源周波数確認 定格 ± 5% 以内 | AF 基板交換 |
| 4121 異常 LED 表示: "F" | AF 基板不良 | | AF 基板交換 |

Mr.SLIM 接続説明書

B

アクティブフィルタ(PAC-KR51EAC)を、**空調機完全連動方式**にて下記のMr.SLIM機種へ接続する
場合の補足説明書です。据付・取扱説明書とともによくお読みの上、取り付けを行ってください。

1 適用機種

Mr.SLIM 8/10馬力室外機
P224/280形及び、P8/10形
代表型名：MPUZ-WRP224/280HA3以降（'06年5月生産分以降 製造号機65U****以降）

※必ず上記の室外機1台に対し、アクティブフィルタ1台を接続ください。

上記以外の機器は、負荷電流連動方式で接続してください。
ご不明な点は、当社営業窓口までご照会ください。

2 注意

据付・取扱説明書に記載された「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、据付を行って
ください。

3 接続方法

注) 空調機完全連動方式の場合の接続方法です。負荷電流連動方式選択時は必要ありません。

- ①アクティブフィルタ（以下AF）基板側の設定
 - ・AF基板上のJP2の短絡コネクタを取り外してください。詳細は据付・取扱説明書を参照ください。
- ②空調機間信号配線
 - ・図1のように、室外制御基板(空調機側)のCN3S(1-3ピン)、CN51とAF基板のCN5を接続ください。
 - ・AFとの空調機間配線は付属コネクタ配線(15cm)を使用し、**機器間の配線は現地手配**としてください。
 - ・CN3S接続の付属3極コネクタは、図2を参考にして、つなぎ換えを行ってください。
 - ・配線は、**導体断面積0.14mm²：AWG26以上**、配線長10m以内としてください。
 - ・各配線は、付属コネクタ配線との接続部にて**絶縁処理を確実に実施**願います。
 - ・空調機間信号配線のAF基板側は、本体制御BOX下部の穴より配線し、据付・取扱説明書の「製品の外形」の内部
部品配置図に示したフェライトクランプに2ターン巻いてから、基板に接続ください。
 - ・ノイズによる誤動作防止のため、電源配線とは離して配線し、同一電線管内に入れたり、沿わせたりせず、
独立して配線してください。

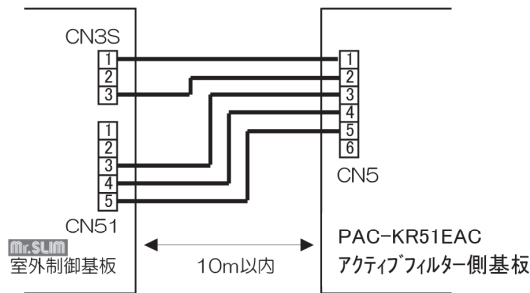


図1

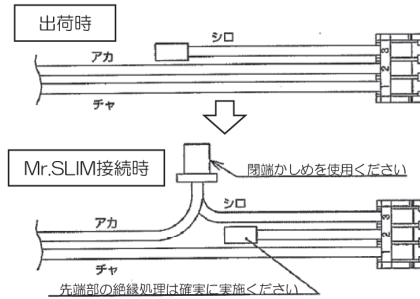


図2

- ③室外機制御基板(空調機側)設定
 - ・室外機制御基板上のSW9-2をOnしてください。

| | | |
|-------|---------------|---------------|
| | スイッチ操作による動作 | |
| | On | Off |
| SW9-2 | 空調機完全 連動方式 | 標準/ 負荷電流連動 |

4 異常表示

- ・AF側の異常表示および異常時の対処方法は、据付・取扱説明書の試運転を参照ください。
- ・AF異常時に、空調機側に表示される異常コード(猶予含む)は、「U9」異常となります。
- ・U9異常の詳細表示(A制御ポイント検キット PAC-SG50ST)では「40」となります。「40」はAF異常専用コード
- ・SW9-2 Onの場合、AF基板に異常がなくても、空調機間信号配線の外れ、断線でも異常になります。

5 応急運転

- ・空調機完全連動方式を選択時、下表のような設定により応急運転が可能です。
- ・AF異常無視では、室外ユニットの圧縮機On/Off出力信号に応じてAFが動作しますが、AFが異常停止しても室外ユニットは運転を継続します。

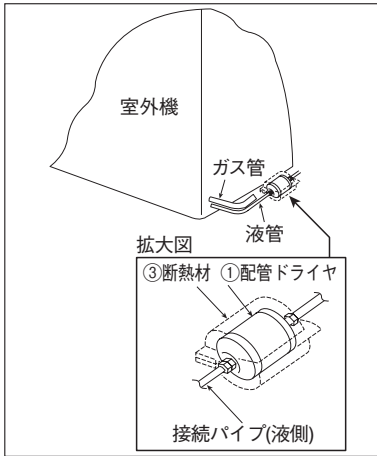
| | | | | |
|--------|------------|------|------|------|
| 応急運転動作 | 室外ユニット制御基板 | | | AF基板 |
| | SW9-2 | CN51 | CN3S | JP9 |
| AF異常無視 | OFF | 接続 | 未接続 | オープン |
| AF常時運転 | OFF | 未接続 | 未接続 | ショート |
| AF停止 | OFF | 未接続 | 未接続 | オープン |

BT79C904H01

配管用ドライヤ

- PAC-SG81DR
- PAC-SG82DR
- PAC-SG85DR

使用目的 / 用途



- “配管用ドライヤ” は、冷媒配管内の水分などを取り除き、毛細管詰まり・圧縮機の故障を防止するために取り付ける部品です。
- 水分混入量等、冷媒回路内の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3～7cc)

注意

・本品は冷媒配管の液側(細い方)途中にフレア接続にて取り付けてください。

対象ユニット

【PAC-SG81DR : 液管φ6.35用】

- PUZ-ZRMP40～63(S)KA4
- PUZ-ERMP40～63(S)KA4
- PU-CRMP40～63(S)KA4

【PAC-SG82DR : 液管φ9.52用】

- PUZ-ZRMP80(S)HA4,ZRMP112～160KA4
- PUZ-ZRP224KA10
- PUZ-ERMP80(S)HA4,ERMP112～160LA4
- PUZ-ERMP112・140LA5
- PUZ-ERP224KA10
- PU-CRMP80(S)HA4,CRMP112～160LA4
- PUZ-HRMP80～160KA

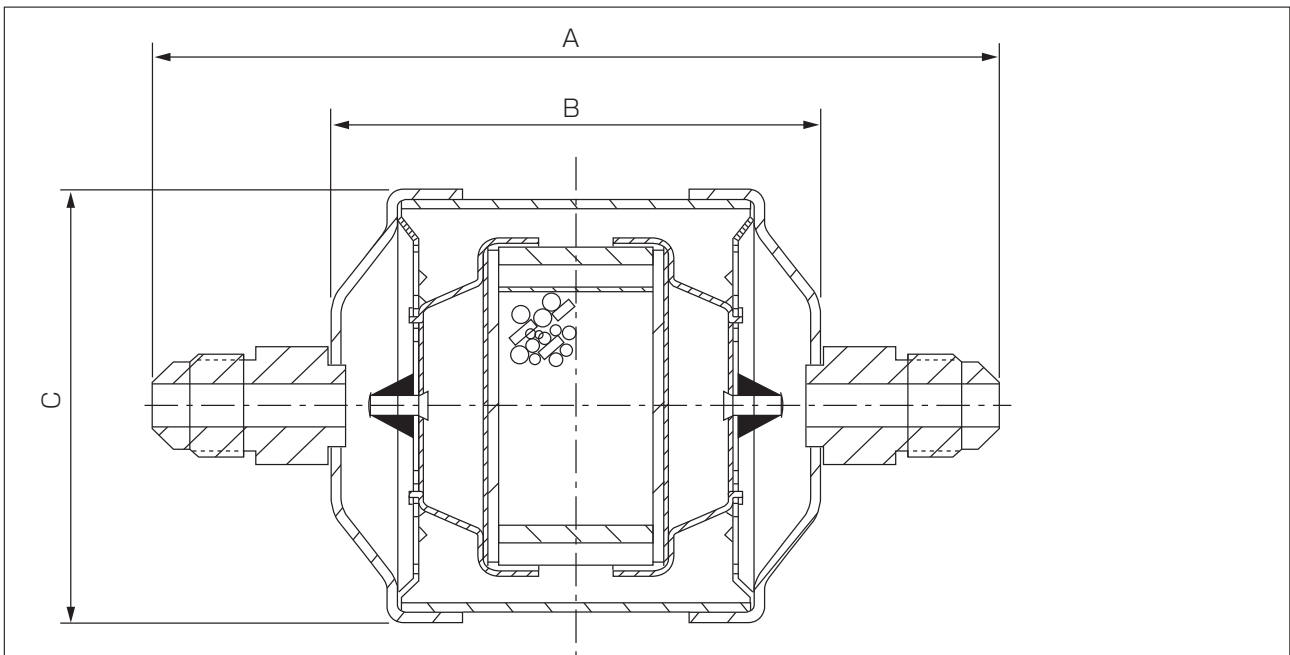
【PAC-SG85DR : 液管φ12.7用】

- PUZ-ZRP280KA10
- PUZ-ERP280KA10

仕様

| 形名 | PAC-SG81DR | PAC-SG82DR | PAC-SG85DR |
|-------|---------------------|--------------|--------------|
| 配管サイズ | 液側 φ6.35 フレア | 液側 φ9.52 フレア | 液側 φ12.7 フレア |
| 適用冷媒 | R32 / R410A / R407C | | |

外形図 (組立図) (単位: mm)



| 形名 | 接続部 | A | B | C |
|------------|---------------|---------|---------|---------|
| PAC-SG81DR | 1/4(φ6.35)フレア | 122±1.6 | 76±1.5 | φ67±0.8 |
| PAC-SG82DR | 3/8(φ9.52)フレア | 151±1.6 | 97±1.5 | φ67±0.8 |
| PAC-SG85DR | 1/2(φ12.7)フレア | 177±1.6 | 117±1.5 | φ80±0.8 |



三菱電機パッケージエアコン別売部品 Mr.SLIM 配管ドライヤ(代替フロン用)据付工事説明書


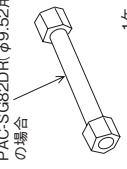
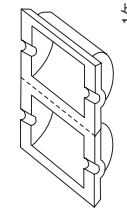
| 形名 |
|-----------------------|
| PAC-SG81DR 液管外径φ6.35用 |
| PAC-SG82DR 液管外径φ9.52用 |
| PAC-SG85DR 液管外径φ12.7用 |

(据付け前に必ず室外ユニットに付属されている
据付工事説明書の指示に従ってください。)

取付要領 (下記の説明をよく読んで組み込んでください。)

- ご注意**
- この別売部品は、冷媒配管内の水分を取り除き圧縮機の故障を防止するために取付ける部品です。ただし、水分混入量等冷媒回路内の汚れが非常に多いと指定された場合は、1シーズン経過後ドライヤ交換が必要です。(水分吸着量は3~7cc)
 - 配管ドライヤは、冷媒配管の液側の途中にフレア接続にて取付けてください。
 - 配管ドライヤは、ユニット外への取付けが可能です。ユニット内への取付けの場合は、取付けスペースが確保できる場合のみ可能となります。

この箱の中には、この説明書他に下記の部品が入っていますのでご確認ください。

| ①配管ドライヤ | ②接続パイプ | ③断熱材 |
|--|---|--|
|  1ヶ |  1ヶ PAC-SG81DR(φ6.35用) の場合 PAC-SG82DR(φ9.52用) の場合 または PAC-SG85DR(φ12.7用) の場合 |  1ヶ |

1 取付準備

- 室外機のパネル取外し、冷媒配管及び、真空引き等の要領はユニットの据付工事説明書を参照ください。
- パネル取外し
- 配管接続
 - サービスマネルとカバーを取外してください。
 - 配管を曲げる際、曲げR(R100~R150)を充分にとり、折らないように注意してください。
 - 配管は圧縮機に接触しないように施工してください。(兼曹、振動の原因になります)
 - 現場対応の接続パイプはフレア加工をしてください。
 - フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を薄く塗付してください。

| 液管外径(mm) | フレア加工寸法φA(mm) | パイプ径(mm) | B寸法(mm) |
|----------|---------------|---------------|--------------|
| φ6.35 | 8.7~9.1 | φ4.0A-R32フレア用 | R2=140°Cフレア用 |
| φ9.52 | 12.8~13.2 | φ6.35(1/4") | クラッチ式 |
| φ12.7 | 16.2~16.6 | φ9.52(3/8") | 0~0.5 |
| | | φ12.7(1/2") | 0~0.5 |
| | | | 1.0~1.5 |
| | | | 1.0~1.5 |

*従来のフレアを併せて冷媒R410AまたはR32用のフレア加工をする場合は、上表を参考加工してください。出し代調整用の配管テープを使用すれば、B寸法が確保できます。

| 液管外径(mm) | 断熱材厚(mm) |
|----------|----------------|
| φ6.35 | 14~18(140~180) |
| φ9.52 | 34~42(340~420) |
| φ12.7 | 49~61(490~610) |

(トルクレンチによる適正な締め付け)

取付説明書

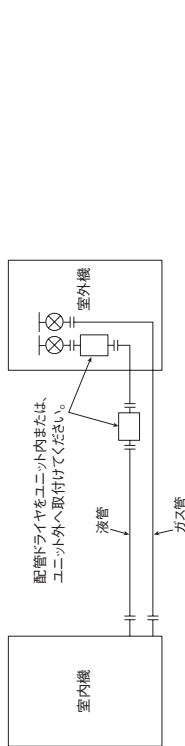
配管用ドライヤ : PAC-SG81DR, SG82DR, SG85DR

(本マニュアル用に変更・修正しています)

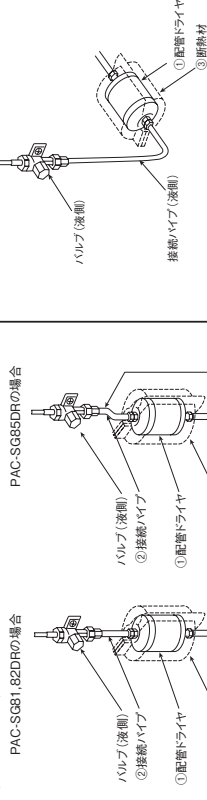
2 配管ドライヤの取付け

配管ドライヤは、必ず液側配管(細い方)に取付けてください。

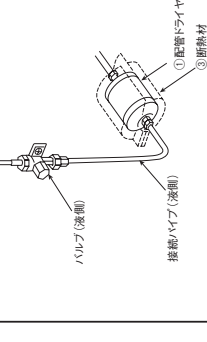
- 配管ドライヤをユニット内に取付ける場合には、スペーసుに応じて(図1,図2)を参照しドライヤを取付けてください。また、ドライヤ取付けのスペーసుがない場所には、ユニット外の取付けとなります。(図3)



配管ドライヤ取付図(ユニット内取付) (図1)



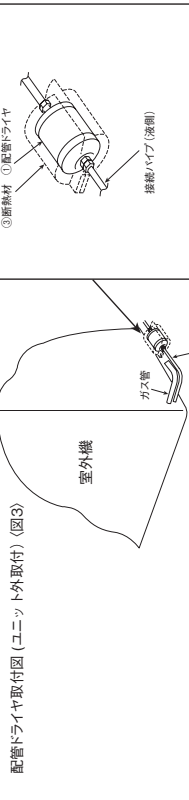
PAC-SG81,82DRの場合



PAC-SG85DRの場合

室外機底面のノックアウト穴の位置に注意して、PIPEの取付け向きを調査してください。

- ユニット外へ取付ける場合は延長配管の任意の場所に取付けてください。接続パイプは現地で製作対応してください。



配管ドライヤ取付図(ユニット外取付) (図3)

- 断熱工事(つゆ垂れ防止)
 - ドライヤ取付後、ドライヤ部分に断熱材を巻き付けてください。
 - ※断熱材の縫目にはテープビンを施して隙間が生じないように施工してください。
 - ※その他配管部分も断熱材を巻き付けてください。

- 以上で配管ドライヤの取付けは完了です。元通りにサービスマネル等を取付けてください。

4 試運転

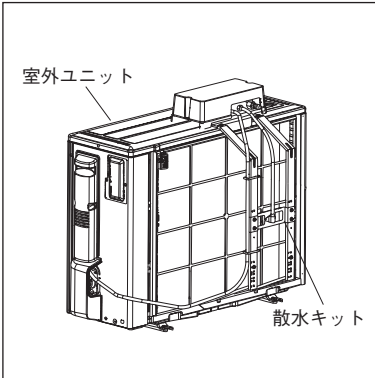
- ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行ない、ガス洩れチェック、運転チェックを必ず実施してください。

RG79N505H02

散水キット

● PAC-SJ12ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP40 ～ 63(S)KA4
- PUZ-ERMP40 ～ 63(S)KA4
- PU-CRMP40 ～ 63(S)KA4

仕様

| | | | |
|-------------|----------------|--|-------------|
| 形名 | PAC-SJ12ESS | | |
| 電源供給 | AC200V 50/60Hz | | |
| ノズル口数 | 1ヶ | | |
| 使用可能給水範囲 | 水道水のみ | 水圧：0.14 ～ 0.25MPa (給水管ホースの場合) /0.14 ～ 0.3MPa (硬質塩ビ管の場合) | 水温：10 ～ 30℃ |
| 水道供給用接続パイプ径 | 軟質ホース | 内径 15mm / 硬質ホース | VP13 |

消費電力削減値

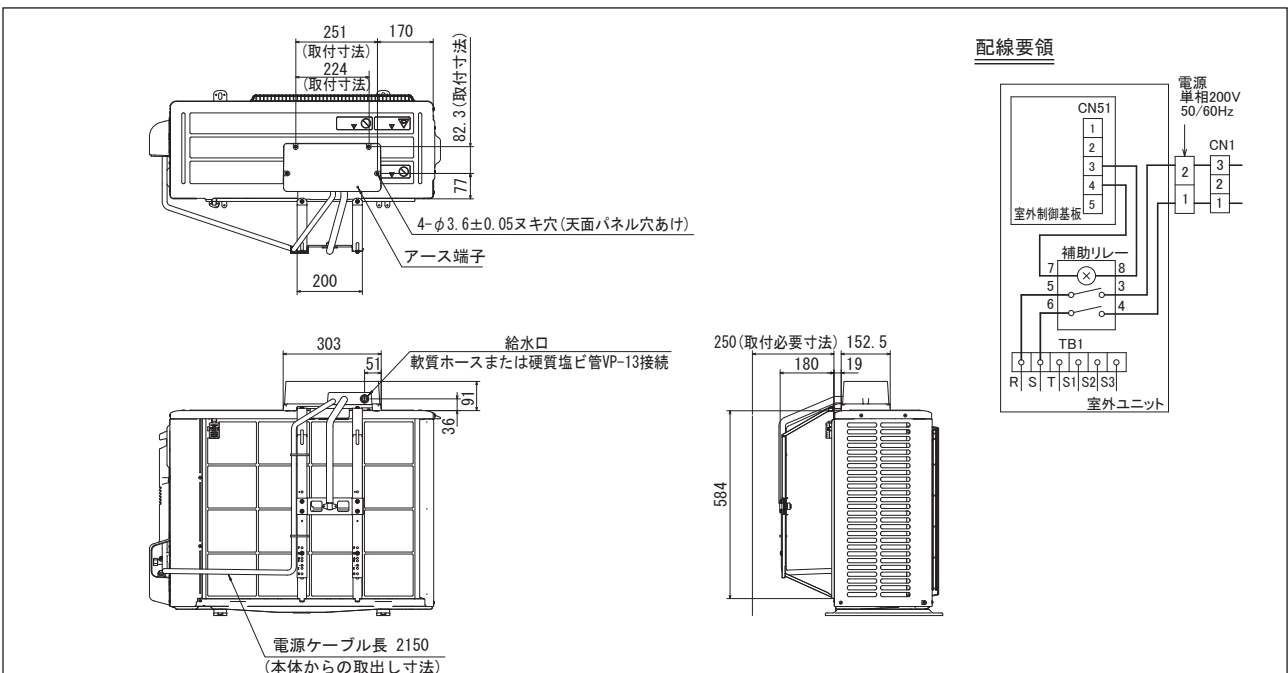
性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SJ12ESS：P63形の場合)

* 消費電力削減値は周波数一定の場合を示します。

| 運転モード | 平常モード(外気温度:32℃, ON) | | | | 過負荷モード(外気温度:40℃, ON) | | | |
|-------------|---------------------|---------|---------------------|----------|----------------------|---------|---------------------|----------|
| | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | |
| 形名 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 |
| PAC-SJ12ESS | 0.17kW (12.0%) | 6.6 l/h | 0.19kW (13.5%) | 13.2 l/h | 0.20kW (14.0%) | 6.6 l/h | 0.25kW (17.6%) | 13.2 l/h |

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上のDIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位：mm)



室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品 散水キット:PAC-SJ12ESS

※据付け前に本説明書をよくお読みください。

| | |
|---------------------|------|
| 別売品名 | 適用機種 |
| PAC-SJ12ESS 室外ユニット用 | Kタイプ |

据付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.3MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告

誤った取扱いをしたときに、死や重傷などに結びつく可能性があります。

注意

誤った取扱いをしたときに、軽傷または衣服・家財などの損害に結びつくもの。

- 据付完了後、試験運転を行い異常がないことを確認するとともに、この据付工事説明書は、お客様で保管していただきたくように依頼してください。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事部品は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災・ユニット落下によるケガの原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電流回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。
- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまること、発火・爆発の原因になります。
- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・配管・電話のアース線に接続しないください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

BH79B224H04

取付説明書

散水キット:PAC-SJ12ESS

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

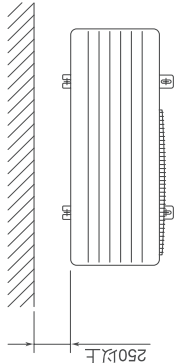
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

| | | | | | | |
|----------|--------|------------------|----------|--------|------------|----------|
| 品番 品名 | ①制御部本体 | ②スプレアー 取付アングル | ③スプレー取付台 | ④継手管 | ⑤ネジ | ⑥給水栓ソケット |
| 個数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 15 | 1 |
| 形 状 | | | | | | |
| 品番 品名 | ⑦バンド | ⑧補助リレー | ⑨ネジ | ⑩アッスナー | ⑪ケーブルストラップ | |
| 個数 | 3 | 1 | 2 | 3 | 1 | |
| 形 状 | | | | | | |

2. 取付手順

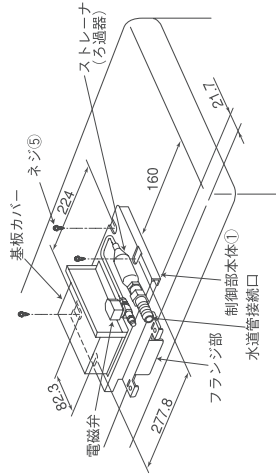
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当て、下図寸法にして置いた後ドリル等で天板に下穴(φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。

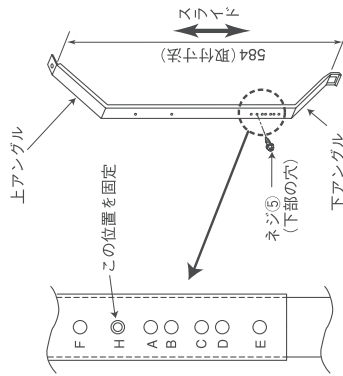


注意

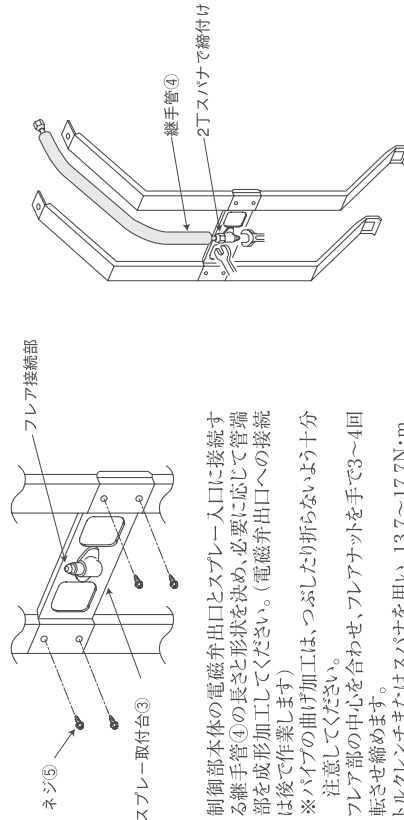
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け

- ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
1. スプレー取付けアングル②をスライダさせ、上アングルのアルファベットHの穴と下アングルの下部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付け台③をフレア接続部が上向きになるようにセットし、スプレー取付けアングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)

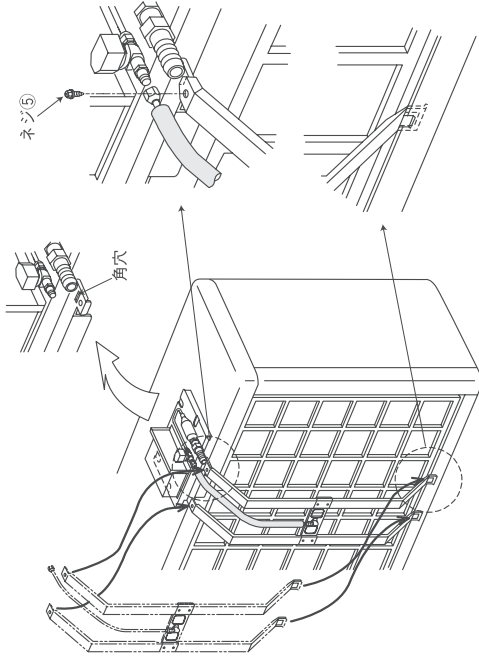


3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)
※パイプの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。
4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スハナで締付けてください。

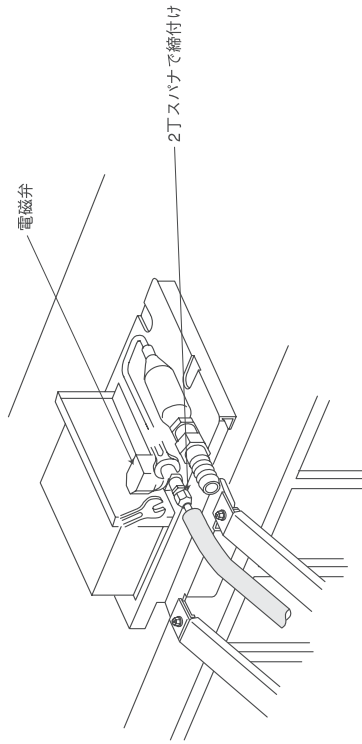
△ 注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m (140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スハナで締付けてください)

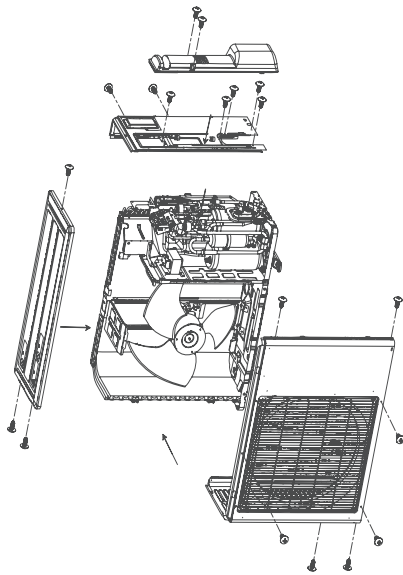


△ 注意

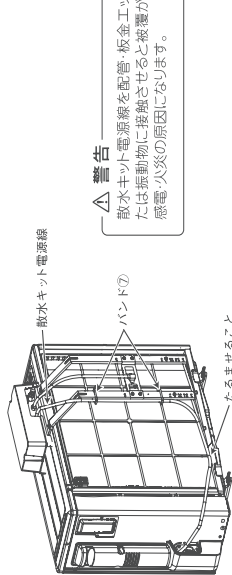
フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

3. 配線手順

3-1 室外ユニットサードベースパネルの取外し 室外ユニットのパネルを下記の通り、取外してください。



3-2 配線作業 散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう下図のように取り廻し、アングルにバンド(7)で2ヶ所結束します。

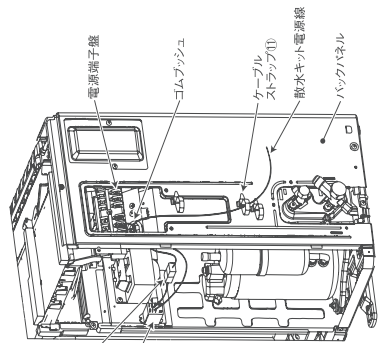


警告 散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物に接触させると絶縁が破れ、感電・火災の原因となります。

3-3 結線作業

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー(8)を接続して結線してください。

1. 室外機電気品箱の指定位置(右図参照)に補助リレー(8)を付属のネジ(9)にて固定してください。
2. 制御本体部(1)のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー(8)のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取付けてください。
※ 散水キット電源線、電源端子盤に接続するリード線は、ゴムブックを通して接続してください。
3. バックパネルにケーブルストラップ(11)を図の通り取付け、取付けたケーブルストラップ(11)に散水キット電源線を通して固定してください。
4. 各リード線を引き回す際には、アースナー(10)を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。



注意

室外ユニット制御室内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因となります。

注意

散水キット電源線と補助リレー(8)のリード線コネクタ部は室外機制御室内にて収めてください。張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

警告

室外ユニットの外観パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因となります。

警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

4. 給水管の接続

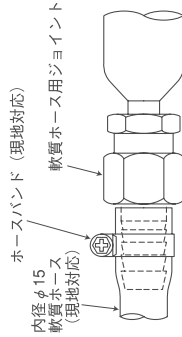
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※ 複数取付けの場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

注意

供給水圧・水量が足りない時と噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

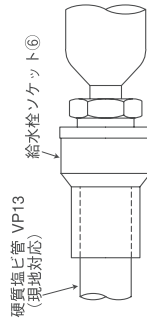
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット(6)を取付けてください。※ 軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スプAnaで行なってください。



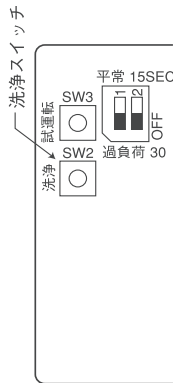
警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因となります。

故障診断 異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時:LED点灯)

| LED | 項目 | 故障箇所 | 電磁弁の状態 |
|-----|---------|------------|--------|
| 点滅 | サーミスタ異常 | サーミスタ断線、短絡 | OFF |
| 消灯 | マイコンエラー | 制御基板不良 | OFF |

洗浄モード 本製品には、室外ユニットのフィンを洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)

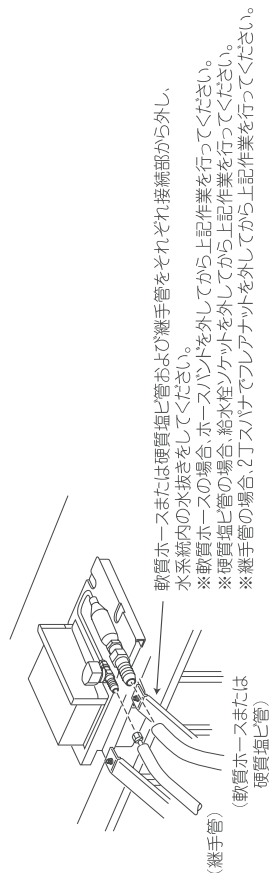


7. カバーの取付け 最後に基板カバーおよびカバー（白色）を取付けてください。

ご使用になるお客様へ

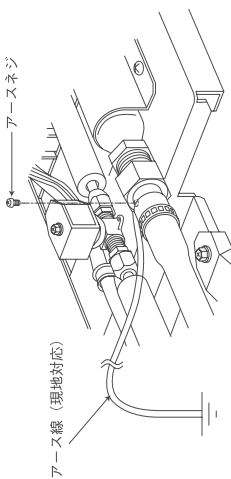
日常点検 供給水の水质によってはスプレー部分がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

冬期の水抜き 冬期に水系統内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



フィンの養生について 室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある場合は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行ってください。

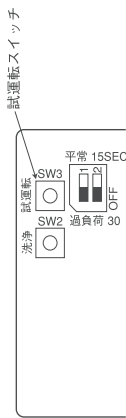
5. アース工事 アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事の方が実施してください。
室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。



警告 アース工事をなう。アース線は、ガス管・水道管・遊動針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転 基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

- 6-1 試運転** 1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。
(試運転スイッチを押すと10分間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
- 6-2 過負荷/平常切換えスイッチの設定** 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギーエアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換えスイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。

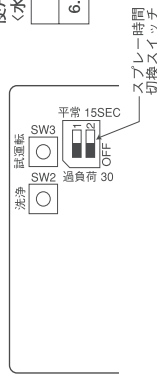


6-3 スプレー時間切換えスイッチの設定 散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています)

スプレー時間切換えスイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。
例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。

使用水量の目安
<水圧:0.15MPa>

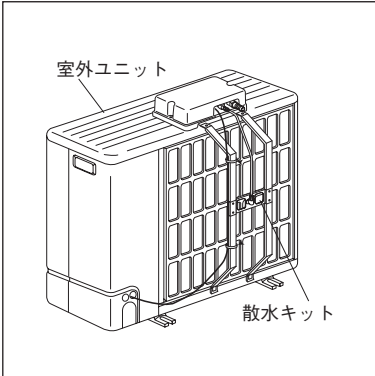
| | |
|--------|---------|
| 15秒 | 30秒 |
| 6.6ℓ/h | 13.2ℓ/h |



散水キット

● PAC-SH36ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP80(S)HA4
- PUZ-ERMP80(S)HA4
- PU-CRMP80(S)HA4

仕様

| | | | |
|-------------|----------------------------|---|--|
| 形名 | PAC-SH36ESS | | |
| 電源供給 | AC200V 50/60Hz | | |
| ノズル口数 | 1ヶ | | |
| 使用可能給水範囲 | 水道水のみ | 水圧:0.14～0.25MPa(給水管ホースの場合) /0.14～0.3MPa(硬質塩ビ管の場合) 水温:10～30℃ | |
| 水道供給用接続パイプ径 | 軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13 | | |

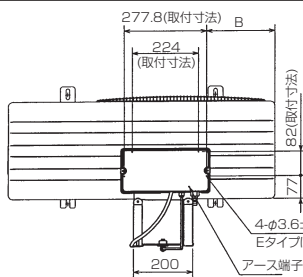
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(室外機形名 PAC-SH36ESS:PUZ-RP80HA)

| 運転モード | 平常モード(外気温度:32℃, ON) | | | | 過負荷モード(外気温度:40℃, ON) | | | |
|-------|---------------------|---------|---------------------|----------|----------------------|---------|---------------------|----------|
| | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | |
| | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 |
| 形名 | 0.20kW (12.0%) | 6.6 ℓ/h | 0.22kW (13.5%) | 13.2 ℓ/h | 0.23kW (14.0%) | 6.6 ℓ/h | 0.29kW (17.6%) | 13.2 ℓ/h |

◎平常/過負荷モードの切換え、及び散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)

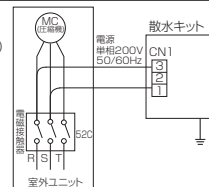


変化寸法表

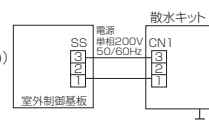
| ユニット形態 | 能力クラス | A | B |
|-------------------------|--------|-----|-----|
| PUZ-ZRMP, ERMP, CRMPタイプ | 40~63 | 567 | 149 |
| | 80~112 | 902 | 183 |

配線要領

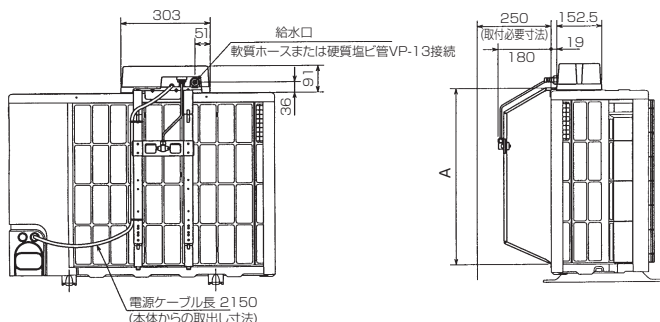
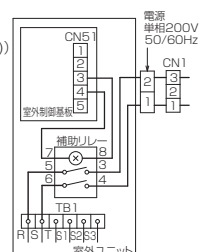
(一定速機種用)



(インバータ機種用
補助リレー未使用時)



(インバータ機種用
補助リレー使用時)



RG79A932H22

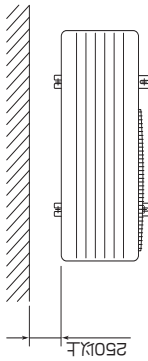
1. 部品の確認 この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

| 品名 品名 | ① 制御部本体 | ② スプレー 取付けアングル | ③ スプレー取付台 | ④ 継手管 | ⑤ ネジ | ⑥ 給水栓ソケット | ⑦ バンド |
|----------|----------|-------------------|-----------|-------|-------|-----------|-------|
| 個数 | 1 | 2 | 1 | 1 | 15 | 1 | 3 |
| 形状 | | | | | | | |
| 品名 | ⑧ リード付端子 | ⑨ リード付端子 | ⑩ 補助リレー | ⑪ ネジ | ⑫ 絶縁材 | ⑬ ファスナー | |
| 個数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 4 | |
| 形状 | | | | | | | |

※インバータ以外の機種のみ使用
※インバータ以外の機種のみ使用

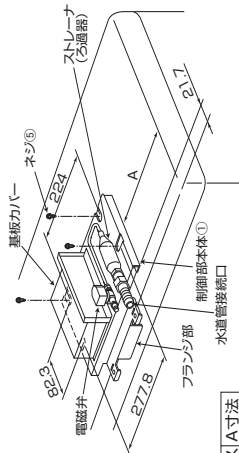
2. 取付手順

(2-1 取付必要スペース)
室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



(2-2 制御部本体の取付け)

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて置き、A寸法(変化寸法表参照)にした後、ドリル等で天板に下穴(Eタイプ:φ3.5±0.03、その他の機種:φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体を固定してください。



(A寸法変化表)

| ユニット形態 | 能力クラス | A寸法 |
|--------|----------|-----------|
| PU(H) | Eタイプ | 40~80 203 |
| PU(H) | Fタイプ | 40~80 202 |
| PU(H) | Gタイプ | 40~80 220 |
| (M)PUZ | Gタイプ | 40~80 220 |
| MPU(H) | P-HAタイプ | 40~56 220 |
| MPUH | P-HA2タイプ | 40~56 220 |

【MPU**HA*タイプの場合】MPU(H)P40-56HA、MPU(H)P40-56HAを除く

| ユニット寸法 | A寸法 |
|------------------|-----|
| 幅800×奥行300×高さ600 | 139 |
| 幅950×奥行330×高さ740 | 173 |
| 幅950×奥行330×高さ943 | 173 |

△ 注意

指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能に十分に発揮できないことがあります。

三菱電機パッケージエアコン別売部品
散水キット取付工事説明書



※取付け前に本説明書をよくお読みください。

取付けの前に

- 本製品は、夏場で、室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10~30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合 0.14MPa~0.25MPa
- 給水管に硬質温水管を使用する場合 0.14MPa~0.3MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので、地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この安全のために必ず守ることをよくお読みください。確実に守ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または財産・乗物などの損害に結びつくもの。

●取付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、この取付工事説明書は取扱説明書とともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いいただくように依頼してください。

警告

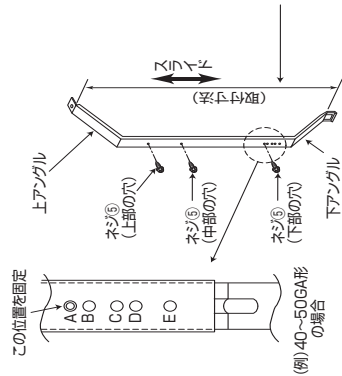
- 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で取付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 取付工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」(内線規程)およびこの取付工事説明書に準じて施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスパネルを確実に取付ける。
- サービスパネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。

注意

- 可溶性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは取付けない。
- 万一ガスがユニットの周囲にたまったと、発火・爆発の原因になります。
- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

(2-3) スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベットの穴(A~F対応表参照)と下アングル(上部~下部 対応表参照)をネジ⑤で固定してください。



《固定位置対応表》

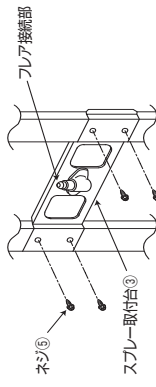
| ユニット形態 | 能力クラス | 固定位置 |
|----------------|--------------|--------|
| PU(H) Eタイプ | 40~50 B(607) | 下穴: 下部 |
| PU(H) Fタイプ | 56~80 B(810) | 下穴: 中部 |
| PU(H) Gタイプ | 40~50 D(630) | 下穴: 下部 |
| PU(H) Gタイプ | 56~80 E(850) | 下穴: 中部 |
| (M)PUZ Gタイプ | 40~50 A(599) | 下穴: 下部 |
| MPU(H) P-HAタイプ | 56~80 A(802) | 下穴: 中部 |
| MPU(H) P-HAタイプ | 40~56 A(599) | 下穴: 下部 |
| MPU(H) P-HAタイプ | 40~56 A(599) | 下穴: 下部 |

[MPU*HA*タイプの場合] MPU(H):P40~56HA MPU(H):P40~56HA2を除く

| ユニット寸法 | 固定位置 |
|------------------|---------------|
| 幅800×奥行300×高さ600 | F(567) 下穴: 下部 |
| 幅950×奥行330×高さ740 | G(699) 下穴: 上部 |
| 幅950×奥行330×高さ943 | A(902) 下穴: 上部 |

※カッコ内の数字は取付け寸法を示します。スライド調整後必ず上表寸法の確認をしてください。

2. スプレー取付け台③をフレア接続部が上向きになるようにセッティングし、スプレー取付けアングル中央部の穴にネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を求め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)

※パイプの曲げ加工は、つぶしたり折らないよう十分注意してください。

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。

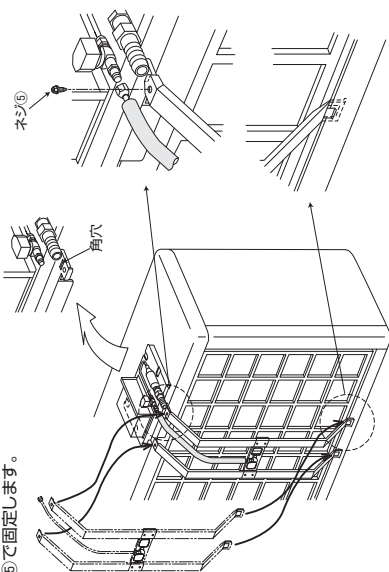
5. トルクレンチまたはスパイクを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。

※必ず2丁スパイクで締付けてください。

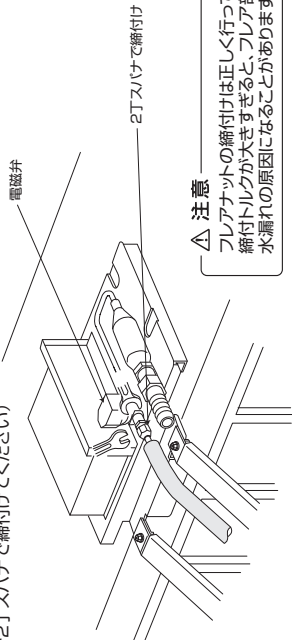
△ 注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になることがあります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っかけ、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパイクを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締付けてください。(必ず2丁スパイクで締付けてください)



△ 注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になることがあります。

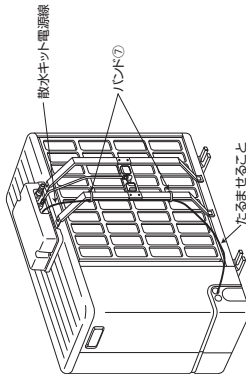
3. 配線手順

(3-1) 室外ユニットサービスパネルの取外し

室外ユニットのサービスパネルを取外し、次に側面にある電源線取出穴(ロックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

(3-2) 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう取り回し下部の配管穴を通してアングルにハンド⑦で結束します。

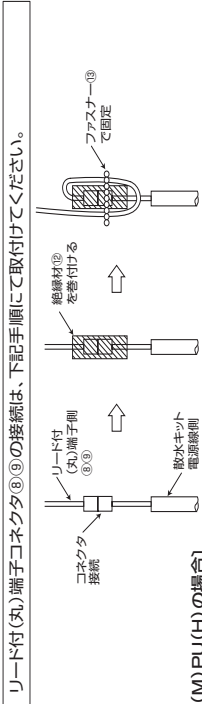


△ 警告

散水キット電源線を配管・板金エッジまたは振動物体に接触させると被覆が破れ、感電・火災の原因になります。

③-3 結線作業

リード付(丸)端子コネクタ⑧⑩の接続は、下記手順にて取付けてください。



(M) PU(H) の場合

散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付丸端子⑨を接続して結線してください。

1. 散水キット電源線は、室外ユニット制御部内の電磁接触器の2次側へ既存の端子と共締めしてください。
 (機種によって異なりますが、一例を下記に示します)
 ※端子の向きは、必ず図2のように取付けてください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をアッスナー⑬を使用して束ねてください。

図1：室外ユニット制御部内
 (三相電源機種の場合) 電磁接触器 (1次側) 散水キット電源線 電源 (2次側) 端子線 電源 圧着機へ

図2
 端子 リード線
 ネジ (正しい取付け方)

(単相電源機種の場合) 電磁接触器 (1次側) 散水キット電源線 電源 (2次側) 端子線 電源 圧着機へ

図3
 散水キット電源線 電源 圧着機へ

(M) PUZ：室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が有る機種の場合

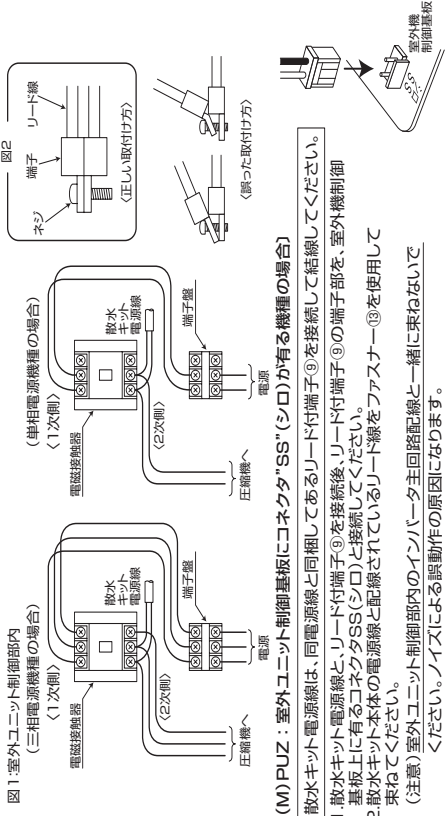
散水キット電源線は、同電源線と同梱してあるリード付端子⑨を接続して結線してください。

1. 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後、リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
 2. 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をアッスナー⑬を使用して束ねてください。
 (注意) 室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因になります。

(M) PUZ：室外ユニット制御基板にコネクタ"SS"(シロ)が無い機種の場合

散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続して結線してください。

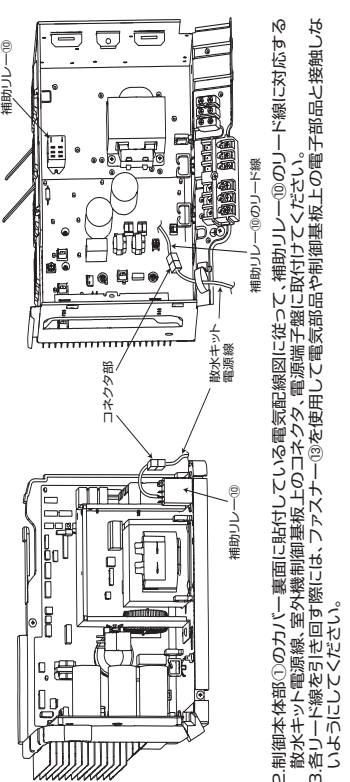
1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑪にて固定してください。



2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子線に取付けてください。

3. 各リード線を引き回す際は、アッスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

(M) PU(H) の場合



▲ 注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。ノイズによる誤動作の原因になります。

▲ 注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内にて収めてください。張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因になります。

▲ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり水などにより、感電・火災の原因になります。

▲ 警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

▲ 警告

電磁接触器への端子の接続は、図のように正しく取付けること。誤った取付けをすると接触面積不足による発火・焼損の原因になります。

4. 給水管の接続

本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。

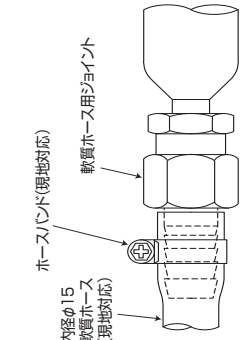
※複数台取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選択してください。

▲ 注意

供給水圧・水量が足りないと噴霧状態(破砕範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

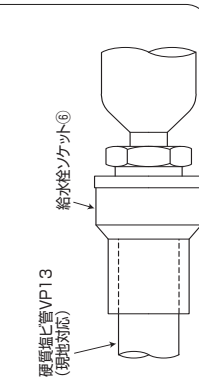
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシリルテープまたはシリル材等でシリルした後、付属の給水用ソケット⑬を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2スリットで行ってください。

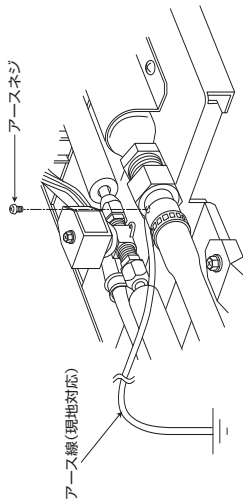


▲ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気が水がかかり、感電・火災の原因になります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。
 室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。
 このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

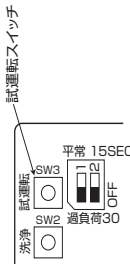


△ 警告

アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。
 アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転 基板カバーのネジ2本を取出してください。 ※ 下図において■はスイッチの位置を示します。

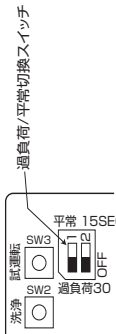
- (6-1 試運転)**
1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
 2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほほ均一の粒子で広がっているかを確認してください。
 (試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して戻ります)
 3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



(6-2 過負荷/平常切替スイッチの設定)

本製品は、夏場の過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行ってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切替スイッチ(DIPスイッチ: 1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。

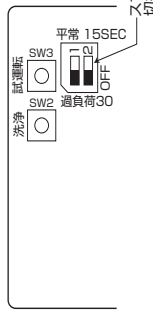


(6-3 スプレー時間切替スイッチの設定)

散水時間の設定ができます。
 (出荷時は散水時間30秒に設定されています)
 (出荷時は散水時間30秒を操作しまずとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。
 例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。)

使用水量の目安
 (水圧:0.15MPa)

| | |
|--------|---------|
| 15秒 | 30秒 |
| 6.6ℓ/h | 13.2ℓ/h |



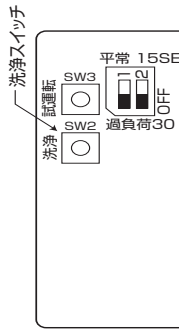
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上的のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時LED点灯)

| LED | 項目 | 故障箇所 | 電磁弁の状態 |
|-----|---------|------------|--------|
| 点滅 | サーミスタ異常 | サーミスタ断線、短絡 | OFF |
| 消灯 | マイコンエラー | 制御基板不良 | OFF |

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。
 ※ 洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。
 ※ 洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります。



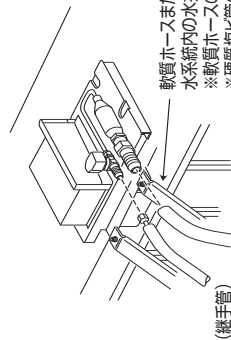
7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

ご使用になるお客様へ

(日常点検) 供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

(冬期の水抜き) 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から取外し、水系統内の水抜きをしてください。
 ※ 軟質ホースの場合、ホースバンドを取外してから上記作業を行ってください。
 ※ 硬質塩ビ管の場合、給水シフトを取外してから上記作業を行ってください。
 ※ 継手管の場合、2Tスリッパでフレアナットを取外してから上記作業を行ってください。
 (軟質ホースまたは硬質塩ビ管)

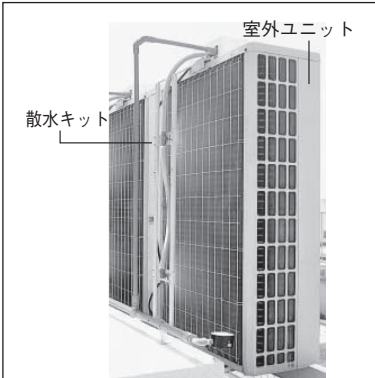
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行ってください。

散水キット

● PAC-SJ02ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注 意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ZRMP112～160KA4
- PUZ-ZRP224・280KA10
- PUZ-ERMP112～160LA4
- PUZ-ERP224・280KA4
- PU-CRMP112～160LA4
- PUZ-HRMP80～160KA

仕 様

| | | | |
|-------------|----------------|--|-----------|
| 形 名 | PAC-SJ02ESS | | |
| 電源供給 | AC200V 50/60Hz | | |
| ノズル口数 | 2ヶ | | |
| 使用可能給水範囲 | 水道水のみ | 水圧：0.14～0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14～0.3MPa（硬質塩ビ管の場合） | 水温：10～30℃ |
| 水道供給用接続パイプ径 | 軟質ホース | 内径 15mm / 硬質ホース | VP13 |

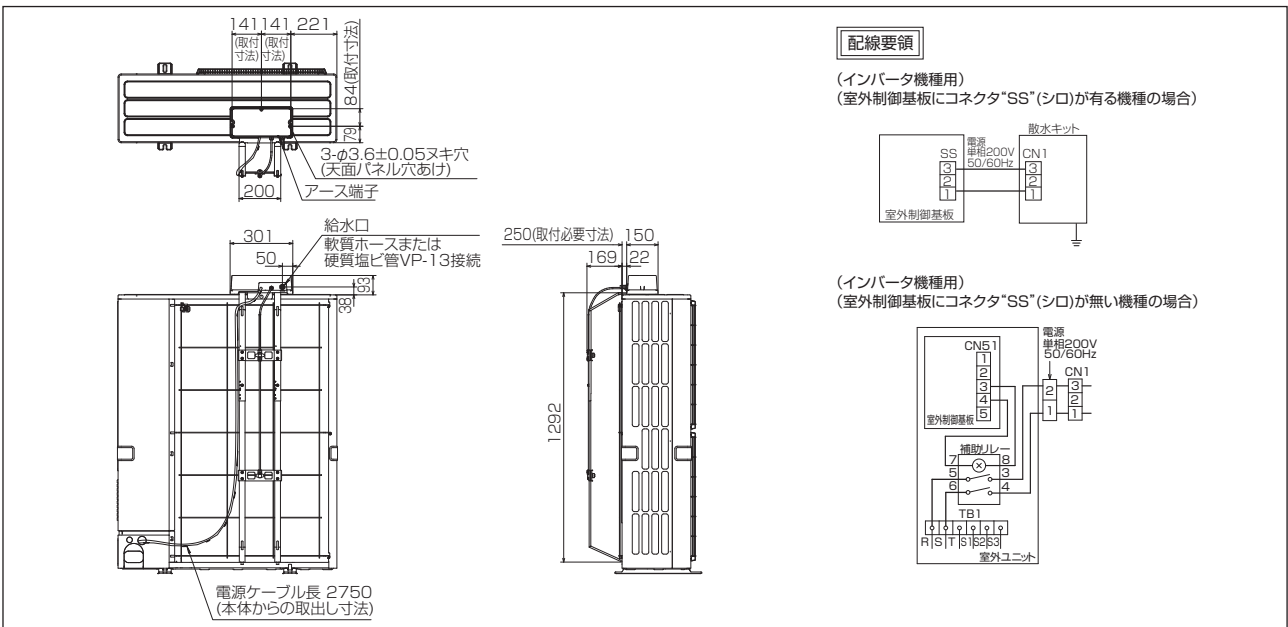
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(参考データ P160形搭載時)

| 運転モード | 平常モード(外気温度:32℃, ON) | | | | 過負荷モード(外気温度:40℃, ON) | | | |
|-------------|---------------------|----------|---------------------|----------|----------------------|----------|---------------------|----------|
| | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | |
| 形 名 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 |
| PAC-SJ02ESS | 0.41kW (10.3%) | 10.5 ℓ/h | 0.52kW (13.0%) | 21.1 ℓ/h | 0.58kW (14.5%) | 10.5 ℓ/h | 0.72kW (18.0%) | 21.1 ℓ/h |

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)



室外ユニット



三菱電機パッケージエアコン別売部品
散水キット据付工事説明書

※取付け前に本説明書をよくお読みください。

| | |
|-------------|----------------|
| 別売部品名 | 適用機種 |
| PAC-SJ02ESS | 27アン機種用 K/Lタイプ |

据付けの前に

- 本製品は、夏場での室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.25MPa
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合 0.14MPa～0.3MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となり室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
 - ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
 - 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。
- 警告**

誤った取扱いをしたときに、死または重傷など生じる可能性があるもの。
- 据付完了後、試運転を行ない異常がないことを確認してください。
 - お客様が保管していたり、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ・感電・火災等の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全の場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。

注意

- 製品の運搬は十分注意で行う。
 - 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPバンドなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
 - 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。
- 可熱性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
 - 万一ガスがユニットの周囲にたまること、発火・爆発の原因になります。
 - アース工事を行う。
 - アース線は、ガス管・水道管・配管・電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

RG79A932H19

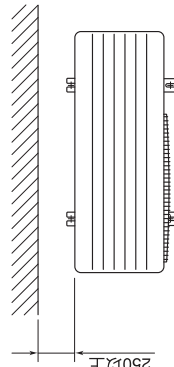
この箱の中には、この説明書の他に下記部品の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

| 1. 部品の確認 | |
|--------------|----|
| 品名 | 個数 |
| ①制御部本体 | 1 |
| ②スプレ-取付けアングル | 2 |
| ③スプレ-取付け台 | 2 |
| ④継手管 | 2 |
| ⑤ネジ | 15 |
| ⑥給水栓/ケツ | 1 |
| ⑦バンド | 3 |
| 品名 | 個数 |
| ⑧リード付丸端子 | 1 |
| ⑨リード付端子 | 1 |
| ⑩補助リレー | 1 |
| ⑪ネジ | 2 |
| ⑫絶縁材 | 1 |
| ⑬ファスナー | 4 |

2. 取付手順

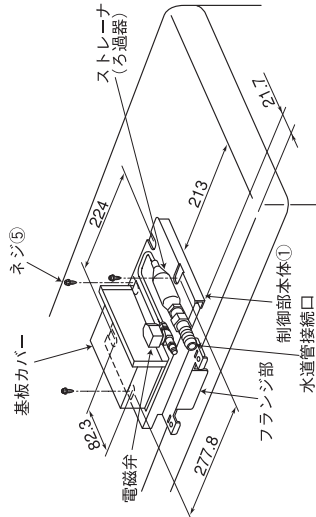
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物（壁など）とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー（白色）を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて指定の位置に仮置きした後（トル等で天板に下穴（φ3.6±0.05）を3ヶ所あけてください。（天板に下穴位置の刻印が3箇所あります。）
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤（3ヶ所）で制御部本体を固定してください。

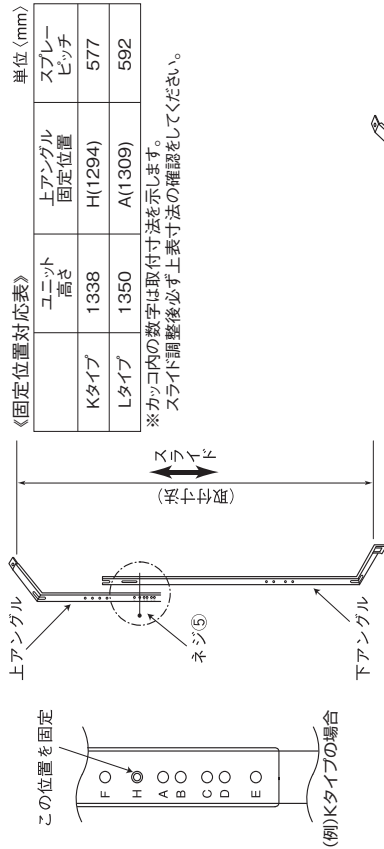


注意

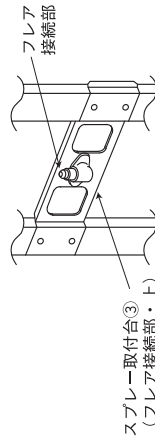
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えかねない場合があります。また、本製品の性能を十分に発揮できないことがあります。

2-3 スプレー取付けアングルの取付け ※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。

1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルのアルファベット横の穴(対応表参照)と下アングルの上部の穴をネジ⑤で固定してください。



2. スプレー取付台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルにネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



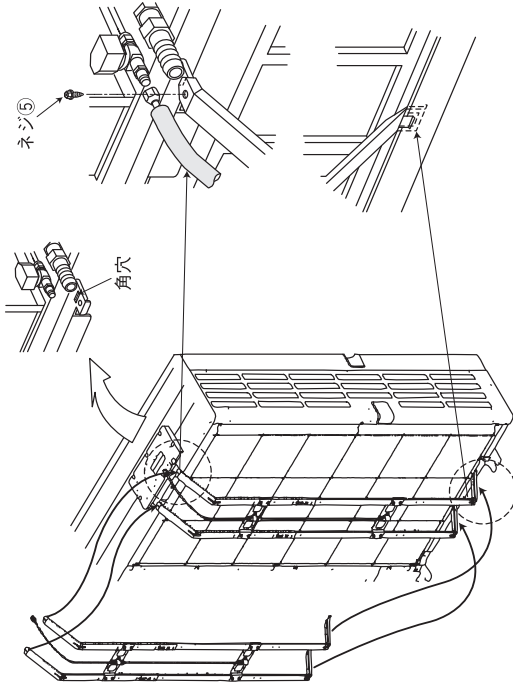
3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。(電磁弁出口への接続は後で作業します)

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
5. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。
※必ず2丁スパナで締付けてください。

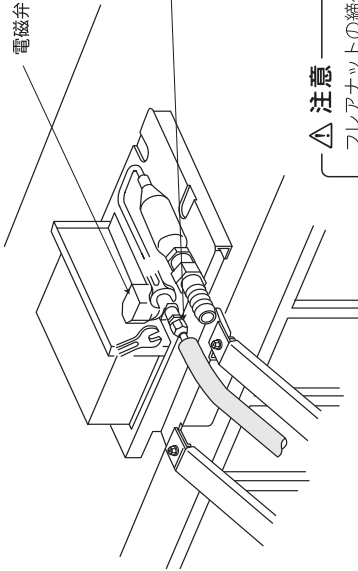
▲注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑤で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
8. トルクレンチまたはスパナを用い、13.7~17.7N・m(140~180Kgf・cm)のトルクで締付けてください。
(必ず2丁スパナで締付けてください)



▲注意

フレアナットの締付けは正しく行ってください。締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

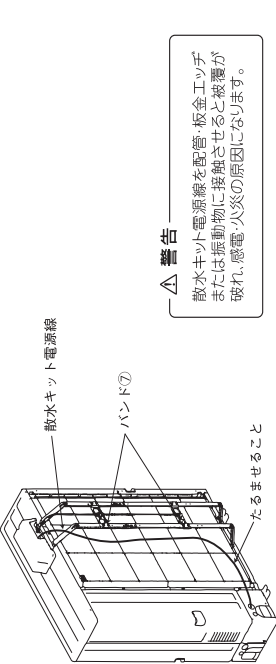
3. 配線手順

3-1 室外ユニットサーベイスパネルの取外し

室外ユニットのサーベイスパネルを外し、次に側面にある電源線取出口(ノックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。

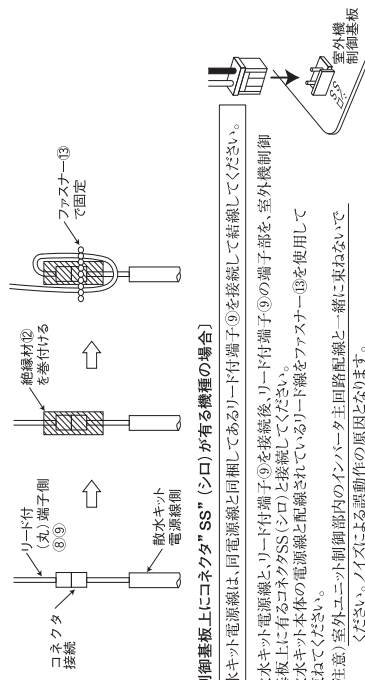
3-2 配線作業

散水キット電源線は、室外ユニット内部の近隣板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう取り廻し下部の配管穴を通してアンクルにバンド⑦で結束します。



3-3 結線作業

リード付(丸)端子コネクタ⑧⑨の接続は、下記手順にて取付けてください。

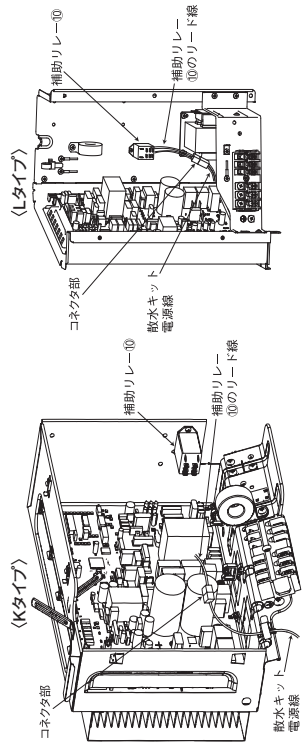


【室外機制御基板上にコネクタ"SS" (シロ)が有る機種の場合】

- 散水キット電源線は、同電源線と同相にあるリード付端子⑨を接続して結線してください。
- 散水キット電源線と、リード付端子⑨を接続後リード付端子⑨の端子部を、室外機制御基板上に有るコネクタSS(シロ)と接続してください。
 - 散水キット本体の電源線と配線されているリード線をファスナー⑬を使用して束ねてください。
(注意)室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください、ノイズによる誤動作の原因となります。

【室外機制御基板上にコネクタ"SS" (シロ)が無い機種の場合】

- 散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑩を接続してください。
- 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑩を付属のネジ⑪にて固定してください。



- 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑩のリード線⑩に対応する散水キット電源線、電源線、室外機制御基板上のコネクタ、電源端子盤に取り付けてください。
- 各リード線を引き回す際には、ファスナー⑬を使用して電気部品や制御基板上の電子部品と接触しないようにしてください。

△ 注意

室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
ノイズによる誤動作の原因となります。

△ 注意

散水キット電源線と補助リレー⑩のリード線コネクタ部は室外機制御箱内にて取めてください。
張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因となります。

△ 警告

室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付ける。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因となります。

△ 警告

端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因となります。

4. 給水管の接続

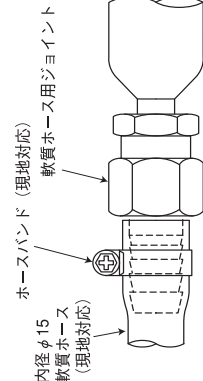
本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。
※複数台取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

△ 注意

供給水圧・水量が足りない時と噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

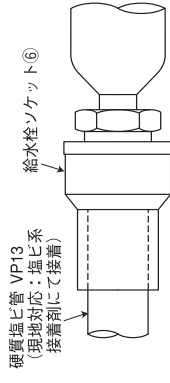
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを外す時は、必ず2丁スリナで行なってください。

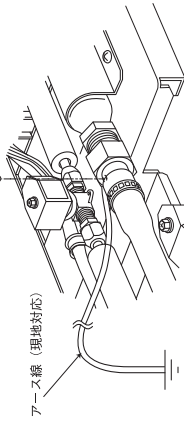


△ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気に水がかかり、感電・火災の原因となります。

5. アース工事

アース工事は、「電気設備に関する技術基準」にしたがって電気工事士の方が実施してください。



室外ユニットの電源回路に漏電遮断器が取付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

警告

アース工を行なう。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になることがあります。

6. 試運転

基板カバーのネジ2本を外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

6-1 試運転

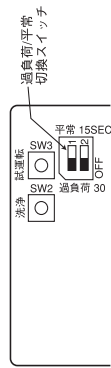
1. 水栓を開き水キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
2. エアコンを運転（圧縮機運転）し、制御部本体の基板上にある試運転スイッチを押しスプレーから水を噴霧させ、ほこり等の粒子で広がっているかを確認してください。
(試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



6-2 過負荷/平常切換スイッチの設定

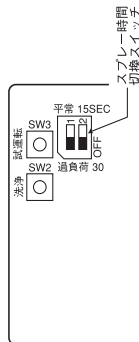
本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた設定を行なってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)

過負荷/平常切換スイッチ(DIPスイッチ：1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。



6-3 スプレー時間切換スイッチの設定

散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています) スプレー時間切換スイッチ(DIPスイッチ2)を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



| 形名 | 15秒 | 30秒 |
|---------------------|----------|----------|
| 使用水量の目安(水圧:0.15MPa) | 10.5 l/h | 21.1 l/h |

PAC-SJ02ESS

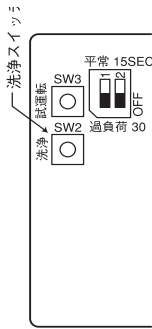
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上のLEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時:LED点灯)

| LED | 項目 | 故障箇所 | 電磁弁の状態 |
|-----|---------|------------|--------|
| 点滅 | サーミスタ異常 | サーミスタ断線、短絡 | OFF |
| 消灯 | マイコンエラー | 制御基板不良 | OFF |

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィンを洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前など、フィンの洗浄に使用してください。(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります。洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

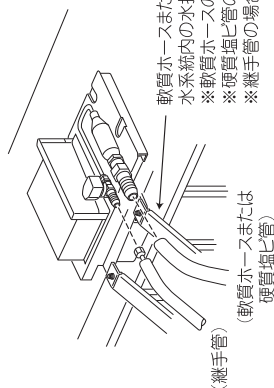
ご使用になるお客様へ

日常点検

供給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行なってください。

冬期の水抜き

冬期に水系統内の水が凍結し、破損する恐れがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。



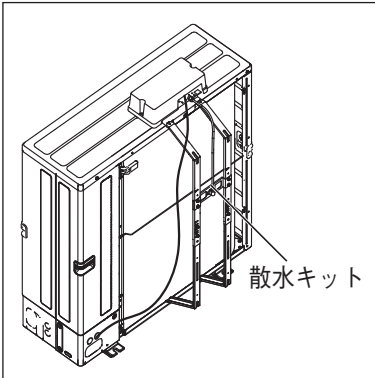
フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水質によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行なってください。

散水キット

● PAC-SJ77ESS

使用目的 / 用途



- “散水キット”は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的とした部品です。
- 外気温に応じ、室外ユニットの吸込口に水を噴霧し、室外ユニットの高圧カットによる冷房能力低下を解消します。
- 本品は安全ネットとの併用はできません。
- 噴霧した水がケーシングやフィンに当たり、水滴となって室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびケーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排水穴から排水されますので地面を濡らします。

注 意

- ・ 冬期に水系統内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系統内の水抜きをしてください。
- ・ 給水は必ず水道水を使用してください。水温は 10 ～ 30℃ でご使用ください。

対象ユニット

- PUZ-ERMP112・140LA5

仕 様

| | |
|-------------|---|
| 形 名 | PAC-SJ77ESS |
| 電源供給 | AC200V 50/60Hz |
| ノズル口数 | 1ヶ |
| 使用可能給水範囲 | 水道水のみ 水圧：0.14～0.25MPa（給水管ホースの場合） /0.14～0.3MPa（硬質塩ビ管の場合） 水温：10～30℃ |
| 水道供給用接続パイプ径 | 軟質ホース 内径 15mm / 硬質ホース VP13 |

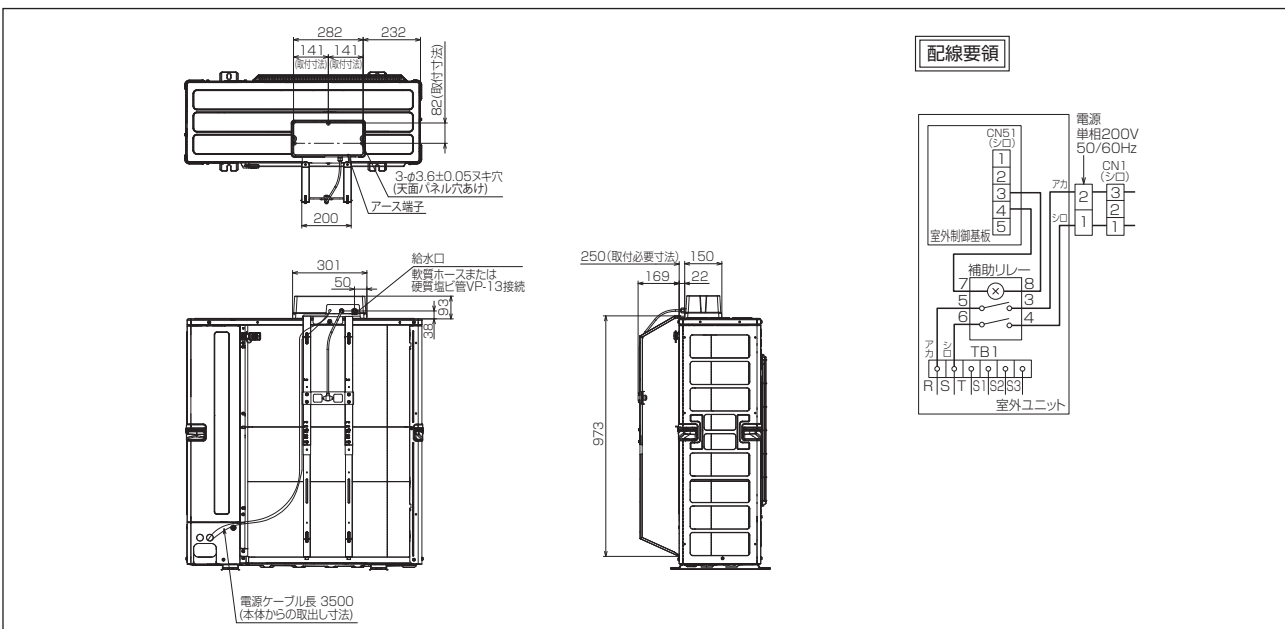
消費電力削減値

性能値は水道水、水圧0.15MPa、水温20℃、200Vでのデータ(散水時)を示します。
(参考データ P112形搭載時)

| 運転モード | 平常モード(外気温度:32℃, ON) | | | | 過負荷モード(外気温度:40℃, ON) | | | | |
|-------------|---------------------|---------------------|------------|---------------------|----------------------|---------------------|------------|---------------------|----------|
| | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | | 15秒/5分サイクル | | 30秒/5分サイクル | | |
| 形 名 | 性能値 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 | 消費電力削減値 ()は率を示す | 使用水量 |
| PAC-SJ77ESS | | 0.27kW (12.0%) | 6.6 l/h | 0.31kW (13.5%) | 13.2 l/h | 0.32kW (14.0%) | 6.6 l/h | 0.40kW (17.6%) | 13.2 l/h |

◎平常 / 過負荷モードの切換え、および散水時間の切換えは基板上的DIPスイッチで切換えます。

外形図 (単位: mm)



※据付け前に本説明書をよくお読みください。

据付けの前に

- 本製品は、夏場の室外ユニット過負荷対策および冷房時の省エネルギーを目的としたものです。
- 給水は必ず水道水を使用してください。水温は10～30℃で、ご使用ください。
- 噴霧時の水圧は、十分な圧力が必要です。
- 給水管にホースを使用する場合は、0.14MPa～0.25MPa
- 給水管に硬質塩ビ管を使用する場合は、0.14MPa～0.3MPa
- 上記水圧の範囲内で使用してください。水圧が低いときは、市販の加圧ポンプを使用し昇圧してください。
- 本製品動作中、噴霧した水がウェーシングやフィンに当たり、水滴となり室外ユニット周辺に飛散したり、フィンおよびウェーシングに付着した噴霧水が室外ユニットのドレンパンに落ち、排出穴から排水されますので地面を濡らします。

安全のために必ず守ること

- 据付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告
誤った取扱いをしたときに、軽傷または軽度火災、感電、感電・火災等の原因になります。

注意
誤った取扱いをしたときに、軽傷または軽度火災、感電、感電・火災等の原因になります。

警告
据付完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わられる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- 据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
- お客様自身で据付工事され不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 据付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。
- 当社指定部品を使用しないと、水漏れ、感電・火災・コニット落下によるケガの原因になります。
- 記録は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部ケーブルの外力が伝わらないように固定する。また、途中接続は絶対に行わない。
- 接続や固定が不完全な場合や、途中接続の場合は、発熱・火災等の原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」およびこの据付工事説明書に従って施工し、必ず専用回路としかつ定格の電圧・ブレーカーを使用する。
- 電源回路容量不足や施工不備があると感電・火災等の原因になります。
- 室外ユニットのサービスマネルを確実に取付ける。
- サービスマネルの取付けに不備があると、ほこり、水等により、感電・火災等の原因になります。
- 可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがある場所へは据付けない。
- 万一ガスがコニットの周囲にたまったと、発火・爆発の原因になります。
- アース工事を行う。
- アース線は、ガス管・水道管・暖房配管・電話のアース線に接続しないください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
- 製品の運搬は十分注意して行う。
- 20kg以上の製品は原則として2人以上で行ってください。PPHANTなど所定の位置以外をもって製品を動かさないでください。
- 素手で部品端面やフィンなどに触れるとケガをする場合がありますので保護具をご使用ください。

注意

(本マニュアル用に変更・修正しています)

1. 部品の確認

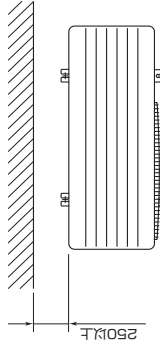
この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------------|---------------|-----------|-----------|--------------|
| ①制御部本体 個数 1 形 状 | ②スプレー 取付けアングル 2 カバ | ③スプレー取付台 1 | ④継手管 1 | ⑤ネジ 15 | ⑥給水栓ノック 1 |
| ⑦バンド 個数 3 形 状 | ⑧リード付端子 1 | ⑨補助リレー 1 | ⑩ネジ 2 | ⑪絶縁材 1 | ⑫フアスター 4 |

2. 取付手順

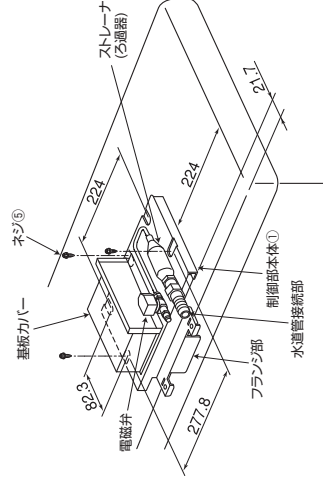
2-1 取付必要スペース

室外ユニット背面と障害物(壁など)とのクリアランスを250mm以上確保してください。



2-2 制御部本体の取付け

1. 制御部本体①のカバー(白色)を取外してください。
2. 制御部本体①のフランジ部を室外ユニット背面に突き当てて指定の位置に付属したネジドリル等で天板に下穴(φ3.6±0.05)を3ヶ所あけてください。(天板に下穴位置の刻印が3ヶ所あります)
3. 制御部本体付属の両面テープと、付属のネジ⑤(3ヶ所)で制御部本体①を固定してください。

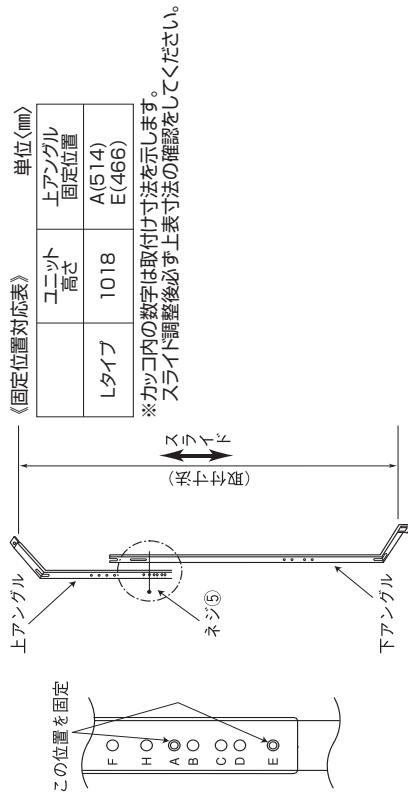


注意

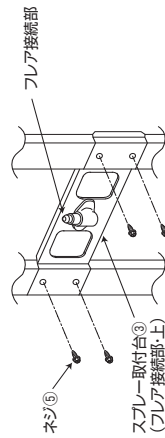
指定位置以外に取付けると、ネジ先端が内部部品に損傷を与えることがあります。また、本製品の性能に十分発揮できないことがあります。

2.3 スプレー取付けアングルの取付け

※ユニット本体へ取付ける前に作業を実施してください。
 1. スプレー取付けアングル②をスライドさせ、上アングルの穴(対応表参照)と下アングルの上部の穴をネジ⑤で固定してください。

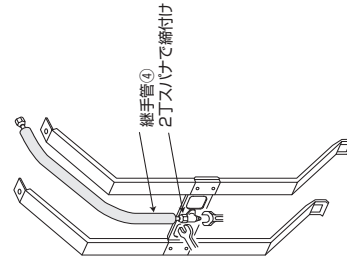


2. スプレー取付け台③をフレア接続部が図示の向きになるようにセットし、スプレー取付けアングルにネジ⑤で固定してください。(左右2ヶ所ずつ)



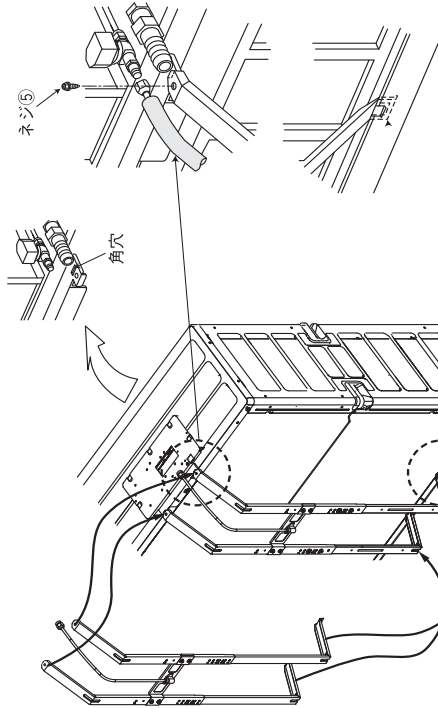
3. 制御部本体の電磁弁出口とスプレー入口に接続する継手管④の長さや形状を決め、必要に応じて管端部を成形加工してください。
 (電磁弁出口への接続は後で作業します)
 ※パイプの曲げ加工は、つぶれたり折らないよう十分注意してください。

4. フレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
 5. トルクレンチまたはスバヤを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締めてください。
 ※必ず2スバヤで締めてください。

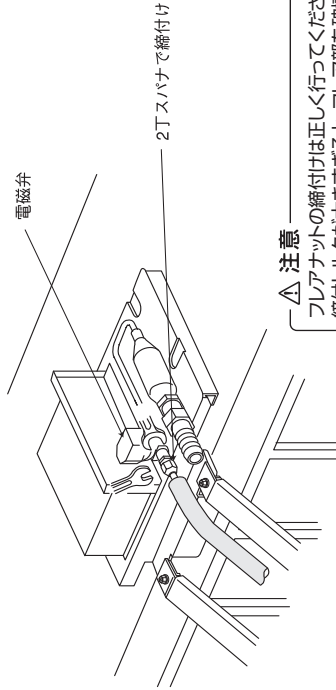


△ 注意
 フレアナットの締付けは正しく行ってください。
 締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

6. スプレー取付けアングル下部を室外ユニットベースのフランジに引っ掛け、次に上部のツメを制御部本体の角穴に差し込みネジ⑥で固定します。(左右1ヶ所ずつ)



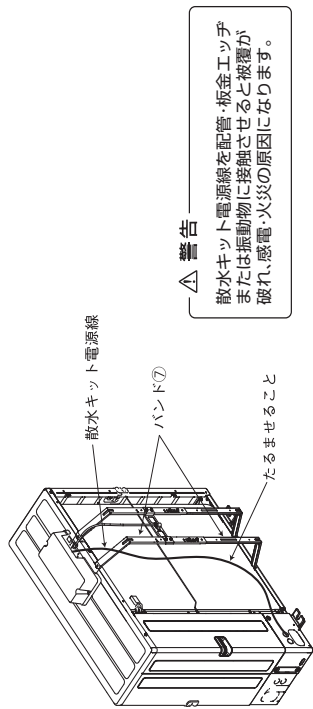
7. 制御部本体の電磁弁出口部にフレア部の中心を合わせ、フレアナットを手で3~4回転させ締めます。
 8. トルクレンチまたはスバヤを用い、13.7~17.7N・m(140~180kgf・cm)のトルクで締めてください。(必ず2スバヤで締めてください)



△ 注意
 フレアナットの締付けは正しく行ってください。
 締付トルクが大きすぎると、フレア部を破壊し、水漏れの原因になります。

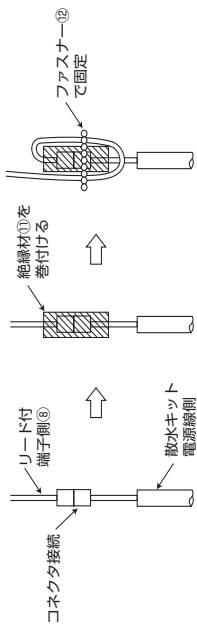
3. 配線手順

- 3-1 室外ユニットサービスパネルの取外し
室外ユニットサービスパネルを取外し、次に側面にある電源取出穴(ノックアウト)をあけてください。
※ユニット下部の配管穴形状は機種により異なります。
- 3-2 配線作業
散水キット電源線は、室外ユニット内部の近傍板金エッジおよび配管等に絶対接触しないよう取り回し下部の配管穴を通してアングルにバンド⑦で結束します。



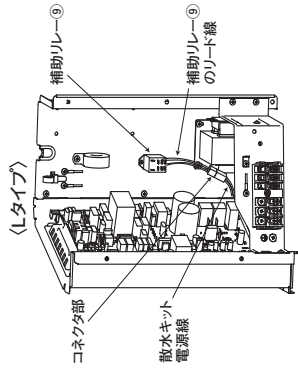
3-3 結線作業

リード付端子コネクタ⑧の接続は、下記手順にて取付けてください。



散水キット電源線は、梱包材に包まれている補助リレー⑨を接続して結線してください。

- 1. 室外機電気品箱の指定位置(下図参照)に補助リレー⑨を付属のネジ⑩にて固定してください。



- 2. 制御本体部①のカバー裏面に貼付している電気配線図に従って、補助リレー⑨のリード線のリード線に対応する散水キット電源線、室外機制御基板上的コネクタ、電源端子盤に取付けてください。
- 3. 各リード線を引き回す際には、ファスナー②を使用して電気部品や制御基板上的電子部品と接触しないようにしてください。

△ 注意
室外ユニット制御部内のインバータ主回路配線と一緒に束ねないでください。
ノイズによる誤動作の原因になります。

△ 注意
散水キット電源線と補助リレー⑨のリード線コネクタ部は室外機制御箱内に収めてください。
張力によるコネクタ外れや水滴付着によるトラッキング発生の原因になります。

△ 警告
室外ユニットの外郭パネル類を確実に取付けてください。不備があると、ほこり・水などにより、感電・火災の原因になります。

△ 警告
端子の取付けは、ゆるみのないよう確実に締付けてください。また、外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定に不備があると、火災の原因になります。

4. 給水管の接続

本製品は軟質ホースまたは硬質塩ビ管の接続が可能です。出荷時は軟質ホース用ジョイントを取付けてあります。

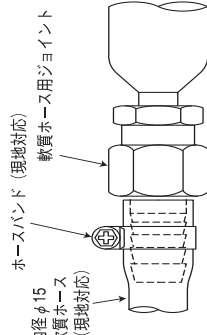
※複数取付ける場合は、噴霧時の水圧を確保し十分な水量が確保できる配管径を選定してください。

△ 注意

供給水圧・水量が足りないと噴霧状態(拡散範囲・水量・粒径)が悪く、性能を発揮できないことがあります。

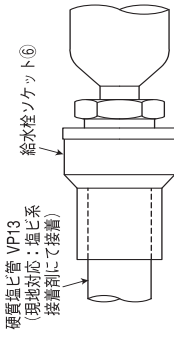
軟質ホース使用の場合

市販のホースバンドを使用し接続部を確実に固定してください。



硬質塩ビ管使用の場合

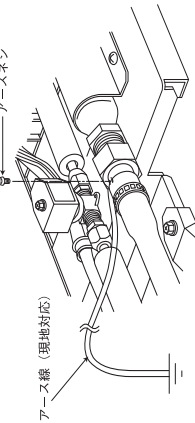
軟質ホース用ジョイントを取外し、市販のシールテープまたはシール材等でシールした後、付属の給水栓ソケット⑥を取付けてください。※軟質ホース用ジョイントを取外す時は、必ず2丁スリヤで行ってください。



△ 警告

給水管の接続は水圧による外れや水漏れのないよう、確実に取付けてください。不備があると電気品に水がかかり、感電・火災の原因になります。

5. アース工事 アース工事は、「電気設備に関する技術基準」に従って電気工事士の方が実施してください。



室外ユニットの電源回路に漏電遮断機が取り付けられているかを確認し、さらにD種接地工事を行ってください。このとき接地抵抗値が500Ω以下であることを確かめてください。

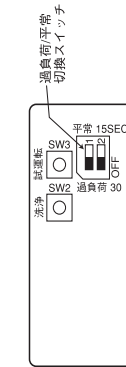
▲ 警告
アース工事を行う。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しない。アース工事に不備があると、感電の原因になります。

6. 試運転 基板カバーのネジ2本を取外してください。※下図において■はスイッチの位置を示します。

- (6-1 試運転)**
1. 水栓を開き本キットの接続部に水漏れのないことを確認してください。
 2. エアコンを運転(圧縮機運転)し、制御部本体の基板にある試運転スイッチを押す。スプレーから水を噴霧させ、ほぼ均一の粒子で広がっているかを確認してください。(試運転スイッチを押すと10秒間噴霧、10秒間停止を1分間繰り返して通常モードに戻ります)
 3. 試運転中に再度スイッチを押すと通常モードに戻ります。



(6-2 過負荷/平常切替スイッチの設定) 本製品は、夏場での過負荷対策および冷房時の省エネルギー化において2種類の選択が可能です。用途に応じた下記設定を行ってください。(出荷時は過負荷モードに設定されています)



過負荷/平常切替スイッチ(DIPスイッチ:1)を操作し過負荷(外気温40℃作動)の場合はOFF側、平常(外気温32℃作動)の場合はON側に設定してください。

(6-3 スプレー時間切替スイッチの設定) 散水時間の設定ができます。(出荷時は散水時間30秒に設定されています) スプレー時間切替スイッチ(DIPスイッチ:2)を操作しますとON側で15秒間散水、OFF側で30秒間散水します。例えば水圧が低い時、30秒を、節水したい場合は15秒に設定してください。



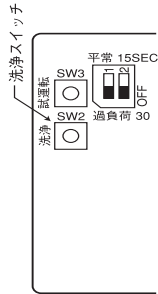
故障診断

異常により散水が停止している場合は、制御基板上的LEDが以下の内容を表示しますので点検を行ってください。(正常運転時:LED点灯)

| LED | 項目 | 故障箇所 | 電磁弁の状態 |
|-----|---------|------------|--------|
| 点滅 | サーミスタ異常 | サーミスタ断線・短絡 | OFF |
| 消灯 | マイコンエラー | 制御基板不良 | OFF |

洗浄モード

本製品には、室外ユニットのフィン洗浄するための洗浄スイッチを設定しています。取付け時や冷房シーズン前等、フィンの洗浄に使用してください。(洗浄スイッチを押すと10分間噴霧し通常モードに戻ります)(洗浄運転中でも、もう一度押すと通常モードに戻ります)



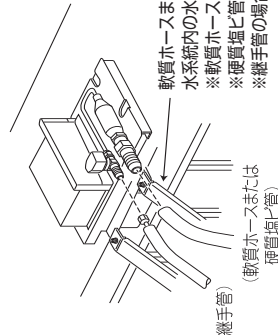
7. カバーの取付け

最後に基板カバーおよびカバー(白色)を取付けてください。

ご使用になるお客様へ

(日常点検) 給水の水质によってはスプレー部がつまり噴霧量が減少することがありますので、定期的に噴霧状態の点検およびスプレー部の清掃を行ってください。

(冬期の水抜き) 冬期に水系内の水が凍結し、破損するおそれがありますので、冷房シーズンオフには必ず水系内の水抜きを行ってください。



- 軟質ホースまたは硬質塩ビ管および継手管をそれぞれ接続部から取り外し、水系内の水抜きを行ってください。
- ※軟質ホースの場合、ホースバンドを取り外してから上記作業を行ってください。
- ※硬質塩ビ管の場合、給水栓ソケットを取り外してから上記作業を行ってください。
- ※継手管の場合、2Tスリッパでフレアナットを取り外してから上記作業を行ってください。

フィンの養生について

室外ユニットの周辺環境および噴霧する水质によりフィンが腐蝕したり、スケールが付着したりします。この進行は明確ではありませんが、不安のある時は販売店と相談して、フィンの防錆剤塗布および定期的なフィン洗浄等の対策を行ってください。